

相楽広域行政組合新庁舎新築工事

図 面 リ ス ト									
建 築				構 造		機 械 設 備		電 気 設 備	
図 番	図 面 名 称	図 番	図 面 名 称	図 番	図 面 名 称	図 番	図 面 名 称	図 番	図 面 名 称
A-00	表紙・図面リスト	A-26	建具詳細図 (1)	S-01	構造特記仕様書	M-01	機械設備工事 特記仕様書 (1)	E-01	電気設備工事 特記仕様書 (1)
A-01	建築工事 特記仕様書 (1)	A-27	建具詳細図 (2)	S-02	鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (1)	M-02	機械設備工事 特記仕様書 (2)	E-02	電気設備工事 特記仕様書 (2)
A-02	建築工事 特記仕様書 (2)	A-28	建具詳細図 (3)	S-03	鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (2)	M-03	換気扇機器・制気口リスト	E-03	幹線設備系統図・分電盤結線図
A-03	建築工事 特記仕様書 (3)	A-29	建具詳細図 (4)	S-04	鉄骨工作標準図 (1)	M-04	空調換気 ダクト 平面図	E-04	幹線動力・コンセント設備 平面図
A-04	建築工事 特記仕様書 (4)	A-30	部分詳細図 (1)	S-05	鉄骨工作標準図 (2)	M-05	空調機器リスト	E-05	照明器具参考姿図
A-05	建築工事 特記仕様書 (5)	A-31	部分詳細図 (2)	S-06	ウルトラコラム工法 特記仕様書	M-06	空調設備 平面図	E-06	電灯設備 平面図
A-06	建築工事 特記仕様書 (6)	A-32	部分詳細図 (3)	S-07	土質柱状図	M-07	空調設備 計装工事 平面図	E-07	防災照明設備 平面図
A-07	建築工事 特記仕様書 (7)	A-33	部分詳細図 (4)	S-08	柱状地盤改良伏図	M-08	衛生器具リスト・樹リスト	E-08	弱電設備機器リスト
A-08	付近見取り図、敷地求精図	A-34	部分詳細図 (5)	S-09	基礎伏図	M-09	汚水・雑排水設備 平面図	E-09	弱電設備 平面図
A-09	計画配置図	A-35	部分詳細図 (6)	S-10	1階柱・壁ブレース 1階床梁伏図	M-10	給水・給湯設備 平面図	E-10	防災設備 系統図
A-10	建物求精図	A-36	部分詳細図 (7)	S-11	1階柱・壁ブレース伏図	M-11	便所排水設備詳細図	E-11	防災設備 平面図
A-11	凡例一覧・記号表・内外部仕上表	A-37	部分詳細図 (8)	S-12	1階柱・壁ブレース 2階床梁伏図	M-12	便所給水設備詳細図	E-12	太陽光発電設備機器リスト
A-12	ピット図	A-38	家具・サインキープラン	S-13	1階柱・壁ブレース R階床梁伏図	M-13	立面図	E-13	太陽光発電設備 平面図
A-13	平面図	A-39	家具詳細図	S-14	軸組図 (1)	M-14	地中梁貫通図		
A-14	屋根伏図、天井伏図	A-40	サイン詳細図	S-15	軸組図 (2)	M-15	便所スラブ・地中梁貫通図		
A-15	立面図、断面図	A-41	外構計画図 (現況)	S-16	軸組図 (3)	M-16	天井機器配置図		
A-16	矩計図 (1)	A-42	外構計画図 (改修)	S-17	軸組図 (4)				
A-17	矩計図 (2)	A-43	外構詳細図 (1)	S-18	軸組図 (5)				
A-18	平面詳細図 (1)	A-44	外構詳細図 (2)	S-19	軸組図 (6)				
A-19	平面詳細図 (2)	A-45	外構詳細図 (3)	S-20	軸組図 (7)				
A-20	展開図 (1)	A-46	合併浄化槽 詳細図 (1) (一般構造図)	S-21	軸組図 (8)				
A-21	展開図 (2)	A-47	合併浄化槽詳細図 (2) (共通事項、平面配筋図・断面配筋図、電気図)	S-22	基礎配筋図				
A-22	展開図 (3)	A-48	ウルトラコラム工法 特記仕様書 (合併浄化槽部)	S-23	R C部材リスト				
A-23	建具表特記事項	A-49	梁・スラブ開口リスト	S-24	鉄骨部材リスト				
A-24	建具表 (1)	A-50	仮設計画図	S-25	鉄骨詳細図				
A-25	建具表 (2)			S-26	鉄骨架構図				

建築工事特記仕様書

【1】工事概要

1. 工事場所

京都府木津川市木津上戸15番地1、京都府木津川市木津宮ノ堀207番地1

2. 敷地面積

818.89㎡

3. 建築物概要

	棟名	構造	階数	建築面積(㎡)	延べ面積(㎡)	備考
	相楽広域行政組合新庁舎	軽量鉄骨造	2	400.73	392.85	その他建築物
	自転車置場	7mm鋼合金造	1	6.16	6.16	その他建築物

4. その他

【2】適用範囲

現場説明書（質疑回答書を含む）、本特記仕様書、図面、標準仕様書に示す範囲とする。
すべての設計図書は相互に補完するものとし、相違がある場合は、上記の順番を優先順位とする。
上記の標準仕様書とは、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（令和7年版）」をいう。（以下、これを「標仕」という。）
本書に特に記載のない事項にあっても、すべて、「標仕」の適用を受けるものとする。

【3】工事区分

設計図書による。
別契約の施工上密接に関連する工事との取合い部分が発生する場合は、別紙工事区分表による。

【4】工事仕様

1.設計図書による。設計図書に記載されていない事項は、「標仕」のほか別記の適用基準による。
2.項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
3.特記事項は、●印の付いたものを適用する。●印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
※印と●印の付いた場合は、共に適用する。※印が抹消された場合は、●印のみ適用する。
4.項目及び特記事項に記載の（ ）内表示番号は「標仕」の当該項目、当該図又は当該表を示す。

章項目特記事項

①

一般共通事項

③ 特別な材料の工法

設計図書に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法による。

④ 風圧力及び積雪に対する性能

(8.4.3、8.5.3)(10.5.3)(13.2.3～13.4.3)

⑤ 現場代理人

本工事の施工にあたっては、工事請負契約書第10条に基づく現場代理人は、主任技術者又は監理技術者と同様、受注者と直接的かつ恒常的な雇用関係のある者を選任しなければならない。

⑥ 工事工程報告

月報は毎月末日に於て、翌月5日までに提出する。
日報は監督職員の指示による。
週報は毎週（ ）曜日に提出する。

⑦ 工事実績情報の登録

(1.1.4)

⑧ 設備工事との取合い

⑨ 施工図等の取扱い

(1.2.3)

⑩ 工事写真

(1.2.4)

11 電気保安技術者

(1.3.3)

⑫ 施工条件

(1.3.5)

⑬ 発生材の処理等

(1.3.11)

章項目特記事項

14 発生材の処理等(7mm鋼合金成形板)

処理を行う範囲

○ 図示（仕上げ表による）
床・壁・天井毎に種別を確認）
○ 全ての室
施工調査

アスベスト成形板の撤去に当たり、あらかじめ事前の施工調査を次の事項について行う。調査結果は図面により記録し監督職員に提出する。
(1) アスベスト成形板使用部位の確認
記載上の成形板及びその使用範囲以外についても監督職員と協議の上確認を行うこと。
(2) アスベスト成形板の種別、厚さ等の確認
(3) アスベスト成形板使用数量の確認
(4) 施工範囲等の確認

確認方法

○ 成形板の製造年等の確認
○ X線解析法

処理方法

「非飛散性7mm鋼合金廃棄物の取扱いに関する技術指針」に従い、あらかじめ処理計画書を作成し、適切に解体処分等を行うこと。

⑮ 技能士

(1.5.2)

工事種別

仮設工事	適用する技能士の技能検定における選択作業
鉄筋工事	● とび作業
コンクリート工事	● 鉄筋組立作業 ● 左官作業 ● コンクリート圧送工事作業
鉄骨工事	● 構造物鉄工作業 ● とび作業
ブロック及びALCパネル工事	○ コンクリートブロック工事作業 ○ ALCパネル工事作業
カーテンウォール工事	○ 金属製カーテンウォール施工作業 ○ ビル用ガラス施工作業 ○ ガラス工事作業
防水工事	○ 7mm鋼合金防水工事作業 ● シリコン防水工事作業 ○ クリソノム系塗膜防水工事作業 ○ 防水系防水工事作業 ○ フラッシュ系塗膜防水工事作業 ○ FRP防水工事作業 ○ 合成ゴム系シート防水工事作業 ● 塩化ビニル系シート防水工事作業 ○ 改質アスファルトシート工法防水工事作業
石工事	○ 石張り作業
タイル工事	● タイル張り作業
木工工事	● 大工工事作業 ● 家具手加工作業
屋根及びとい工事	● 内外装板金作業 ○ かわらぶき作業 ○ スレート工事作業
金属工事	● 鋼製下地工事作業 ● 内外装板金作業
左官工事	○ 左官作業
塗装工事	● 建築塗装作業
建具工事	● ビル用ガラス施工作業 ● ガラス工事作業 ● 自動ドア施工作業
内装工事	● フラッシュ系床仕上げ工事作業 ● ボード仕上げ工事作業 ● カベツキ系床仕上げ工事作業 ● 壁装作業
排水工事	● 建築配管作業
舗装工事	● 溶融バインドマーカー工事作業 ○ 加熱バインドマーカー工事作業
植栽工事	○ 造園工事作業

ただし技能士に代わる者による施工の場合は監督職員の承諾を得ること。

⑯ 化学物質の濃度測定

(1.5.10)

⑰ 完成図

(1.7.2)

⑱ 保全に関する資料

(1.7.3)

作成する（提出部数 ● 2部 ○ 部）
詳細は監督職員の指示による。
完成図等の電子データによる提出については、現場説明書による。

作成する（提出部数 ● 2部 ○ 部）
● 敷地、建物の構造規模、主要な設備構成等の建物概要
● 建物の主要な構造部及び外構についての説明
● 建物を使用する上での注意事項
● 建物に設置されている家具、機器等及び部位毎の仕上げの概要説明
● 建物、工作物、植栽等を管理する上での保全業務の要点
● 建物等の清掃の要点
● 主要材料の製造所名、所在地、連絡先、非常時の連絡体制一覧表
建設大臣官房官庁営繕部監修「管理者のための建築物保全の手引き」建築保全「業務共通仕様書」を参考として作成すること。

① 足場等

(2.2.4)

足場は、「手すり先行工法に関するガイドライン（厚生労働省 基発第0424001号）」の「手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づき「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中枝及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立、解体又は変更の作業は「手すり先行工法による足場の組立等に関する基準」の2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式を採用すること。
屋根工事及び小屋組の建方工事における落落事故防止対策は、JIS A 8971（屋根工事用足場及び施工方法）の施工標準に基づく足場及び装備機材を設置すること。

章項目特記事項

② 監督職員事務所(2.3.1)

規模 ● 10㎡程度 ○ 20㎡程度 ○ 35㎡程度 ○ 65㎡程度 ○ 100㎡程度

仕上 床 ● 合板張り素地 ○ 2mm床シート敷き ○ バンパベア敷き
内壁、天井 ● 合板又はせっこうボード張り、合成樹脂エポキシバインド塗り
屋根 ○ 塗装溶剤垂れ漏り防止鋼板張り ● 鉄板張り鋼板バインド塗り
休憩室 ● 設けがない ○ 設ける（畳敷き） ○

備品 ● 机 ● いす ○ 保護帽 ● ゴム長靴 ● 雨がっぱ ● 衣類カバン（上記6品、2人分程度）
● 書棚 ○ 黒板 ○ 製図板 ○ 掛時計 ○ 温度計
○ 消火器 ○ 掃除具 ○ 懐中電灯 ○ 湯沸器 ○ 加入電話機
○ 冷暖房機器 ○ コピー機 ○ ネット回線 ○ 流し台 ○
○ 備仕（令和4年版） ○ 建築工事監理指針（令和4年版）
○ 建築工事施工チェックシート ○ 建築工事標準詳細図（令和4年改定）
○ 工事写真撮影ガイドブック建築工事編及び解体工事編(最新版)

③ 工事用水

構内既存の施設 ● 利用できない ○ 利用できる（○有償 ○無償）

④ 工事用電力

構内既存の施設 ● 利用できない ○ 利用できる（○有償 ○無償）

⑤ 仮囲い等

● 図示による ○

⑥ 設計GL

● 図示による ○ 設計GL＝現状GL

① 埋め戻し及び盛土

(3.2.3)

● A種 砂質土（山砂の類）を水締め又は機器による締固め（表3.2.1）
○ B種 根切り土の中の良質土を機器による締固め
○ C種 他現場の建設発生土の中の良質土を機器による締固め
○ D種 再生コンクリート砂を水締め又は機器による締固め
○ その他(材料 工法)
○ 建設発生土（盛土材）の外部からの受入土量（ m3）
発生場所（ ）

② 建設発生土の処理

(3.2.5)

● 構外指示の受入場所に処分
受入場所 ● (一財)城陽山砂利採取地整備公社 ○
土壤調査 ● 行う（受入場所指定の検査） ○
○ 京都府土砂等による土地の埋立て等の規制に関する条例
施行規則第7条第3項13号及び第4項に規定する方法
仮置場所 ○
○ 構内指示の場所に敷き均し
○ 構内指示の場所にたい積

③ 山留めの撤去

(3.3.3)

鋼矢板等の抜き跡の処理 ○ 図示による
● 撤去する
○ 存置する

④ 1 基礎種別

(4.2.2)～(4.5.8)

○ 杭基礎 杭の種類、本数等 構造図による
工法 構造図による
試験杭 ○ 行う（構造図による）
支持層の位置及び土質 構造図による
杭の支持地盤への掘削深さ 構造図による
杭継手 ○ 溶接 ○ 溶接継手(工法 本)
杭の水平方向位置ずれ精度 構造図による
杭の載荷試験 ○ 行う（構造図による）
継杭溶接部試験 ○ 行う（浸透探傷試験 本）
載荷試験 ○ 行う（下記以外は構造図による）

○ 直接基礎

2 地盤の載荷試験

(4.2.4)

平板載荷試験 試験箇所数 箇所（試験位置図示）
設計地耐力 t/㎡

3 既製コンクリート杭地業

(4.3.1)(4.3.4)(4.3.5)

○セメントミルク工法
根固め液及び杭周固定液の管理試験
※標仕 4.3.4 (b) (c) (a) から (g) による ○

○ 特定埋込杭工法

4 鋼杭地業

(4.4.3)

鋼杭の材料 ○ 図示による ○

5 場所打ちコンクリート杭地業

(4.5.1)(4.5.5)(4.5.6)

○アースドリル工法 ○リバース工法 ○オールケーシング工法
超音波測定器による孔壁の確認 ○行う ○行わない
○場所打ち鋼管コンクリート杭工法 ○拡底杭

記

事

業務名称

相楽広域行政組合新庁舎基本・実施設計業務

一般建築士事務所 京都府知事登録 (07A) 第00523号
管理建築士 一般建築士 (大臣) 第331194号 三浦 光寛

印

・

工事名称

相楽広域行政組合新庁舎新築工事

設計年月

令和8年3月

図面名称

建築工事 特記仕様書 (1)

縮尺

A 2 -
A 3 -

図面番号

A - 01

章	項	目	特	記	事	項	章	項	目	特	記	事	項	章	項	目	特	記	事	項																								
④	地業 工事	⑥砂利及び砂地業 (4.6.2) (4.6.3)	厚さ (mm) ● 図示による ※ 6 0 材料 砂利 ● 再生クラッシュヤラン ○ 切込砂利 ○ 切込砕石 砂 ○ 山砂 ○ 川砂 ○ 砕砂	⑥コン クリ ート 工 事 ※ 構 造 図 に よ る	1 コンクリートの種類 (6.2.1)	種類 ※ 普通コンクリート ○ _____ 類別 ※ I 類 ○ II 類 (表6.2.1)	⑥コン クリ ート 工 事 ※ 構 造 図 に よ る	10 コンクリートの試験 (6.9.2) ~ (6.9.5)	※ フレッシュコンクリートの試験 ○ 省略する	⑦鉄 骨 工 事 ※ 構 造 図 に よ る	10 工作図 (7.3.2)	高力ボルト、普通ボルトのゲージ、ピッチ、ヘリあき等 ※ 図示による (図に無い場合は鉄骨設計基準による)																																
		⑦捨てコンクリート地業 (4.6.4)	厚さ (mm) ● 図示による ※ 5 0		2 コンクリートの強度 (6.2.2) (6.2.4) (6.10.2) (6.14.1)	設計基準強度 (F _c) <table><tr><td>打 設 部 位</td><td>F_c (N/mm²)</td><td>スランブ (cm)</td><td>備 考</td></tr><tr><td rowspan="2">構造体</td><td>基礎</td><td>○ 2 4 ○ ○ 1 5 ○ 1 8</td><td rowspan="2">土間スラブを含む</td></tr><tr><td>上部</td><td>○ 2 4 ○ ○ 1 5 ※ 1 8</td></tr><tr><td>土間コンクリート</td><td>○ 1 8 ○ ○ 1 5 ○ 1 8</td><td>側溝・犬走り</td><td></td></tr><tr><td>捨てコンクリート</td><td>○ 1 8 ○ ○ 1 5 ○ 1 8</td><td></td><td></td></tr><tr><td>軽量コンクリート</td><td>○ 2 1 ○ ※ 2 1 ○ 1 8</td><td></td><td></td></tr><tr><td>無筋コンクリート</td><td>※ 1 8 ○ ○ 1 5 ○ 1 8</td><td>標仕6.14.1による</td><td></td></tr></table> ※ 構造体コンクリートの発注強度は以下のとおりとする。 〔F _c + 構造体強度補正值 (S)〕 N/mm ² (6.14.1)によるもの及び土間コンクリートは構造体強度補正は行わない)		打 設 部 位	F _c (N/mm ²)		スランブ (cm)	備 考	構造体	基礎	○ 2 4 ○ ○ 1 5 ○ 1 8	土間スラブを含む	上部	○ 2 4 ○ ○ 1 5 ※ 1 8	土間コンクリート	○ 1 8 ○ ○ 1 5 ○ 1 8	側溝・犬走り		捨てコンクリート	○ 1 8 ○ ○ 1 5 ○ 1 8			軽量コンクリート	○ 2 1 ○ ※ 2 1 ○ 1 8			無筋コンクリート	※ 1 8 ○ ○ 1 5 ○ 1 8	標仕6.14.1による		11 軽量コンクリート (6.10.1) ~ (6.10.3)	常時土又は水に直接接する部分の使用 ○ 可 ○ 不可 種類 ○ 1 種 ○ 2 種 施工箇所 _____ 気乾単位容積質量 _____ t/m ³	11 仮組 (7.3.10)	○ 実施する 部位 () ○ 実施しない						
打 設 部 位	F _c (N/mm ²)	スランブ (cm)	備 考																																									
構造体	基礎	○ 2 4 ○ ○ 1 5 ○ 1 8	土間スラブを含む																																									
	上部	○ 2 4 ○ ○ 1 5 ※ 1 8																																										
土間コンクリート	○ 1 8 ○ ○ 1 5 ○ 1 8	側溝・犬走り																																										
捨てコンクリート	○ 1 8 ○ ○ 1 5 ○ 1 8																																											
軽量コンクリート	○ 2 1 ○ ※ 2 1 ○ 1 8																																											
無筋コンクリート	※ 1 8 ○ ○ 1 5 ○ 1 8	標仕6.14.1による																																										
⑧床下防湿層 (4.6.5)	ポリエチレンフィルム 厚さ0.15mm 重ね幅縦及び基礎梁際のみ込み 250mm以上 施工範囲 ● 図示による ○ 建物内の土間スラブ(土間コンクリート含む)の直下 (ピット下を除く) ○ 捨てコンクリートの直下	3 セメントの類別 (6.3.1)	※ 普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 ○ 高炉セメントのB種 (適用箇所 _____) ○ シリカセメント ○ フライアッシュセメントのB種 (適用箇所 _____)	12 寒中コンクリート (6.11.1)	予想平均気温が表6.3.2に示す予想平均気温未満の場合には標仕第6章第11節 (寒中コンクリート) による。	12 溶接作業における技能資格者 (7.6.3)	溶接作業者の技量付加試験 ※ 行わない ○ 行う 試験の要領 ○ 図示による () ○ _____																																					
⑨土間断熱材	● 押出法ポリスチレンフォーム3種b ○ _____ 厚さ ○ 2 5 mm ● 30 mm	4 骨材 (6.3.1)	粗骨材 ※ 砂利 (JIS A5308)、砕石 (JIS A5005) ○ 高炉スラグ ○ 電気炉酸化スラグ ○ 再生骨材H 細骨材 ※ 砂 (JIS A5308)、砕砂 (JIS A5005) ○ 高炉スラグ ○ 電気炉酸化スラグ ○ 銅スラグ ○ フェロニッケルスラグ ○ 再生骨材H アルカリシリカ反応性による区分 ※ A (無害) ○ _____	13 暑中コンクリート (6.12.2)	※ 暑中における構造体強度補正值 (S) <table><tr><td>地 域</td><td>日平均気温が25度を超える期間 (打設日)</td><td>補 正 値</td></tr><tr><td>北 部 地 域</td><td>7 月 1 1 日 ~ 8 月 3 1 日</td><td rowspan="3">※ 6 N/mm² ○ 3 N/mm²</td></tr><tr><td>中 部 地 域</td><td>7 月 2 1 日 ~ 8 月 3 1 日</td></tr><tr><td>南 部 地 域</td><td>7 月 1 日 ~ 9 月 1 0 日</td></tr></table>	地 域	日平均気温が25度を超える期間 (打設日)	補 正 値	北 部 地 域	7 月 1 1 日 ~ 8 月 3 1 日	※ 6 N/mm ² ○ 3 N/mm ²	中 部 地 域	7 月 2 1 日 ~ 8 月 3 1 日	南 部 地 域	7 月 1 日 ~ 9 月 1 0 日	13 溶接接合 (7.6.4) (7.6.7)	開先の形状 ○ 図示による ○ _____ 鋼製エンドタブの切断 ○ 有 ○ 無 適用箇所 ※ 図示による ○ _____ 切断面の仕上げ ※ グラインダーにより、粗さ100 μmRz程度以下及びノリ深さ1mm程度以下 ○ _____																											
地 域	日平均気温が25度を超える期間 (打設日)	補 正 値																																										
北 部 地 域	7 月 1 1 日 ~ 8 月 3 1 日	※ 6 N/mm ² ○ 3 N/mm ²																																										
中 部 地 域	7 月 2 1 日 ~ 8 月 3 1 日																																											
南 部 地 域	7 月 1 日 ~ 9 月 1 0 日																																											
⑩地盤改良	○ 現場発生土を再利用する。 ○ _____ 改良方法 柱状地盤改良：ウルトラコラム工法 セメント及びセメント系固着材を使用した改良土を使用する場合、六価クロム溶出試験を実施し、土壤環境基準を勘案して必要に応じ適切な措置を講じること。また、再利用しようとする場合は、基準以下であることを確認すること。 「建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針」((一財)日本建築センター)を参考とすること。	5 混和材料 (6.3.1)	○ 混和剤 ※ AE剤、AE減水剤又は高性能AE減水剤のI種 (JIS A 6204) 防錆剤 ※ 鉄筋コンクリート用防錆剤 (JIS A 6025) ○ 混和材 ※ フライアッシュ (JIS A 6201) I種、II種若しくはIV種 ○ コンクリート用高炉スラグ微粉末 (JIS A 6206) ○ コンクリート用シリカフェウム (JIS A 6207) ○ コンクリート用膨張材 (JIS A 6202)	14 マスコンクリート (6.13.1) (6.13.2)	施工箇所 _____ セメントの種類 ○ 中低熱ポルトランドセメント ○ シリカセメント ○ 低熱ポルトランドセメント ○ 高炉セメントB種 ○ フライアッシュセメントB種 ○ 普通ポルトランドセメント ※ AE減水剤又は高性能AE減水剤 (JIS A 6204) ○ 混和剤 ○ _____ ○ 混和材 ○ フライアッシュのII種 (JIS A 6201) ○ 高炉スラグ微粉末の3000若しくは4000 (JIS A 6206) ○ _____ スランブ ※ 15cm ○ _____	14 溶接部の試験 (7.6.12)	完全溶込溶接部の超音波探傷試験 ※ 行う ○ 行わない ○ 工場溶接 A00L ○ 4.0% ○ 2.5% 検査水準 ○ 第6水準 (節全て) ○ 工事現場溶接 H12建設省告示第1464号第二号に関する外観試験方法等 ○ 「突合わせ継手の食い違い仕口のずれの検査・補正マニュアル」(独立行政法人建築研究所) 3.5.2による受入検査 ○ 抜き取り検査① ※ 抜き取り検査② JASS 6 付則 6 「鉄骨精度検査基準」の付則3「溶接」に関する試験方法等 ○ JASS 10.4 [受入検査] e. 溶接部の外観検査 (1) から (5) までによる。ただし、完全溶込み溶接部の外観検査の抜き取り箇所は、超音波探傷試験の試験箇所と同一とする。 外観試験の不合格箇所は、すべて標準仕様書 7.6.13による補修を行い、再試験する。																																					
⑤	鉄筋 工事 ※ 構 造 図 に よ る	1 鉄筋の種類等 (5.2.1)	(表5.2.1) <table><tr><td rowspan="3">異形鉄筋</td><td>種類の記号</td><td>径 (mm)</td><td>備 考</td></tr><tr><td>※ SD 2 9 5</td><td>D 1 6 以下</td><td rowspan="2">一般建築物の柱・梁の主筋に適用する</td></tr><tr><td>※ SD 3 4 5</td><td>D 1 9 以上</td></tr><tr><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td></tr></table> ※ SD295 は F _c ≥ 21 以上の場合、壁筋及びスラブ筋に適用する	異形鉄筋	種類の記号	径 (mm)	備 考	※ SD 2 9 5	D 1 6 以下	一般建築物の柱・梁の主筋に適用する	※ SD 3 4 5	D 1 9 以上	○	○			15 無筋コンクリート (6.14.1)	⑮ コンクリート車の過積載防止対策等 受注者は、出荷伝票等を整理・保管し、監督職員の請求があった場合は、遅滞なく提出するとともに、検査時に提示しなければならない。また、ミキサー車1台毎の積載量を把握できる運搬管理表を検査時に提出しなければならない。	15 耐火被覆 (7.9.2) ~ (7.9.7)	種類 <table><tr><th>種 別</th><th>材 料 ・ 工 法</th><th>適用箇所 (部位・部分)</th></tr><tr><td>○ 耐火材吹付け</td><td>○ 乾式吹付ロックウール ○ 半乾式吹付ロックウール ○ 湿式ロックウール ○ _____</td><td rowspan="2"></td></tr><tr><td>○ 耐火板張り</td><td>○ 繊維混入ケイ酸カルシウム板 ○ _____</td></tr><tr><td>○ 耐火材巻付け</td><td>○ 高断熱ロックウール ○ _____</td><td rowspan="2"></td></tr><tr><td>○ スラッシュコテ塗り ○ 耐火塗料</td><td>-</td></tr></table> 材料及び工法は、建築基準法に基づき指定又は認定を受けたものとする	種 別	材 料 ・ 工 法	適用箇所 (部位・部分)	○ 耐火材吹付け	○ 乾式吹付ロックウール ○ 半乾式吹付ロックウール ○ 湿式ロックウール ○ _____		○ 耐火板張り	○ 繊維混入ケイ酸カルシウム板 ○ _____	○ 耐火材巻付け	○ 高断熱ロックウール ○ _____		○ スラッシュコテ塗り ○ 耐火塗料	-											
		異形鉄筋	種類の記号		径 (mm)	備 考																																						
※ SD 2 9 5	D 1 6 以下		一般建築物の柱・梁の主筋に適用する																																									
※ SD 3 4 5	D 1 9 以上																																											
○	○																																											
種 別	材 料 ・ 工 法	適用箇所 (部位・部分)																																										
○ 耐火材吹付け	○ 乾式吹付ロックウール ○ 半乾式吹付ロックウール ○ 湿式ロックウール ○ _____																																											
○ 耐火板張り	○ 繊維混入ケイ酸カルシウム板 ○ _____																																											
○ 耐火材巻付け	○ 高断熱ロックウール ○ _____																																											
○ スラッシュコテ塗り ○ 耐火塗料	-																																											
2 溶接金網 (5.2.2)	網目の形状、寸法 _____ 鉄線の径 _____ mm	6 構造体強度補正值 (6.3.2)	※ 気温による構造体強度補正值 (S) (表6.3.2) <table><tr><th rowspan="2">予想平均気温 (°C)</th><th rowspan="2">補正值 (S)</th><th colspan="3">期 間 (打 設 日)</th></tr><tr><th>普通</th><th>早強</th><th>南部地域</th><th>中部地域</th><th>北部地域</th></tr><tr><td>8以上</td><td>5以上</td><td>3</td><td>3/6 ~ 6/30</td><td>3/11 ~ 7/20</td><td>3/11 ~ 7/10</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td>N/mm²</td><td>9/11 ~ 11/15</td><td>9/1 ~ 11/5</td><td>9/1 ~ 10/31</td><td></td></tr><tr><td>0以上</td><td>0以上</td><td>6</td><td>11/16 ~ 3/5</td><td>11/ 6 ~ 3/10</td><td>11/ 1 ~ 3/10</td><td></td></tr><tr><td>8未満</td><td>5未満</td><td>N/mm²</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 南部地域 (京都市 (一部を除く)、旧八木町、旧園部町以南の市町村) 北部地域 (宮津市、旧加悦町以北の市町) 中部地域 (上記以外の市町、旧美山町及び旧京北町含む)	予想平均気温 (°C)	補正值 (S)	期 間 (打 設 日)			普通	早強	南部地域	中部地域	北部地域	8以上	5以上	3	3/6 ~ 6/30	3/11 ~ 7/20	3/11 ~ 7/10				N/mm ²	9/11 ~ 11/15	9/1 ~ 11/5	9/1 ~ 10/31		0以上	0以上	6	11/16 ~ 3/5	11/ 6 ~ 3/10	11/ 1 ~ 3/10		8未満	5未満	N/mm ²					⑦鉄 骨 工 事 ※ 構 造 図 に よ る	1 鉄骨の製作工場 (7.1.3)	※ 建築基準法第68条の25に基づき国土交通大臣から構造方法等の認定を取得している鉄骨製作工場又は同等以上の能力のある工場 ((OS OH OM OR OJ) グレード以上) ○ 監督職員の承諾する工場 (標準仕様書 7.1.1 以外の適用範囲に限る)
予想平均気温 (°C)	補正值 (S)	期 間 (打 設 日)																																										
		普通	早強	南部地域	中部地域	北部地域																																						
8以上	5以上	3	3/6 ~ 6/30	3/11 ~ 7/20	3/11 ~ 7/10																																							
		N/mm ²	9/11 ~ 11/15	9/1 ~ 11/5	9/1 ~ 10/31																																							
0以上	0以上	6	11/16 ~ 3/5	11/ 6 ~ 3/10	11/ 1 ~ 3/10																																							
8未満	5未満	N/mm ²																																										
3 鉄筋の継手及び定着 (5.3.4) (5.5.3) (5.6.3)	<table><tr><th>部 位</th><th>接 合 方 法</th><th>径 (mm)</th><th>重ね継手の長さ</th></tr><tr><td>※ 柱・梁の主筋</td><td>○ 重ね継手 ○ ス圧接継手</td><td>D 1 9 以上</td><td>○ 標仕表5.3.2による</td></tr><tr><td>○</td><td>○ 機械式継手 ○ 溶接継手</td><td></td><td></td></tr><tr><td>※ その他</td><td>○ 重ね継手 ○ ス圧接継手</td><td>D 1 6 以下</td><td>※ 構造図による</td></tr><tr><td></td><td>○ 機械式継手 ○ 溶接継手</td><td></td><td></td></tr></table> ○ 機械式継手 種類 _____ 工法 _____ 品質確認方法、修正方法等 _____ ○ 溶接継手 種類 _____ 工法 _____ 品質確認方法、修正方法等 _____ ○ 鉄筋継手位置 ※ 構造図による ○ 表5.3.3による ○ 鉄筋の定着長さ ※ 構造図による ○ 表5.3.4による ○ 機械式定着工法 種類 _____ 工法 _____ 品質確認方法、修正方法等 _____	部 位	接 合 方 法	径 (mm)	重ね継手の長さ	※ 柱・梁の主筋	○ 重ね継手 ○ ス圧接継手	D 1 9 以上	○ 標仕表5.3.2による	○	○ 機械式継手 ○ 溶接継手			※ その他	○ 重ね継手 ○ ス圧接継手	D 1 6 以下	※ 構造図による		○ 機械式継手 ○ 溶接継手			7 打継ぎ (6.6.4)	位置 ※ 構造図による ○ 標仕 6.6.4 (1) による 目地の寸法 ※ 図示による ○ _____	2 施工管理技術者 (7.1.4)	適用する																			
部 位	接 合 方 法	径 (mm)	重ね継手の長さ																																									
※ 柱・梁の主筋	○ 重ね継手 ○ ス圧接継手	D 1 9 以上	○ 標仕表5.3.2による																																									
○	○ 機械式継手 ○ 溶接継手																																											
※ その他	○ 重ね継手 ○ ス圧接継手	D 1 6 以下	※ 構造図による																																									
	○ 機械式継手 ○ 溶接継手																																											
4 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (5.3.5)	鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さ ※ 構造図による ○ 表5.3.6による (次の2項目のかぶり厚さを除く) ○ 軽量コンクリートで土に接する部分の鉄筋のかぶり厚さは下表による。 ○ 塩害の受けるおそれのある部分等、耐久上不利な箇所の鉄筋のかぶり厚さは下表による。 <table><tr><th>施 工 箇 所 等</th><th>最 小 か ぶ り 厚 さ (mm)</th></tr><tr><td></td><td></td></tr></table> 機械式継手及び溶接継手のあき ○ _____	施 工 箇 所 等	最 小 か ぶ り 厚 さ (mm)			8 型枠 (せき板) (6.2.5) (6.8.1) (6.8.2)	合板の規格 ※ 「合板の日本農林規格」の「コンクリート型枠用合板の規格」による合板 合板の材質 ※ 広葉樹合板、針葉樹合板又はこれらの複合合板 厚さ (mm) ※ 1 2 ○ _____ 打放し仕上げのせき板 ※ 合板せき板を用いる場合 (表6.2.4) <table><tr><th>種 別</th><th>板 面 の 品 質</th><th>施 工 箇 所</th></tr><tr><td>○ A 種</td><td>※ 6.8.2 (2) (7) ○</td><td></td></tr><tr><td>○ B 種</td><td>※ 6.8.2 (2) (4) ○</td><td></td></tr><tr><td>○ C 種</td><td>※ 6.8.2 (2) (4) ○</td><td></td></tr></table> ○ 合板せき板を用いない場合 せき板の材質 _____ コンクリートの仕上がりの平たんさ <table><tr><th>種 別</th><th>適 用 箇 所</th></tr><tr><td>○ a 種</td><td></td></tr><tr><td>○ b 種</td><td></td></tr><tr><td>○ c 種</td><td></td></tr></table>	種 別	板 面 の 品 質	施 工 箇 所	○ A 種	※ 6.8.2 (2) (7) ○		○ B 種	※ 6.8.2 (2) (4) ○		○ C 種	※ 6.8.2 (2) (4) ○		種 別	適 用 箇 所	○ a 種		○ b 種		○ c 種		5 溶融亜鉛めっき高力ボルト (7.2.2) (7.4.2) (7.12.5)	セットの種類 ○ 1 種 (F8T) 相当 摩擦面の処理 ○ プラスト処理 (表面粗度 5.0 μmRz 以上) ○ リン酸塩処理 すべり耐力等の確認方法 ※ すべり耐力試験 試験方法等 ○ 図示による ○ _____															
施 工 箇 所 等	最 小 か ぶ り 厚 さ (mm)																																											
種 別	板 面 の 品 質	施 工 箇 所																																										
○ A 種	※ 6.8.2 (2) (7) ○																																											
○ B 種	※ 6.8.2 (2) (4) ○																																											
○ C 種	※ 6.8.2 (2) (4) ○																																											
種 別	適 用 箇 所																																											
○ a 種																																												
○ b 種																																												
○ c 種																																												
5 ガス圧接継手 (5.4.10)	試験方法 ※ 超音波探傷試験 ○ 引張試験 試験方法等 ※ 標仕 5.4.10 (4) (b) ①~⑥による ○ _____	9 スリーブ (6.8.2)	(表6.8.1) <table><tr><th>適 用 箇 所</th><th>材 種 (規 格 そ の 他)</th></tr><tr><td>水密を要する地中部分等</td><td>※ つば付き銅管 (JIS 63452) の黒管に厚さ6mm 以上、つば幅50mm以上の銅板を溶接したもの</td></tr><tr><td>水密を要しない地中部分等</td><td>※ 硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS K6741) のVU</td></tr><tr><td>上記以外の円形スリーブ</td><td>※ 溶融亜鉛めっき銅板 (径200mm以下は厚0.4mm 以上、径200mmを超え350mm以下は厚0.6mm 以上) ○ _____</td></tr></table> 外部に面する打放し仕上げの打増し厚さ ※ 図示による ○ 2 0 mm ひび割れ誘発目地の位置、形状及び寸法 ※ 図示による ○ _____	適 用 箇 所	材 種 (規 格 そ の 他)	水密を要する地中部分等	※ つば付き銅管 (JIS 63452) の黒管に厚さ6mm 以上、つば幅50mm以上の銅板を溶接したもの	水密を要しない地中部分等	※ 硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS K6741) のVU	上記以外の円形スリーブ	※ 溶融亜鉛めっき銅板 (径200mm以下は厚0.4mm 以上、径200mmを超え350mm以下は厚0.6mm 以上) ○ _____	6 高力ボルト (7.2.2) (7.4.2)	ボルトの区分 ○ トルシアン形高力ボルト ○ 溶融亜鉛めっき高力ボルト ○ J I S 形高力ボルト ○ _____ ねじの呼び ○ _____ すべり係数試験 ○ 行わない 試験方法等 ○ 図示による ○ _____ ○ 行う																															
適 用 箇 所	材 種 (規 格 そ の 他)																																											
水密を要する地中部分等	※ つば付き銅管 (JIS 63452) の黒管に厚さ6mm 以上、つば幅50mm以上の銅板を溶接したもの																																											
水密を要しない地中部分等	※ 硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS K6741) のVU																																											
上記以外の円形スリーブ	※ 溶融亜鉛めっき銅板 (径200mm以下は厚0.4mm 以上、径200mmを超え350mm以下は厚0.6mm 以上) ○ _____																																											

記 事	業務名称	相楽広域行政組合新庁舎基本・実施設計業務		工事名称	相楽広域行政組合新庁舎新築工事		設計年月	令和 8 年 3 月	
	図面名称	建築工事 特記仕様書 (2)			図面番号	A 2 - A 3 -			
	縮尺								

(7)

鉄骨工事※構造図による

(8)

コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板・サイディング工事

⑦
18 錆止め塗料(7.8.4)(18.3.2)材料の種類○鉄鋼面の錆止め塗料○表18.3.1による ※ A種 ○ B種○
○亜鉛めっき鋼面の錆止め塗料○表18.3.2による ※ A種 ○ B種 ○ C種○

鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブの内面（鉄骨に溶接されたものに限る）○表18.3.1による ※ A種 ○ B種○
耐火被覆材の接着する面への塗装○行わない ○行う （範囲 ○ 明示による _____ ）○
耐火被覆材の接着する面以外への塗装○行かない ○行う （範囲 ○ 明示による _____ ）

⑧
1 補強コンクリートブロック造(8.2.2)～(8.2.8)
2 コンクリートブロック壁及び塀(8.3.2)～(8.3.4)
3 ALCパネル(8.4.2)～(8.4.5)
⑤ 窯業系サイディング張り

ブロックの種類 ○ 16（C種）普通ブロック ○ 16-W（C種）防水ブロックモジュール呼び寸法及び正味厚さ ○ 明示による _____
コンクリートの設計基準強度 Fc（N/mm²）
充填用及びまくさ ※ 21 以上 ○ _____
上記以外 ※ 21 以上 ○ _____

各部の配筋 ※ 明示による
目地仕上げ ○押し目地仕上げ ○化粧目地仕上げ
モルタル又はコンクリートで充填するブロックの範囲 ○ 明示による ○ _____

ブロックの種類(表8.3.1.)

適用箇所	種類の記号
間仕切壁、地下二重壁、外壁、塀	※空洞ブロック 16 ○ _____
外壁の化粧積み	○空洞ブロック 16-W ○ _____

モジュール呼び寸法及び正味厚さ ○ 明示による ○ _____
塀の厚さ ○ 明示による ○ _____
壁鉄筋の継手、定着及び末端部の折り曲げ形状 ※ 明示による
各部の配筋 ※ 明示による
塀化粧ブロック ○有（_____)
ブロック塀の基礎及び控壁のコンクリートの設計基準強度 Fc（N/mm²）
○ 18 ※ 21 ○ _____

パネルの種類(表8.4.2)(表8.4.3)(表8.4.4)

区分	単位荷重(N/m²)	厚さ(mm)	構法	耐火性能
○外壁パネル	※1180 ○1960	※100 ○ _____	○A種 ○B種	※有り（時間） ○無し
○間仕切りパネル	※640 ○ _____	※100 ○ _____	○C種 ○E種 ○D種	※有り（時間） ○無し
○屋根パネル	※980 ○ _____	※100 ○ _____	※F種	※有り（時間） ○無し
○床パネル	○2350 ○3530	○100 ○150	※F種	※有り（時間） ○無し

パネル相互の接合部に挿入する耐力目地材 ○ 明示による ○ _____
外壁パネルの工法
※本特記仕様書「第1章一般共通事項」4風圧力及び積雪に対する性能を満足させること。
※建築基準法に基づき定める風圧力に対応した工法を品質計画により定める。
パネル幅の最小限度 ※300mm ○ _____ mm
パネルの出隅及び内隅のパネル接合部並びにパネルと他部材との取り合い部の目地幅 _____ mm
伸縮目地の耐火目地材の充填 ○適用的 ○適用しない
外壁パネル構法及び間仕切りパネル構法における耐寒性能 ○ _____

材料 : ●種類・形状（フラットデザインパネル）●厚さ（16mm）●工場塗装（光触媒コート）○現地塗装（金具（φ15mm、φ5mm）○釘○1/100 ●1/120○耐火（○1時間 ○30分）認定番号（○準耐火（○1時間 ○45分）認定番号（○防火認定番号（○その他認定番号（なし強化せこうボード 防水・防かびタイプけい酸カルシウム板（なし）なり変成シリコーン ○ その他（透湿防水シート ○ その他（-120Pa）

耐火性能に伴う各工法は次による。（単位：Pa）

	建物高さ(H)	標準工法	耐風補強工法
鉄骨下地	H≤16m	○:-1.402	○:-3.188
	16m<H≤31m	○:-1.121	●:-2.550

※本設計耐風性能値は、ケイミュー（株）の窯業系サイディングを使用した場合の値
ケイミュー（株） FLAT DESIGN PANEL光触媒コート品 同等品以上

⑨
防水工事

④合成高分子系ルーフィングシート防水(9.4.2)～(9.4.4)

4 塗膜防水(9.5.3)

5 ケーブル管系塗布防水(9.6.3)

6 漏水試験

7 保証書

8 施工標識

⑨シーリング(9.7.2)(9.7.3)(9.7.5)

10止水域

(表9.4.1)(表9.4.2)

種別	防水層	施工箇所	種別・使用量
○S-F1 PC部材入隅増張(※有り○無し)	表9.4.1	玄関庇	○カラー ○シルバー ○ (露出の場合)
			●S-F2 ○S-M1 ○S-M2
○SI-F1 PC部材入隅増張(※有り○無し)	表9.4.2		
○S-C1	表9.4.3		もみ塗り厚さ _____ mm

S-F1,S-M1,S-F2,S-M2 ※非歩行仕様 ○軽歩行仕様
平場を保険コンクリート仕上げとする場合の厚さ ○ _____ mm

○断熱材（機械的固定工法）
厚さ _____ mm
種類 _____

○断熱材（接着工法）
厚さ _____ mm
種類 _____

○防湿用フィルムを設置する(断熱工法)

可塑性移行防止用シート ※発泡ポリエチレンシート ○ _____
脱気装置(接着工法) ○設ける 材質（_____）設置数量（1箇所／ _____ m²）
固定金属の材質及び寸法形状
※防腐処理した銅板、ステンレス鋼板及びそれらの片面又は両面に樹脂を積層加工した銅板で、厚さ0.4mm以上のもの
○ _____

接着工法の場でP.C.コンクリート部材下地の場の処理
目地処理 ※明示による ○ _____
入隅部の増張り(S-F1、SI-F1の場合) ※明示による ○ _____
※建築基準法に基づき定める風圧力に対応した工法を品質計画により定める。

(表9.5.1)(表9.5.2)

種別	防水層	施工箇所	種別・使用量
○X-1	表9.5.1		
○X-2			
○Y-1			
○Y-2	表9.5.2	地下外壁防水 屋内防水	

脱気装置(X-1) ○設ける 材質（_____）設置数量（1箇所 _____ m²）保護層(Y-2) ○設ける

施工箇所 ○明示による ○ _____
横仕9.6.4(2)(イ)、(ウ)以外の地下処理 ○明示による ○ _____

※水張り試験を行う（○屋内外 ○屋外）

※受注者、防水施工業者、防水材料メーカーの連名による保証書を提出すること。（保証年限は工事目的物引渡しより10年間以上とする。）

工事完了後に監督職員の指示する位置へ取り付け。材質 ※真鍮製エッチング仕上 150×100 ○ _____
設置数量 _____ 箇所

シーリング材の種類 ※表9.7.1による
施工箇所 ※明示による
仕上げを行わない施工箇所（○明示による ○ _____）
目地寸法 コンクリートの打継ぎ目地及びひび割れ誘発目地 ※幅20mm以上、深さ10mm以上 ○ _____
ガラス回りの目地 ※幅5mm以上、深さ5mm以上 ○ _____
その他の目地 ※幅10mm以上、深さ10mm以上 ○ _____

シーリングの試験 ※簡易接着性試験（部位 コンクリート、アルミニウム製建具、サッシ等）
○引張接着性試験（部位 _____）

材質 _____ 形状 ○差込式 ○据置式 ○壁張り式
適用範囲 _____

業務名称相模広域行政組合新庁舎基本・実施設計業務

一級建築士事務所 京都府知事登録 (GTA) 第00523号
株式会社 緑企画設計 京都支店
管理建築士 一級建築士 (大臣) 第331194号 三浦 光寛

印 . .

⑪
タイル工事

①伸縮調整目地等(11.1.3)

②施工後の確認及び試験(11.1.7)

③タイル張り(11.2.2)(11.2.6)(11.3.2)(11.3.5)

④下地及びタイルごしらえ(11.2.6)

5 張付け用材料(11.3.3)

⑫木工事

①揮発性有機化合物対策(12.2.1)(12.2.2)(12.2.3)

②含水率(12.2.1)

③製材(12.2.1)

4樹種(12.2.1)

外壁 ※表11.1.1による ○ 明示による
屋内壁面 ※ 明示による ○ _____
床面 ※表11.1.1による ○ _____

浮きの確認 ※全面打診による確認を行う
引張接着試験 ○油圧式接着力試験機による引張接着強度の測定を行う ○行わない

タイルの種類

施工箇所・形状・タイルの種類	生地	釉薬	耐凍害性	耐滑り性	役物	色	工法その他
300角	○磁器 ○陶器 ○せっ器	●無釉 ○施釉 ●無し	○有り ○無し	○有り ○無し	●有り ○無し	※標準 ○特注	
	○磁器 ○陶器 ○せっ器	○無釉 ○施釉 ○無し	○有り ○無し	○有り ○無し	○有り ○無し	※標準 ○特注	

タイルの試験張り ※行わない ○行う
タイルの見焼き ※行わない ○行う
既調査モルタル

下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の下地処理 MCR工法 ○目荒し工法 ○明示による セメントペースト張り工法

接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※☆☆☆☆ ○ _____
外壁タイルの目地詰め ○行う ○行わない

材料(集成材、合板等)のホルムアルデヒド放散量表示がある場合 ※☆☆☆☆ ○ _____
表示がない場合 ※非ホルムアルデヒド系接着剤使用（塗装していないもの）※非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用（塗装したもの）※非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用（化粧加工したもの）
○ _____

接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※☆☆☆☆ ○ _____

下地材 ※A種(15%以下) ○B種(20%以下) (表12.2.1)
造作材 ※A種(15%以下) ○B種(18%以下)
以下に規定されているものは、その規定による。

「JAS1083（製材）」による製材
○下地用製材

使用箇所	樹種	寸法	等級	含水率	保存処理
			○1級 ※2級		

●造作用製材

使用箇所	樹種	寸法	等級	含水率	保存処理
額縁	米桐	明示	○無節※小節 ○小節 ○並	15%以下	

項目		特記事項						項目		特記事項						項目		特記事項																
⑫ 木工事	⑦接合具等 (12.2.2)	「合板の日本農林規格」による 特殊加工化粧合板 使用箇所 品目 厚さ 樹種名 接着程度 化粧加工の方法 その他処理 ○1類 ○2類 ○塗装 ○ ○防虫処理						⑬ 屋根及び とい工事	棟補強等に使用する金物等 材種 材質 形状 寸法 留付け方法 ○ステンレス製 ○鋼製(溶融亜鉛めっき処理)						⑭ 金属工事	⑧天井点検口 ●アルミニウム製既製品 (450×450) 図示 箇所 ○アルミニウム製既製品 (600×600) 箇所 ○アルミニウム製既製品 (600×600) 箇所 ●ステンレス製既製品 (600×600) 図示 箇所 ○鉄製マンホール蓋 型 φ 箇所 寸法(mm) ○φ600 ○500角 断熱材 ○有り ○無し						⑮ 建具工事	①性能 2 防火戸 (16.1.3) 3 見本の製作等 (16.1.4) 4 防犯建物部品 (16.1.6) ⑤アルミニウム製建具 (16.2.2)～(16.2.5)						※本特記仕様書「1章 一般共通事項 4 風圧力及び積雪に対する性能」を満足させること。 ※図示による ○ 建具見本の製作 ○行う (建具番号) 特殊な建具の仮組 ○行う (建具番号) 開口部の導入防止対策上有効な措置が講じられた「防犯建物部品」を適用する箇所 ・ドア 適用箇所 () ・サッシ 適用箇所 () ・シャッター 適用箇所 () 外部に面するアルミニウム製建具の性能等級(コンクリート系下地、鉄骨下地) (表16.2.1) 性能等級 ○A種 ●B種 ○C種 耐風圧性 ※S-4 ○ ※S-5 ○ ※S-6 ○ 気密性 ※A-3 ○ ※A-4 ○ 水密性 ※W-4 ○ ※W-5 ○ 枠見込み(mm) ※図示 ○70 ○100 ※図示 ○ ※AD-1を除く 外部に面するアルミニウム製建具の性能等級(木下地)(表16.2.2) 性能等級 ○D種 ○E種 耐風圧性 ※S-2 ○ ※S-3 ○ 気密性 ※A-3 ○ 水密性 ※W-3 ○ 枠見込み(mm) (表14.2.1) 表面処理 種 別 色 施工箇所 屋外 ○BB-1種 ○標準 ○特注 ※図示による ○ ●BB-2種 ●標準 ○特注 ※図示による ○ 屋内 ○BC-1種 ○標準 ○特注 ※図示による ○ ●BC-2種 ●標準 ○特注 ※図示による ○ ○ ○標準 ○特注 ○防音ドア、防音サッシとする場合 (遮音性の等級) ○断熱ドア、断熱サッシとする場合 (断熱性の等級) ○耐震ドアとする場合 (面内変形追随性の等級) 結露水の処理方法 ※図示による ○ 水切り、ぜん板等 ※図示による ○ ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ○ 木下地の場合の外部に面する内付建具の止水処理 ○行う					
		パーティクルボード 使用箇所 厚さ 各種区分 ※15mm ○ ※13Pタイプ又は13Mタイプ ○							⑤とい(雨水) (13.5.2) (13.5.3)																									
		JAS0360に基づく構造用パネル 使用箇所 等級 厚さ							⑥保証書																									
		MDF 使用箇所 厚さ 表表面の状態による区分 曲げ強さによる区分 接着剤による区分 難燃性による区分							①一般事項 (14.1.3) ②アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理 (14.2.2) ③鉄鋼の亜鉛めっき (14.2.2) ④軽量鉄骨天井下地 (14.4.2)～(14.4.4)							あと施工アンカーの引張試験 ※行う (箇所以上、 N/箇所) ○行わない (表14.2.1) 種別 施工箇所(手すり、成形板、笠木、建具以外) アルミニウム 玄関庇(幕板)、軒先(幕板) 陽極酸化皮膜の着色方法 ※二次電解着色 ○三次電解着色 ○ 色合等 監督職員の指示による (表14.2.2) 表面処理方法 種別 試験 施工箇所 ●溶融亜鉛めっき ●A種 ○B種 ○C種 ○行う 壁付け手摺 ○電気亜鉛めっき ○D種 ○E種 ○F種 ○行う 野縁等の種類 屋内 ※19型 ○25型 (表14.4.1) 屋外 ○19型 ※25型 屋外の野縁受け・吊りボルト・インサートの間隔 900 mm 屋外の周辺部の端からの寸法 150 mm 屋外の野縁の間隔 303 mm 屋外のはずれ留め補強 ※有り ○無し 開口補強 吊りボルト間隔が900mmを超える場合の補強方法 ※図示による ○ 天井のふところの補強 (1.5m以上3m以下) ※行う (3mを超える) ※行う (図示による) 天井下地材における耐震性を考慮した補強 ●行う ○行わない ※ビス式クリップ・ビス固定式ハンガーの使用、もしくは同等以上の落下防止に配慮した下地とする。 屋外の軒天井、ピロティ天井等における耐風圧性を考慮した補強 ○行う ●行わない スタッド、ランナー等の種類 (表14.5.1) ※表14.5.1におけるスタッドの高さによる区分に応じた種類 ○ スタッドの高さが5mを超える場合 ※図示による ○ (表14.2.1) ⑥金属成形板張り (14.6.2) (14.6.3) 形状 製法 材種 寸法(mm) 表面処理(種別) ●スパンドレル形 ●押出し ※アルミニウム製 板厚 0.5mm ●木目調 ○ロール ○ ○パネル形 ※プレス 伸縮調整継手 ○設けない ○設ける (施工箇所は図示)																		
造作材の化粧面の釘打ち ※隠し釘打ち ○釘頭埋め木 ○つぶし頭丁釘 ○釘頭現し 諸金物の形状、寸法及び材質 ※かすがい、座金、箱金物及び短冊金物は、表12.2.3から表12.2.5までに示す程度の市販品で、木材の寸法に応じた適切なものとし、コンクリート埋込部を除き、表14.2.2[鉄鋼の亜鉛めっきの種別]のF種程度の亜鉛めっきを施したもの ○ 防腐・防蟻処理 ○薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理 適用部材 保存処理性能区分 ○K2 ○K3 ○K4 ○K2 ○K3 ○K4 ○薬剤の塗布による防腐・防蟻処理 適用部材 処理の方法 薬剤の種類 ※薬剤の製造所の仕様による ○ ○ ○ ○薬剤の接着剤への混入による防腐・防蟻処理 適用部位 ○合板等の加圧注入処理等の適用 適用部位 防虫処理 ※行う (範囲：ラワン材等 ※「製材の日本農林規格」による保存処理の性能区分K1) ○行わない						⑭ 金属工事																												
8 防腐、防蟻及び防虫処理 (12.3.1)～(12.3.2)		防腐・防蟻処理 ○薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理 適用部材 保存処理性能区分 ○K2 ○K3 ○K4 ○K2 ○K3 ○K4 ○薬剤の塗布による防腐・防蟻処理 適用部材 処理の方法 薬剤の種類 ※薬剤の製造所の仕様による ○ ○ ○ ○薬剤の接着剤への混入による防腐・防蟻処理 適用部位 ○合板等の加圧注入処理等の適用 適用部位 防虫処理 ※行う (範囲：ラワン材等 ※「製材の日本農林規格」による保存処理の性能区分K1) ○行わない						⑬ 屋根及び とい工事	⑤とい(雨水) (13.5.2) (13.5.3)						⑭ 金属工事	⑧天井点検口 ●アルミニウム製既製品 (450×450) 図示 箇所 ○アルミニウム製既製品 (600×600) 箇所 ○アルミニウム製既製品 (600×600) 箇所 ●ステンレス製既製品 (600×600) 図示 箇所 ○鉄製マンホール蓋 型 φ 箇所 寸法(mm) ○φ600 ○500角 断熱材 ○有り ○無し						⑮ 建具工事	①性能 2 防火戸 (16.1.3) 3 見本の製作等 (16.1.4) 4 防犯建物部品 (16.1.6) ⑤アルミニウム製建具 (16.2.2)～(16.2.5)						※本特記仕様書「1章 一般共通事項 4 風圧力及び積雪に対する性能」を満足させること。 ※図示による ○ 建具見本の製作 ○行う (建具番号) 特殊な建具の仮組 ○行う (建具番号) 開口部の導入防止対策上有効な措置が講じられた「防犯建物部品」を適用する箇所 ・ドア 適用箇所 () ・サッシ 適用箇所 () ・シャッター 適用箇所 () 外部に面するアルミニウム製建具の性能等級(コンクリート系下地、鉄骨下地) (表16.2.1) 性能等級 ○A種 ●B種 ○C種 耐風圧性 ※S-4 ○ ※S-5 ○ ※S-6 ○ 気密性 ※A-3 ○ ※A-4 ○ 水密性 ※W-4 ○ ※W-5 ○ 枠見込み(mm) ※図示 ○70 ○100 ※図示 ○ ※AD-1を除く 外部に面するアルミニウム製建具の性能等級(木下地)(表16.2.2) 性能等級 ○D種 ○E種 耐風圧性 ※S-2 ○ ※S-3 ○ 気密性 ※A-3 ○ 水密性 ※W-3 ○ 枠見込み(mm) (表14.2.1) 表面処理 種 別 色 施工箇所 屋外 ○BB-1種 ○標準 ○特注 ※図示による ○ ●BB-2種 ●標準 ○特注 ※図示による ○ 屋内 ○BC-1種 ○標準 ○特注 ※図示による ○ ●BC-2種 ●標準 ○特注 ※図示による ○ ○ ○標準 ○特注 ○防音ドア、防音サッシとする場合 (遮音性の等級) ○断熱ドア、断熱サッシとする場合 (断熱性の等級) ○耐震ドアとする場合 (面内変形追随性の等級) 結露水の処理方法 ※図示による ○ 水切り、ぜん板等 ※図示による ○ ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ○ 木下地の場合の外部に面する内付建具の止水処理 ○行う					
		JAS0360に基づく構造用パネル 使用箇所 等級 厚さ							⑥保証書																									
		MDF 使用箇所 厚さ 表表面の状態による区分 曲げ強さによる区分 接着剤による区分 難燃性による区分							①一般事項 (14.1.3) ②アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理 (14.2.2) ③鉄鋼の亜鉛めっき (14.2.2) ④軽量鉄骨天井下地 (14.4.2)～(14.4.4)							あと施工アンカーの引張試験 ※行う (箇所以上、 N/箇所) ○行わない (表14.2.1) 種別 施工箇所(手すり、成形板、笠木、建具以外) アルミニウム 玄関庇(幕板)、軒先(幕板) 陽極酸化皮膜の着色方法 ※二次電解着色 ○三次電解着色 ○ 色合等 監督職員の指示による (表14.2.2) 表面処理方法 種別 試験 施工箇所 ●溶融亜鉛めっき ●A種 ○B種 ○C種 ○行う 壁付け手摺 ○電気亜鉛めっき ○D種 ○E種 ○F種 ○行う 野縁等の種類 屋内 ※19型 ○25型 (表14.4.1) 屋外 ○19型 ※25型 屋外の野縁受け・吊りボルト・インサートの間隔 900 mm 屋外の周辺部の端からの寸法 150 mm 屋外の野縁の間隔 303 mm 屋外のはずれ留め補強 ※有り ○無し 開口補強 吊りボルト間隔が900mmを超える場合の補強方法 ※図示による ○ 天井のふところの補強 (1.5m以上3m以下) ※行う (3mを超える) ※行う (図示による) 天井下地材における耐震性を考慮した補強 ●行う ○行わない ※ビス式クリップ・ビス固定式ハンガーの使用、もしくは同等以上の落下防止に配慮した下地とする。 屋外の軒天井、ピロティ天井等における耐風圧性を考慮した補強 ○行う ●行わない スタッド、ランナー等の種類 (表14.5.1) ※表14.5.1におけるスタッドの高さによる区分に応じた種類 ○ スタッドの高さが5mを超える場合 ※図示による ○ (表																		

章	項	目	特	記	事	項	章	項	目	特	記	事	項	章	項	目	特	記	事	項															
16	建具工事	⑧鋼製建具 (16.4.2)～(16.4.4)	外部に面する建具の耐風圧性 ●S-4 ○S-5 ○S-6 (表16.2.1) 簡易気密扉の気密性、水密性 ※適用する ○適用しない (表16.4.1) ○防音ドア、防音サッシの適用 (遮音性の等級) ○断熱ドア、断熱サッシの適用 (断熱性の等級) ○耐震ドアの適用 (面内変形追随性の等級) ○点検口の類のくつずりの材料 ○ ○標準型鋼製建具の形式及び寸法 ※図示による ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ○ JISただし書き建具の寸法許容差 (これ以外は標準による) ※製造所標準製作規定寸法許容差による	鋼板類の厚さ ※表16.4.2 (片開き、親子開き及び両開き戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2,400mmを超える場合は除く) ○ mm	⑨鋼製軽量建具 (16.5.2)～(16.5.4)	簡易気密型ドアセットの気密性 ※適用する (A-3) ○適用しない ●防音ドア、防音サッシの適用 (遮音性の等級 T-1) ○断熱ドア、断熱サッシの適用 (断熱性の等級) ○耐震ドアの適用 (面内変形追随性の等級) 鋼板 ●表面処理亜鉛めっき鋼板 ○ビニル被覆鋼板 ○カラー鋼板 ○ステンレス鋼板 ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ○ 鋼板類の厚さ ※表16.5.1 (片開き、親子開き及び両開き戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2,400mmを超える場合は除く) ○ mm 召合せ、縦小口包み板等 ※鋼板 ○ステンレス鋼板 ○アルミニウム合金の押出形材	10 ステンレス製建具 (16.6.2)～(16.6.4)	外部に面する建具の耐風圧性 ○S-4 ○S-5 ○S-6 (表16.2.1) 簡易気密扉の気密性、水密性 ※適用する ○適用しない (表16.4.1) ○防音ドア、防音サッシの適用 (遮音性の等級) ○断熱ドア、断熱サッシの適用 (断熱性の等級) ○耐震ドアの適用 (面内変形追随性の等級) ステンレス鋼板 ※JIS G 4305 種類 ○ SUS304 ○ SUS430J1L ○ SUS443J1 ○ ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ○ JISただし書き建具の寸法許容差 (これ以外は標準による) ※製造所標準製作規定寸法許容差による 表面仕上げ ※HL ○鏡面 曲げ加工 ※普通曲げ ○角出し曲げ	⑪木製建具 (16.7.2)(16.7.3)	建具材の含水率の種別 ※A種 ○B種 ○C種 フラッシュ戸 表面材のホルムアルデヒド放散量 ※標仕16.7.2(2)(イ)(a)による 表面材の合板の種類	合板の種類 規 格 等 備 考 ●普通合板 表面の樹脂 ●スプルース 板面の品質 (※広葉樹1種 ○) 接着の程度 (○1種 ○2種) ○天然木化粧合板 樹種名 () 接着の程度 (○1種 ○2種) ○特殊加工化粧合板 化粧加工の方法 ※プリント ○ポリエステル化粧合板 ○メラミン化粧合板 ○ 接着の程度 (○1種 ○2種) ○MDF 表面：オレフィンシート貼り	表面材の合板の種類及び品質等 ○ 表面板の厚さ ※図示による ○ 引戸の召合せかまちのいんろう付きの適用 ○適用する ○適用しない かまち戸 かまち及び鏡板の樹種 ※図示による ○ 見込み寸法 ※36mm ○ ふすま 材料の種類 ○I型 ○II型 上張りの種類 ※図示による ○ 見込み寸法 ※19.5mm ○ 戸ぶすま 上張りの種類 ※図示による ○ 見込み寸法 ※30mm ○ 紙張り障子 見込み寸法 ※30mm ○ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ○ 枠及びくつずりの材料 ※図示による	⑫建具用金物 (16.8.2)～(16.8.4)	マスターキーの製作 ※作成する (グループ、各グループ 個) ○作成しない ○在来マスターキーに合わせる 鍵の製作本数 ※各室3本 1組 ○ 開き戸 (表16.8.1)	金 物 の 種 類 見 え 掛 り 部 の 材 質 そ の 他 ●シリンダー錠 ○握り玉：ステンレス ●レバーハンドル：7&ミニム合金、 (●ステンレス、○黄銅) シリンダーキー：ステンレス ○取付位置 () 実用性能項目 ※グレード3以上 (鋼製建具、鋼製軽量建具、ステンレス建具) ○ 耐じん性能のグレード ○ ○本締り錠 シリンダーキー：ステンレス 実用性能項目 ※グレード3以上 (鋼製建具、鋼製軽量建具、ステンレス建具) ○ 耐じん性能のグレード ○ ○空錠 ○握り玉：ステンレス ○レバーハンドル：7&ミニム合金、 (○ステンレス、○黄銅) ○取付位置 ()	○グレモン錠 レバーハンドル：亜鉛合金、(○ステンレス) ○取付位置 () ケースハンドル錠 ステンレス 点検口錠 亜鉛合金程度、(○ステンレス) ●丁番 ステンレス、(○黄銅) ●ピボットヒンジ カバー部：ステンレス、(○亜鉛合金) 亜鉛合金は木製建具用のみ 点検口軸吊りヒンジ 建具製作所の仕様による ○自閉装置付き ○フロアヒンジ カバー部：ステンレス、(本体は鋼) ドアクローザー ○ヒンジクローザー(丁番型) 鋼 (焼付け塗装) ○遅延閉り機能付き ○ヒンジクローザー(レバー型) カバー部：ステンレス、(本体は鋼) ●ドアクローザー 本体：7&ミニム合金 7&部 鋼 (焼付け塗装) 閉鎖順位調整器 ステンレス、(○鋼) ●押棒・押板 (●ステンレス、○黄銅、○合成樹脂) ○取付位置 () 上げ落し 亜鉛合金程度、(○ステンレス) ●7&ムスタカバー 鋼 (7&ムめっき)、(●ステンレス) ●戸当り 亜鉛合金程度、(●ステンレス、○黄銅) ●あおり止め付き	引き戸 (表16.8.1)	金 物 の 種 類 見 え 掛 り 部 の 材 質 そ の 他 ●引戸用錠 木製建具の場合：シリンダーキー等はステンレス ○取付位置 () ●クレセント 建具製作所の仕様による。 () ●引手類 木製建具の場合：ステンレス (○黄銅) ●戸車 (上吊りの場合除く) ●レール ステンレス、 (上吊りの場合を除く) (○7&ミニム合金 ○黄銅) 黄銅は木製建具用のみ 金属製建具用丁番 ※表16.8.2による ○ 樹脂製建具用丁番 ※表16.8.3による ○ 木製建具用丁番 ※表16.8.4による ○ 戸車及びレール ※表16.8.5による ○	⑬自動ドア開閉装置 (16.9.2)～(16.9.3)	駆動装置及び検出装置の性能 ●引き戸用駆動装置性能値 ※標仕 表16.9.1による (○SSLD-1 ○SSLD-2 ○DSDL-1 ●DSDL-2) ○種類・開閉方式 耐電圧 温度上昇 耐久性(サイクル) 防 錆 電 源 ○車椅子使用者用便房出入口引き戸用駆動装置性能値 ※標仕 表16.9.2による ○耐電圧 温度上昇 耐久性(サイクル) 防 錆 電 源 ○引き戸用検出装置性能値 ※標仕 表16.9.3による ○放射無線周波数 耐電圧 防 錆 防 滴 電 源 電磁界耐性 戸の開閉方式 ※建具表による ○ 引き戸検出装置の種類 ○表16.9.4 ()による ※建具表による タッチスイッチの種類 ○無線式タッチスイッチ ○光線式タッチスイッチ 車椅子使用者用便房スイッチの種類 ○大型押しボタンスイッチ ○非接触スイッチ 凍結防止措置 ○行う 性能値等の区分 (表16.10.1) 適用戸の総質量(kg) ●40以下 ○40を超えるもの 手動開き力(N) ※15以下 ○ ※20以下 ○ 手動閉じ力(N) ※15以下 ○ ※20以下 ○ 性能等 品質・規格	⑭自閉式上吊り引戸装置(16.10.3)	15 重量シャッター (16.11.2)～(16.11.4)	種 類 ○管理用シャッター (シャッターケース○設ける) 耐風圧強度 ○外壁用防火シャッター (シャッターケース※設ける) 耐風圧強度 ○屋内用防火シャッター (シャッターケース※設ける) ○屋内用防煙シャッター (シャッターケース※設ける) 開閉方式 ※電動式 (手動併用) ○手動式 電動式シャッターには安全装置を設ける 設置箇所 ※図示による ○ 管理用シャッターのシャッターケース ○設ける ○設けない スラット及びシャッターケース用鋼板 材 質 めっきの付着量 ○JIS G 3302 ○Z12又はF12を満足するもの ○ ○JIS G 3312 ○Z12又はF12を満足するもの ○ 開閉方式 ○電動式 (手動併用) ※手動式 電動式シャッターには安全装置を設ける 設置箇所 ※図示による ○ 耐風圧強度 スラット 材 質 めっきの付着量 形 状 ○JIS G 3312 ○Z06又はF06を満足するもの ○インターロッキング形 ○JIS G 3322 ○AZ90を満足するもの ○オーバーラッピング形 セクション材 ※シーリング材 ○7&ミニム合金材 ○7&ミニム合金材 耐風圧性能 開閉方式 ※バランス式 ○チェーン式 ○電動式 電動式には保護装置を設ける 設置箇所 ※図示による ○ 収納形式 ○スタンダード型 ○ローヘッド型 ○ハイルフト型 ○バーチカル型 ガイドレール等 ※溶融亜鉛めっき鋼板 ○ステンレス鋼板	16 軽量シャッター (16.12.2)～(16.12.4)	17 オーバーヘッドドア (16.13.2)～(16.13.4)	⑮ガラス (16.14.2)～(16.14.4)(9.7.1～5)	材料 種 別 種 類 等 種 別 種 類 等 ●7&ト板ガラス ●強化ガラス ●型板ガラス ○熱線吸収板ガラス ●網入板ガラス ●複層ガラス ○線入板ガラス ○熱線反射ガラス ○合わせガラス ○倍強度ガラス ○ ガラスの留め材及び溝の大きさ 建具の種類 ガラス留め材の種類 ガラス溝の大きさ(mm) アルミニウム製建具 ○シーリング材 ※建具製造所の仕様による ○グレイジングチャンネル ○図示による 鋼製及び鋼製軽量建具 ○シーリング材 ※建具製造所の仕様による ○ ○図示による ステンレス製建具 ○シーリング材 ※建具製造所の仕様による ○ ○図示による 樹脂製建具 ○グレイジングガスケット ※建具製造所の仕様による ○ ○図示による ※防火戸のガラス留め材は建築基準法に基づく防火性能認定品とする。 ※防音仕様、断熱仕様及び耐震仕様については図示による。	⑯塗装工事	①塗装材料 (18.1.3) ②素地ごしらえ (18.2.2)～(18.2.7)	塗料のホルムアルデヒド等の放散量 ※F☆☆☆☆ ○ (表18.2.1)～(表18.2.7)	③錆止め塗料塗り (18.3.2)(18.3.3)	(表18.3.1)～(表18.3.4)	④塗装工程 (18.4.1)～(18.14.2)	①揮発性有機化合物対策 (19.2.2)(19.3.3)(19.4.2)(19.5.2)(19.5.4)(19.5.5)(19.7.2)(19.8.2)(19.9.2) ②ビニル床シート張り (19.2.2) ③ビニル床タイル張り (19.2.2)	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ ㏀ ㏁ ㏂ ㏃ ㏄ ㏅ ㏆ ㏇ ㏈ ㏉ ㏊ ㏋ ㏌ ㏍ ㏎ ㏏ ㏐ ㏑ ㏒ ㏓ ㏔ ㏕ ㏖ ㏗ ㏘ ㏙ ㏚ ㏛ ㏜ ㏝ ㏞ ㏟ ㏠ ㏡ ㏢ ㏣ ㏤ ㏥ ㏦ ㏧ ㏨ ㏩ ㏪ ㏫ ㏬ ㏭ ㏮ ㏯ ㏰ ㏱ ㏲ ㏳ ㏴ ㏵ ㏶ ㏷ ㏸ ㏹ ㏺ ㏻ ㏼ ㏽ ㏾ ㏿ 㐀 㐁 㐂 㐃 㐄 㐅 㐆 㐇 㐈 㐉 㐊 㐋 㐌 㐍 㐎 㐏 㐐 㐑 㐒 㐓 㐔 㐕 㐖 㐗 㐘 㐙 㐚 㐛 㐜 㐝 㐞 㐟 㐠 㐡 㐢 㐣 㐤 㐥 㐦 㐧 㐨 㐩 㐪 㐫 㐬 㐭 㐮 㐯 㐰 㐱 㐲 㐳 㐴 㐵 㐶 㐷 㐸 㐹 㐺 㐻 㐼 㐽 㐾 㐿 㑀 㑁 㑂 㑃 㑄 㑅 㑆 㑇 㑈 㑉 㑊 㑋 㑌 㑍 㑎 㑏 㑐 㑑 㑒 㑓 㑔 㑕 㑖 㑗 㑘 㑙 㑚 㑛 㑜 㑝 㑞 㑟 㑠 㑡 㑢 㑣 㑤 㑥 㑦 㑧 㑨 㑩 㑪 㑫 㑬 㑭 㑮 㑯 㑰 㑱 㑲 㑳 㑴 㑵 㑶 㑷 㑸 㑹 㑺 㑻 㑼 㑽 㑾 㑿 㒀 㒁 㒂 㒃 㒄 㒅 㒆 㒇 㒈 㒉 㒊 㒋 㒌 㒍 㒎 㒏 㒐 㒑 㒒 㒓 㒔 㒕 㒖 㒗 㒘 㒙 㒚 㒛 㒜 㒝 㒞 㒟 㒠 㒡 㒢 㒣 㒤 㒥 㒦 㒧 㒨 㒩 㒪 㒫 㒬 㒭 㒮 㒯 㒰 㒱 㒲 㒳 㒴 㒵 㒶 㒷 㒸 㒹 㒺 㒻 㒼 㒽 㒾 㒿 㓀 㓁 㓂 㓃 㓄 㓅 㓆 㓇 㓈 㓉 㓊 㓋 㓌 㓍 㓎 㓏 㓐 㓑 㓒 㓓 㓔 㓕 㓖 㓗 㓘 㓙 㓚 㓛 㓜 㓝 㓞 㓟 㓠 㓡 㓢 㓣 㓤 㓥 㓦 㓧 㓨 㓩 㓪 㓫 㓬 㓭 㓮 㓯 㓰 㓱 㓲 㓳 㓴 㓵 㓶 㓷 㓸 㓹 㓺 㓻 㓼 㓽 㓾 㓿 㔀 㔁 㔂 㔃 㔄 㔅 㔆 㔇 㔈 㔉 㔊 㔋 㔌 㔍 㔎 㔏 㔐 㔑 㔒 㔓 㔔 㔕 㔖 㔗 㔘 㔙 㔚 㔛 㔜 㔝 㔞 㔟 㔠 㔡 㔢 㔣 㔤 㔥 㔦 㔧 㔨 㔩 㔪 㔫 㔬 㔭 㔮 㔯 㔰 㔱 㔲 㔳 㔴 㔵 㔶 㔷 㔸 㔹 㔺 㔻 㔼 㔽 㔾 㔿 㕀 㕁 㕂 㕃 㕄 㕅 㕆 㕇 㕈 㕉 㕊 㕋 㕌 㕍 㕎 㕏 㕐 㕑 㕒 㕓 㕔 㕕 㕖 㕗 㕘 㕙 㕚 㕛 㕜 㕝 㕞 㕟 㕠 㕡 㕢 㕣 㕤 㕥 㕦 㕧 㕨 㕩 㕪 㕫 㕬 㕭 㕮 㕯 㕰 㕱 㕲 㕳 㕴 㕵 㕶 㕷 㕸 㕹 㕺 㕻 㕼 㕽 㕾 㕿 㖀 㖁 㖂 㖃 㖄 㖅 㖆 㖇 㖈 㖉 㖊 㖋 㖌 㖍 㖎 㖏 㖐 㖑 㖒 㖓 㖔 㖕 㖖 㖗 㖘 㖙 㖚 㖛 㖜 㖝 㖞 㖟 㖠 㖡 㖢 㖣 㖤 㖥 㖦 㖧 㖨 㖩 㖪 㖫 㖬 㖭 㖮 㖯 㖰 㖱 㖲 㖳 㖴 㖵 㖶 㖷 㖸 㖹 㖺 㖻 㖼 㖽 㖾 㖿 㗀 㗁 㗂 㗃 㗄 㗅 㗆 㗇 㗈 㗉 㗊 㗋 㗌 㗍 㗎 㗏 㗐 㗑 㗒 㗓 㗔 㗕 㗖 㗗 㗘 㗙 㗚 㗛 㗜 㗝 㗞 㗟 㗠 㗡 㗢 㗣 㗤 㗥 㗦 㗧 㗨 㗩 㗪 㗫 㗬 㗭 㗮 㗯 㗰 㗱 㗲 㗳 㗴 㗵 㗶 㗷 㗸 㗹 㗺 㗻 㗼 㗽 㗾 㗿 㘀 㘁 㘂 㘃 㘄 㘅 㘆 㘇 㘈 㘉 㘊 㘋 㘌 㘍 㘎 㘏 㘐 㘑 㘒 㘓 㘔 㘕 㘖 㘗 㘘 㘙 㘚 㘛 㘜 㘝 㘞 㘟 㘠 㘡 㘢 㘣 㘤 㘥 㘦 㘧 㘨 㘩 㘪 㘫 㘬 㘭 㘮 㘯 㘰 㘱 㘲 㘳 㘴 㘵 㘶 㘷 㘸 㘹 㘺 㘻 㘼 㘽 㘾 㘿 㙀 㙁 㙂 㙃 㙄 㙅 㙆 㙇 㙈 㙉 㙊 㙋 㙌 㙍 㙎 㙏 㙐 㙑 㙒 㙓 㙔 㙕 㙖 㙗 㙘 㙙 㙚 㙛 㙜 㙝 㙞 㙟 㙠 㙡 㙢 㙣 㙤 㙥 㙦 㙧 㙨 㙩 㙪 㙫 㙬 㙭 㙮 㙯 㙰 㙱 㙲 㙳 㙴 㙵 㙶 㙷 㙸 㙹 㙺 㙻 㙼 㙽 㙾 㙿 㚀 㚁 㚂 㚃 㚄 㚅 㚆 㚇 㚈 㚉 㚊 㚋 㚌 㚍 㚎 㚏 㚐 㚑 㚒 㚓 㚔 㚕 㚖 㚗 㚘 㚙 㚚 㚛 㚜 㚝 㚞 㚟 㚠 㚡 㚢 㚣 㚤 㚥 㚦 㚧 㚨 㚩 㚪 㚫 㚬 㚭 㚮 㚯 㚰 㚱 㚲 㚳 㚴 㚵 㚶 㚷 㚸 㚹 㚺 㚻 㚼 㚽 㚾 㚿 㞀 㞁 㞂 㞃 㞄 㞅 㞆 㞇 㞈 㞉 㞊 㞋 㞌 㞍 㞎 㞏 㞐 㞑 㞒 㞓 㞔 㞕 㞖 㞗 㞘 㞙 㞚 㞛 㞜 㞝 㞞 㞟 㞠 㞡 㞢 㞣 㞤 㞥 㞦 㞧 㞨 㞩 㞪 㞫 㞬 㞭 㞮 㞯 㞰 㞱 㞲 㞳 㞴 㞵 㞶 㞷 㞸 㞹 㞺 㞻 㞼 㞽 㞾 㞿 㟀 㟁 㟂 㟃 㟄 㟅 㟆 㟇 㟈 㟉 㟊 㟋 㟌 㟍 㟎 㟏 㟐 㟑 㟒 㟓 㟔 㟕 㟖 㟗 㟘 㟙 㟚 㟛 㟜 㟝 㟞 㟟 㟠 㟡 㟢 㟣 㟤 㟥 㟦 㟧 㟨 㟩 㟪 㟫 㟬 㟭 㟮 㟯 㟰 㟱 㟲 㟳 㟴 㟵 㟶 㟷 㟸 㟹 㟺 㟻 㟼 㟽 㟾 㟿 㠀 㠁 㠂 㠃 㠄 㠅 㠆 㠇 㠈 㠉 㠊 㠋 㠌 㠍 㠎 㠏 㠐 㠑 㠒 㠓 㠔 㠕 㠖 㠗 㠘 㠙 㠚 㠛 㠜 㠝 㠞 㠟 㠠 㠡 㠢 㠣 㠤 㠥 㠦 㠧 㠨 㠩 㠪 㠫 㠬 㠭 㠮 㠯 㠰 㠱 㠲 㠳 㠴 㠵 㠶 㠷 㠸 㠹 㠺 㠻 㠼 㠽 㠾 㠿 㡀 㡁 㡂 㡃 㡄 㡅 㡆 㡇 㡈 㡉 㡊 㡋 㡌 㡍 㡎 㡏 㡐 㡑 㡒 㡓 㡔 㡕 㡖 㡗 㡘 㡙 㡚 㡛 㡜 㡝 㡞 㡟 㡠 㡡 㡢 㡣 㡤 㡥 㡦 㡧 㡨 㡩 㡪 㡫 㡬 㡭 㡮 㡯 㡰 㡱 㡲 㡳 㡴 㡵 㡶 㡷 㡸 㡹 㡺 㡻 㡼 㡽 㡾 㡿 㢀 㢁 㢂 㢃 㢄 㢅 㢆 㢇 㢈 㢉 㢊 㢋 㢌 㢍 㢎 㢏 㢐 㢑 㢒 㢓 㢔 㢕 㢖 㢗 㢘 㢙 㢚 㢛 㢜 㢝 㢞 㢟 㢠 㢡 㢢 㢣 㢤 㢥 㢦 㢧 㢨 㢩 㢪 㢫 㢬 㢭 㢮 㢯 㢰 㢱 㢲 㢳 㢴 㢵 㢶 㢷 㢸 㢹 㢺 㢻 㢼 㢽 㢾 㢿 㣀 㣁 㣂 㣃 㣄 㣅 㣆 㣇 㣈 㣉 㣊 㣋 㣌 㣍 㣎 㣏 㣐 㣑 㣒 㣓 㣔 㣕 㣖 㣗 㣘 㣙 㣚 㣛 㣜 㣝 㣞 㣟 㣠 㣡 㣢 㣣 㣤 㣥 㣦 㣧 㣨 㣩 㣪 㣫 㣬 㣭 㣮 㣯 㣰 㣱 㣲 㣳 㣴 㣵 㣶 㣷 㣸 㣹 㣺 㣻 㣼 㣽 㣾 㣿 㤀 㤁 㤂 㤃 㤄 㤅 㤆 㤇 㤈 㤉 㤊 㤋 㤌 㤍 㤎 㤏 㤐 㤑 㤒 㤓 㤔 㤕 㤖 㤗 㤘 㤙 㤚 㤛 㤜 㤝 㤞 㤟 㤠 㤡 㤢 㤣 㤤 㤥 㤦 㤧 㤨 㤩 㤪 㤫 㤬 㤭 㤮 㤯 㤰 㤱 㤲 㤳 㤴 㤵 㤶 㤷 㤸 㤹 㤺 㤻 㤼 㤽 㤾 㤿 㥀 㥁 㥂 㥃 㥄 㥅 㥆 㥇 㥈 㥉 㥊 㥋 㥌 㥍 㥎 㥏 㥐 㥑 㥒 㥓 㥔 㥕 㥖 㥗 㥘 㥙 㥚 㥛 㥜 㥝 㥞 㥟 㥠 㥡 㥢 㥣 㥤 㥥 㥦 㥧 㥨 㥩 㥪 㥫 㥬 㥭 㥮 㥯 㥰 㥱 㥲 㥳 㥴 㥵 㥶 㥷 㥸 㥹 㥺 㥻 㥼 㥽 㥾 㥿 㦀 㦁 㦂 㦃 㦄 㦅 㦆 㦇 㦈 㦉 㦊 㦋 㦌 㦍 㦎 㦏 㦐 㦑 㦒 㦓 㦔 㦕 㦖 㦗 㦘 㦙 㦚 㦛 㦜 㦝 㦞 㦟 㦠 㦡 㦢 㦣 㦤 㦥 㦦 㦧 㦨 㦩 㦪 㦫 㦬 㦭 㦮 㦯 㦰 㦱 㦲 㦳 㦴 㦵 㦶 㦷 㦸 㦹 㦺 㦻 㦼 㦽 㦾 㦿 㧀 㧁 㧂 㧃 㧄 㧅 㧆 㧇 㧈 㧉 㧊 㧋 㧌 㧍 㧎 㧏 㧐 㧑 㧒 㧓 㧔 㧕 㧖 㧗 㧘 㧙 㧚 㧛 㧜 㧝 㧞 㧟 㧠 㧡 㧢 㧣 㧤 㧥 㧦 㧧 㧨 㧩 㧪 㧫 㧬 㧭 㧮 㧯 㧰 㧱 㧲 㧳 㧴 㧵 㧶 㧷 㧸 㧹 㧺 㧻 㧼 㧽 㧾 㧿 㨀 㨁 㨂 㨃 㨄 㨅 㨆 㨇 㨈 㨉 㨊 㨋 㨌 㨍 㨎 㨏 㨐 㨑 㨒 㨓 㨔 㨕 㨖 㨗 㨘 㨙 㨚 㨛 㨜 㨝 㨞 㨟 㨠 㨡 㨢 㨣 㨤 㨥 㨦 㨧 㨨 㨩 㨪 㨫 㨬 㨭 㨮 㨯 㨰 㨱 㨲 㨳 㨴 㨵 㨶 㨷 㨸 㨹 㨺 㨻 㨼 㨽 㨾 㨿 㩀 㩁 㩂 㩃 㩄 㩅 㩆 㩇 㩈 㩉 㩊 㩋 㩌 㩍 㩎 㩏 㩐 㩑 㩒 㩓 㩔 㩕 㩖 㩗 㩘 㩙 㩚 㩛 㩜 㩝 㩞 㩟 㩠 㩡 㩢 㩣 㩤 㩥 㩦 㩧 㩨 㩩 㩪 㩫 㩬 㩭 㩮 㩯 㩰 㩱 㩲 㩳 㩴 㩵 㩶 㩷 㩸 㩹 㩺 㩻 㩼 㩽 㩾 㩿 㪀 㪁 㪂 㪃 㪄 㪅 㪆 㪇 㪈 㪉 㪊 㪋 㪌 㪍 㪎 㪏 㪐 㪑 㪒 㪓 㪔 㪕 㪖 㪗 㪘 㪙 㪚 㪛 㪜 㪝 㪞 㪟 㪠 㪡 㪢 㪣 㪤 㪥 㪦 㪧 㪨 㪩 㪪 㪫 㪬 㪭 㪮 㪯 㪰 㪱 㪲 㪳 㪴 㪵 㪶 㪷 㪸 㪹 㪺 㪻 㪼 㪽 㪾 㪿 㫀 㫁 㫂 㫃 㫄 㫅 㫆 㫇 㫈 㫉 㫊 㫋 㫌 㫍 㫎 㫏 㫐 㫑 㫒 㫓 㫔 㫕 㫖 㫗 㫘 㫙 㫚 㫛 㫜 㫝 㫞 㫟 㫠 㫡 㫢 㫣 㫤 㫥 㫦 㫧 㫨 㫩 㫪 㫫 㫬 㫭 㫮 㫯 㫰 㫱 㫲 㫳 㫴 㫵 㫶 㫷 㫸 㫹 㫺 㫻 㫼 㫽 㫾 㫿 㬀 㬁 㬂 㬃 㬄 㬅 㬆 㬇 㬈 㬉 㬊 㬋 㬌 㬍 㬎 㬏 㬐 㬑 㬒 㬓 㬔 㬕 㬖 㬗 㬘 㬙 㬚 㬛 㬜 㬝 㬞 㬟 㬠 㬡 㬢 㬣 㬤 㬥 㬦 㬧 㬨 㬩 㬪 㬫 㬬 㬭 㬮 㬯 㬰 㬱 㬲 㬳 㬴 㬵 㬶 㬷 㬸 㬹 㬺 㬻 㬼 㬽 㬾 㬿 㭀 㭁 㭂 㭃 㭄 㭅 㭆 㭇 㭈 㭉 㭊 㭋 㭌 㭍 㭎 㭏 㭐 㭑 㭒 㭓 㭔 㭕 㭖 㭗 㭘 㭙 㭚 㭛 㭜 㭝 㭞 㭟 㭠 㭡 㭢 㭣 㭤 㭥 㭦 㭧 㭨 㭩 㭪 㭫 㭬 㭭 㭮 㭯 㭰 㭱 㭲 㭳 㭴 㭵 㭶 㭷 㭸 㭹 㭺 㭻 㭼 㭽 㭾 㭿 㮀 㮁 㮂 㮃 㮄 㮅 㮆 㮇 㮈 㮉 㮊 㮋 㮌 㮍 㮎 㮏 㮐 㮑 㮒 㮓 㮔 㮕 㮖 㮗 㮘 㮙 㮚 㮛 㮜 㮝 㮞 㮟 㮠 㮡 㮢 㮣 㮤 㮥 㮦 㮧 㮨 㮩 㮪 㮫 㮬 㮭 㮮 㮯 㮰 㮱 㮲 㮳 㮴 㮵 㮶 㮷 㮸 㮹 㮺 㮻 㮼 㮽 㮾 㮿 㯀 㯁 㯂 㯃 㯄 㯅 㯆 㯇 㯈 㯉 㯊 㯋 㯌 㯍 㯎 㯏 㯐 㯑 㯒 㯓 㯔 㯕 㯖 㯗 㯘 㯙 㯚 㯛 㯜 㯝 㯞 㯟 㯠 㯡 㯢 㯣 㯤 㯥 㯦 㯧 㯨 㯩 㯪 㯫 㯬 㯭 㯮 㯯 㯰 㯱 㯲 㯳 㯴 㯵 㯶 㯷 㯸 㯹 㯺 㯻 㯼 㯽 㯾 㯿 㰀 㰁 㰂 㰃 㰄 㰅 㰆 㰇 㰈 㰉 㰊 㰋 㰌 㰍 㰎 㰏 㰐 㰑 㰒 㰓 㰔 㰕 㰖 㰗 㰘 㰙 㰚 㰛 㰜 㰝 㰞 㰟 㰠 㰡 㰢 㰣 㰤 㰥 㰦 㰧 㰨 㰩 㰪 㰫 㰬 㰭 㰮 㰯 㰰 㰱 㰲 㰳 㰴 㰵 㰶 㰷 㰸 㰹 㰺 㰻 㰼 㰽 㰾 㰿 㱀 㱁 㱂 㱃 㱄 㱅 㱆 㱇 㱈 㱉 㱊 㱋 㱌 㱍 㱎 㱏 㱐 㱑 㱒 㱓 㱔 㱕 㱖 㱗 㱘 㱙 㱚 㱛 㱜 㱝 㱞 㱟 㱠 㱡 㱢 㱣 㱤 㱥 㱦 㱧 㱨 㱩 㱪 㱫 㱬 㱭 㱮 㱯 㱰 㱱 㱲 㱳 㱴 㱵 㱶 㱷 㱸 㱹 㱺 㱻 㱼 㱽 㱾 㱿 㲀 㲁 㲂 㲃 㲄 㲅 㲆 㲇 㲈 㲉 㲊 㲋 㲌 㲍 㲎 㲏 㲐 㲑 㲒 㲓

⑪内装工事

4帯電防止床シート、
床タイル(19.2.2)

○帯電防止床シート

種 類	性 能	厚 さ (mm)
○	○体積抵抗値 1×10 ₇ ～1×10 ₁₀ Ω程度	
○	○	

○帯電防止床タイル

種 類	性 能	寸法	厚 さ (mm)
○	○体積抵抗値 1×10 ₇ ～1×10 ₁₀ Ω程度		
○	○		

5視覚障害者用
床タイル
(19.2.2)

種 類	形 状	備 考
○塩化ビニル系	※ 3 0 0 mm角	
○レジンコンクリート系	○ 1 5 0 mm角	
○磁器又はせっき質タイル	○	

6耐動荷重性床シート
(19.2.2)

種 類	厚 さ (mm)	備 考
○	○	
○	○	

7防滑性床シート、
床タイル
(19.2.2)

種 類	厚 さ (mm)	備 考
○	○	
○	○	

8ビニル幅木
(19.2.2)

種 類	高 さ (mm)	厚 さ (mm)
●軟質 ○硬質	※ 60 ○ 75 ○ 100 ○	※ 1.5 ○ 2.0

9ゴム床タイル張り
(19.2.2)

種 類	色 柄	厚さ (mm)	寸法 (mm)
○単層品 ○積層品			

10カーペット敷き
(19.3.2) (19.3.3)

種 別	織り方	パイル形状	帯電性	色 柄	接合方法	施 工 箇 所
○ A 種			○適用	※無地	○ヒトバンド工法	
○ B 種				○	○つづり縫い	
○ C 種						

○タフテッドカーベツト

パイル形状	パ イ ル長 さ (mm)	工 法	帯電性	施 工 箇 所
		○ゲリッパ工法	○適用	
		○全面接着工法		

●タイルカーベツト

種別	パイル形状	寸法(mm)	総厚さ(mm)	施 工 箇 所
※一種 ※ループパイル		※ 500×500	※ 6.5	●図示 (仕上表による)
○二種 ○		○	○	

タイルカーベツトの敷き方 平場部分 ※市松敷き ○
 階段部分 ○模様流し ○
下敷き材 ※JIS L 3204(反毛フェルト)の第2種2号 呼び厚さ8mm
 ○
見切り、押さえ金物 材質、形状等 ○図示による ○

11合成樹脂塗り床
(19.4.2) (19.4.3)

厚膜型塗床材	弾性ウレタン樹脂系塗床材	※平滑仕上げ ○防滑仕上げ ○つや消し仕上げ
○	○	

●エポキシ樹脂系塗床材
 ●薄膜流しのべ仕上げ (●平滑 ○防滑)
 ●厚膜流しのべ仕上げ (○平滑 ○防滑)
 ○樹脂モルタル仕上げ (○平滑 ○防滑)

薄膜型塗床材
○エポキシ樹脂系塗床材

12フローリング張り
(19.5.2) ～(19.5.6)

種 類	樹 種	厚さ(mm)	大きさ	工 法	備 考
○フローリング ボード 1等	※なら ○	○ 15 ○ 12 ○ 8 ○ 8	○表19.5.1 ○表19.5.4 ○表19.5.5	釘留め工法 ○根太張り工法 ○直張り工法 ○接着工法	
○フローリング ブロック 1等	※なら ○	○ 8 ○ 15 ○		○接着工法	○防水処理足金物付

⑫内装工事

13縁甲板張り
(19.5.1)

14畳敷き
(19.6.2)

15せっこうボード、
その他ボード
及び合板張り
(19.7.2)

16壁紙張り
(19.8.2) (19.8.3)

17天井廻り縁

18断熱・防露
(19.9.2) (19.9.3)

複合フローリング

種 別	樹 種	厚さ(mm)	工 法	種 別	備 考
○ 1 × 6 タイプ		○ 8	○釘留め工法		
○フローリング ボードタイプ	※なら ○	○ 15 ○	○根太張り工法	○ A 種 ○ B 種 ○ C 種	
○			○直張り工法		
			○接着工法		

接着工法のフローリング表面の不陸緩和剤 ※合成樹脂発泡シート ○
仕上げ塗装 ○ウレタン樹脂ワニス塗り (1 液形) B種
 ○オイルステインの上ワックス塗り ○生地そのままワックス塗り
 ○

樹 種	等 級	仕上程度	施工箇所

種別 ○ A 種 ○ B 種 ○ C 種 ○ D 種 (KT-____) (表19.6.1)
衝撃緩和量 (畳巻 ○C1 ○C2)
種別 ※表19.7.1による J I S規格品とする (表19.7.1)

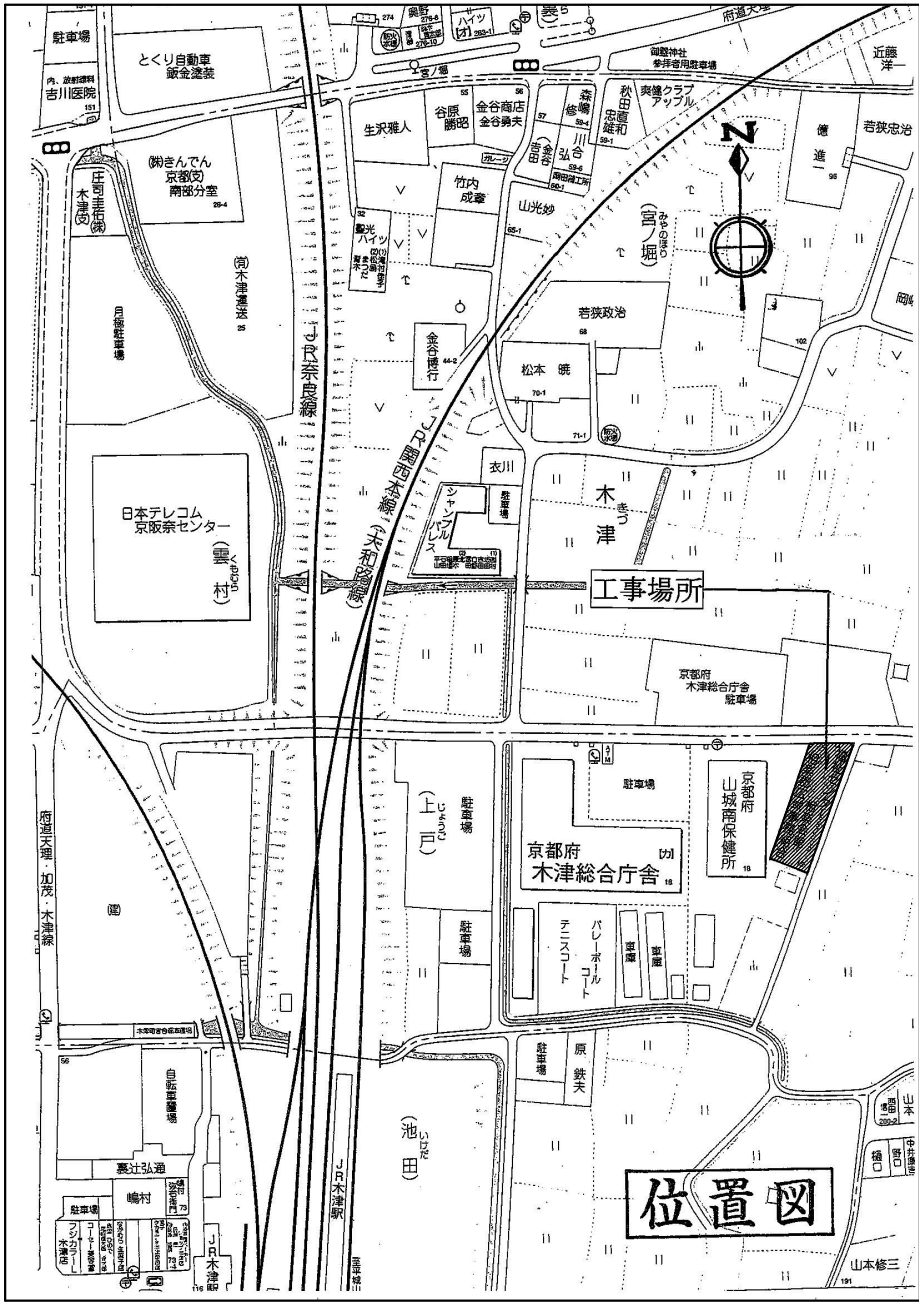
種 類	規 格 、 厚 さ (mm) 等	
●せっこうボード (GB-R)	※ 12.5 (不燃) ● 9.5 (準不燃)	
●化粧せっこうボード (GB-D)	○杉桎模様の ●トラバーチン模様 (経絡下地は専用のものとする)	○ 12.5 (不燃)
●不燃積層せっこうボード (GB-NC)	○トラバーチン模様 ●模様なし	※ 9.5 (不燃)
●シージングせっこうボード (GB-S)	○ 15 (不燃) ● 12.5 (準不燃) ※ 9.5 (準不燃)	
●強化せっこうボード (GB-F)	○ 21 (不燃) ○ 15 (不燃) ● 12.5 (不燃)	
○ロックウール吸音ボード (RW-B)	※ 25 ○	
○グラスウール吸音ボード (GW-B)	※ 25 ○	
○吸音あなあきせっこうボード (GB-P)	○ 9.5 (準不燃)	
●ロックウール化粧吸音板 (DR)	内部用 フラット ● 12 (不燃) ※ 9 (不燃) 立体的模様 ○ 15 (不燃) ※ 12 (不燃) 軒天用 フラット ○ 12 (不燃) ※ 9 (不燃) 立体的模様 ○ 15 (不燃) ※ 12 (不燃)	
●けい酸カルシウム板 (0.8FK)	タイプ 2 (無石棉) ○ 8.0 ● 6.0 ○	
●有孔けい酸カルシウム板 (0.8FK)	タイプ 2 (無石棉) ○ 8.0 ● 6.0 ○	
●メラミン樹脂化粧板	JIS規格による ・ 1.2 ● 3.0	
○難燃木毛セメント板	○ 30 ○ 25 ○ 20 ○ 15	
○断熱木毛セメント板	○ 30 ○ 25 ○ 20 ○ 15	
○普通合板	厚さ 接着の程度 表板樹種	
	板面の品質 防火処理○行う	
○天然木化粧合板	厚さ 接着の程度 化粧板樹種 ○なら ○しおじ 防火処理○行う	
○特殊加工化粧合板	厚さ 接着の程度 化粧加工の方法 表面性能 ○ F ○ FW ○ W ○ WS 防火処理○行う	
○その他下張り用合板		

天井のギョーゴ類 (ロッキング吸音板を除く) の重ね張りを行う場合 ※図示による
合板類の張付け ○ A 種 ● B 種 (表19.7.3)
せっこうボードの目地処理 ○目透かし ○突付け ●継目処理 (表19.7.5)
突付け工法及び目透かし工法のエッジの種類 ○ペベルエッジ ○スクエアエッジ

防火性能・種類・規格・施工箇所	※図示による	○下表による
施 行 箇 所	防火性能	品 質 ・ 規 格
●図示 (仕上表による)	●不燃	

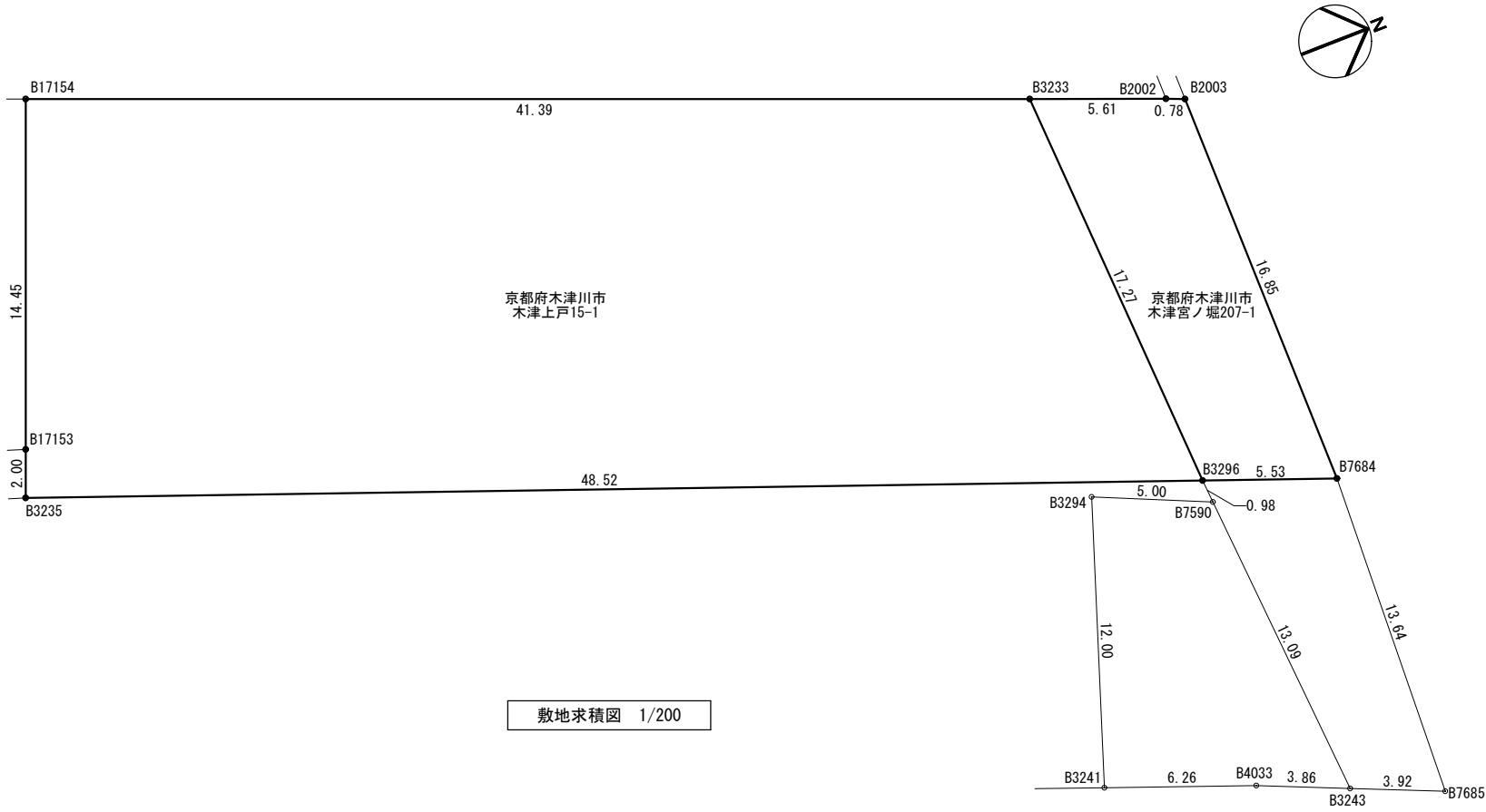
素地ごしらえ モルタル及びプラスター面 ○ A 種 ※ B 種 (表18.2.4)
コンクリート面 ○ A 種 ※ B 種 (表18.2.5)
せっこうボード面
目地継目処理工法の場合 ※ A 種 ○ B 種 (表18.2.7)
突付け・目透し工法の場合 ○ A

[illegible]



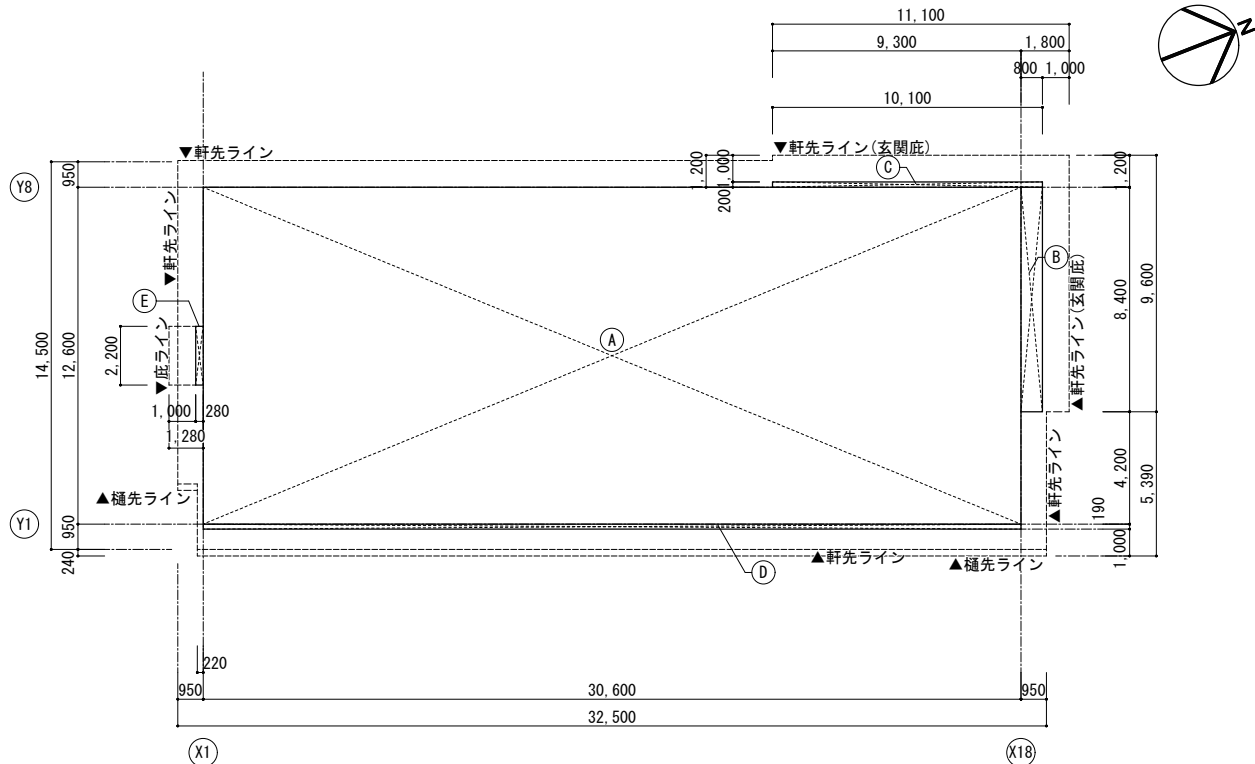
付近見取り図 1/2,000
計画敷地：京都府木津川市木津上戸15-1, 木津宮ノ堀207-1

座標求積表				
地 番	京都府木津川市上戸15-1			
測 点	Xn	Yn	(Xn+1 - Xn-1) Yn	距 離
B3296	-139959.717	-15818.509	-704603.846387	17.27
B3233	-139960.586	-15835.761	623754.790029	41.39
B17154	-139999.106	-15850.913	694444.349443	14.45
B17153	-140004.397	-15837.460	95389.021580	2.00
B3235	-140005.129	-15835.598	-707534.518640	48.52
		倍 面 積	1449.796025	㎡
		面 積	724.8980125	
		地 積	724.89	
地 番	京都府木津川市宮ノ堀207-1			
測 点	Xn	Yn	(Xn+1 - Xn-1) Yn	距 離
B7684	-139954.534	-15816.559	-80490.468751	16.85
B2003	-139954.628	-15833.417	12999.235357	0.78
B2002	-139955.355	-15833.711	94337.250138	5.61
B3233	-139960.586	-15835.761	69075.589482	17.27
B3296	-139959.717	-15818.509	-95733.616468	5.53
		倍 面 積	187.989758	㎡
		面 積	93.9948790	
		地 積	93.99	
合 計			818.8928915	
			改め 818.89	㎡



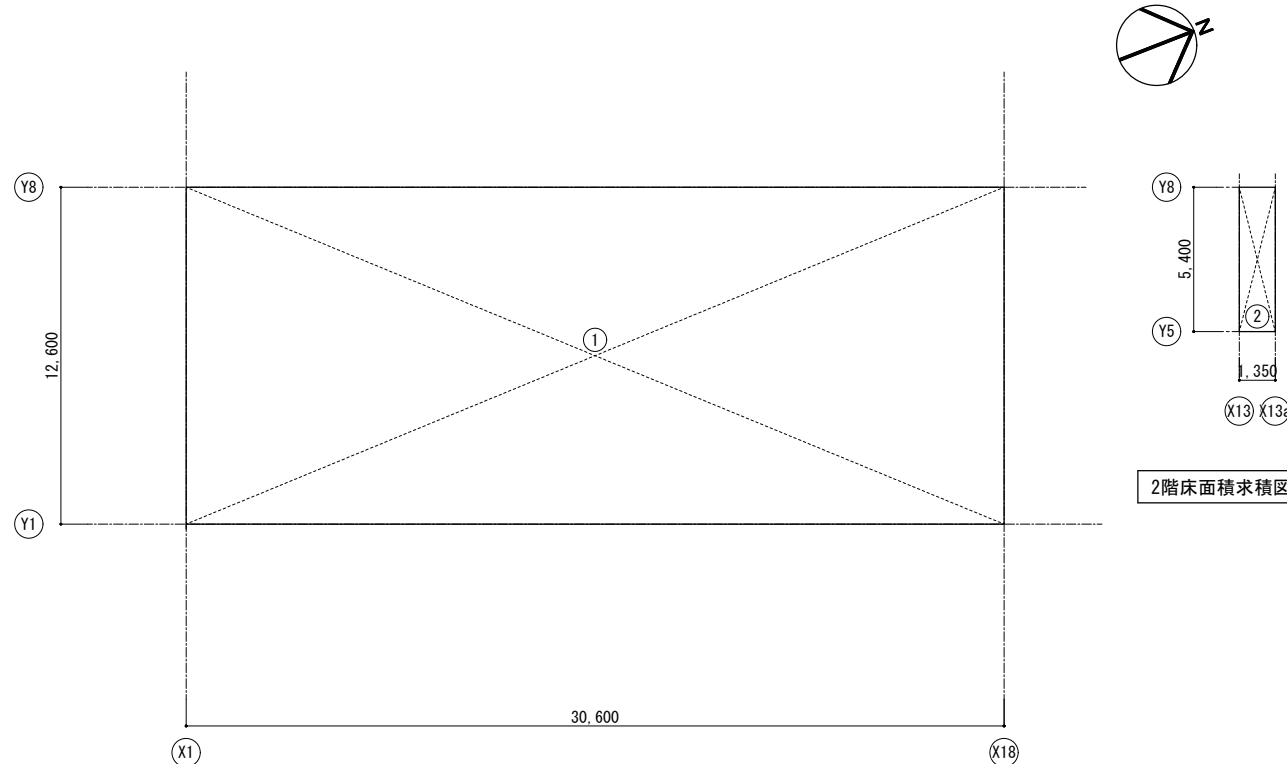


記 事		業務名称		工事名称		設計年月	
		相楽広域行政組合新庁舎基本・実施設計業務		相楽広域行政組合新庁舎新築工事		令和 8 年 3 月	
		 株式会社 緑企画設計 一級建築士事務所 京都府知事登録 (07A) 第00523号 京都支店 管理建築士 一級建築士 (大臣) 第331194号 三浦 光寛		印	図面名称	縮尺	図面番号
				・ ・	計画配置図	A 2 1/150 A 3 1/210	A - 09



建築面積求積図(本体)

建築面積求積表(本体)			
符号	計算		小計
A	30.600	× 12.600	385.560000
B	0.800	× 8.400	6.720000
C	10.100	× 0.200	2.020000
D	30.600	× 0.190	5.814000
E	2.200	× 0.280	0.616000
合計			400.730000
改め計			400.73

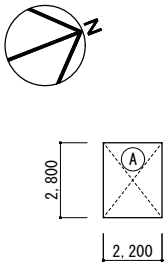


1階床面積求積図(本体)

1階床面積求積表(本体)		
符号	計算	小計
1	30.600 × 12.600	385.560000
合計		385.560000
改め計		385.56

2階床面積求積表(本体)		
符号	計算	小計
2	1.350 × 5.400	7.290000
合計		7.290000
改め計		7.29

延床面積(本体)	(385.56) + (7.29) =392.85
	392.85㎡



建物求積図(自転車置場)

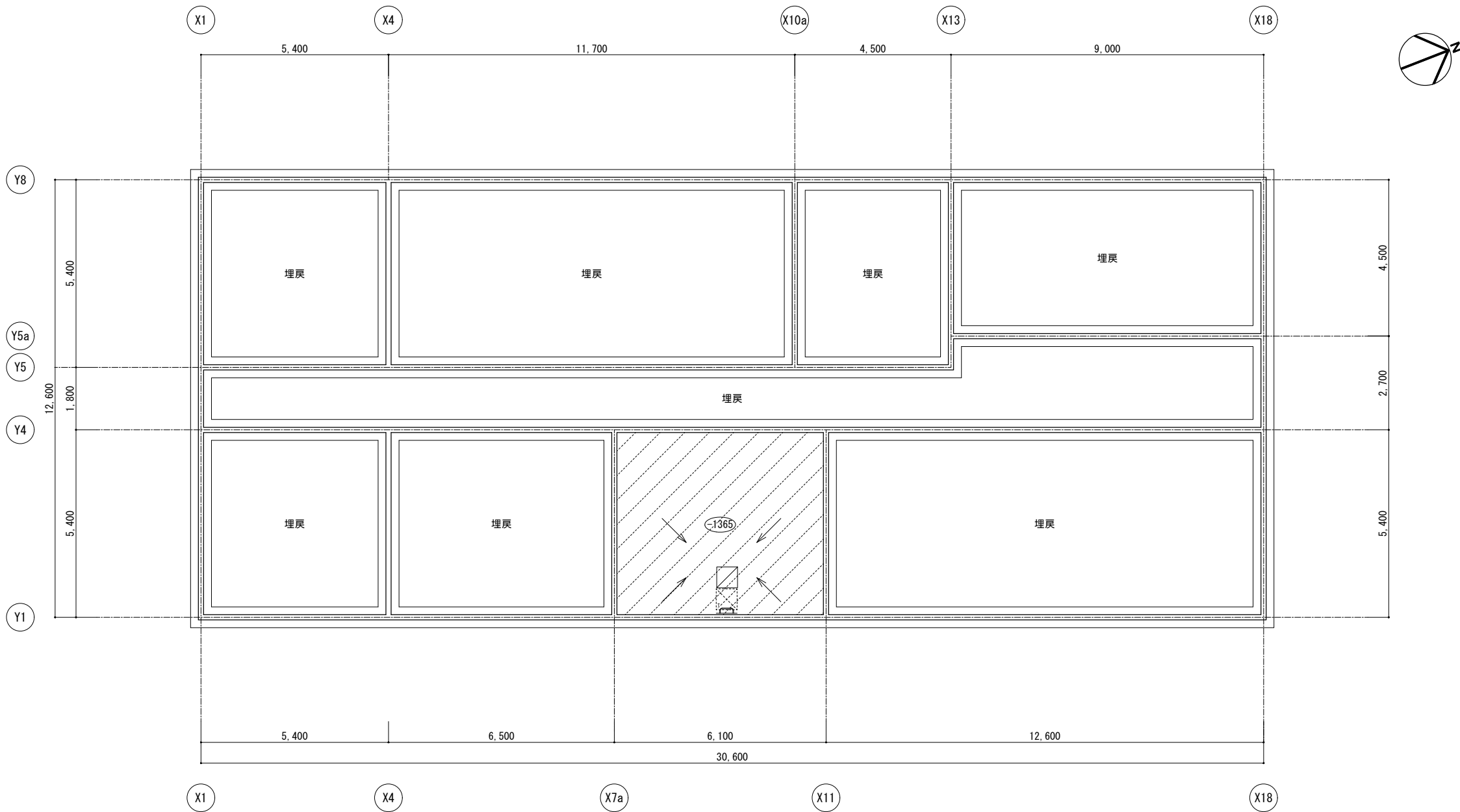
床面積求積表(自転車置場)		
符号	計算	小計
A	2.800 × 2.200	6.160000
合計		6.160000
改め計		6.16

建築面積求積表(自転車置場)		
符号	計算	小計
A	2.800 × 2.200	6.160000
合計		6.160000
改め計		6.16

延床面積	(392.85) + (6.16) =399.01
	399.01㎡

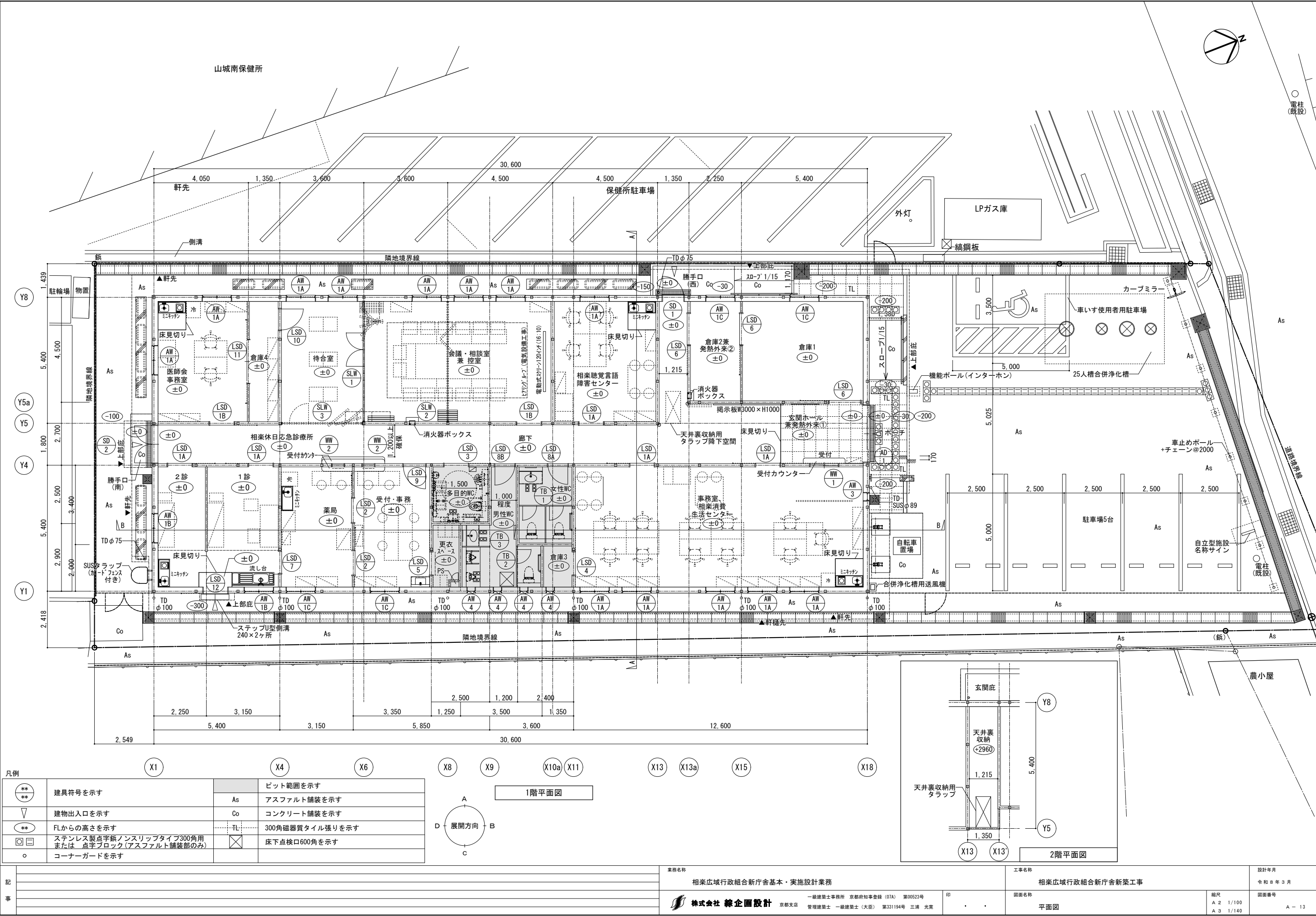
建築面積	(400.73) + (6.16) =406.89
	406.89㎡

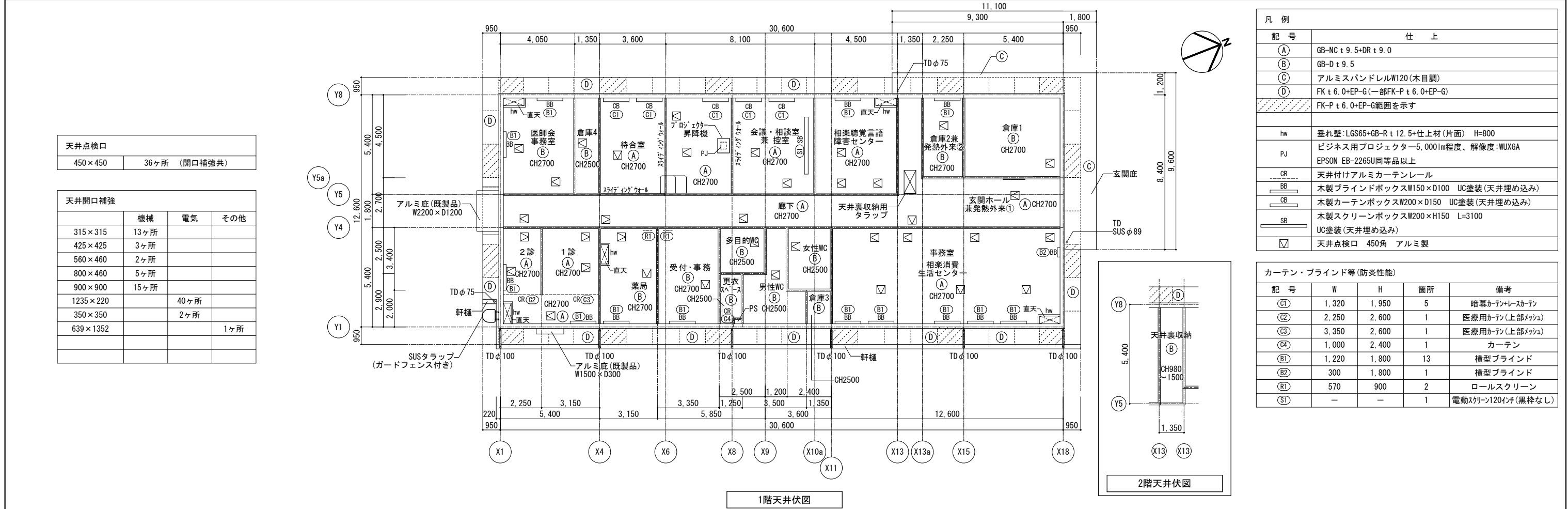
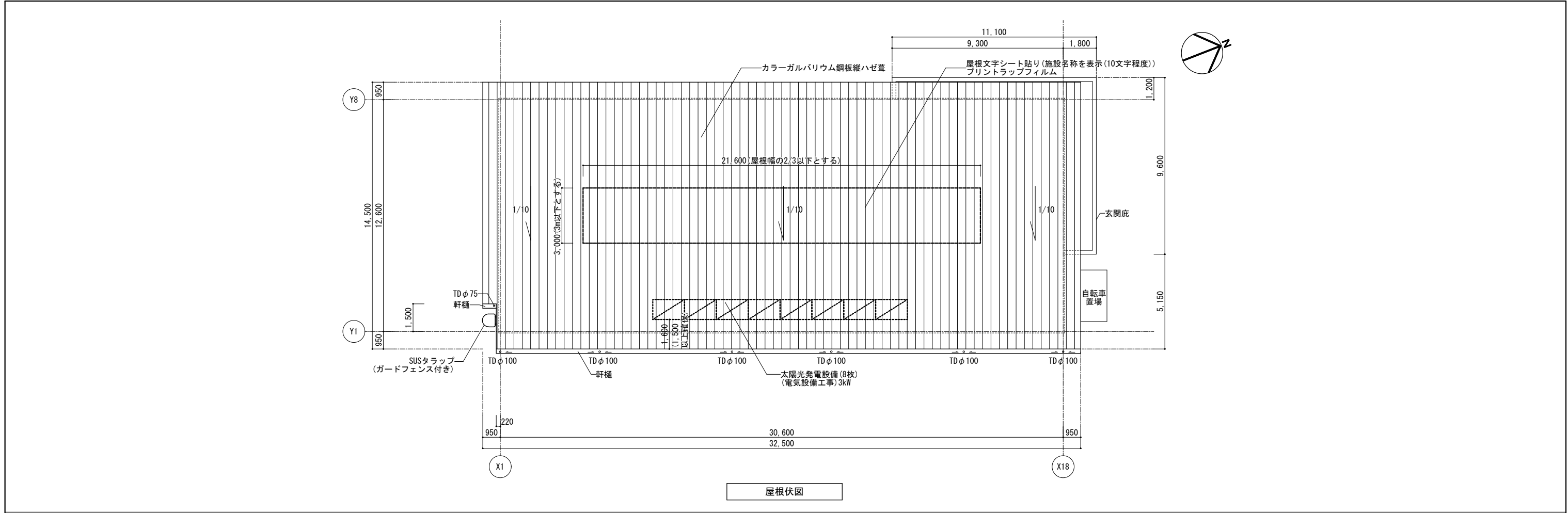
凡例一覧表・記号表							外部仕上表											
分類	符号	名称	分類	符号	名称	形状・寸法	備考	部 位	仕 上			部 位	仕 上					
基 材	BM	ベンチマーク	防水	S-F2	塩化ビニル樹脂系シート防水（接着工法）			屋根	一般部：カラーガルバリウム鋼板 t 0. 4（縦ハゼ葺）（認定番号：NM-8697） +ポリエチレンフォーム裏張り t 2. 0+発砲ポリスチレン板 t 40 +ゴムアスファルトルーフィングt1. 0+硬質木片セメント板 t 18 軒先幕板1：硬質木片セメント板 t 18+カラーガルバリウム鋼板 t 0. 4 （認定番号：NM-8697） 曲げ加工 軒先幕板2：アルミパネル t 2. 0 曲げ加工+焼付塗装 屋根文字シート貼り：プリントラップフィルム			玄関庇	鉄骨造 幕板：アルミパネル t 2. 0 曲げ加工 焼付塗装 軒裏：アルミスバンドレルW120（木目調）、アルミ製廻り縁 RC (A)+木コン処理+浸透性吸水防止材					
	KBM	仮ベンチマーク										巾木						
	GL	基準地盤面																
	FL	基準床面																
	W, w	幅	石・タイル	FT-1	磁器質床タイル	300×300	屋外用、屋内用	外壁	鋼製下地+透湿防水シート+通気金具+窯業系サイディングボード t 16縦張 土台水切り (Rタイプ)、中間水切り			ポーチ	FT-1 (600角)、役物タイル、点字紙					
	L, l	長さ		FT-2	既製品汚垂石	D600												
	H, h	高さ																
	d, φ, D	直径																
	S	縮尺	床	VS1	ビニル床シート（木目調）	t2. 0		軒天	鉄骨下地の上、FK t 6. 0+EP-G （一部FK-P t 6. 0+EP-G）			スロープ	床：コンクリート金コテ押えの上、刷毛引き仕上 壁付け手摺					
	@	間隔		VS2	消臭防滑性ビニル床シート	t2. 0												
	t	厚さ		VS3	ビニル床シート（マーブル）	t2. 0						手摺壁	杉板本実型枠コンクリート打放+木コン処理+浸透性吸水防止材 壁付け手摺					
	PS	パイプスペース		VT	木目調ビニル床タイル	t5. 0												
構 造			幅木	TCa	タイルカーベット	t6. 5		樋	軒樋：ガルバリウム鋼板160×68 堅樋：カラーVP φ100、φ75 一部SUSφ89			自転車置場	アルミ製サイクルポート					
	RC	鉄筋コンクリート		防塵塗床	薄膜型エポキシ樹脂系防塵塗床	t0. 8												
	S	鉄骨																
	LGS	軽量鉄骨																
	LC	軽量コンクリート	ボ ー ト 類					階	内部仕上表			1	★：化学物質の濃度測定対象室を示す					
	MO	モルタル		VB	ビニル幅木	H60												
	ST	スチール																
	AL	アルミニウム																
下 地	SUS	ステンレス	カ ー テン 見 切 ス リ	GB-R	せっこうボード	t9. 5	QM-9828	1	室 名 SL / FL / OH (FL, SLは各階FLからの高さを示す) 玄関ホール兼発熱外来①★ -50 / ±0 / 2700			下地	壁 上					
	PL	プレート		GB-R	せっこうボード	t12. 5	NM-8619					下地	仕 上					
	FB	フラットバー		GB-D	化粧せっこうボード	t9. 5	NM-2816					下地	仕 上					
	C, PL	チェッカープレート		GB-NC	不燃せっこうボード	t9. 5	NM-8613					下地	仕 上					
	ALC	軽量気泡コンクリート	ボ ー ト 類	GB-S	シージングせっこうボード	t12. 5	NM-9639	1	事務室、 相楽消費生活センター★ -100 / ±0 / 2700	OA H=100 RC	TCa	VB H60	W-1 VC W-2 VC	LGS	GB-NC t 9. 5+DR t 9. 0	V	BB (W) UC塗装	ミニキッチン ブラインド 受付カウンター
				GB-F	強化せっこうボード	t12. 5	NM-8615											
				GB-R-H	普通硬化せっこうボード	t9. 5	NM-9645											
				FK	ケイ酸カルシウム板	t5. 0、 6. 0、 8. 0、 10	NM-8576											
そ の 他 略 語	RC (A)	鉄筋コンクリート（A種）	カ ー テン 見 切 ス リ	FK-P	有孔ケイ酸カルシウム板	t6. 0	サランネット裏張り	1	相楽聴覚言語障害センター ★ -100 / ±0 / 2700	OA H=100 RC	TCa	VB H60	W-1 VC W-2 VC	LGS	GB-NC t 9. 5+DR t 9. 0	V	BB (W) UC塗装	ミニキッチン ブラインド
	RC (B)	鉄筋コンクリート（B種）		FK-D	化粧ケイ酸カルシウム板	t6. 0	NM-1975											
	RC (C)	鉄筋コンクリート（C種）		DR	ロックウール化粧吸音版	t9. 0（フラット板）	NM-8599											
	LGS	軽量鉄骨壁（天井）下地		VC	ビニルクロス		NM-3991 1000番台クロス											
塗 装	MO	モルタル	カ ー テン 見 切 ス リ	V	塩ビ製			1	医師会事務室★ -100 / ±0 / 2700	OA H=100 RC	TCa	VB H60	W-1 VC W-2 VC W-3 VC	LGS	GB-D t 9. 5	V	BB (W) UC塗装	ミニキッチン ブラインド
	CB	コンクリートブロック		CR	カーテンレール	アルミ製	カーテン共											
	SL	セルフレベリング（セメント系）		SB	スクリーンボックス	200×150												
	OA	OAフロア		CB	カーテンボックス	200×150	カーテン共											
凡 例	HL	ヘアライン仕上	カ ー テン 見 切 ス リ	BB	ブラインドボックス	150×100	ブラインド共	1	受付・事務★ -100 / ±0 / 2700	OA H=100 VT	VT	VB H60	W-1 VC W-2 VC W-4 VC	LGS	GB-D t 9. 5	V	BB (W) UC塗装	受付カウンター ブラインド、ロールスクリーン 手洗いカウンター
	A-BE	アクリル樹脂焼付			※特記なき限り、LGS65型とする。													
	U-BE	ウレタン樹脂焼付		W-1	GW t 50+防湿シート+LGS65+GB-R t 12. 5 +仕上材（GW、防湿シートは梁下まで）													
	F-BE	ふっ素樹脂焼付		W-2	LGS90（千鳥）+GB-F t 12. 5+GB-R-H t 9. 5（両面） +仕上材 GW 24kg/m³ t50充填（仕上共梁下まで）		遮音壁：D-40 遮音構造認定番号：S01-0170-1											
凡 例	SOP	合成樹脂調合ペイント	乾 式 壁	W-3	LGS100+ GB-R t 12. 5（両面）+仕上材 （下地のみ梁下まで） ※天井裏収納部は片面仕上共梁下まで			1	薬局★ -100 / ±0 / 2700	OA H=100 VT	VT	VB H60	W-1・W-2 VC W-3・W-4 VC	LGS	GB-D t 9. 5	V	BB (W) UC塗装	受付カウンター、ミニキッチン ブラインド ロールスクリーン
	EP-G	つや有合成樹脂エマルジョンペイント																
	EP	合成樹脂エマルジョンペイント		W-4	LGS65+ GB-R t 12. 5（両面）+仕上材（下地共天井まで）													
	CL	クリアラッカー		W-5	LGS65+ GB-R t 12. 5（片面）+仕上材（下地共天井まで）													
凡 例	OSCL	オイルステンクリアラッカー（水性）	乾 式 壁	TB	トイレブース	図示		1	1診・2診★ -15 / ±0 / 2700	SL SL	VS1 VS3	VB H60	W-1・W-2 VC W-3・W-4 VC	LGS	GB-NC t 9. 5+DR t 9. 0	V	BB (W) UC塗装	流し台、ミニキッチン ブラインド、カーテンレール カーテン
	DP	耐候性塗料（1級フッ素）		TD	たて樋（特記なき限り、カラーVP）	φ100、φ75	SUS掴み金物共 24k											
	UC	ウレタン樹脂ワニス塗り		GW	グラスウール	t 50												
	WP	木材保護塗料塗り		FU	現場発泡硬質ウレタンフォーム	t 50												
凡 例			乾 式 壁					1	待合室★ -15 / ±0 / 2700	SL	TCa	VB H60	W-1 VC W-2 VC	LGS	GB-NC t 9. 5+DR t 9. 0	V	CB (W) UC塗装	暗幕カーテン+レースカーテン
凡 例			乾 式 壁					1	会議・相談室兼控室★ -100 / ±0 / 2700	OA H=100	TCa	VB H60	W-1 VC W-2 VC	LGS	GB-NC t 9. 5+DR t 9. 0	V	CB (W) UC塗装	電動スクリーン、スクリーンボックス 暗幕カーテン、レースカーテン プロジェクター昇降機、プロジェクター
凡 例			乾 式 壁					1	男性WC -15 / ±0 / 2500	SL	VS2 一部FT-2	床材立上げ H100	W-1 W-2	LGS	GB-D t 9. 5	V	－	化粧鏡、手洗いカウンター、 掃除用具掛け、フック（1ヶ） 小便器用手摺（1ヶ）
凡 例			乾 式 壁					1	女性WC -15 / ±0 / 2500	SL	VS2	床材立上げ H100	W-2	LGS	GB-D t 9. 5	V	－	化粧鏡、手洗いカウンター、 フック（2ヶ）、L型手摺（1ヶ）
凡 例			乾 式 壁					1	多目的WC -15 / ±0 / 2500	SL	VS2	床材立上げ H100	W-2	LGS	GB-D t 9. 5	V	－	化粧鏡、 折り畳み作業台、フック（2ヶ） 多用途用I型手摺（L=400）
凡 例			乾 式 壁					1	倉庫1 -15 / ±0 / 2700	SL	防塵塗床	床材立上げ H100	W-1 W-3 W-4	LGS	GB-D t 9. 5	V	－	
凡 例			乾 式 壁					1	倉庫2兼発熱外来② -15 / ±0 / 2700	SL	VS3	VB H60	W-1 W-3 W-4	LGS	GB-D t 9. 5	V	BB (W) UC塗装	ブラインド
凡 例			乾 式 壁					1	倉庫3 -15 / ±0 / 2500	SL	VS3	VB H60	W-1 W-2	LGS	GB-D t 9. 5	V	－	－
凡 例			乾 式 壁					1	倉庫4 -15 / ±0 / 2500	SL	VS3	VB H60	W-1 W-2 W-3	LGS	GB-D t 9. 5	V	－	－
凡 例			乾 式 壁					1	廊下 -15 / ±0 / 2700	SL	VS1	VB H60	W-1 W-2 W-3	LGS	GB-NC t 9. 5+DR t 9. 0	V	－	掲示板（マグネット式）
凡 例			乾 式 壁					2	天井裏収納 +2940 / +2960 / 980～1500	S	構造用合板 t 15 +VS3	VB H60	W-1・W-2 W-3・W-5	LGS	GB-Dt9. 5	V	－	
記 事								業務名称			工事名称			設計年月				
								相楽広域行政組合新庁舎基本・実施設計業務			相楽広域行政組合新庁舎新築工事			令和 8 年 3 月				
								一級建築士事務所 京都府知事登録（07A） 第00523号 株式会社 緑企画設計 京都支店			図面名称			図面番号				
								管理建築士 一級建築士（大臣） 第331194号 三浦 光寛			凡例一覧・記号表・内外部仕上表			A - 11				

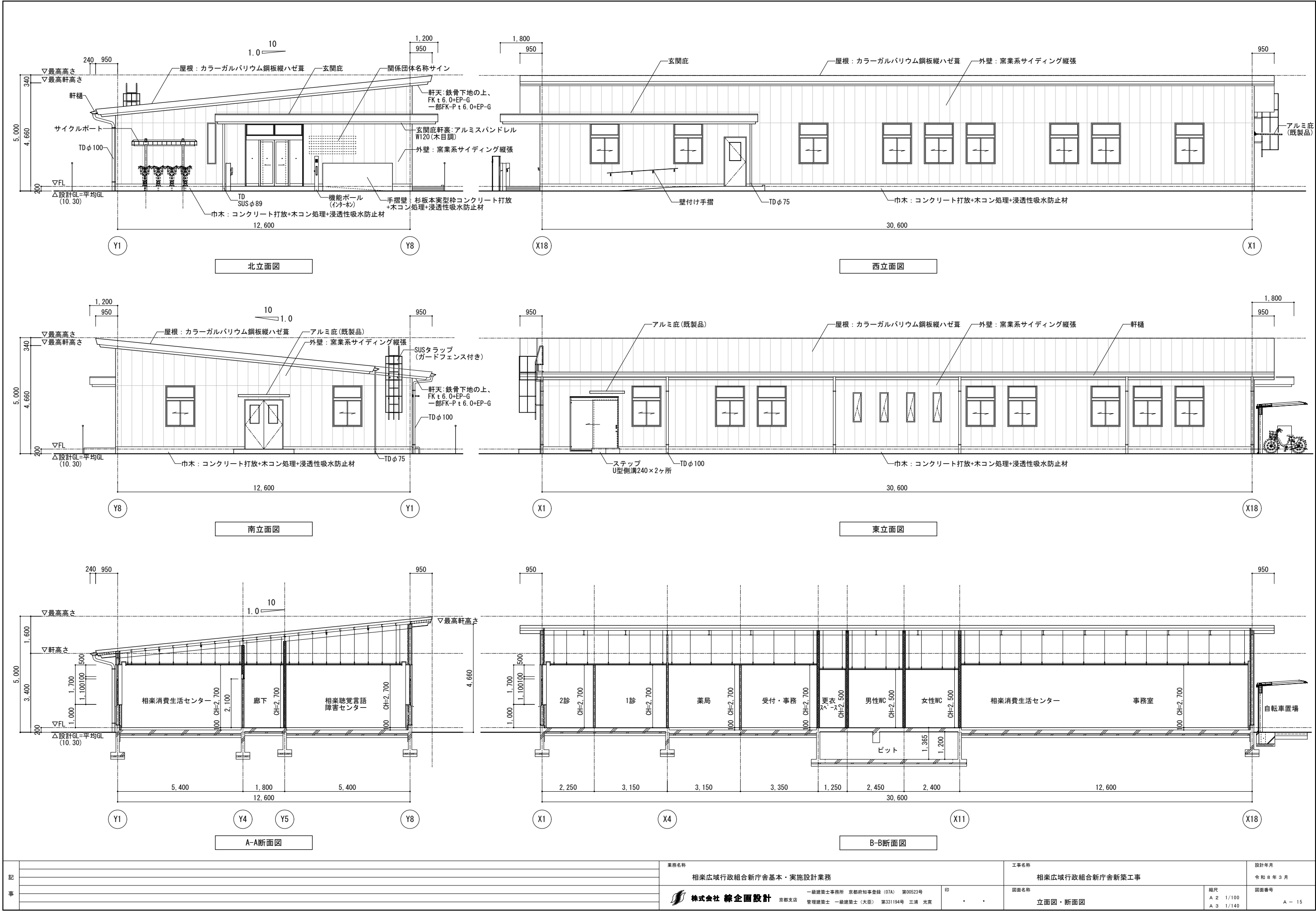


凡例	
	ビット範囲を示す
	FLからの高さを示す
	排水釜場 600×600×H300
	上部点検口 600角+タラップ

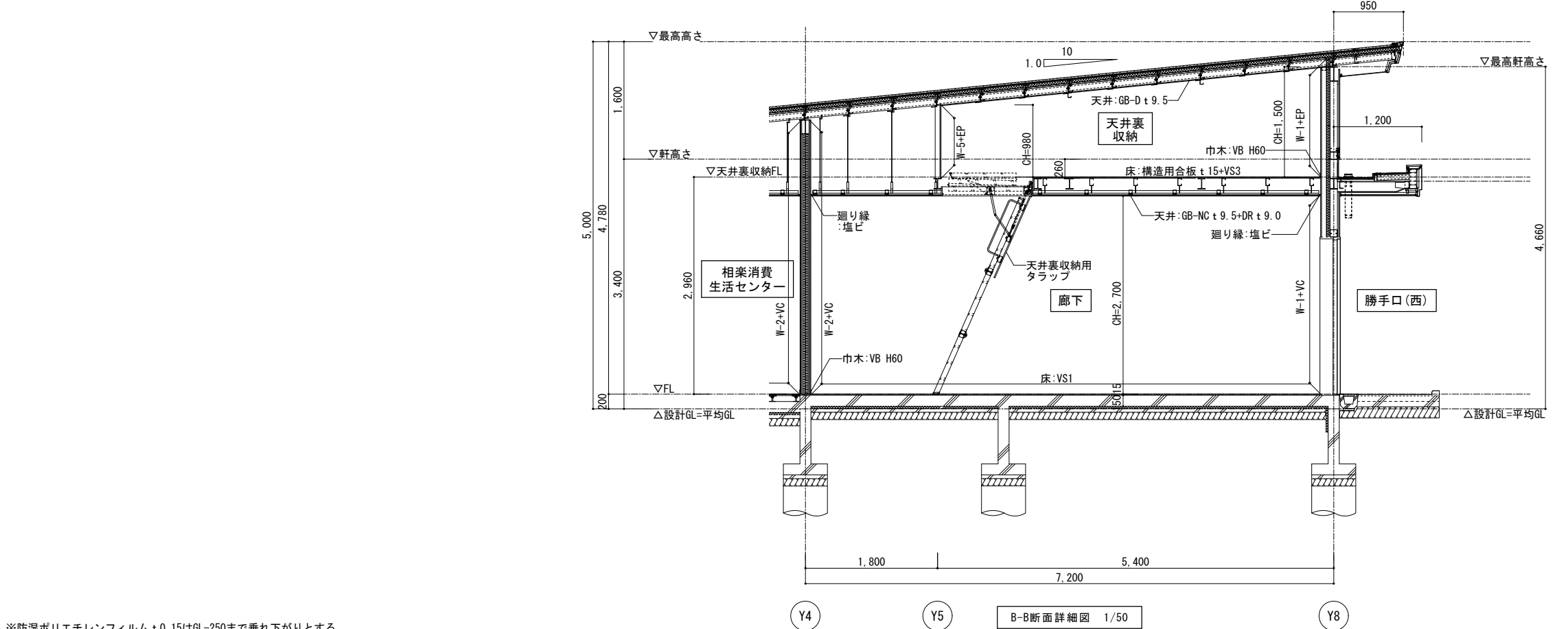
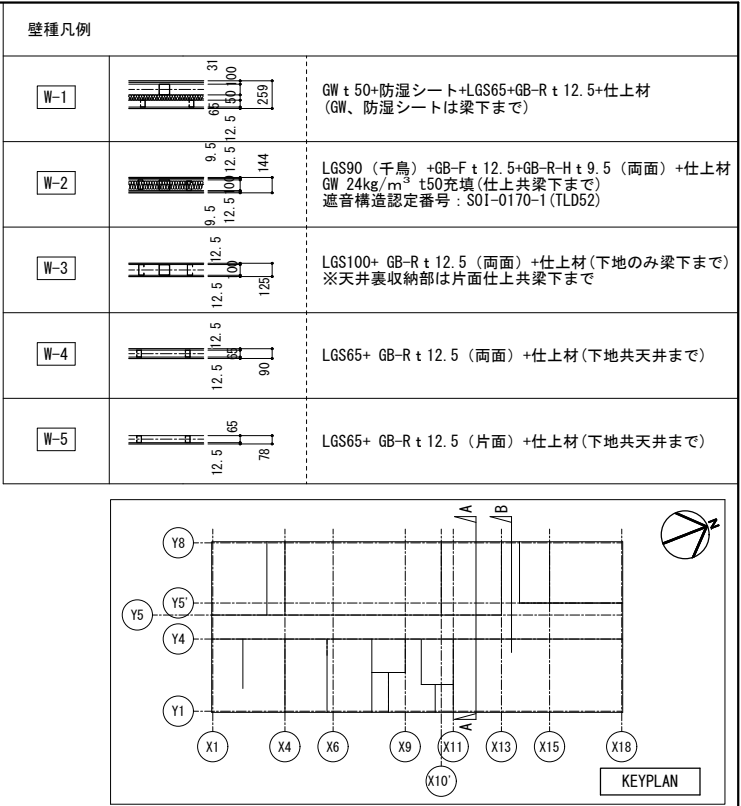
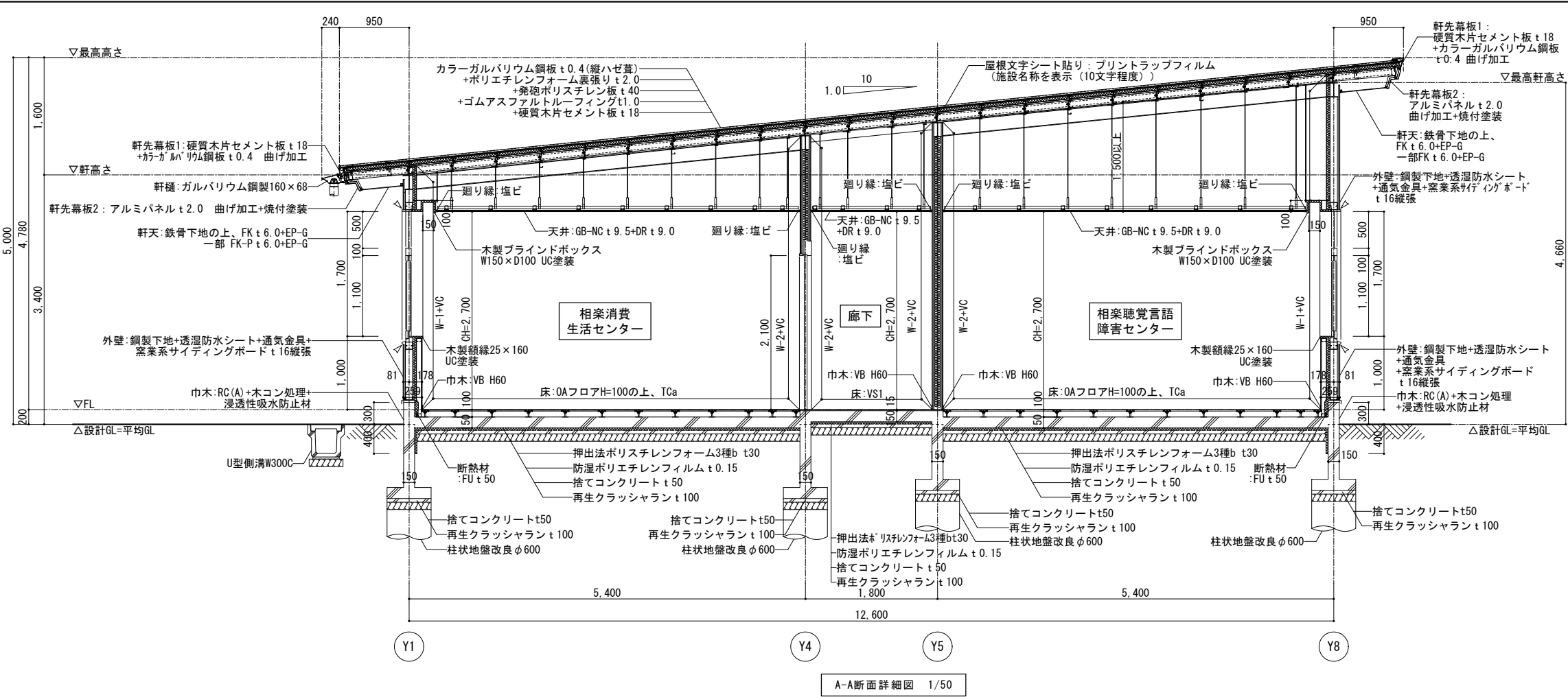
記 事		業務名称		工事名称		設計年月
		相楽広域行政組合新庁舎基本・実施設計業務		相楽広域行政組合新庁舎新築工事		令和8年3月
			一級建築士事務所 京都府知事登録(07A) 第00523号	印	図面名称	図面番号
			京都支店 管理建築士 一級建築士(大臣) 第331194号 三浦 光寛	・	ビット図	A 2 1/100 A 3 1/140 A - 12





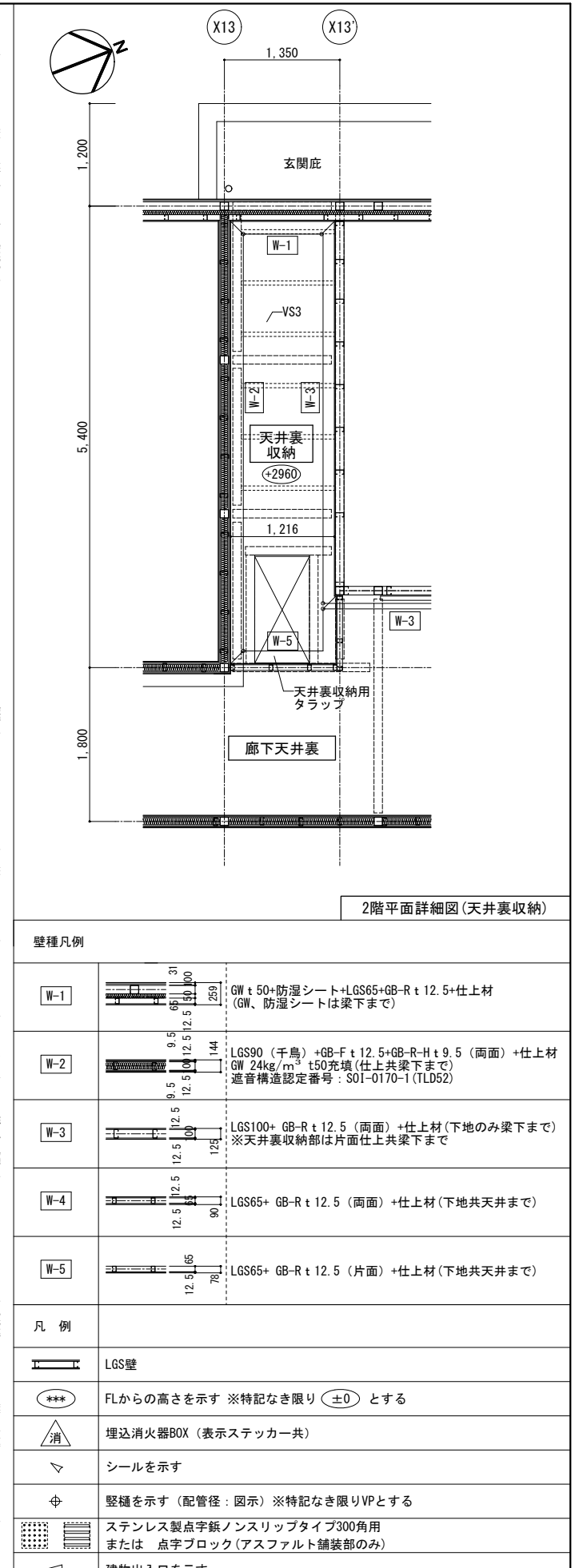
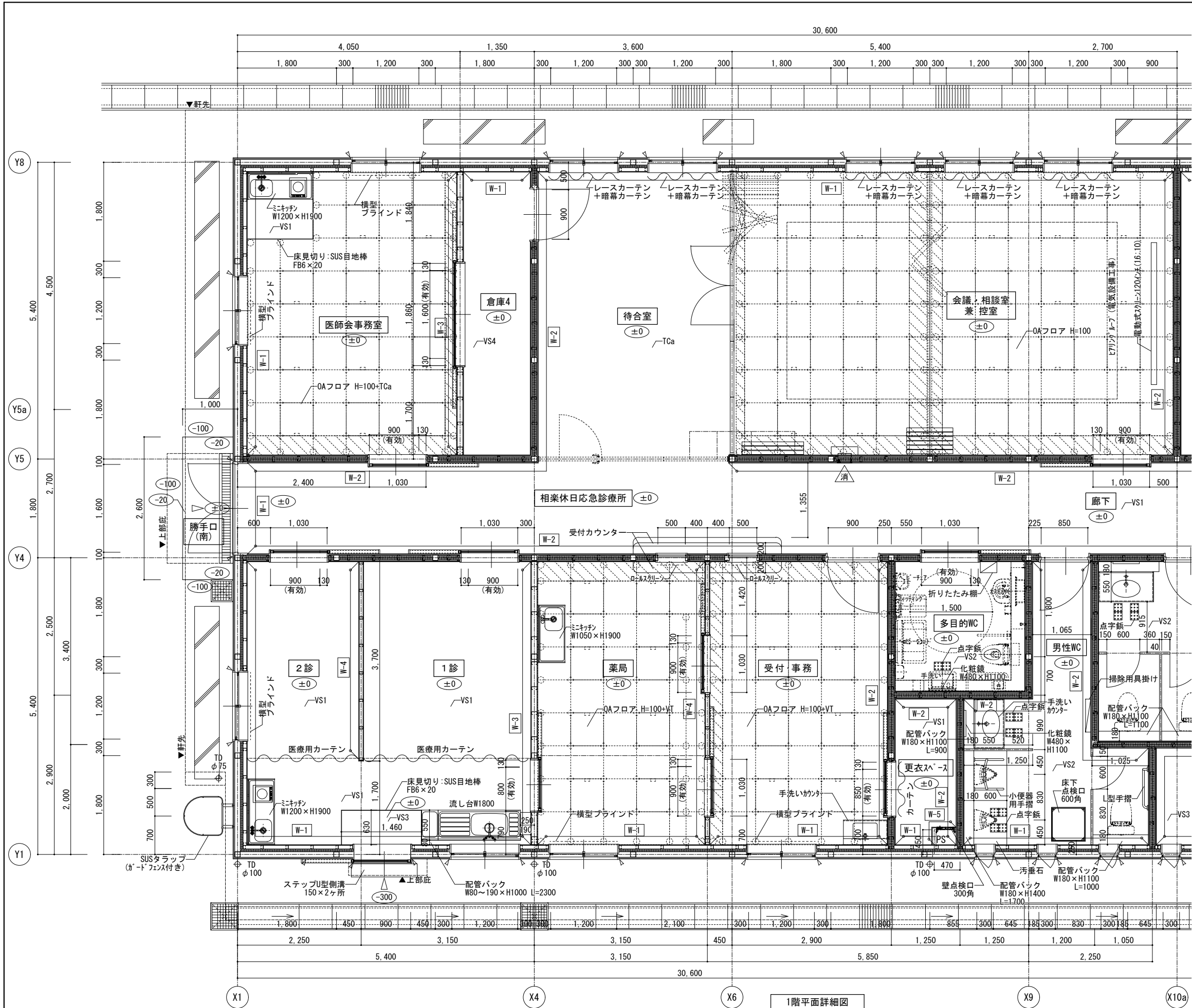


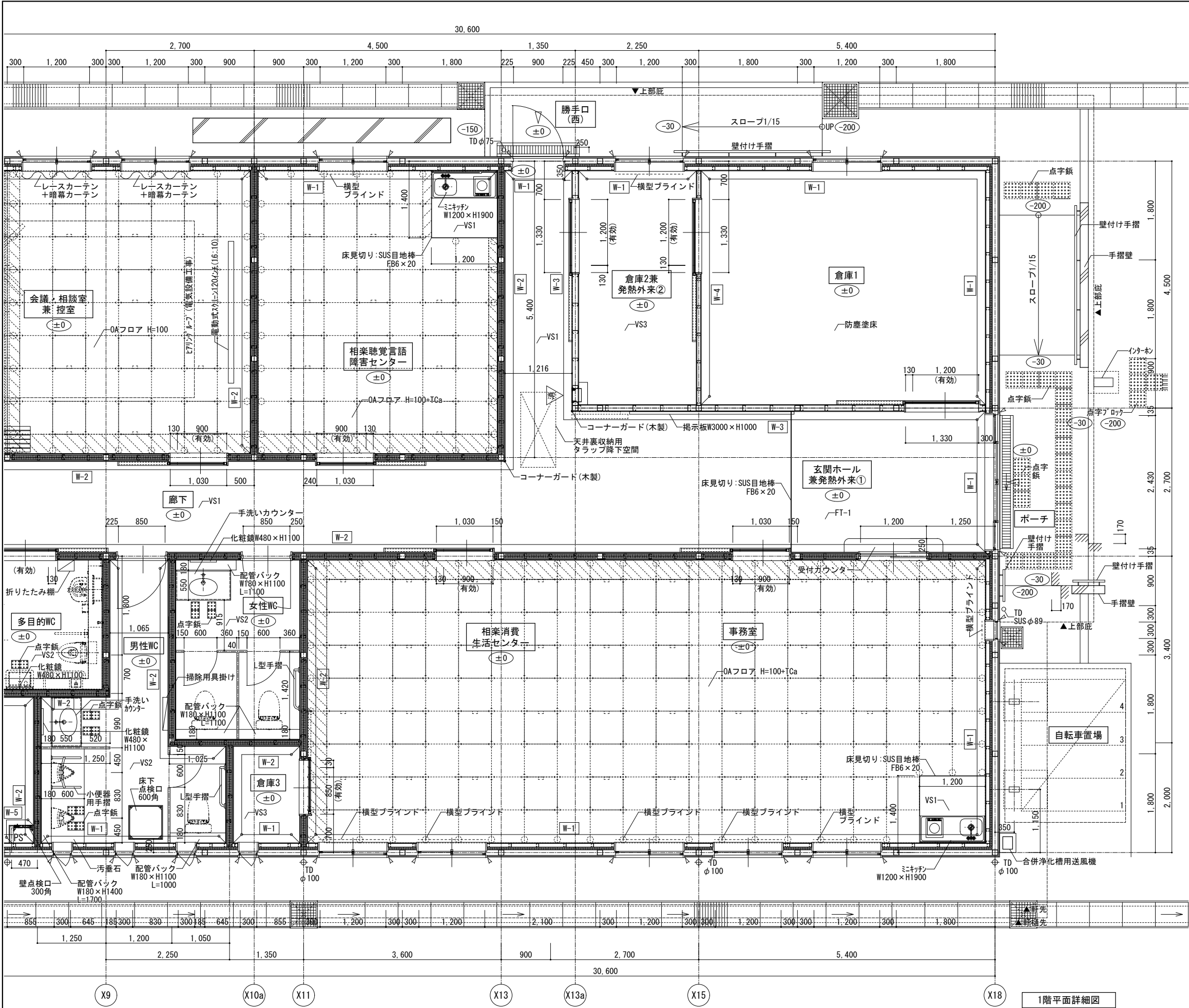
記 事					業務名称				工事名称				設計年月			
					相楽広域行政組合新庁舎基本・実施設計業務				相楽広域行政組合新庁舎新築工事				令和 8 年 3 月			
					 株式会社 緑企画設計 京都支店		一級建築士事務所 京都府知事登録 (07A) 第00523号 管理建築士 一級建築士 (大臣) 第331194号 三浦 光寛		印 ・ ・		図面名称 立面図・断面図		縮尺 A 2 1/100 A 3 1/140		図面番号 A - 15	



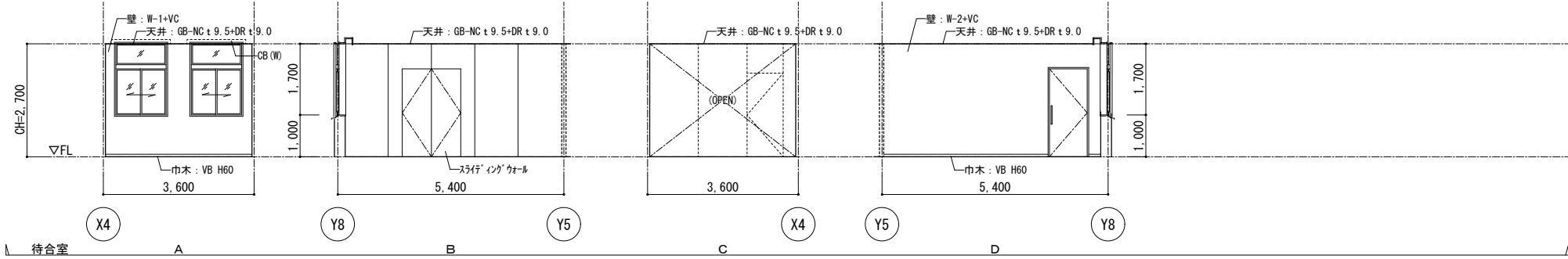
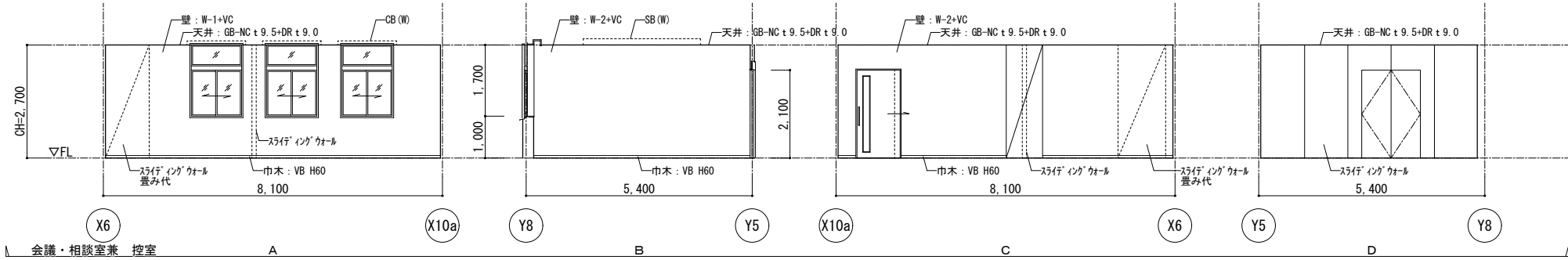
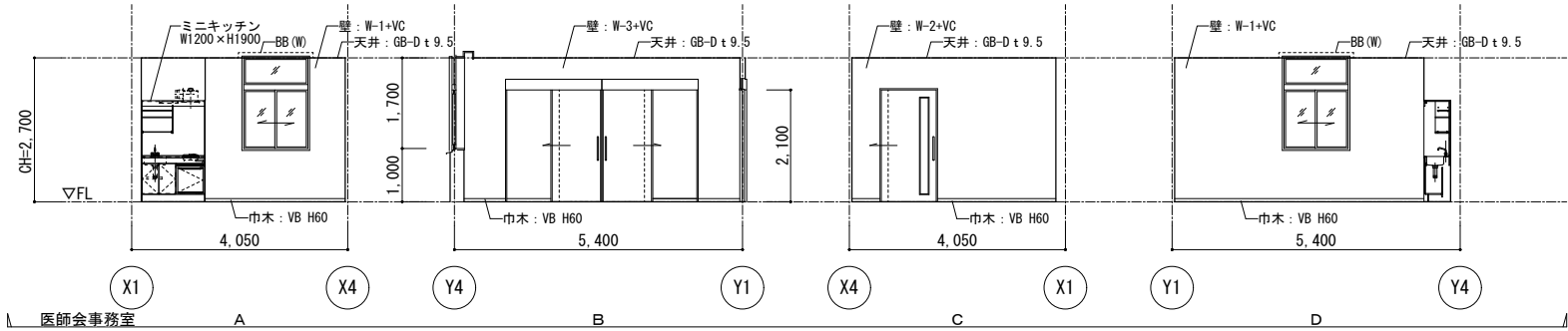
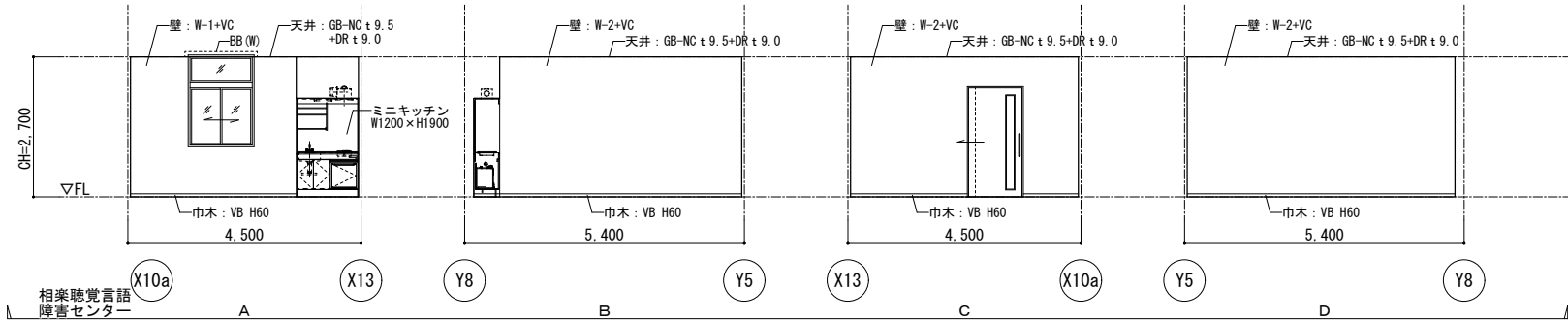
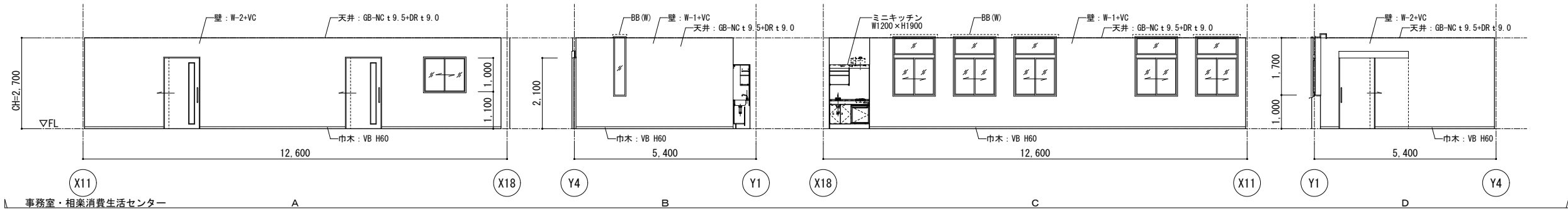
※防湿ポリエチレンフィルム t 0.15はGL-250まで垂れ下がりとする。

記事		業務名称 相楽広域行政組合新庁舎基本・実施設計業務	工事名称 相楽広域行政組合新庁舎新築工事	設計年月 令和8年3月
		一級建築士事務所 京都府知事登録 (07A) 第00523号 株式会社 緯企画設計 京都支店 管理建築士 一級建築士 (大臣) 第331194号 三浦 光寛	図面名称 矩計図 (1)	図面番号 A 2 1/50 A 3 1/70

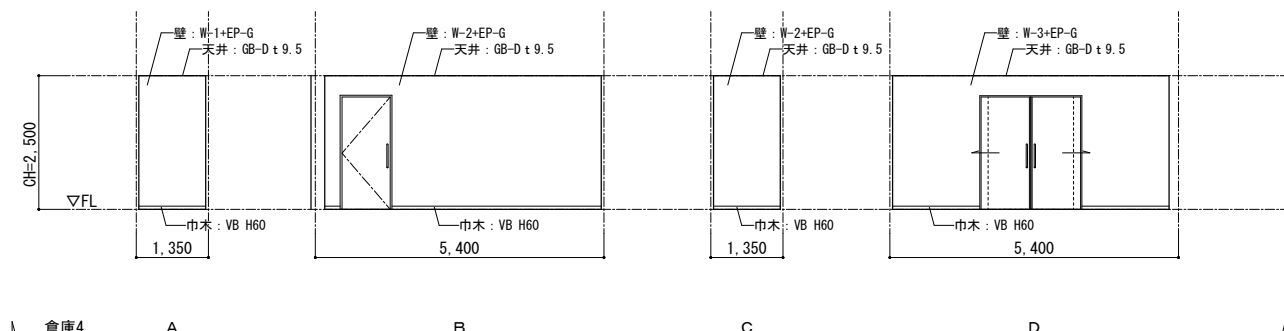
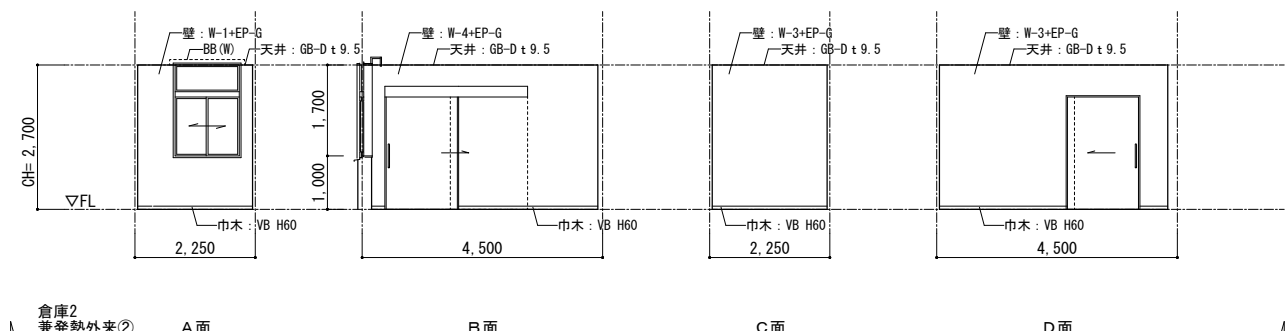
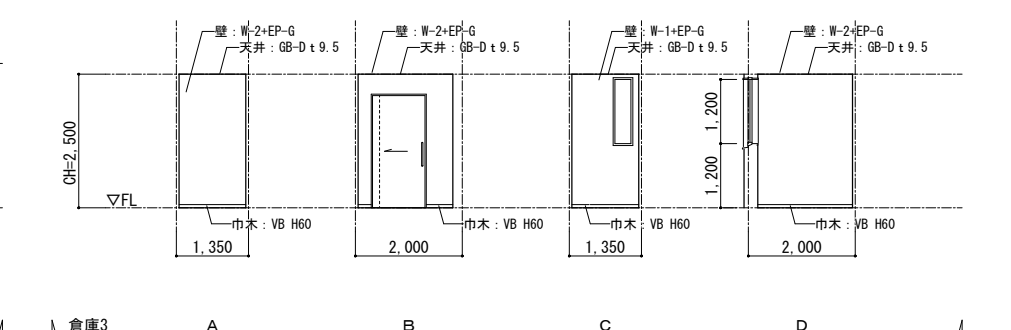
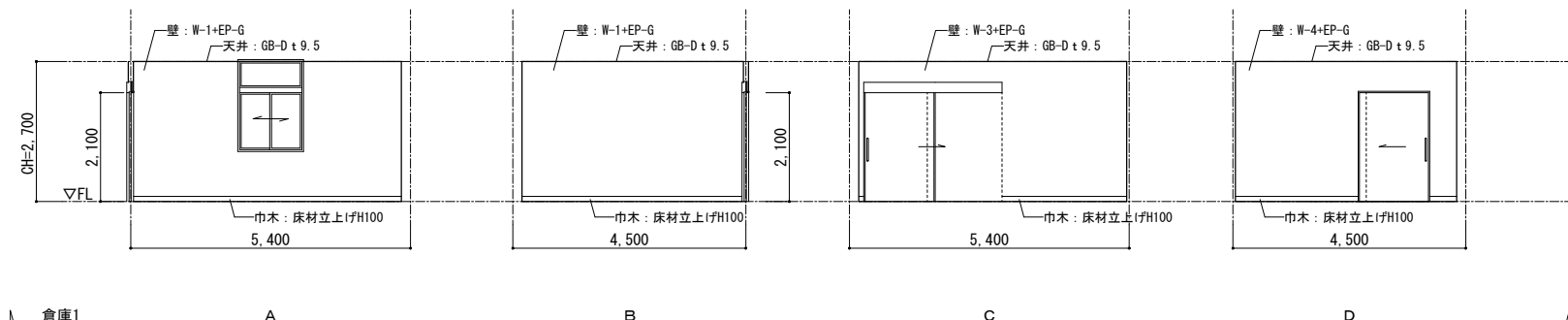
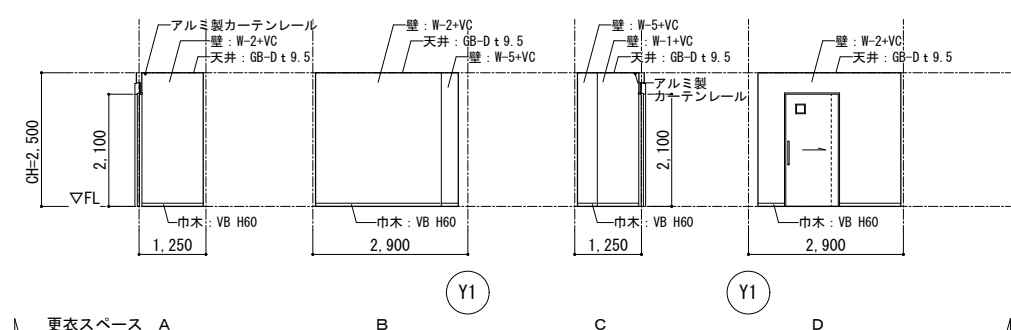
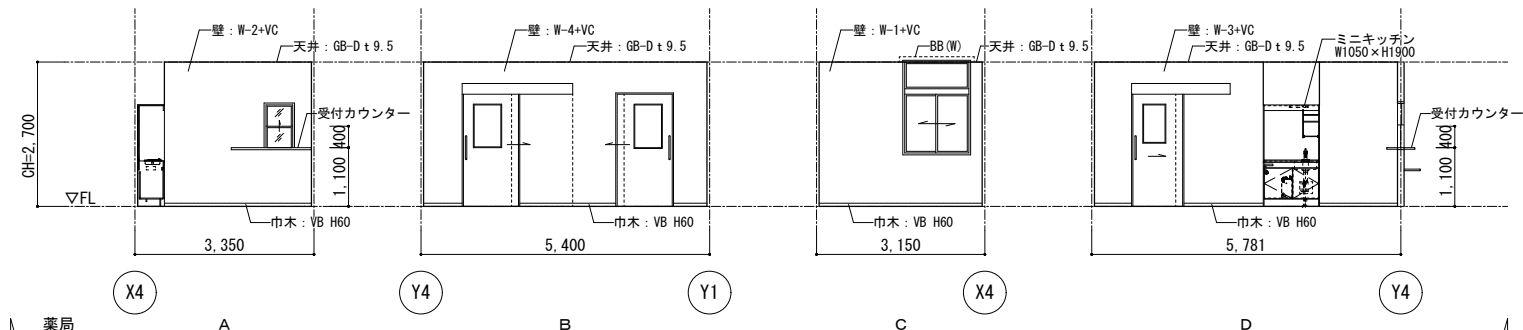
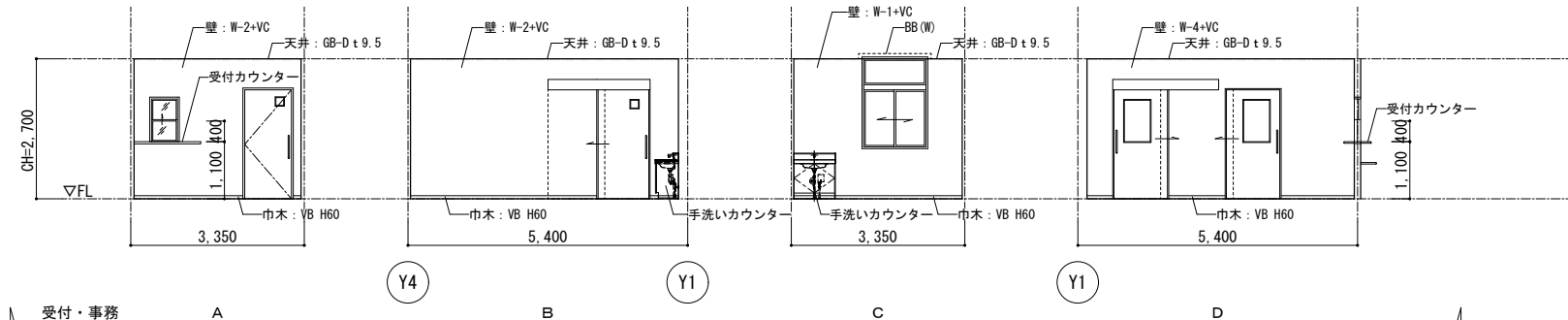
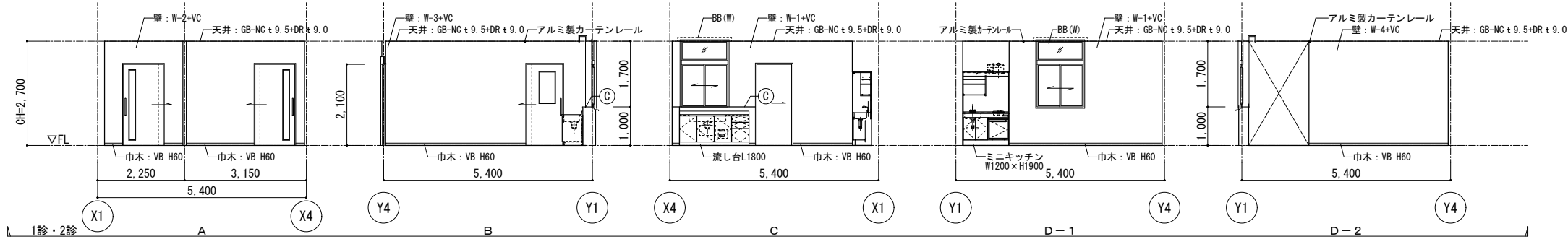




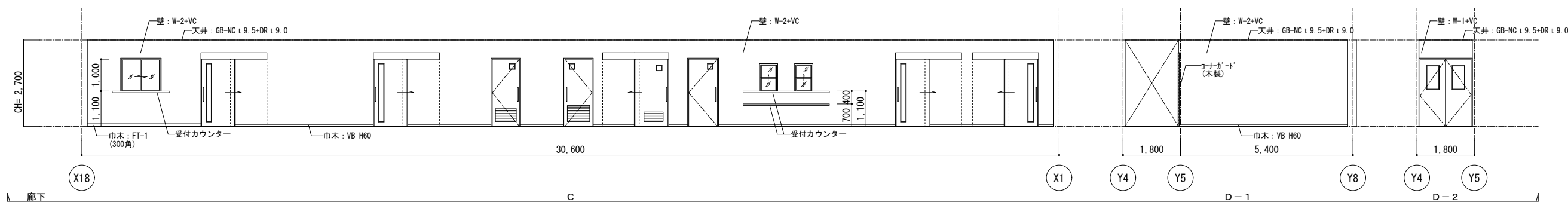
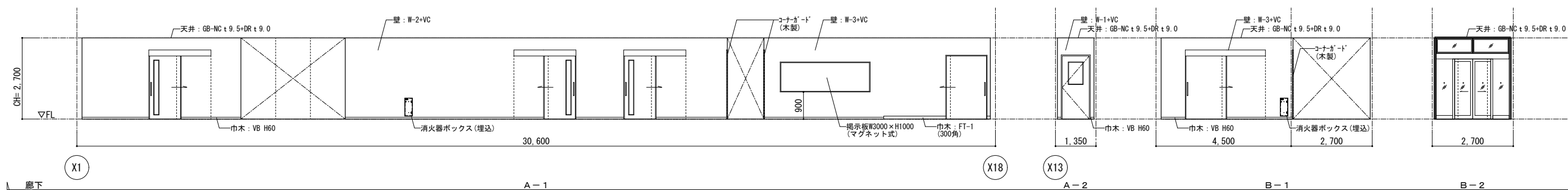
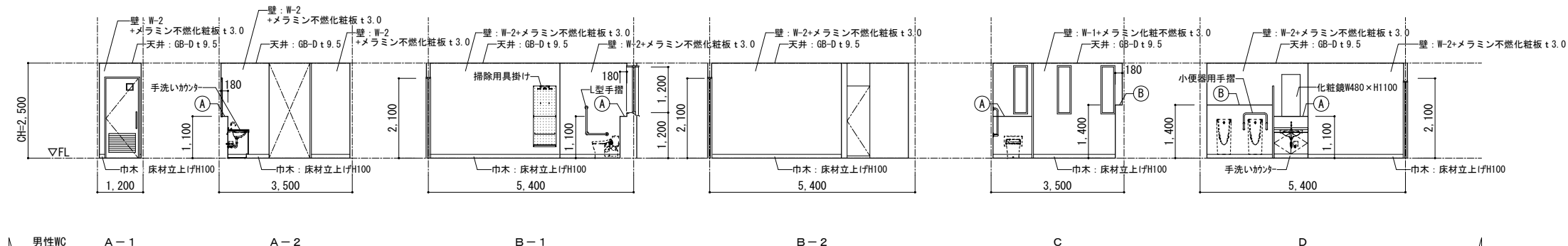
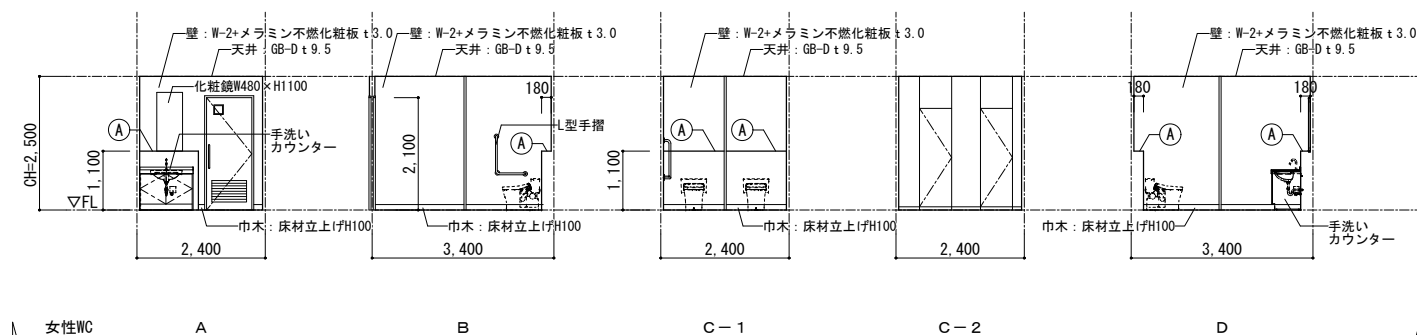
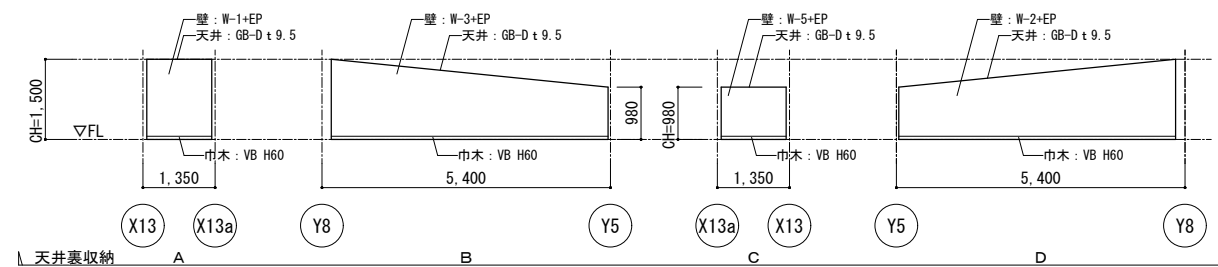
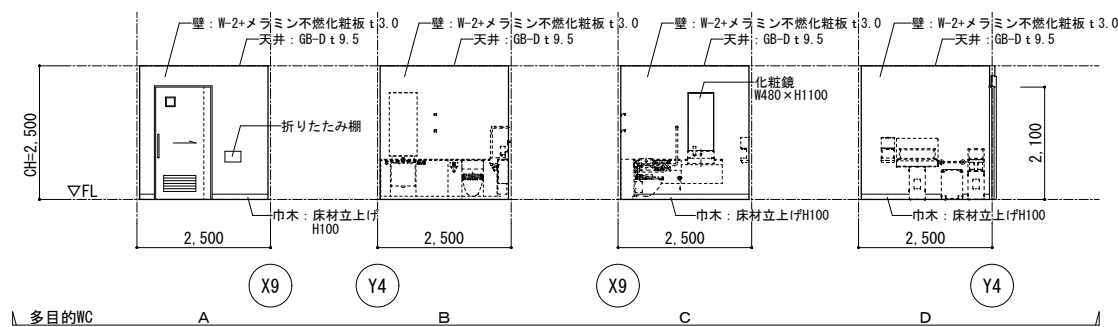
壁種凡例			
W-1			GW t 50+防湿シート+LGS65+GB-R t 12.5+仕上材 (GW、防湿シートは梁下まで)
W-2			LGS90 (千鳥) +GB-R t 12.5+GB-R-H t 9.5 (両面) +仕上材 GW 24kg/m ³ t50充填 (仕上共梁下まで) 遮音構造認定番号: S01-0170-1 (TLD52)
W-3			LGS100+ GB-R t 12.5 (両面) +仕上材 (下地のみ梁下まで) ※天井裏収納部は片面仕上共梁下まで
W-4			LGS65+ GB-R t 12.5 (両面) +仕上材 (下地共天井まで)
W-5			LGS65+ GB-R t 12.5 (片面) +仕上材 (下地共天井まで)
凡 例			
	LGS壁		
	FLからの高さを示す ※特記なき限り (±0) とする		
	埋込消火器BOX (表示ステッカー共)		
	シールを示す		
	縦縫を示す (配管径: 図示) ※特記なき限りVPとする		
	ステンレス製点字紙ノンスリップタイプ300角用 または 点字ブロック (アスファルト舗装部のみ)		
	建物出入口を示す		



凡 例 略 記 表	
W-1	GW t 50+防湿シート+LGS65+GB-R t 12.5+仕上材 (GW、防湿シートは梁下まで)
W-2	LGS90 (千鳥) +GB-F t 12.5+GB-R-H t 9.5 (両面) +仕上材 GW 24kg/m ³ t50充填 (仕上共梁下まで) 遮音構造認定番号: S01-0170-1 (TLD52)
W-3	LGS100+ GB-R t 12.5 (両面) +仕上材 (下地のみ梁下まで) ※天井裏収納部は片面仕上共梁下まで
W-4	LGS65+ GB-R t 12.5 (両面) +仕上材 (下地共天井まで)
W-5	LGS65+ GB-R t 12.5 (片面) +仕上材 (下地共天井まで)
CB (W)	木製カーテンボックス W200×D150
BB (W)	木製ブラインドボックス W150×D100
SB (W)	木製スクリーンボックス W200×H150 L=3100
(A)	ライニング D180×H1100 (面台: ポストフォーム)
(B)	ライニング D180×H1400 (面台: ポストフォーム)
(C)	ライニング D80~190×H1000 (面台: ポストフォーム)



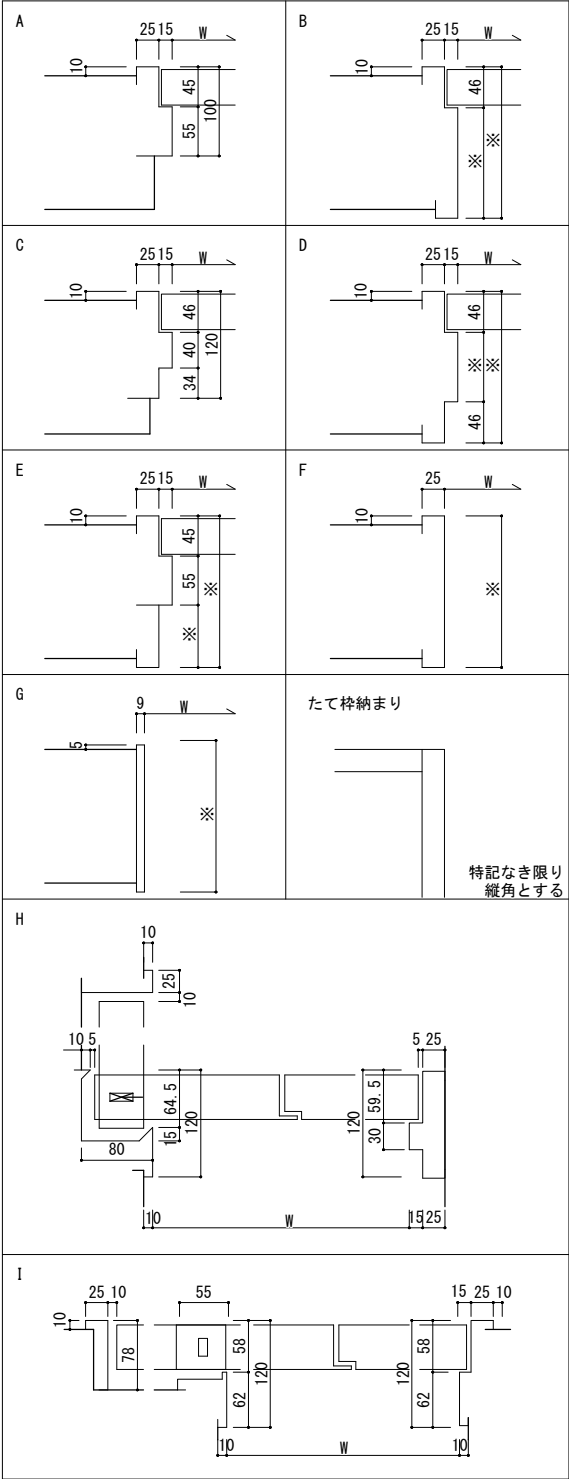
凡 例 略 記 表	
W-1	GW t 50+防湿シート+LGS65+GB-R t 12.5+仕上材 (GW、防湿シートは梁下まで)
W-2	LGS90 (千鳥) +GB-F t 12.5+GB-R-H t 9.5 (両面) +仕上材 GW 24kg/m ³ t50充填 (仕上共梁下まで) 遮音構造認定番号: S01-0170-1 (TLD52)
W-3	LGS100+ GB-R t 12.5 (両面) +仕上材 (下地のみ梁下まで) ※天井裏収納部は片面仕上共梁下まで
W-4	LGS65+ GB-R t 12.5 (両面) +仕上材 (下地共天井まで)
W-5	LGS65+ GB-R t 12.5 (片面) +仕上材 (下地共天井まで)
GB (W)	木製カーテンボックス W200×D150
BB (W)	木製ブラインドボックス W150×D100
SB (W)	木製スクリーンボックス W200×H150 L=3100
(A)	ライニング D180×H1100 (面台: ポストフォーム)
(B)	ライニング D180×H1400 (面台: ポストフォーム)
(C)	ライニング D80~190×H1000 (面台: ポストフォーム)



凡 例 略 記 表	
W-1	GW t 50+防湿シート+LGS65+GB-R t 12.5+仕上材 (GW、防湿シートは梁下まで)
W-2	LGS90 (千鳥) +GB-F t 12.5+GB-R-H t 9.5 (両面) +仕上材 GW 24kg/m ³ t50充填 (仕上共梁下まで) 遮音構造認定番号: S01-0170-1 (TLD52)
W-3	LGS100+ GB-R t 12.5 (両面) +仕上材 (下地のみ梁下まで) ※天井裏収納部は片面仕上共梁下まで
W-4	LGS65+ GB-R t 12.5 (両面) +仕上材 (下地共天井まで)
W-5	LGS65+ GB-R t 12.5 (片面) +仕上材 (下地共天井まで)
CB (W)	木製カーテンボックス W200×D150
BB (W)	木製ブラインドボックス W150×D100
SB (W)	木製スクリーンボックス W200×H150 L=3100
(A)	ライニング D180×H1100 (面台: ポストフォーム)
(B)	ライニング D180×H1400 (面台: ポストフォーム)
(C)	ライニング D80~190×H1000 (面台: ポストフォーム)

共通仕様	建具種別記号			防火性能記号			附属金物標準仕様		枠形状記号		
・外部建具廻り仕様 現場発泡ウレタント20 充填とする 周囲シーリング材は公共建築工事標準仕様書9章7節による。 ・内部建具枠廻り仕様 コンクリート及びコンクリートブロック壁取付の場合、モルタル充填を行う。 ・建具の強度 外部に面する建具の強度は、建築基準法施行令および告示に定められた風圧力に対し安全であるものとする。 ・外部に面する金属製扉 扉及び枠の下端から300mmまでを下地共SUS304とし、仕上は上部に倣う。 ・フロアヒンジ カバーの上面は、原則として床仕上と同材の化粧仕上とする。 ・建具枠廻りモルタル詰め 無塩砂を使用し、塩化物を含む混和材を使用してはならない。 ・ガラリ 扉付のガラリは原則扉と同材・同仕上げとする。 W1500以上は方立を設ける。 外面部のガラリはステンレス製防鳥網(SUS φ1.5 12×12)を設置する。 ダクト接続は、接続枠付、水返し(SUS t1.0以上)付とし、板ゴムを介して取付ける。枠裏面(室内側)は結露防止材を施す。 外部ガラリは2重ガラリ以上とする。 ・枠廻りアングル 木製額縁、膳板、カーテンボックスを取付ける金属製建具には、枠と同材のアングルを用意する。 ・沓摺の標準設置 特記無い場合にも扉の両側の床仕上が異なる場合は、沓摺形状Aの沓摺を設ける。 ・排煙用開口部 開放用クレセント等建具金物は、床面より1.5m以内の高さに取付ける。 また、高窓等通常操作の開閉が困難な場合は、すべてオペレーターを設置する。 この場合関連するスペースでは、すべて運動の操作ボックスをそれぞれの床面から1.5m以内に取付けるものとする。 ・網戸の形式 引違窓、片引窓 = 可動 欄間排煙窓 = 固定 外開窓 = 内開窓 を標準とする。 その他の場合は特記による。(ex. プリーツ網戸取付の場合等) ・法定標識 代用進入口マーク他は所定の位置に取り付ける。 ・水切り板 アルミ製建具水切り板は国土交通省仕様(H31年版)による。 ・構造スリット部建具 構造スリットが接する建具枠は、別途特記による。 鋼製建具(開き扉形式)は、構造スリットに取合わない位置に設置する。 ・鍵 鍵はリバーシブルシリンダー、ディンプルキーとする。 シリンダー錠はアンチフリクション機構付とする。 鍵は必要により設備関係の鍵類も合せてキーボックスに収納する。 ・その他 框戸ガラス面には衝突防止金物 SUS 鏡面仕上げφ30 を両面に取付けること。 Low-Eガラスは開口部基準の熱貫流率3.49 (W/(㎡・K)) 以下となる性能を有すること。 引き違い窓に関しては指詰め防止対策を行うこと。	SD 鋼製扉 LD 軽量鋼製扉 STD ステンレス製扉 AD アルミ製扉 WD 木製扉 TD 強化ガラス扉 AWD アルミ・木複合建具	SF 鋼製枠 STF ステンレス製枠 AF アルミ製枠	ACW アルミ製カーテンウォール	防 防火設備 (法2条9号の2口) 準 防火設備 (準遮炎性能) 特 特定防火設備 (令112条1項)	常 常時閉鎖式 随 随時閉鎖式	熱 熱感知器連動 煙 煙感知器連動	・丁番 : ステンレスHL ・ピボットヒンジ : 鉄製型鍛造又は亜鉛ダイキャスト (見え掛かり部はステンレスカバー) ・フロアヒンジ : フェーズプレートは隠蔽型、内外とも90度ストップ付き ディレイドアクション、ラッチングアクション、バックチェック、閉扉速度調整装置付 ・オートヒンジ : 焼付塗装(指定色) ・ドアクローザー : アルミダイキャスト 焼付塗装(扉同色) ディレイドアクション、ラッチングアクション、バックチェック、閉扉速度調整装置付 ・ドアクローザー(コンシールド形) : スプリング油圧式、2段変速調整装置付、ストップ付(戸当り併用) ・錠前 : シリンダー錠、バックセット64mm以上、マスターキー装置付 ・握玉 : ステンレスHL、バックセット100mm、丸座φ100 ・レバーハンドル : 座板共ステンレスHL ・グレモンハンドル : ステンレスHL ・フランス落し : ステンレスHL ・戸当り : (外部) ステンレスHL ゴム付 (内部) 亜鉛ダイキャスト ゴム付	A B C D E F G H			
	SW 鋼製窓 STW ステンレス製窓 AW アルミ製窓 WW 木製窓	SLP 鋼製ローパーティション SMP 鋼製移動間仕切り TB トイレブース		附属金物(開閉金物) 記号		DC ドアクローザー DC(S) ドアクローザー(ストッパー付き) DC(F) ドアクローザー(ヒューズ付き) DC(C) ドアクローザー(コンシールド型) FB フランス落し AS アームストッパー DS 戸当り	附属金物(支持金物) 記号				
	SG 鋼製ガラリ STG ステンレス製ガラリ AG アルミ製ガラリ WG 木製ガラリ	F ふすま P 障子		附属金物(操作金物) 記号		KN 握り玉 LH レバーハンドル HP 押棒・押板・引手 CH ケースハンドル	FP 影込引手 OP オペレーター(隠蔽型) OP(露) オペレーター(露出型) GH グレモンハンドル CR クレセント		沓摺形状記号		
	SS 鋼製重量シャッター LSS 鋼製軽量シャッター RSS グリルシャッター STS ステンレス製重量シャッター ShS シートシャッター	GD ガラスドア GP ガラスパーティション GS ガラススクリーン		附属金物(施錠金物) 記号		A ケースロック B インテグラルロック C モノロック D 引戸錠 E グレモン錠	F 本締錠 G 電気錠 H 点検口錠 I 分電盤錠 J 表示錠		ドアガラリ形状記号		
	ガラス記号			附属金物(施錠機構) 記号		・シリンダー錠は原則として片面シリンダー、片面サムターンとする。					
	FL フロート板ガラス FLG すりガラス FG 型板ガラス PWG 網入磨き板ガラス PWLG 線入磨き板ガラス FWG 網入型板ガラス FWLG 線入型板ガラス HAG 熱線吸収板ガラス HAPWG 熱線吸収網入磨き板ガラス HAPWLG 熱線吸収線入磨き板ガラス AWG 熱線吸収網入磨き板ガラス(防火設備) AWL 熱線吸収線入磨き板ガラス(防火設備) SRG 熱線反射硝子 HASRG 熱線吸収熱線反射ガラス HSG 倍強度ガラス	TG 強化ガラス FTG 型板強化ガラス LG 合わせガラス SIG 複層硝子 L-ESIG Low-Eガラス HR 高性能熱線反射板ガラス DSHA 倍強度熱線吸収ガラス FK 耐熱ガラス(特定防火設備) GB ガラスブロック	両面シリンダー 片面シリンダー 片面サムターン 片面シリンダー 片面空錠 片面サムターン 片面空錠								
	材質記号			附属金物標準取付リスト							
	S 鋼(スチール) SUS ステンレス	AL アルミ W 木									
	性能記号										
	AT 気密性サッシ・ドアセット SAT 簡易気密性ドアセット PAT 防音型ドアセット	T- 防音型サッシ H- 断熱型サッシ・ドアセット D- 耐震ドアセット									
耐風圧性											
等級	S-1	S-2	S-3	S-4	S-5	S-6	S-7				
最大加圧圧力(Pa)	800	1200	1600	2000	2400	2800	3600				
気密性											
等級	A-1	A-2	A-3		A-4						
気密等級線	120等級線	30等級線	8等級線		2等級線						
水密性											
等級	W-1	W-2	W-3	W-4	W-5						
圧力差(Pa)	100	150	250	350	500						
遮音性 建具表による											
等級	T-1	T-2	T-3	T-4							
遮音性(dB)	25	30	35	40							
断熱性											
等級	H-1	H-2	H-3	H-4	H-5						
熱貫流抵抗値(㎡・k/w)	0.215	0.246	0.287	0.344	0.430						
面内変形追従性											
等級	D-1	D-2		D-3							
面内変形角(rad)	$\frac{1}{300}$	$\frac{1}{150}$		$\frac{1}{120}$							

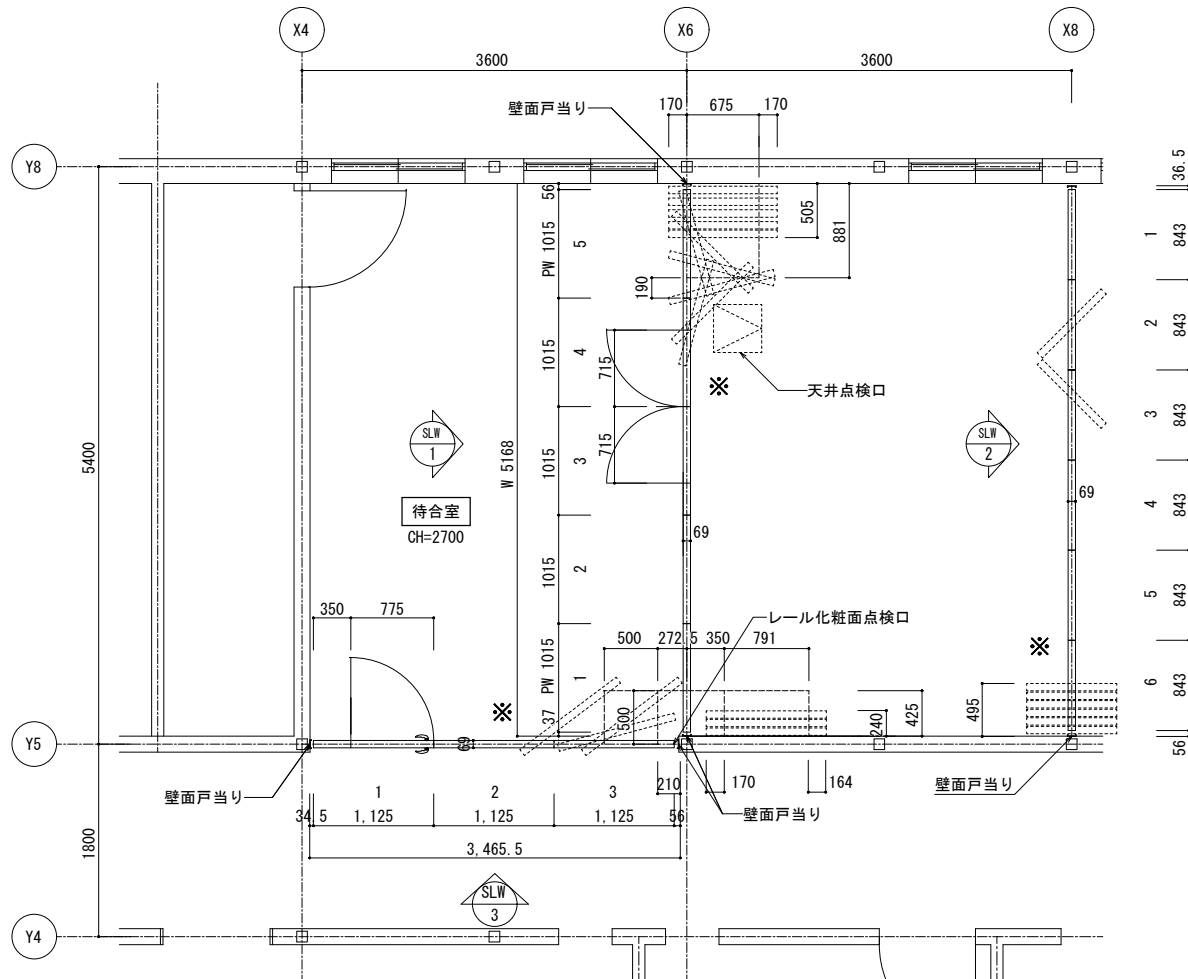
記 事		業務名称			工事名称			設計年月	
		相楽広域行政組合新庁舎基本・実施設計業務			相楽広域行政組合新庁舎新築工事			令和8年3月	
		株式会社 練企画設計	京都支店		一級建築士事務所 京都府知事登録 (07A) 第00523号	印	図面名称		図面番号
					管理建築士 一級建築士 (大臣) 第331194号 三浦 光寛	・	建具表特記事項		A - 23
							縮尺		
							A 2 -		
							A 3 -		



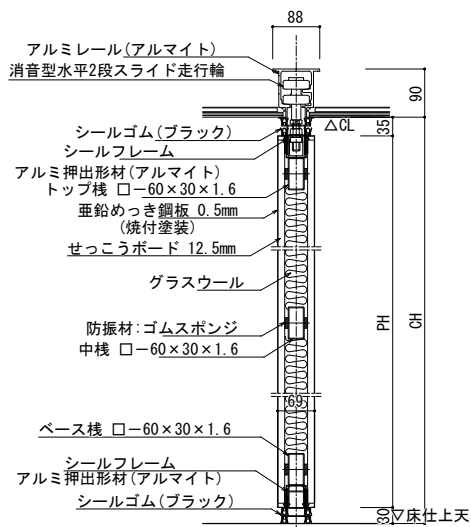
枠見込寸法記号	チリ寸法標準
D1	110mm以下
D2	111mm～150mm
D3	151mm～200mm
D4	201mm～250mm
D5	251mm～300mm
D6	301mm～350mm
D7	351mm～400mm
D8	401mm以上

建具符号		型 式		AW 1A	アルミ製引違い窓+上部FIX窓			AW 1B	アルミ製引違い窓+上部FIX窓			AW 1C	アルミ製FIX窓			AW 3	アルミ製FIX窓			AW 4	アルミ製整にり出し窓															
箇 所 数		取付箇所		13	事務室、相楽消費生活センター、医師会事務室、待合室、会議・相談室兼控室、相楽聴覚言語障害センター			2	1診・2診			4	受付・事務、薬局、倉庫2兼発熱外来②、倉庫1			1	事務室			4	倉庫3、男性WC															
防火性能				－					－					－					－																	
寸 法 図																																				
				1,200					1,200					1,200					300					300												
建具材質	建具見込	建具仕上	AL		メーカー仕様		B-2	AL	メーカー仕様		B-2	AL	メーカー仕様		B-2	AL	メーカー仕様		B-2	AL	メーカー仕様		B-2													
枠材質	枠見込	枠仕上	W		25×160		UC	W	25×160		UC	W	25×160		UC	W	25×160		UC	W	25×160		UC													
沓摺形状		沓摺仕上		－		－		－		－		－		－		－		－		－		－														
支持金物等		付属金物一式、アルミ水切り					付属金物一式、アルミ水切り					付属金物一式、アルミ水切り					付属金物一式、アルミ水切り					付属金物一式														
ガラス種類	ガラス厚さ	SIG		FL6+A6+FL6		SIG		FL6+A6+FL6		SIG		FG4+A6+FL6		SIG		FL6+A6+FL6		SIG		FG4+A6+FL6		SIG														
錠前種類	施錠機構	CR		－		CR		上段:FL6+A6+FL6 下段:FG4+A6+FL6		CR		－		CR		－		GH		－		GH														
ガラリ形状	ガラリ寸法	－		－		－		－		－		－		－		－		－		－		－														
ガラリ材質	ガラリ仕上	－		－		－		－		－		－		－		－		－		－		－														
備考		網戸					網戸					網戸					網戸					網戸														
建具符号	型 式		AD 1	アルミ製引き分け自動扉+上部2連FIX窓					LSD 1A	軽量鋼製片引き戸					LSD 1B	軽量鋼製片引き戸					LSD 2	軽量鋼製片引き戸					LSD 3	軽量鋼製片引き戸								
箇 所 数	取付箇所		1	玄関ホール兼発熱外来①					5	事務室、相楽消費生活センター、1診・2診、相楽聴覚言語障害センター					2	医師会事務室、会議・相談室兼控室					2	薬局					1	多目的WC								
防火性能				－					－					－					－					－												
寸 法 図																																				
				70, 543, 1,200, 543, 2,425					130, 900					130, 900					130, 900					130, 900												
建具材質	建具見込	建具仕上	AL		メーカー仕様		B-2	S t 0.6	メーカー仕様		A-BE	S t 0.6	メーカー仕様		A-BE	S t 0.6	メーカー仕様		A-BE	S t 0.6	メーカー仕様		A-BE													
枠材質	枠見込	枠仕上	S		25×130		SOP	S t 0.6	165		A-BE	S t 0.6	165		A-BE	S t 0.6	145		A-BE	S t 0.6	165		A-BE													
沓摺形状		沓摺仕上		－		SUS		A		SUS		A		SUS		A		SUS		A		SUS														
支持金物等		オート7装置（電波スイッチ）、光学補助センサー、ガイドレール、付属金物一式					付属金物一式、HP、DS、HR					付属金物一式、HP、DS、HR					付属金物一式、HP、DS、HR					付属金物一式、HP、DS、HR														
ガラス種類	ガラス厚さ	SIG		TG5+A6+FL6		FG		4		FG		4		FG		4		FG		4		FG														
錠前種類	施錠機構	F				G				D				D				J				II 型														
ガラリ形状	ガラリ寸法	－		－		－		－		－		－		－		－		－		－		600×300														
ガラリ材質	ガラリ仕上	－		－		－		－		－		－		－		－		－		－		A-BE														
備考		衝突防止マークSUSφ30					遮音等級T-1					遮音等級T-1					遮音等級T-1					遮音等級T-1														
建具符号	型 式		LSD 4	軽量鋼製片引き戸					LSD 5	軽量鋼製片引き戸					LSD 6	軽量鋼製片引き戸					LSD 7	軽量鋼製片引き戸					LSD 8A	軽量鋼製片開き戸								
箇 所 数	取付箇所		1	倉庫3					1	更衣スペース					3	倉庫1、倉庫兼発熱外来②					1	薬局					1	女性WC								
防火性能				－					－					－					－					－												
寸 法 図																																				
				130, 850					130, 850					130, 1,200					130, 800					850												
建具材質	建具見込	建具仕上	S t 0.6		メーカー仕様		A-BE	S t 0.6	メーカー仕様		A-BE	S t 0.6	メーカー仕様		A-BE	S t 0.6	メーカー仕様		A-BE	S t 0.6	メーカー仕様		A-BE													
枠材質	枠見込	枠仕上	S t 0.6		165		A-BE	S t 0.6	165		A-BE	S t 0.6	145		A-BE	S t 0.6	145		A-BE	S t 0.6	165		A-BE													
沓摺形状		沓摺仕上		A		SUS		A		SUS		A		SUS		A		SUS		A		SUS														
支持金物等		付属金物一式、HP、DS、HR					付属金物一式、HP、DS、HR					付属金物一式、HP、DS、HR					付属金物一式、HP、DS、HR					付属金物一式、H、LH、DS、DC、FH														
ガラス種類	ガラス厚さ	－		－		FG		4		－		FG		4		FG		4		FG		4														
錠前種類	施錠機構	D				J				D				D				F																		
ガラリ形状	ガラリ寸法	－		－		－		－		－		－		－		－		II 型		650×400		－														
ガラリ材質	ガラリ仕上	－		－		－		－		－		－		－		－		S		A-BE		－														
備考																																				
記 事	業務名称																					工事名称							設計年月							
	相楽広域行政組合新庁舎基本・実施設計業務																					相楽広域行政組合新庁舎新築工事							令和8年3月							
	株式会社 緯企画設計 京都支店 一級建築士事務所 京都府知事登録（07A） 第00523号 管理建築士 一級建築士（大臣） 第331194号 三浦 光寛 印 ・ ・																					図面名称				縮尺	図面番号									
																						建具表（1）							A 2 1/100 A 3 1/140	A - 24						

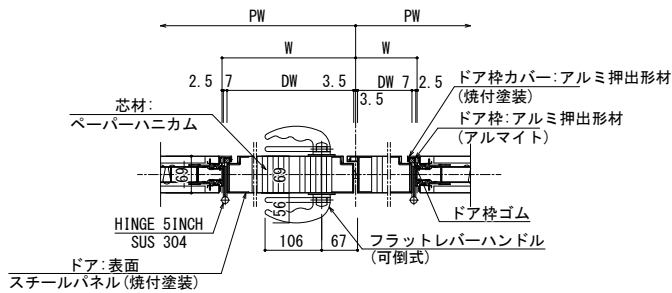
建具符号			型 式			LSD 8B	軽量鋼製片開き戸			LSD 9	軽量鋼製片開き戸			LSD 10	軽量鋼製引き分け戸			LSD 11	軽量鋼製引き分け戸			LSD 12	軽量鋼製片引き戸																																																									
箇 所 数			取付箇所			1	男性WC			1	受付・事務			1	倉庫4			1	倉庫4			1	1診・2診																																																									
防火性能						—						—						—						—																																																								
寸 法 図																																																																																
						▽FL						▽FL						▽FL						▽FL						▽FL																																																		
建具材質			建具見込			建具仕上			S t 0.6			メーカー仕様			A-BE			S t 0.6			メーカー仕様			A-BE			S t 0.6			メーカー仕様			A-BE			S t 0.6			メーカー仕様			高耐候性粉体焼付塗装																																						
枠材質			枠見込			枠仕上			S t 0.6			165			A-BE			S t 0.6			165			A-BE			S t 0.6			145			A-BE			S t 0.6			280			高耐候性粉体焼付塗装																																						
沓摺形状			沓摺仕上			A			SUS			A			SUS			A			SUS			A			SUS			A			SUS			G			SUS																																									
支持金物等			付属金物一式、H、LH、DS、DC、FH			付属金物一式、H、LH、AS、DC、FH			付属金物一式、H、LH、DS、DC、FH			付属金物一式、H、LH、DS、DC、FH			付属金物一式、HP、HR、DS			付属金物一式、HP、HR			付属金物一式、HP、HR			付属金物一式、HP、HR			付属金物一式、HP、HR			付属金物一式、HP、HR			付属金物一式、HP、HR			付属金物一式、HP、HR																																												
ガラス種類			ガラス厚さ			FG			4			FG			4			-			-			-			-			-			-			-			-																																									
錠前種類			施錠機構			F			CK			G			CK			F			CK			F			CK			F			CK			F			CK																																									
ガラリ形状			ガラリ寸法			Ⅱ型			700×500			-			-			-			-			-			-			-			-			-			-																																									
ガラリ材質			ガラリ仕上			S			A-BE			-			-			-			-			-			-			-			-			-			-																																									
備考						遮音等級T-1						遮音等級T-1						遮音等級T-1						遮音等級T-1						遮音等級T-1																																																		
建具符号			型 式			SLW 1	スライディングウォール			SLW 2	スライディングウォール			SLW 3	スライディングウォール			WW 1	木製引違い窓			WW 2	木製上げ下げ窓																																																									
箇 所 数			取付箇所			1	会議・相談室兼控室			1	会議・相談室兼控室			1	待合室			1	事務室			2	薬局、受付・事務																																																									
防火性能						—						—						—						—																																																								
寸 法 図																																																																																
						▽FL						▽FL						▽FL						▽FL						▽FL																																																		
建具材質			建具見込			S			メーカー仕様			A-BE			S			メーカー仕様			A-BE			S			メーカー仕様			A-BE			W			メーカー仕様			CL																																									
枠材質			枠見込			S			-			A-BE			S			-			A-BE			S			-			A-BE			W			36			CL																																									
沓摺形状			沓摺仕上			A			SUS			A			SUS			A			SUS			-			-			-			-			-			-																																									
支持金物等			付属金物一式、LH			付属金物一式、LH			付属金物一式、LH			付属金物一式、LH			付属金物一式、LH			付属金物一式、LH			付属金物一式、LH			付属金物一式			付属金物一式			付属金物一式			付属金物一式			付属金物一式																																												
ガラス種類			ガラス厚さ			-			-			-			-			-			-			-			-			-			-			-			-																																									
錠前種類			施錠機構			F			CK			-			-			-			-			-			-			-			-			-			-																																									
ガラリ形状			ガラリ寸法			-			-			-			-			-			-			-			-			-			-			-			-																																									
ガラリ材質			ガラリ仕上			-			-			-			-			-			-			-			-			-			-			-			-																																									
備考						遮音仕様 (遮音性能: 56.1dB程度/500Hz)						遮音仕様 (遮音性能: 56.1dB程度/500Hz)						遮音仕様 (遮音性能: 56.1dB程度/500Hz)						遮音仕様 (遮音性能: 56.1dB程度/500Hz)						遮音仕様 (遮音性能: 56.1dB程度/500Hz)																																																		
建具符号			型 式			TB 1	トイレブース			TB 2	トイレブース			TB 3	トイレブース			SD 1	鋼製片開き戸			SD 2	鋼製両開き戸																																																									
箇 所 数			取付箇所			1	女性WC			1	男性WC			1	男性WC			1	廊下			1	廊下																																																									
防火性能						—						—						—						—																																																								
寸 法 図																																																																																
						▽FL						▽FL						▽FL						▽FL						▽FL																																																		
建具材質			建具見込			メラミン樹脂化粧板			40			-			メラミン樹脂化粧板			40			-			メラミン樹脂化粧板			40			-			S			40			DP																																									
枠材質			枠見込			AL			-			-			AL			-			-			AL			-			-			S			280			DP																																									
沓摺形状			沓摺仕上			-			-			-			-			-			-			D			SUS			D			SUS			D			SUS																																									
支持金物等			H、SUS巾木、戸当たり、付属金物一式			H、SUS巾木、戸当たり、付属金物一式			H、SUS巾木、戸当たり、付属金物一式			H、SUS巾木、戸当たり、付属金物一式			H、SUS巾木、戸当たり、付属金物一式			H、SUS巾木、戸当たり、付属金物一式			H、SUS巾木、戸当たり、付属金物一式			H、SUS巾木、戸当たり、付属金物一式			H、SUS巾木、戸当たり、付属金物一式			H、SUS巾木、戸当たり、付属金物一式			H、SUS巾木、戸当たり、付属金物一式																																															
ガラス種類			ガラス厚さ			-			-			-			-			-			-			-			-			-			-			-			-																																									
錠前種類			施錠機構			J (非常開錠付)			J (非常開錠付)			J (非常開錠付)			J (非常開錠付)			J (非常開錠付)			J (非常開錠付)			J (非常開錠付)			J (非常開錠付)			J (非常開錠付)			J (非常開錠付)			J (非常開錠付)																																												
ガラリ形状			ガラリ寸法			-			-			-			-			-			-			-			-			-			-			-			-																																									
ガラリ材質			ガラリ仕上			-			-			-			-			-			-			-			-			-			-			-			-																																									
備考						-						-						-						-						-																																																		
記 事	業務名称										相乗広域行政組合新庁舎基本・実施設計業務										工事名称										相乗広域行政組合新庁舎新築工事										設計年月										令和 8 年 3 月																													
	一級建築士事務所 京都府知事登録 (07A) 第00523号										印										図面名称										相乗広域行政組合新庁舎新築工事										図面番号										A - 25																													
	株式会社 緯企画設計 京都支店										管理建築士 一級建築士 (大臣) 第331194号 三浦 光寛										・										・										図面名称										相乗広域行政組合新庁舎新築工事										図面番号										A 2 1/100									
	A 3 1/140										A 3 1/140										A 3 1/140										A 3 1/140										A 3 1/140										A 3 1/140										A 3 1/140																			
	A 3 1/140										A 3 1/140										A 3 1/140										A 3 1/140										A 3 1/140										A 3 1/140										A 3 1/140																			



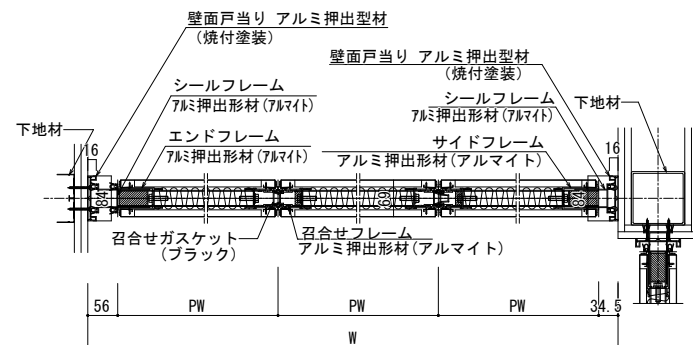
平面図 1/50
※印 操作口化粧プレート取付側



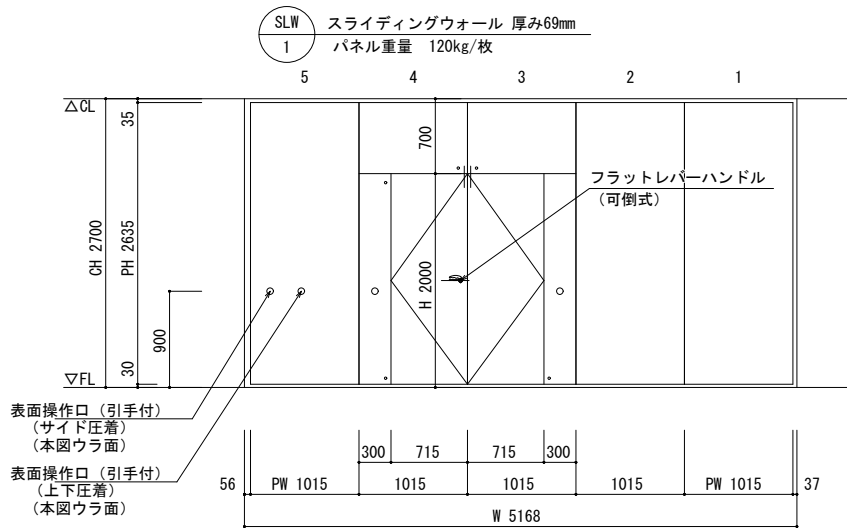
縦断面詳細図 1/10



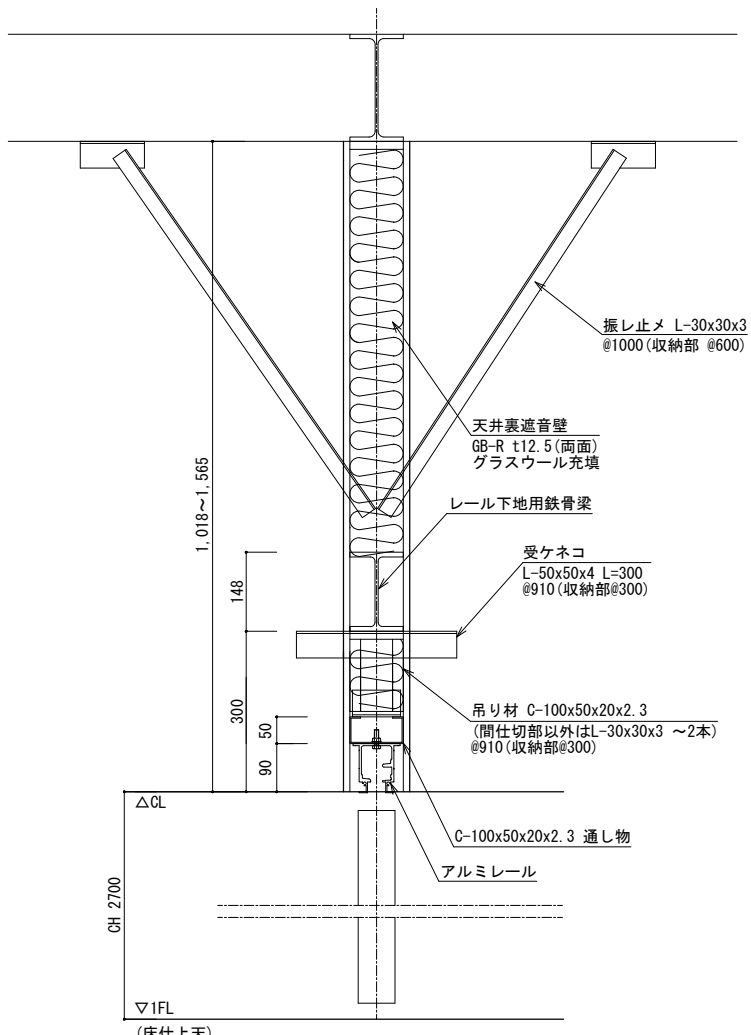
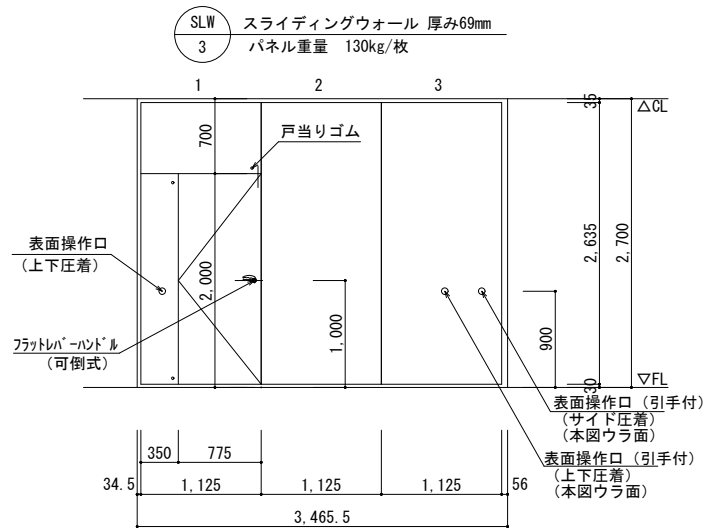
ドア横断面詳細図 1/10



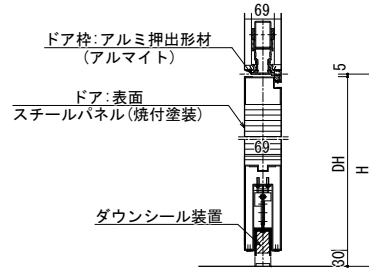
横断面詳細図 1/10



展開図 1/10



レール取付断面図 1/10



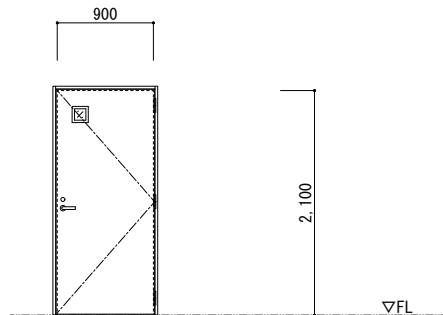
ドア縦断面詳細図 1/10

- 注意
- ・下地用鉄骨梁(鉄骨工事)はレール線上にすべて設置
 - ・下地用鉄骨梁には適宜、振れ止めを取付(鉄骨工事)

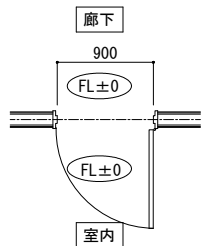
スライディングウォール 厚み69mm(LW-60D)		
レール仕様	レール	アルミ押出型材ハンガーレール(アルマイト処理) コーナ部 直角レール
ランナー仕様	走行輪	水平2段スライド走行輪(ベアリング内蔵)
	吊ボルト	M 14
パネル仕様	表面仕上	
	表面材	垂鉛めっき鋼板 0.5mm (焼付塗装)
		下張り:せっこうボード 12.5mm
	充填材	グラスウール
	骨組	アルミフレーム + 鉄骨造
	フレーム	アルミ押出型材 (アルマイト処理)
	召合せ	固定ゴム嵌合
	壁面シールド	機械駆動式
	上部シールド	機械駆動式
下部シールド	機械駆動式	
パネル分離型構造(廃棄時分別可能)・・・環境対応型		

軽量鋼製建具 仕様表

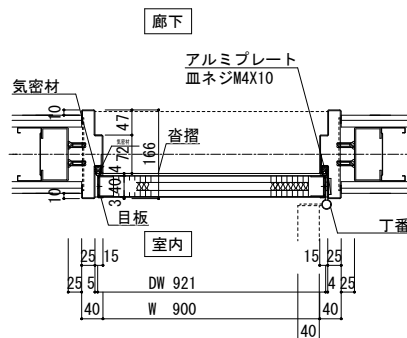
	部 材 名	材質・規格	板厚
枠	ドア枠	亜鉛めっき鋼板 <焼付塗装仕上>	1.6mm
	窓摺	ステンレス	
			1.2mm
扉	パネル表面材	亜鉛めっき鋼板 <焼付塗装仕上>	0.6mm
	芯 材	ペーパーコア	
	目 板	亜鉛めっき鋼板 <焼付塗装仕上>	1.2mm
金物	ロック	美和 L A錠/ゴール L X錠	
	ドアクローザ	ニュースター 7000シリーズ	
	吊り金物	旗丁番 (ステンレス)	
	戸当り	床付け戸当り	
切窓	切 窓	アルミ押出型材 <焼付塗装仕上>	
	ガラス押え	ポリ塩化ビニル 対応ガラス厚3~6mm<グレー色>	
備考			



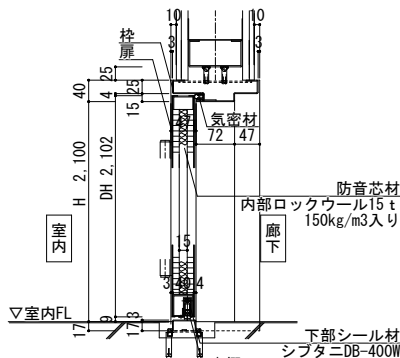
外觀姿図 S/50



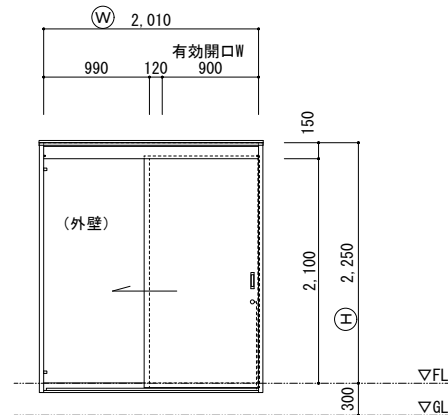
平面图 S/50



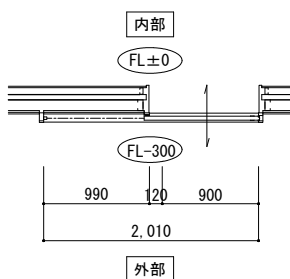
平面詳細図 S/10



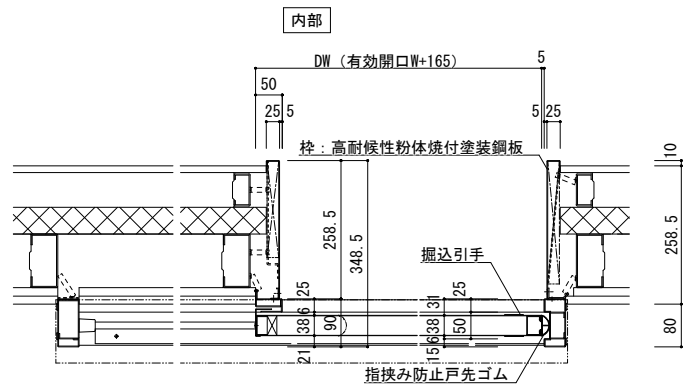
断面詳細図 S/10



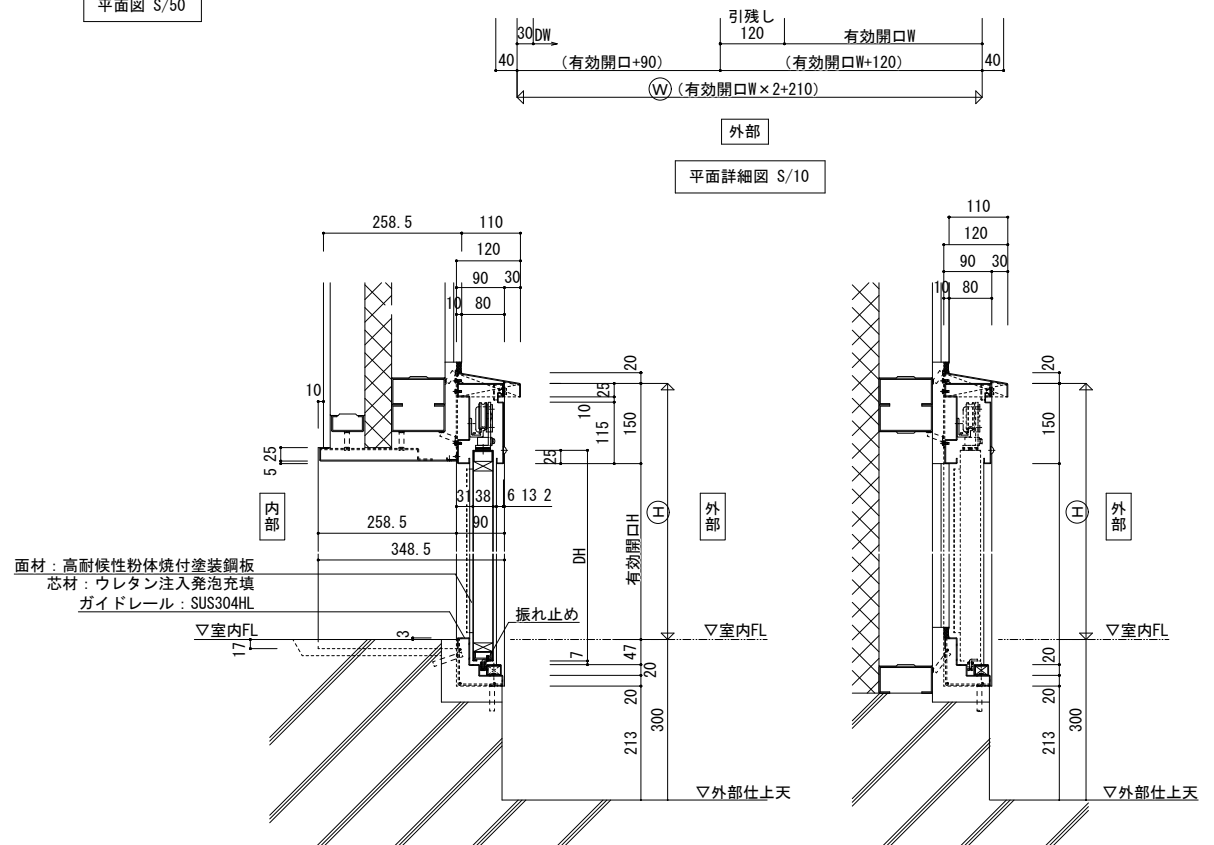
外觀姿図 S/50



平面图 S/50



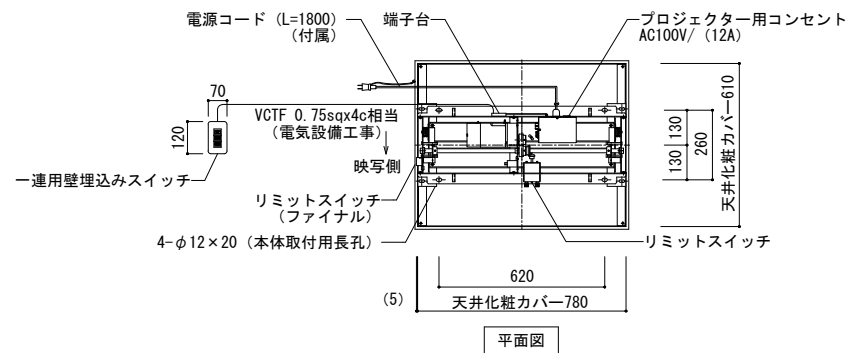
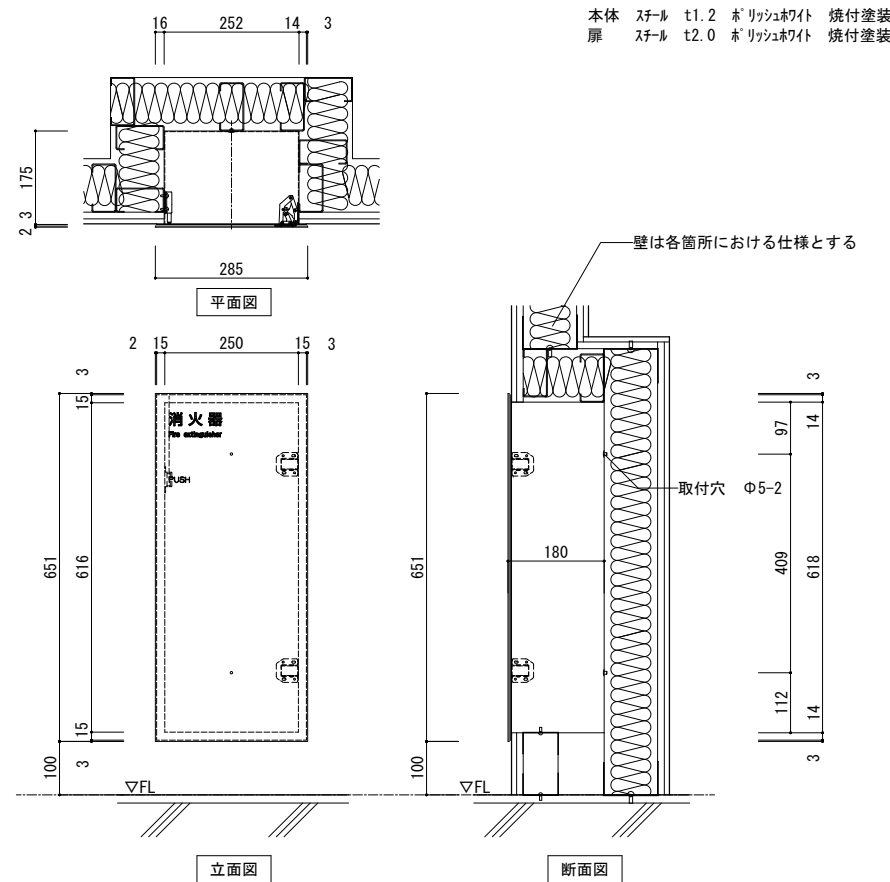
平面詳細図 S/10



断面詳細図 S/10

床：防塵塗床		1/5	床：ビニル床シート（セルフレベリング）		1/5	床：タイルカーペット（セルフレベリング）		1/5	タイル詳細図(300角)		1/5	汚垂石タイル		1/5	床見切り		1/5			
巾木：VB詳細図		1/5	巾木：タイル詳細図		1/5	床：OAフロア詳細図										1/20	床材立上げ詳細図		1/5	
OAフロア・床タイル部詳細図		1/5	壁：W-1		1/10	壁：W-2(遮音壁TLD-52) (遮音構造認定番号：S01-0170-1)		1/10	壁：W-3		1/10	壁：W-4		1/10	壁：W-5		1/10			
壁：T型取合い（下地張りの無い場合）		1/5	壁：L型取合い（下地張りの無い場合）		1/5	コーナーガード(木製)		1/5	軽量鉄骨壁下地 1				1/60	軽量鉄骨壁下地2				1/60		

記 事									業務名称 相楽広域行政組合新庁舎基本・実施設計業務				工事名称 相楽広域行政組合新庁舎新築工事				設計年月 令和8年3月	
									一級建築士事務所 京都府知事登録 (07A) 第00523号 株式会社 緑企画設計 京都支店 管理建築士 一級建築士 (大臣) 第331194号 三浦 光寛				図面名称 部分詳細図 (1)				図面番号 A 2 図示 A 3 図示	
									印 ・								A - 30	

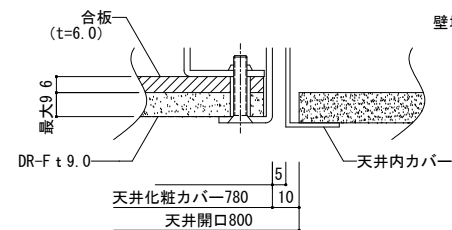
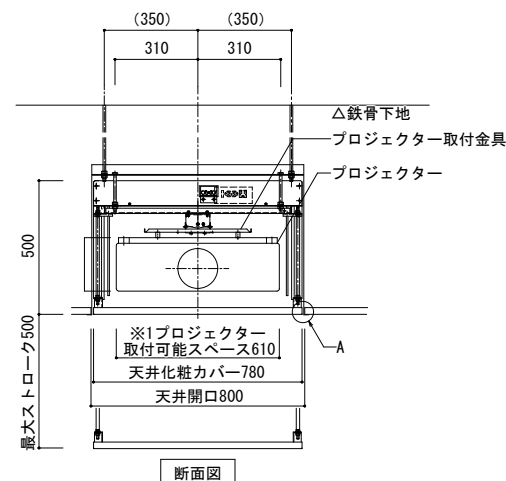
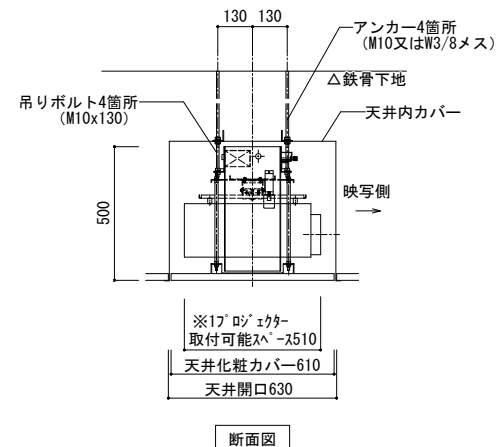
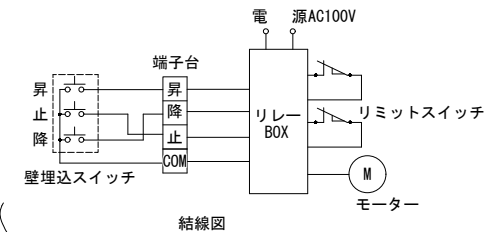


標準仕様	
PJ最大搭載質量 (kg)	30kg
搭載PJ最大寸法 (mm)	W610xD510xH200
昇降ストローク (mm)	※1 最大500mm
本体質量 (kg)	約30kg (プロジェクター含まず)
電源・電圧 (V)	AC100V 50/60Hz
昇降時消費電力 (W)	76W
昇降速度 (mm/sec)	20/24mm/sec (50/60Hz)
操作方法	一連壁埋込スイッチ仕様による (UP・STOP・DOWN)
塗装色	本体部: ブラック 昇降部: ホワイト
その他	PJ用電源コンセント付き AC100V (最大12A)
付属品	一連壁埋込スイッチ (オールα接続)
追加オプション	天井内カバー (E-C6) M10x130吊ボルト付属

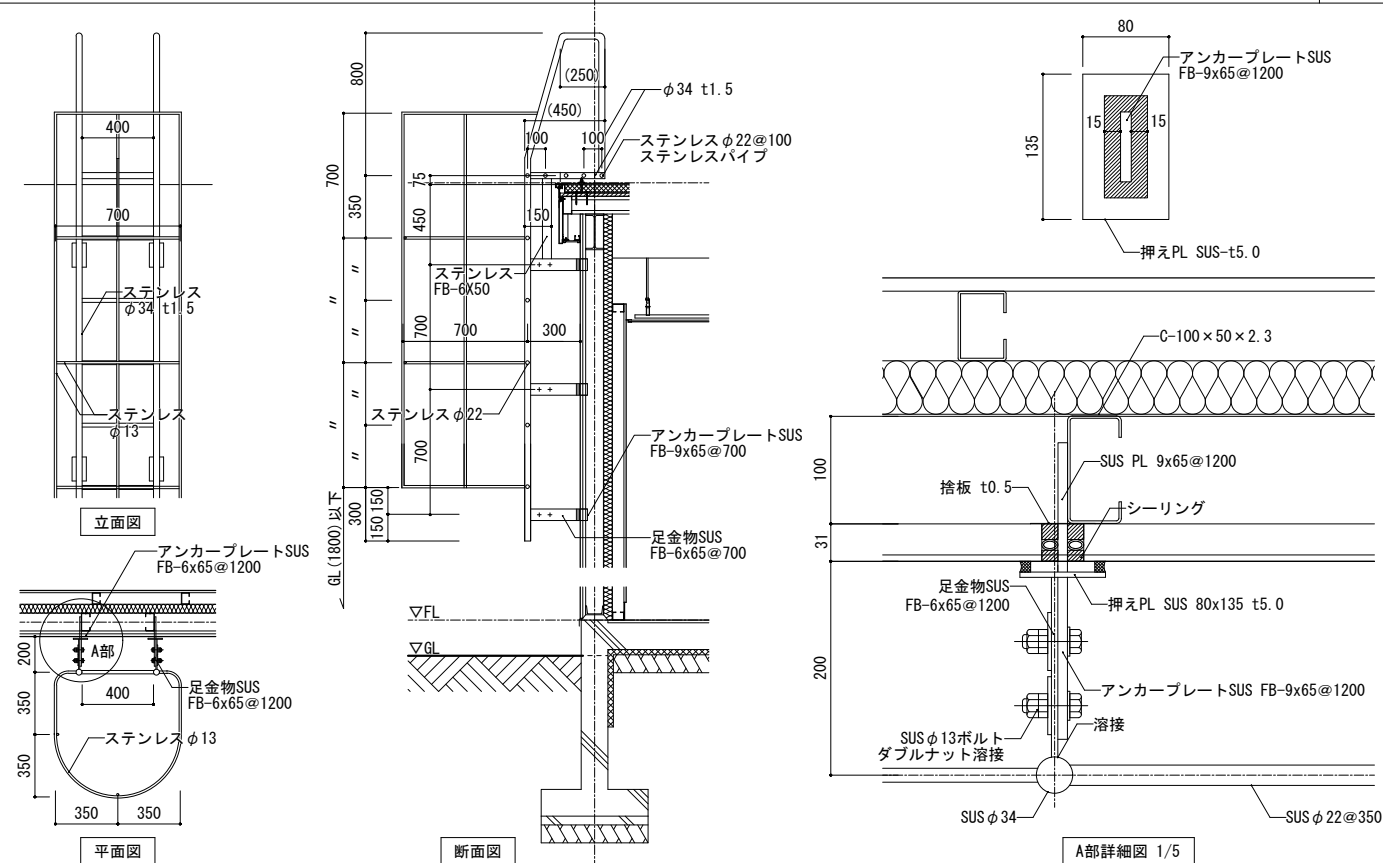
(株) オーエス EEP-050L13 同等品以上

(株)オーエス EEP-050L13 同等品以上

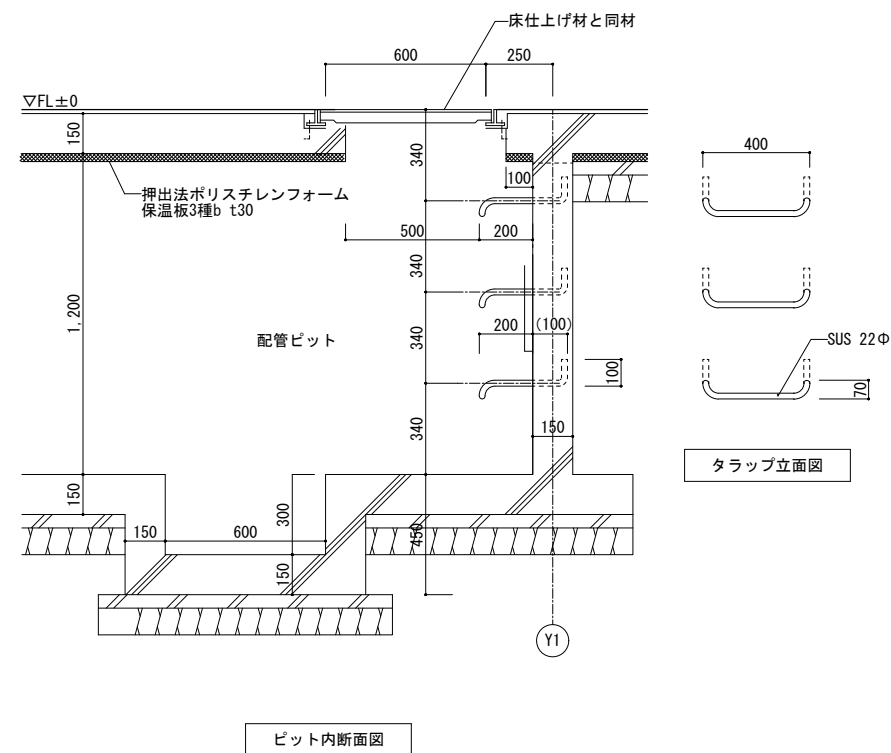
※1 搭載PJ最大寸法は目安



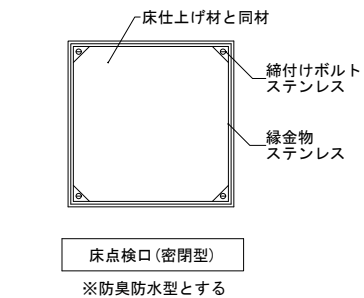
A部詳細図 1/2



可動手摺 $H=1,800$

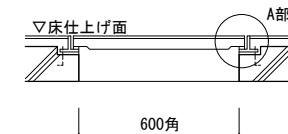


タラップ立面図

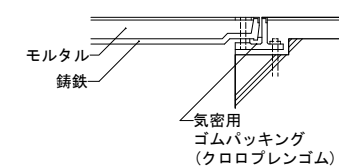


※防臭防水型とする

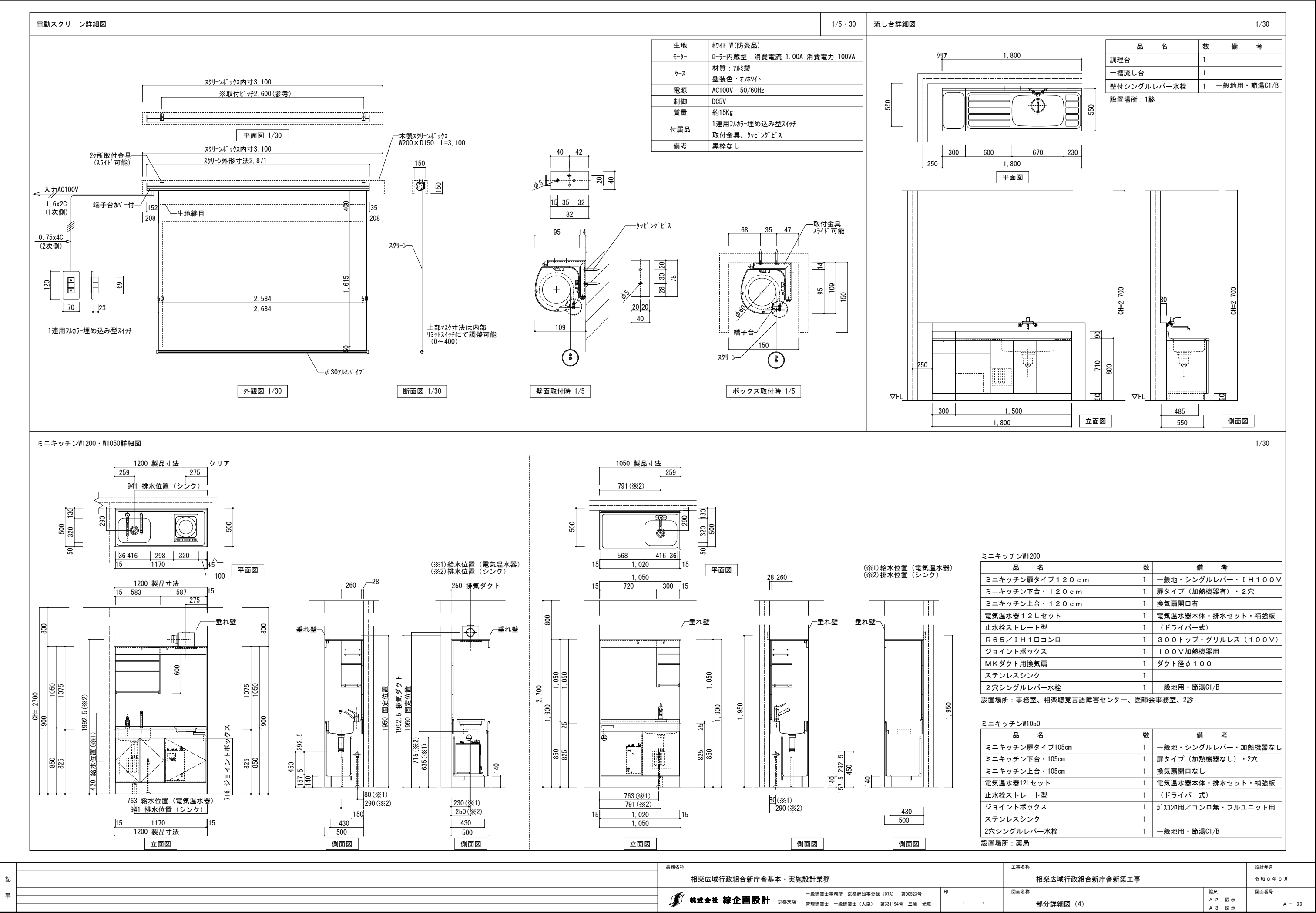
※防臭防水型とする

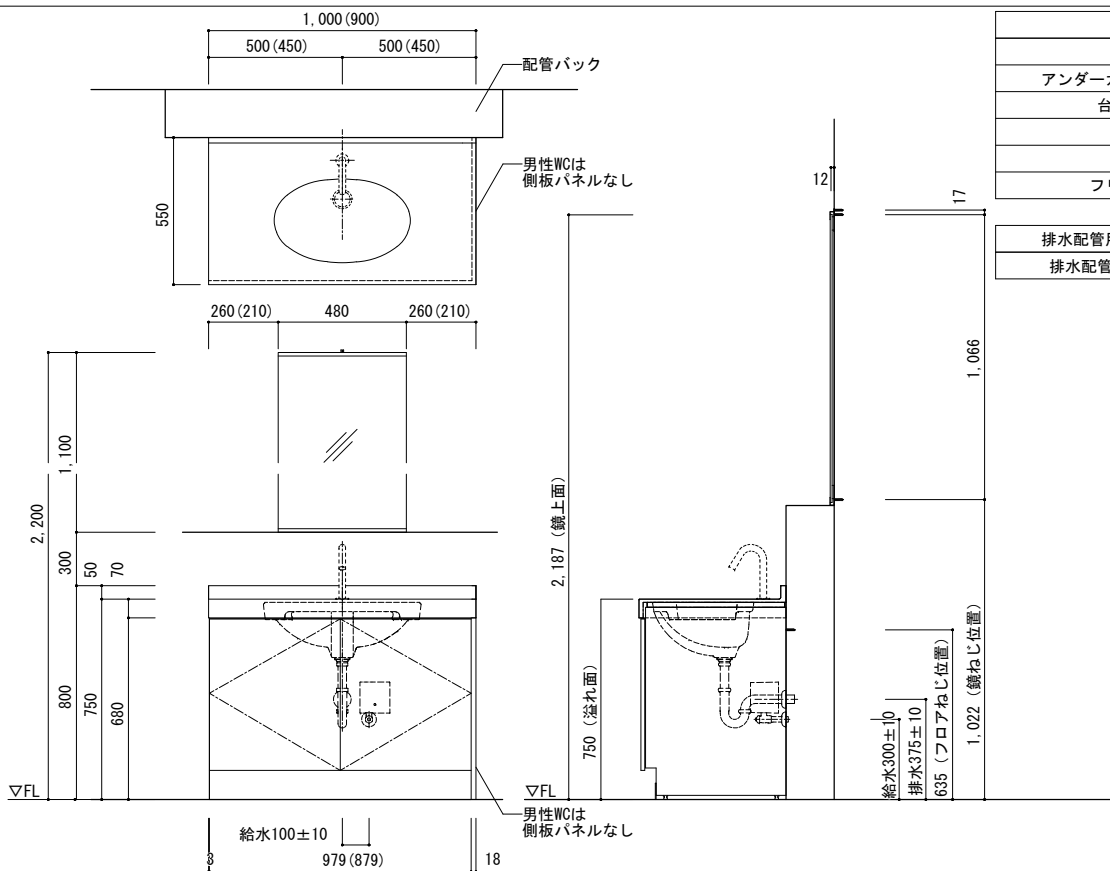


床点検口断面図



A部詳細図 S=non

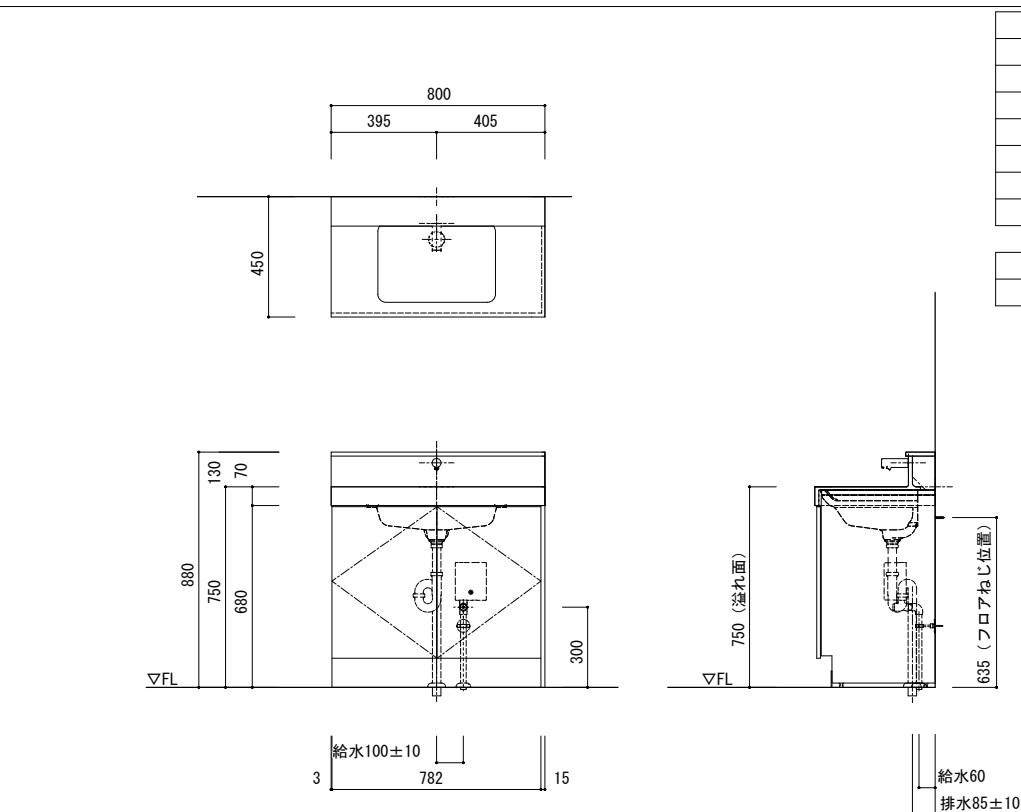
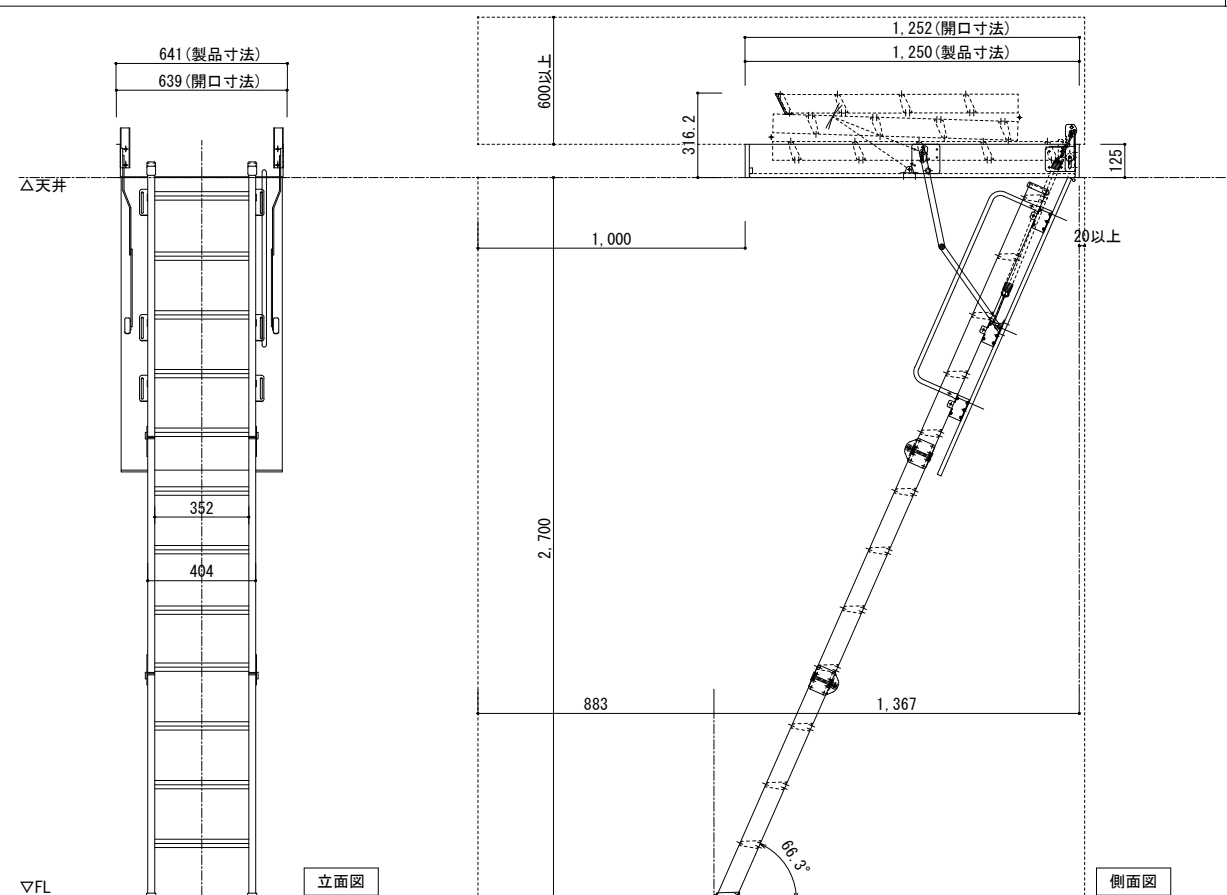




品 名	数
マーブライトカウンター	各1
アンダーカウンター式洗面器(機械設備工事)	各1
台付自動水栓(機械設備工事)	各1
壁排水金具	各1
フロントパネル扉式	各1
フリーサイズ大型鏡(一般鏡)	各1

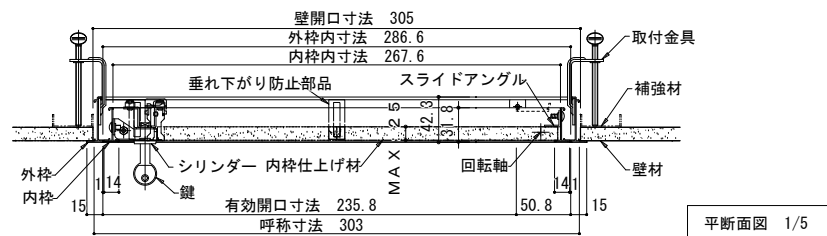
排水配管用アダプター（塩ビ管用カバー付）	各1
排水配管用アダプター（鋼管用カバー付）	各1

※ () 寸法は男性WCの洗面カウンター寸法を示す

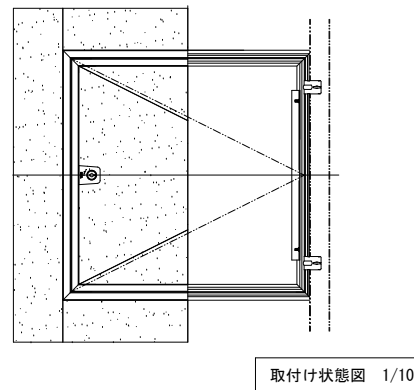
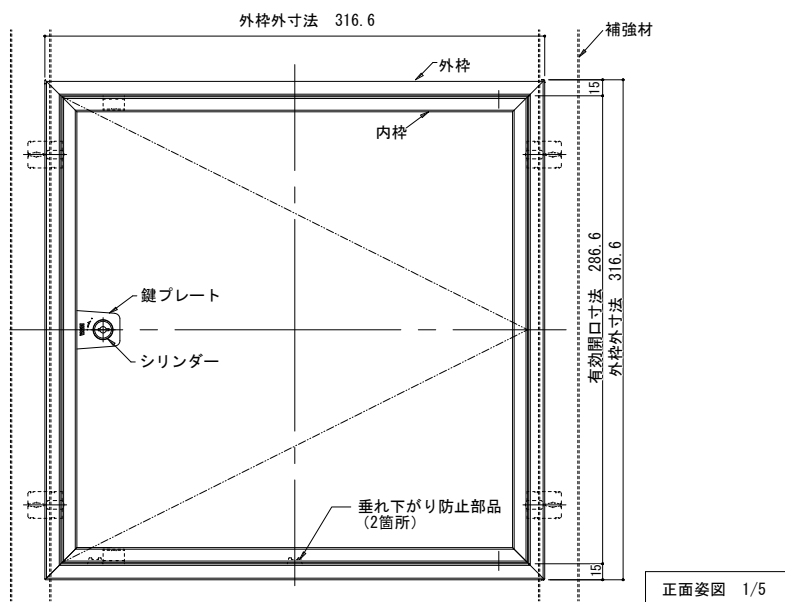


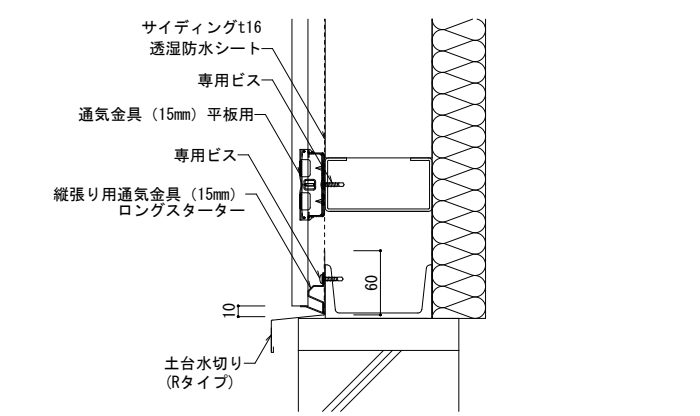
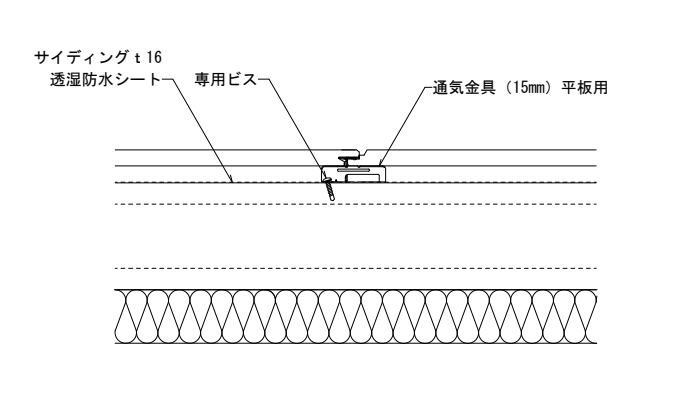
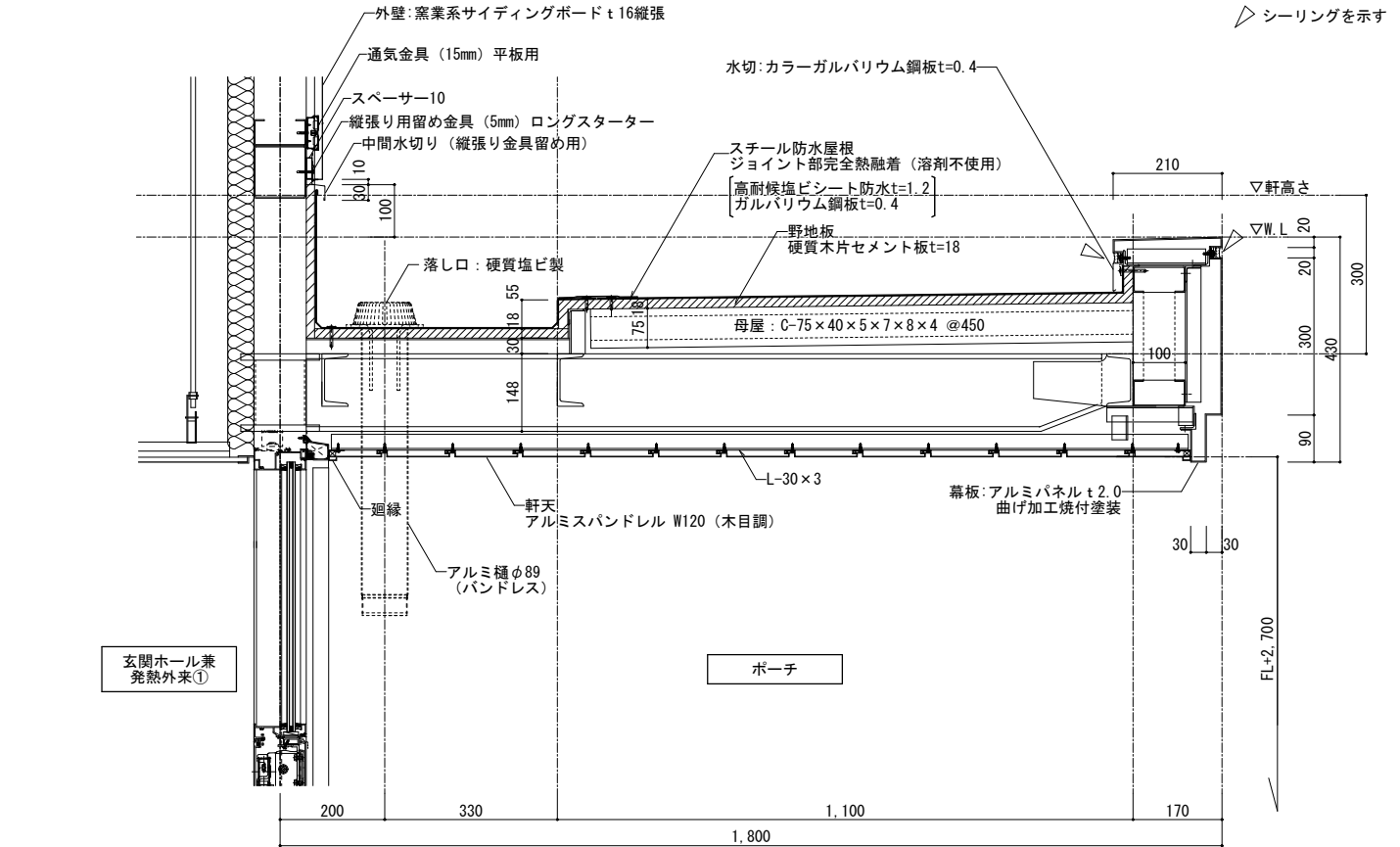
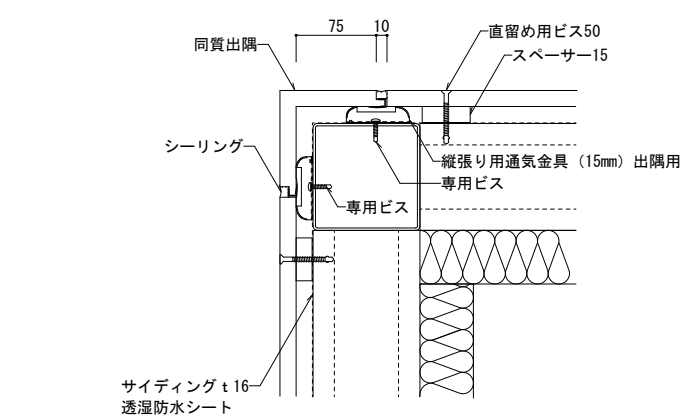
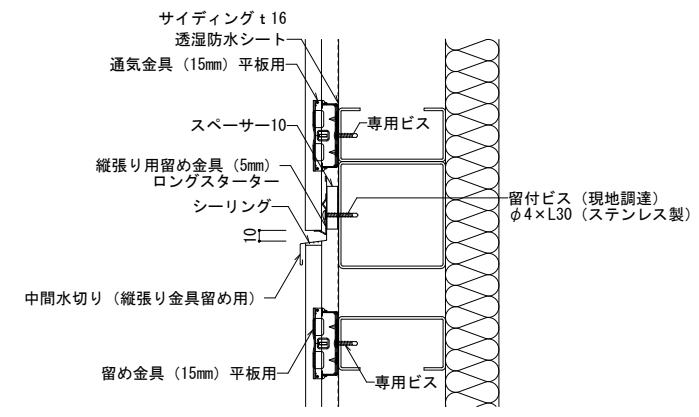
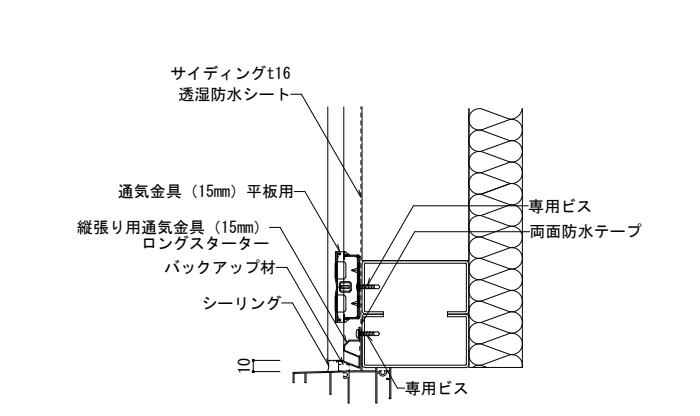
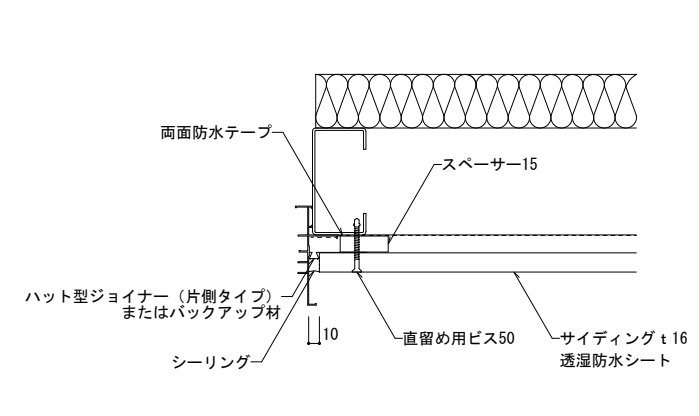
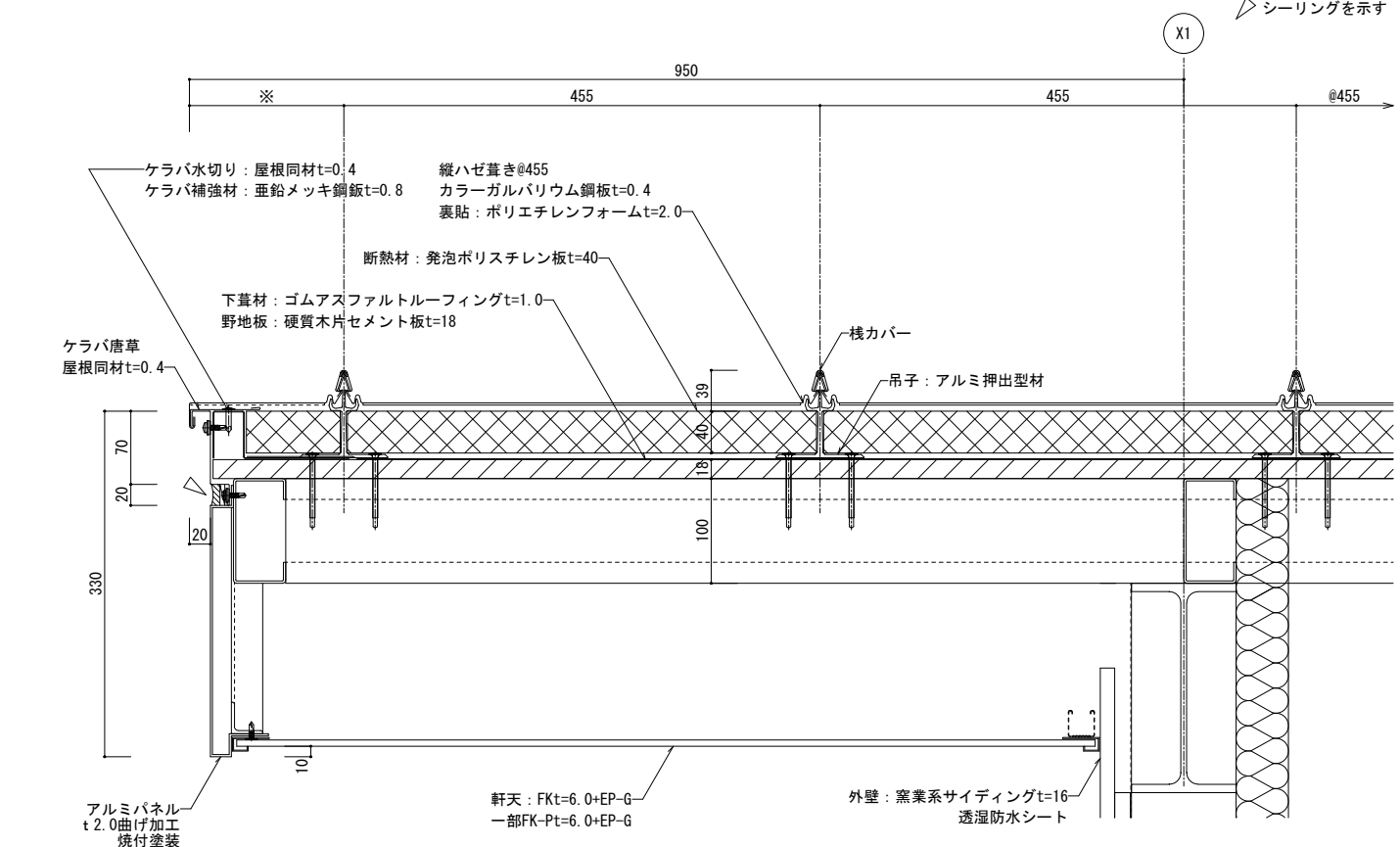
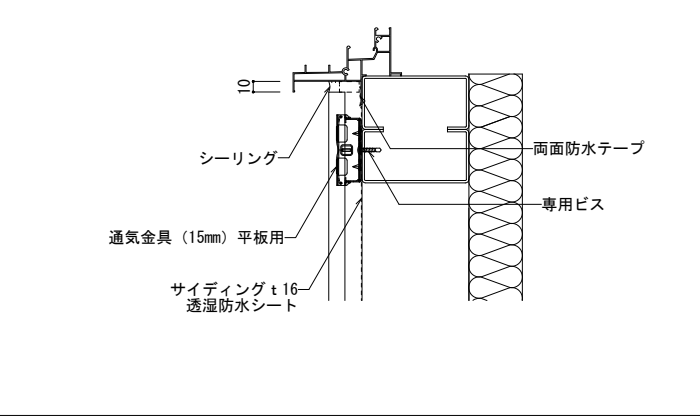
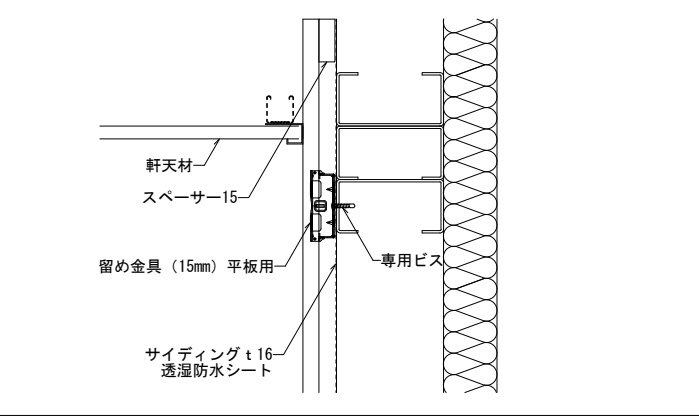
品 名	数
マーブライトカウンター	1
アンダーカウンター式洗面器(機械設備工事)	1
壁付自動水栓(機械設備工事)	1
床排水金具	1
給水金具	1
パイプホルダー	1
フロントパネル扉式	1

排水配管用アダプター（塩ビ管用カバー付）	1
排水配管用アダプター（鋼管用カバー付）	1

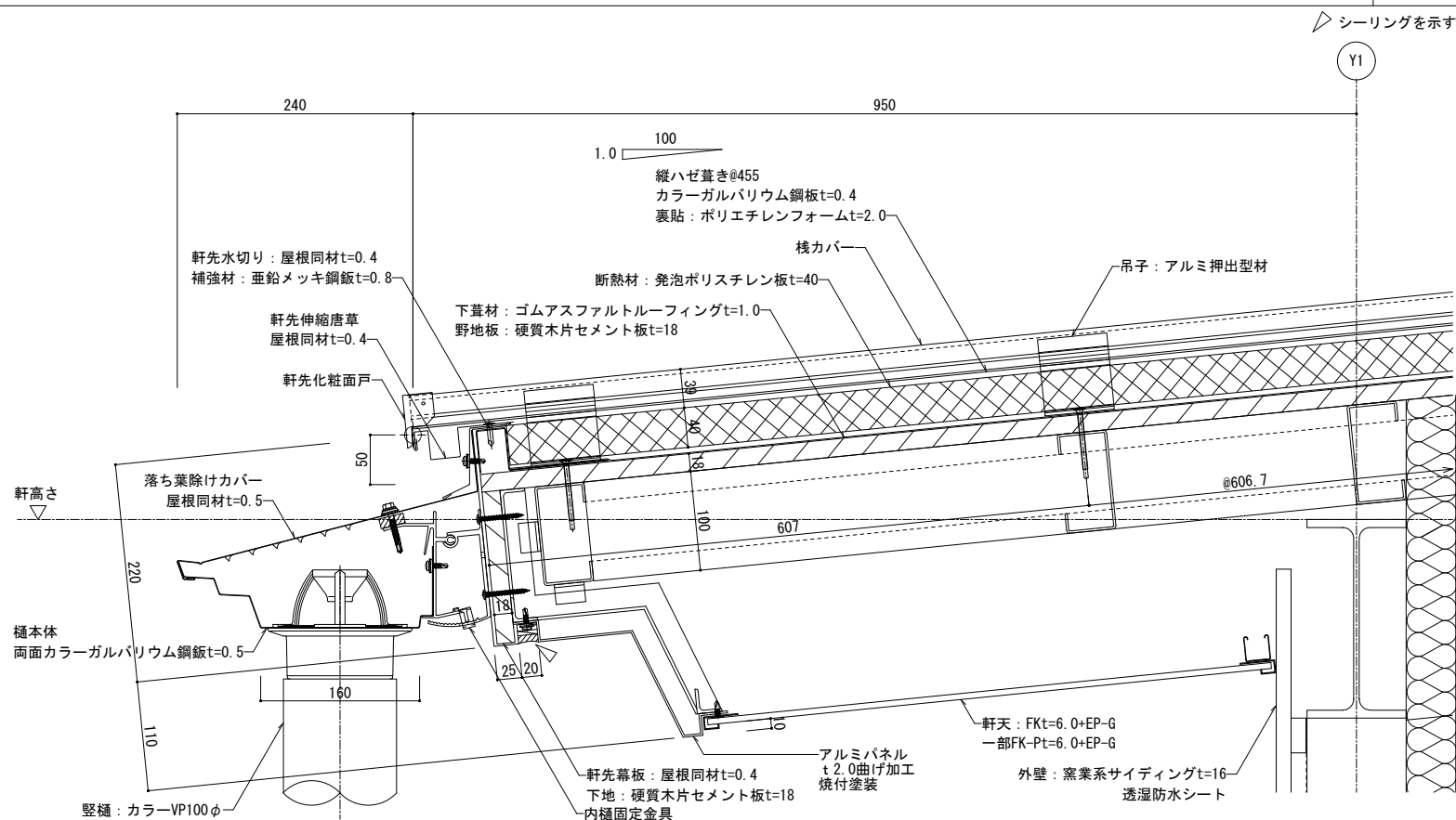


- ・外枠・内枠：アルミ押出型材 アルマイト処理
- ・スライドアングル：アルミ押出型材 アルマイト処理
- ・取付金具：溶融亜鉛めっき鋼板
- ・垂れ下がり防止部品：樹脂成形品（両面テープ付）
- ・鍵付グレモン錠：組立品
- ・設置場所：更衣スペース（PS）

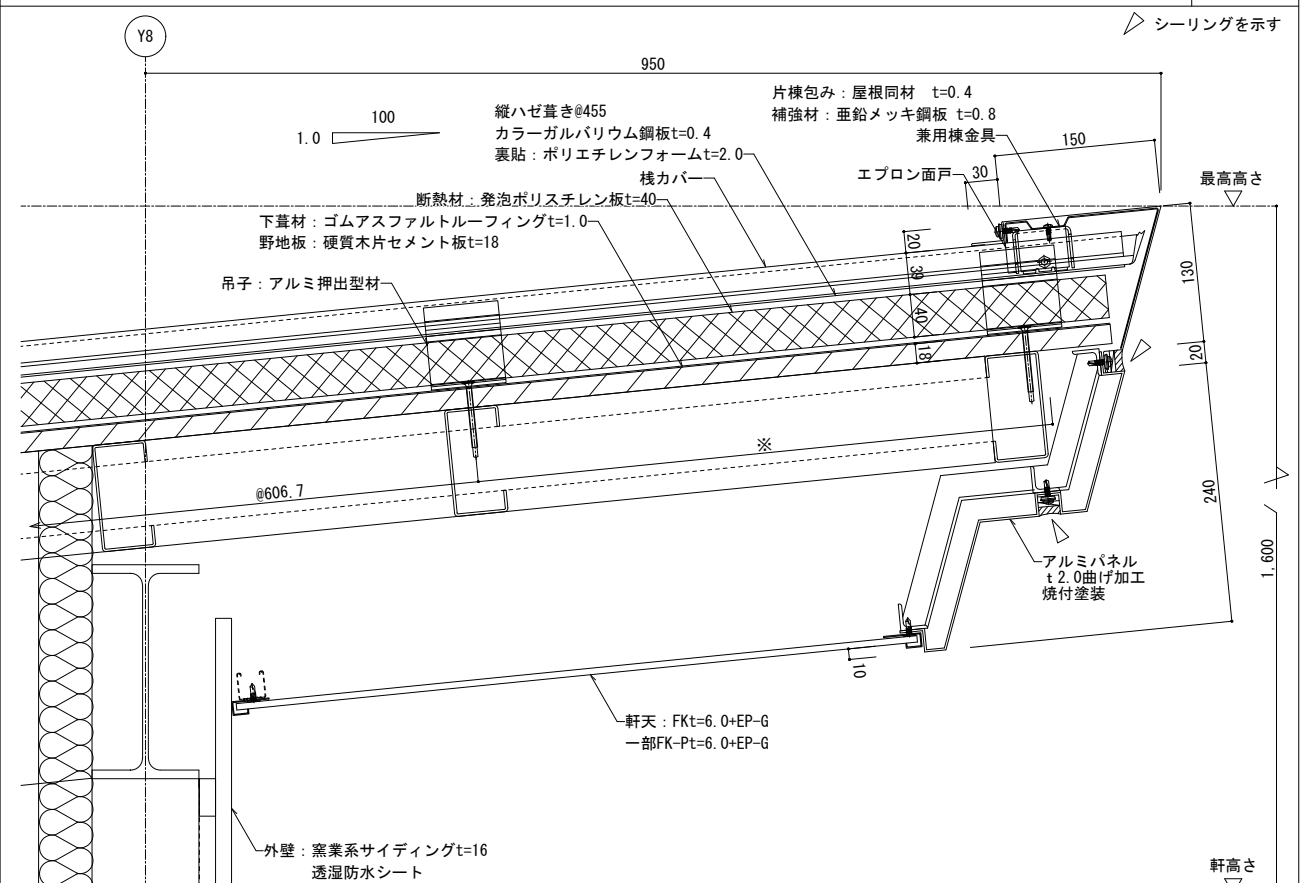


土台部詳細図		1/5	目地部（合いじゃくり）詳細図		1/5	玄関底詳細図（参考図）		1/10
								
出隅部（同質出隅/内寸75）詳細図		1/5	目地部（縦目地）詳細図		1/5			
								
開口部（外見切りサッシ/縦断面）詳細図		1/5	開口部（外見切りサッシ/横断面）詳細図		1/5	壁取合い詳細図（参考図）		1/5
								
			軒天部詳細図		1/5			
								

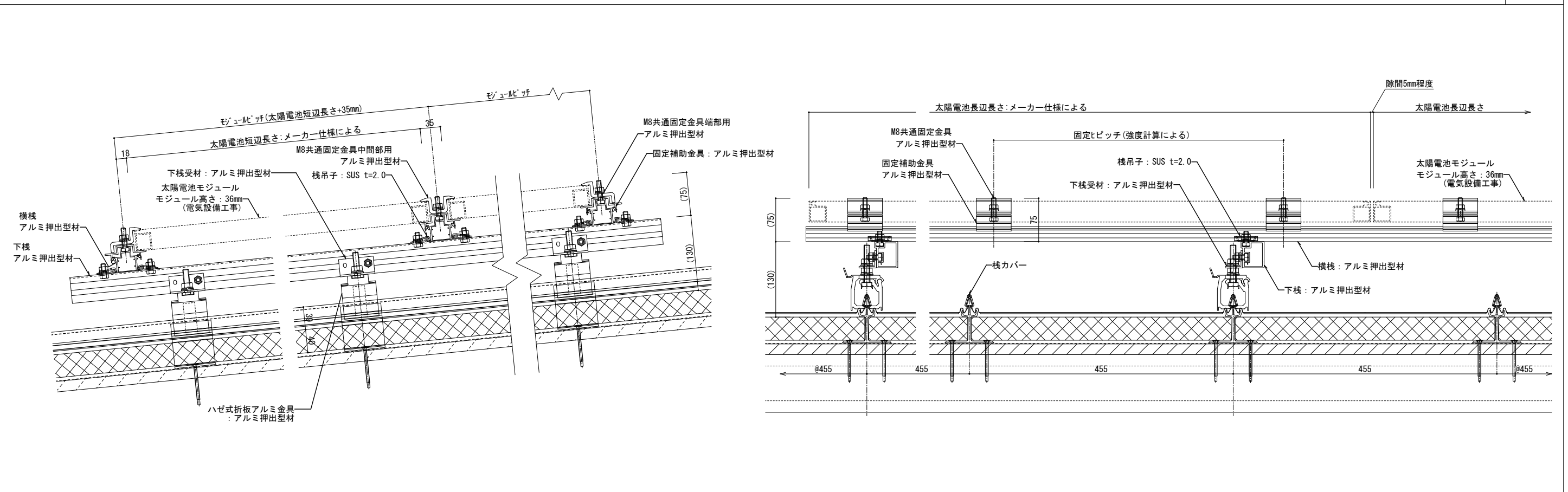
軒先詳細図（参考図）

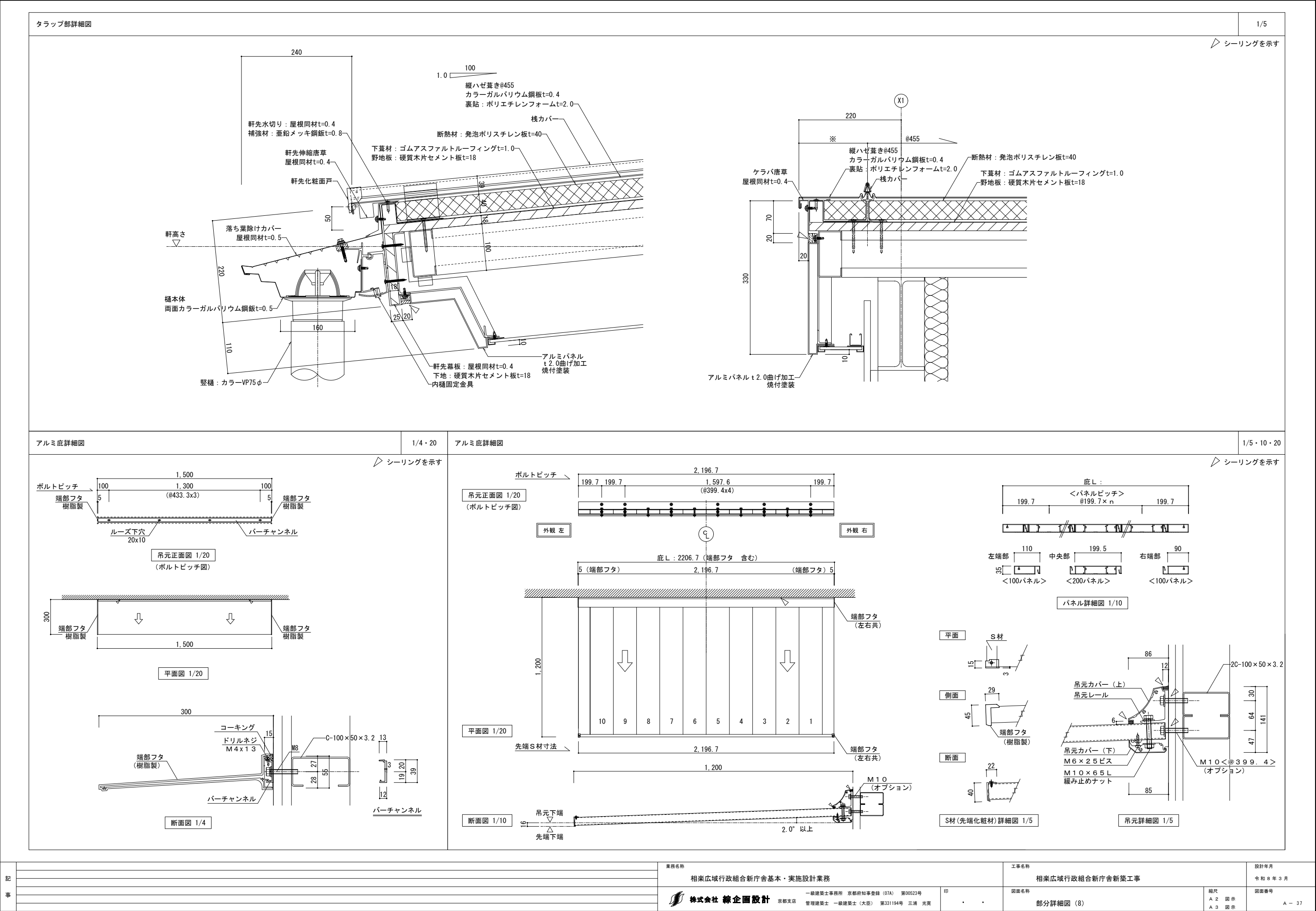


ケラバ詳細図（参考図）



太陽光架台詳細図（参考図）





相楽広域行政組合庁舎

S-10 屋根文字シート貼り(施設名称を表示(10文字程度)) プリントラップフィルム

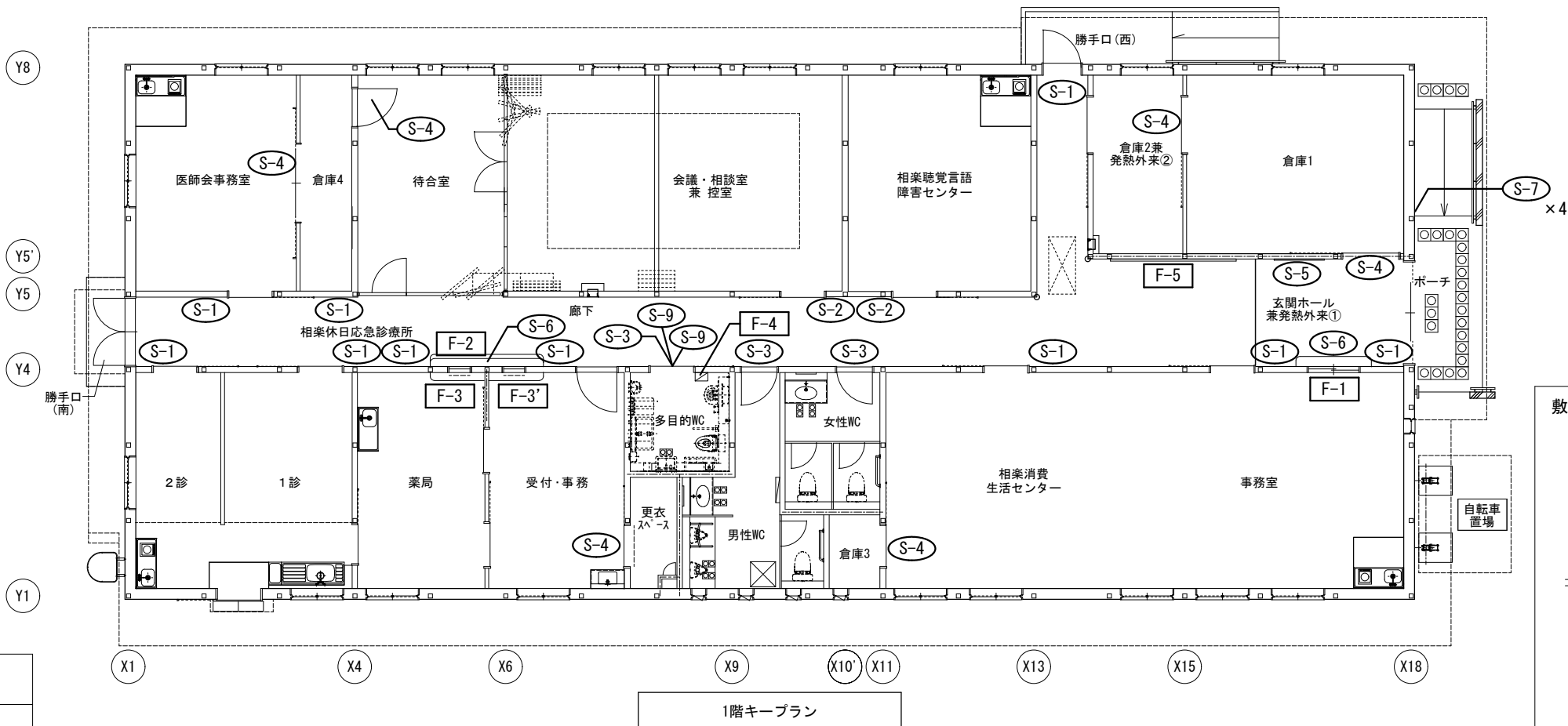
21,600(屋根幅の2/3以下とする)

3,000(3m以下とする)

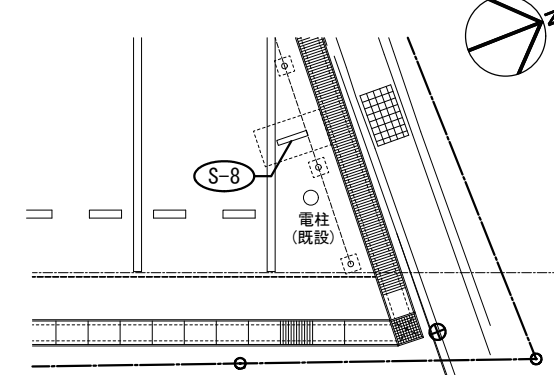
1/10

1/10

屋根伏キープラン



敷地北東部



凡例

F-*	家具キープランを示す
S-*	サインキープランを示す

記
事

業務名称

相楽広域行政組合新庁舎基本・実施設計業務

株式会社 緑企画設計

一級建築士事務所 京都府知事登録 (07A) 第00523号
管理建築士 一級建築士 (大臣) 第331194号 三浦 光寛

印

工事名称

相楽広域行政組合新庁舎新築工事

図面名称

家具・サインキープラン

縮尺

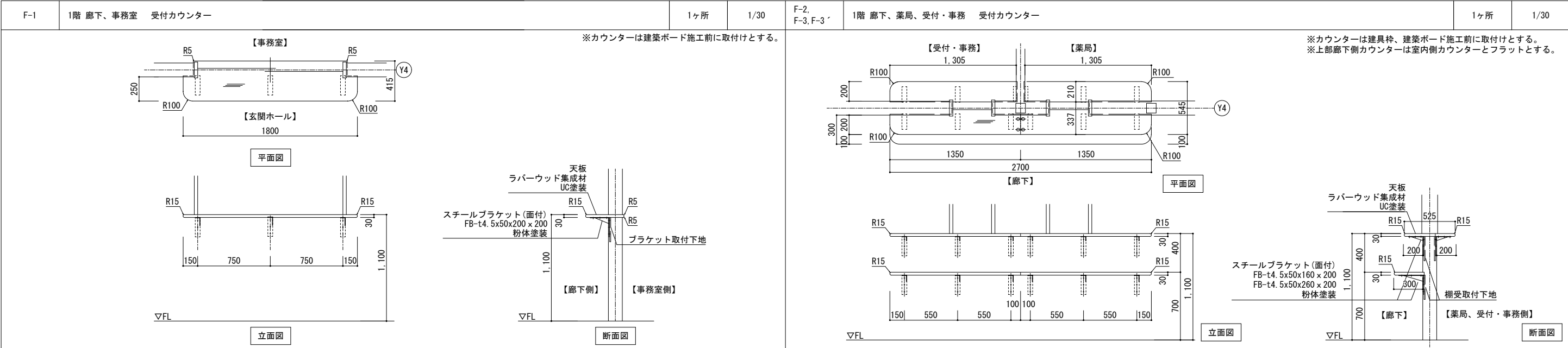
A 2 1/100
A 3 1/140

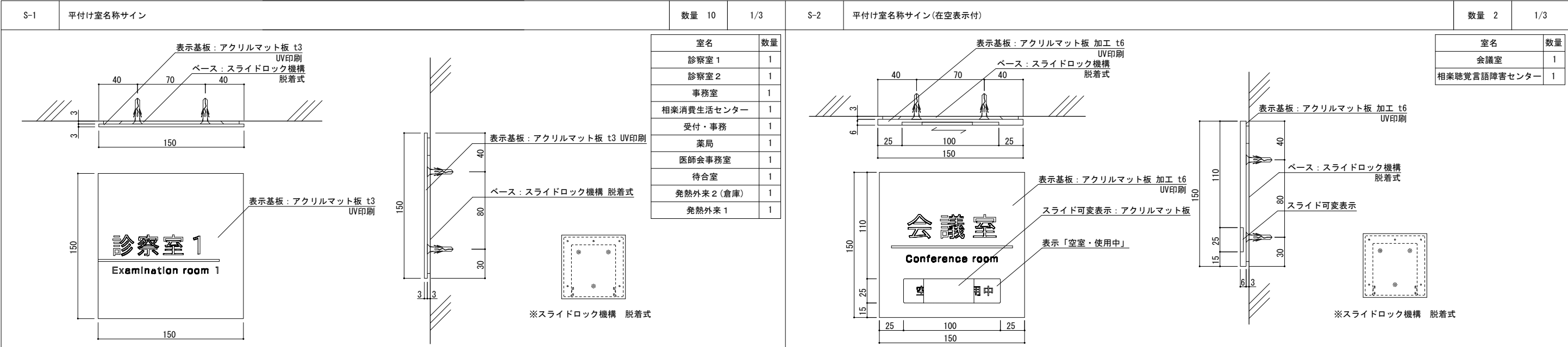
設計年月

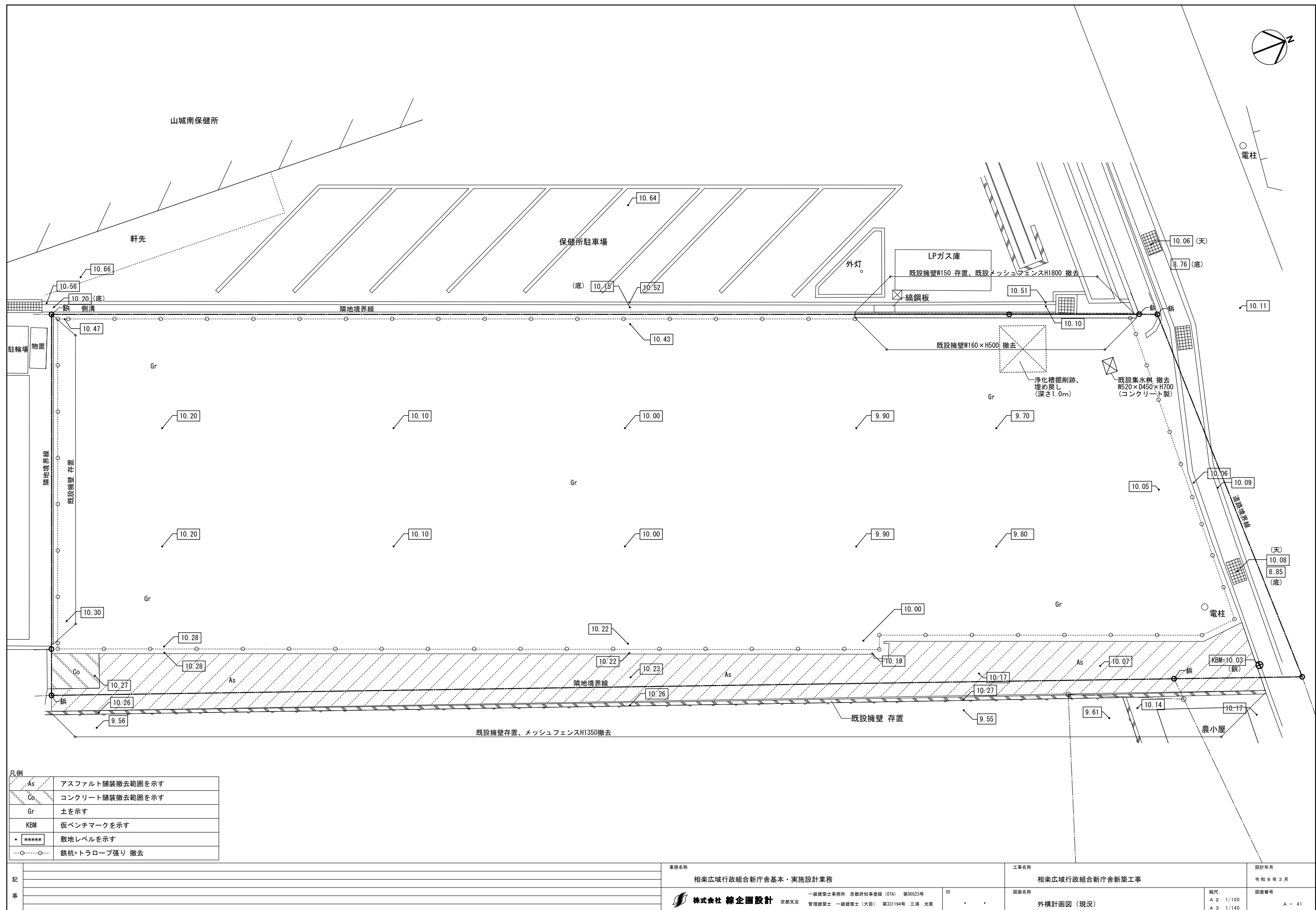
令和8年3月

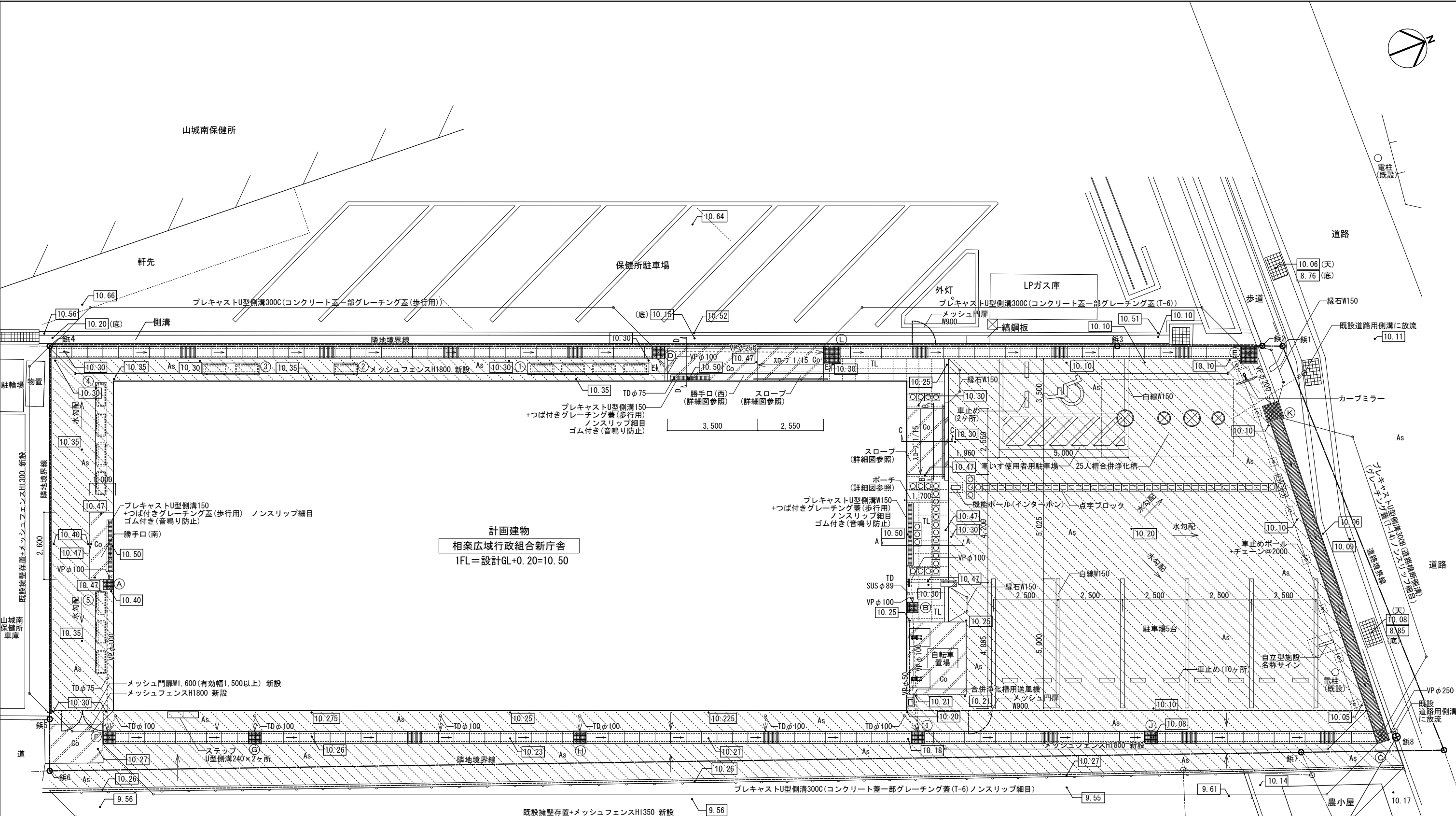
図面番号

A - 38









凡例

As	アスファルト舗装新設範囲を示す
Co	コンクリート舗装新設範囲を示す
TL	300角磁器質タイル貼り新設範囲を示す
	ステンレス製点字鉄ノンスリップタイプ300角用または点字ブロック(アスファルト舗装部のみ)
	雨水排水管を示す
KBM	仮ベンチマークを示す
*****	敷地レベルを示す
	グレーチングを示す

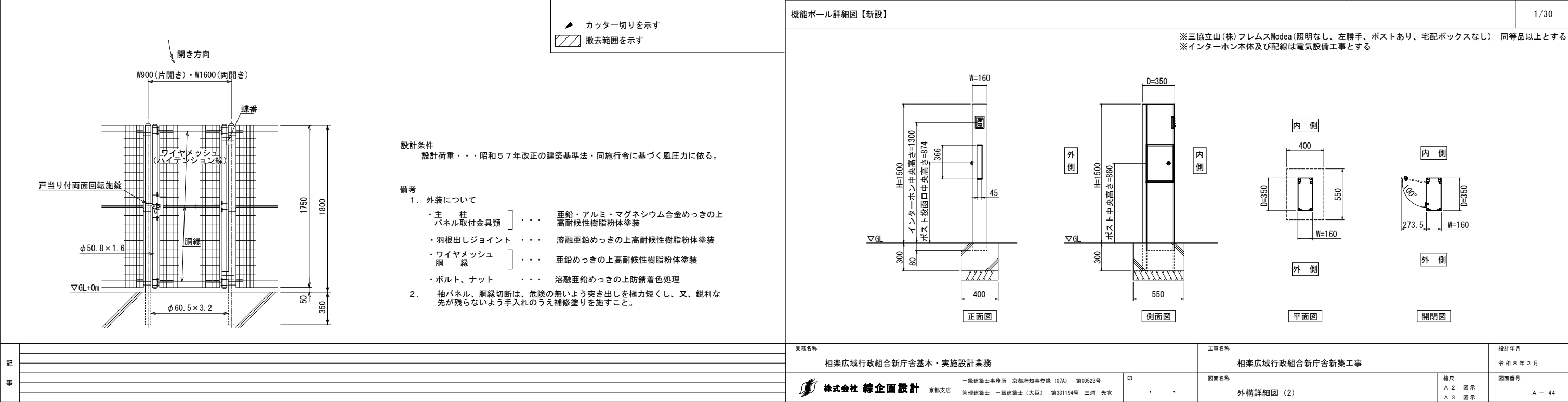
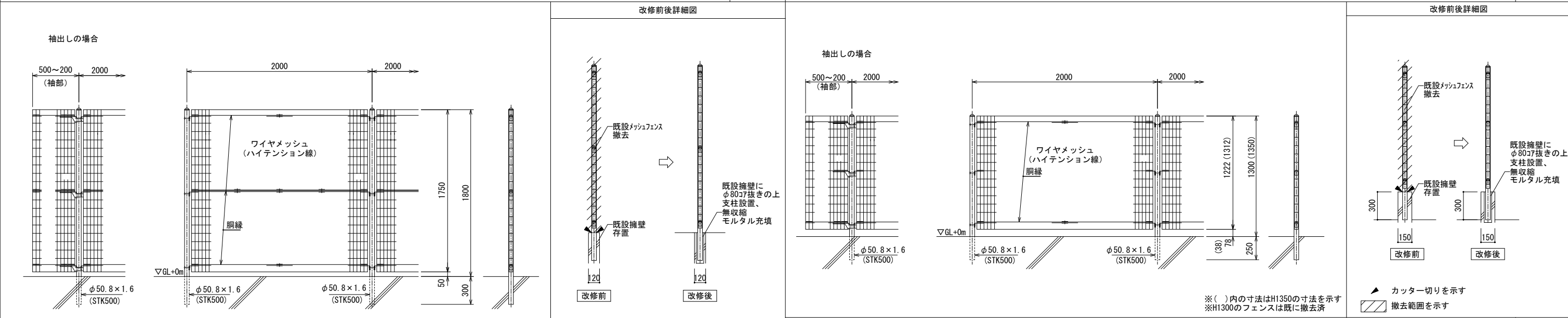
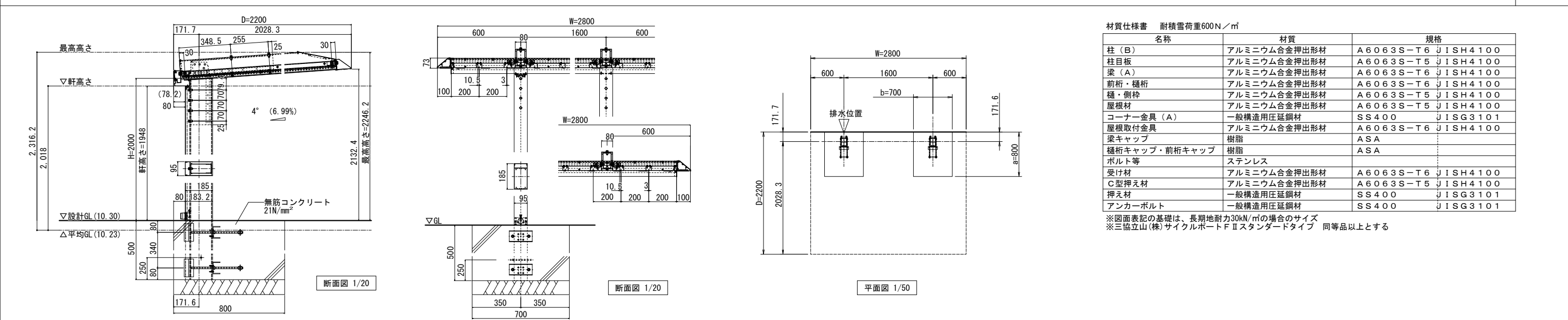
雨水樹リスト								田							
樹 No.	樹形状	樹天端レベル (KBMから)	樹深さ	管底レベル (KBMから)	樹 蓋	耐圧		樹 No.	樹形状	樹天端レベル (KBMから)	樹深さ	管底レベル (KBMから)	樹 蓋	耐圧	
(A)	350×350	+370	450	+70	グレーチング	歩行用		(G)	450×450	+230	500	-120	グレーチング	T-6	
(B)	350×350	+220	450	-80	グレーチング	歩行用		(H)	450×450	+200	550	-200	グレーチング	T-6	
(C)	450×450	±0	560	-405	グレーチング	T-6		(I)	450×450	+150	585	-285	グレーチング	T-6	
(D)	450×450	+270	470	-50	グレーチング	歩行用		(J)	450×450	+50	550	-345	グレーチング	T-6	
(E)	450×450	+70	440	-220	グレーチング	T-14		(K)	450×450	+70	500	-250	グレーチング	T-14	
(F)	450×450	+240	375	-80	グレーチング	T-6		(L)	450×450	+270	530	-110	グレーチング	歩行用	

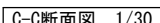
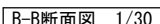
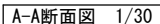
※特記なき限り新設とする
※雨水排水管の勾配は1/100以上とする

室外機基礎リスト

記号	W	D	箇所数
①	4,700	500	1
②	995	500	1
③	2,380	500	1
④	4,280	500	1
⑤	3,185	500	1

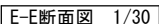
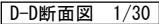
アスファルト舗装詳細図【撤去・新設】		1/10	コンクリート舗装詳細図【新設】		1/10	屋外床タイル張り【新設】		1/10	縁石W150詳細図【新設】		1/10																																																											
コンクリート強度FC=18N/mm ² 、スランプ15cm			コンクリート強度FC=18N/mm ² 、スランプ15cm			コンクリート強度FC=18N/mm ² 、スランプ15cm			コンクリート強度FC=18N/mm ² 、スランプ15cm																																																													
設備基礎詳細図【新設】		1/30	車いす使用者用駐車場ライン引き、駐車場ライン引き【新設】		1/30	視覚障害者誘導用ブロック【新設】		1/10	車止め詳細図(埋め込み型)【新設】		1/10																																																											
コンクリート強度FC=18N/mm ² 、スランプ15cm			コンクリート強度FC=18N/mm ² 、スランプ15cm			識別しやすい色にすること。			コンクリート強度FC=18N/mm ² 、スランプ15cm																																																													
U形側溝 (プレキャスト)【新設】		1/30	U形側溝 (プレキャスト) 【新設】		1/20	手摺壁詳細図【新設】		1/30	カーブミラー詳細図【新設】		1/50																																																											
									<table><tr><th></th><th>品 名</th><th>数量</th><th>材 質</th><th>備 考</th></tr><tr><td>1</td><td>鏡 面</td><td>1</td><td>ステンレス</td><td>φ800</td></tr><tr><td>2</td><td>裏 板</td><td>1</td><td>SGCC</td><td>—</td></tr><tr><td>3</td><td>フ ード</td><td>1</td><td>ポリカーボネート樹脂</td><td>橙 色</td></tr><tr><td>4</td><td>裏板取付金具</td><td>1</td><td>SPHC</td><td>溶融亜鉛めっき</td></tr><tr><td>5</td><td>支柱取付金具</td><td>1</td><td>SPHC</td><td>溶融亜鉛めっき</td></tr><tr><td>6</td><td>注 意 板</td><td>1</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>7</td><td>取付バンド</td><td>2</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>8</td><td>キャ ッ プ</td><td>1</td><td>ポリエチレン樹脂</td><td>黒 色</td></tr><tr><td rowspan="2">9</td><td>A P 支 柱</td><td>1</td><td>STK400, 亜鉛めっき</td><td>静電粉体塗装, 橙色</td></tr><tr><td>めっき支柱</td><td>1</td><td>STK400</td><td>溶融亜鉛めっき</td></tr><tr><td>10</td><td>ネ カ セ</td><td>2</td><td>(φ13×300)</td><td>—</td></tr></table> ※ 鏡面は、表面に超親水化処理を施すこと ※ 道路反射鏡ハンドブック(平成23年4月5版)に基づく				品 名	数量	材 質	備 考	1	鏡 面	1	ステンレス	φ800	2	裏 板	1	SGCC	—	3	フ ード	1	ポリカーボネート樹脂	橙 色	4	裏板取付金具	1	SPHC	溶融亜鉛めっき	5	支柱取付金具	1	SPHC	溶融亜鉛めっき	6	注 意 板	1	—	—	7	取付バンド	2	—	—	8	キャ ッ プ	1	ポリエチレン樹脂	黒 色	9	A P 支 柱	1	STK400, 亜鉛めっき	静電粉体塗装, 橙色	めっき支柱	1	STK400	溶融亜鉛めっき	10	ネ カ セ	2	(φ13×300)	—
	品 名	数量	材 質	備 考																																																																		
1	鏡 面	1	ステンレス	φ800																																																																		
2	裏 板	1	SGCC	—																																																																		
3	フ ード	1	ポリカーボネート樹脂	橙 色																																																																		
4	裏板取付金具	1	SPHC	溶融亜鉛めっき																																																																		
5	支柱取付金具	1	SPHC	溶融亜鉛めっき																																																																		
6	注 意 板	1	—	—																																																																		
7	取付バンド	2	—	—																																																																		
8	キャ ッ プ	1	ポリエチレン樹脂	黒 色																																																																		
9	A P 支 柱	1	STK400, 亜鉛めっき	静電粉体塗装, 橙色																																																																		
	めっき支柱	1	STK400	溶融亜鉛めっき																																																																		
10	ネ カ セ	2	(φ13×300)	—																																																																		
雨水樹(プレキャスト)【新設】			壁付手摺詳細図【新設】		1/10	車止めポール+チェーン【新設】		1/10																																																														
									コンクリート強度FC=18N/mm ² 、スランプ15cm																																																													
記			業務名称			工事名称		設計年月																																																														
事			相楽広域行政組合新庁舎基本・実施設計業務			相楽広域行政組合新庁舎新築工事		令和8年3月																																																														
			一級建築士事務所 京都府知事登録 (07A) 第00523号 管理建築士 一級建築士 (大臣) 第331194号 三浦 光寛			図面名称		縮尺		図面番号																																																												
			株式会社 緑企画設計 京都支店			外構詳細図 (1)		A 2 図示 A 3 図示		A - 43																																																												

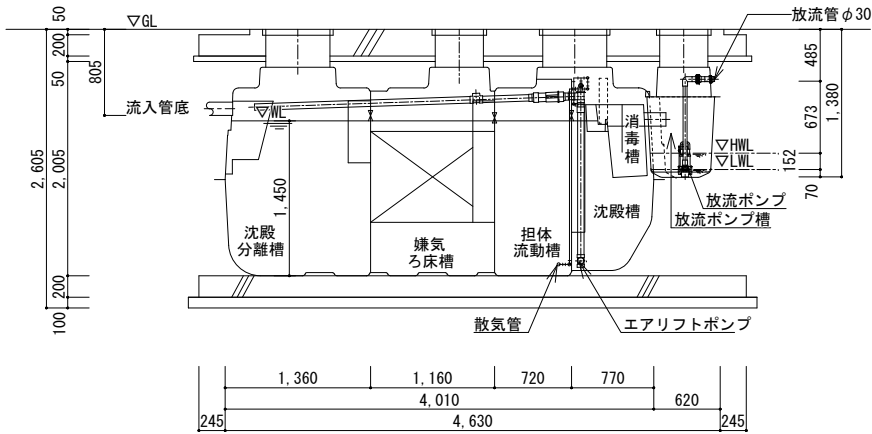




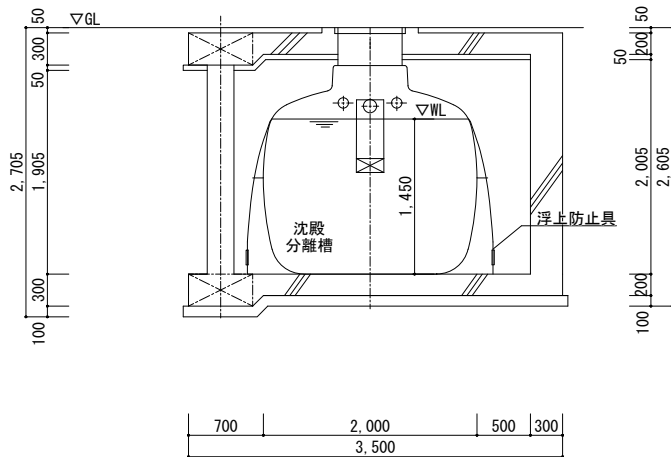
※蹴込寸法は2cm以下とすること



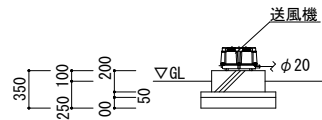




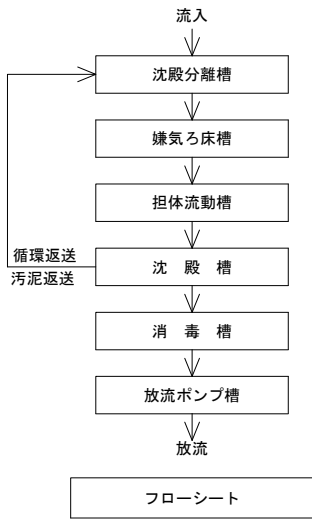
A-A断面図 1/50



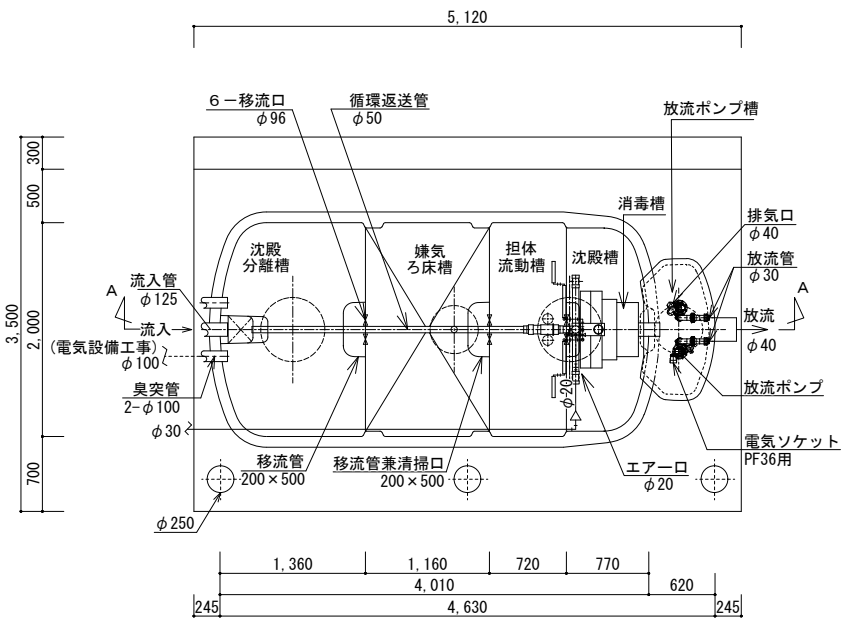
B-B断面図 1/50



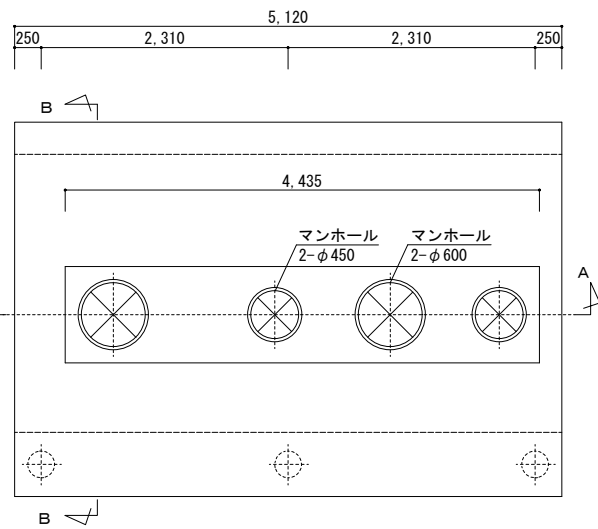
送風機断面図



フローシート



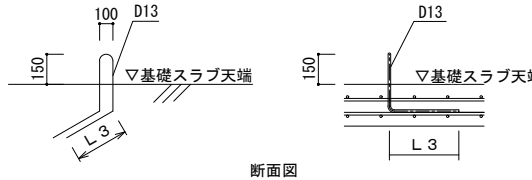
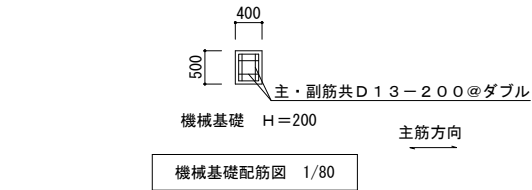
平面図 1/50



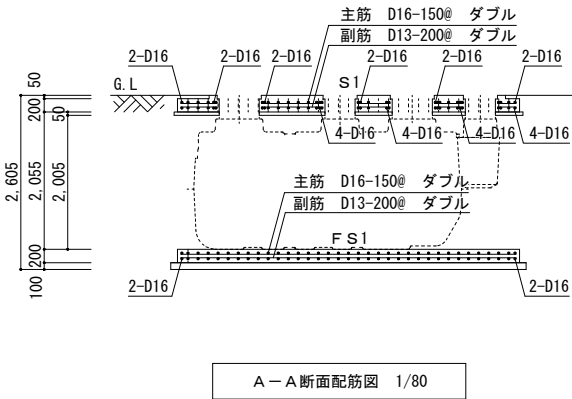
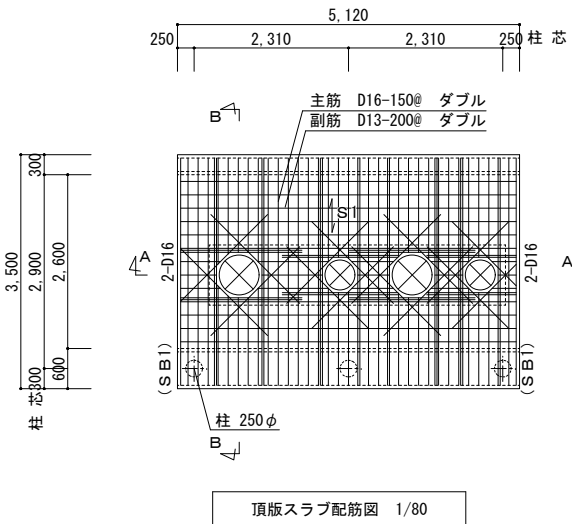
頂版開口図 1/50

仕 様 表	
型式	ダイキ浄化槽 DCX2-25型
認定番号	8-23-H-001-6
処理計画人員	25 人
処理計画汚水量	5.0 m ³ /日
流入水質	BOD 200mg/L
放流水質	BOD 20mg/L
処理方式	分離嫌気ろ床担体流動方式
有 効 容 量 (m ³)	
沈殿分離槽	3.477
嫌気ろ床槽	2.983
担体流動槽	2.061
沈殿槽	1.436
消毒槽	0.075
放流ポンプ槽	0.074

電気機器仕様		
送風機	100V-単相-0.215kW	1台
放流ポンプ	100V-単相-0.13kW	2台
注記		
スラブ荷重は、T-20とする。		
マンホールは、防臭型ロック式とする。		
臭突工事は、スラブ外0.5mまで、それ以降処理槽工事外とする。 (臭突排気風量0.60m ³ /分)		
臭突横引き配管は、上り勾配施工とする。		
流入・放流配管は、処理槽工事外とする。		
処理槽流入部付近に給水栓を設けること。但し、処理槽工事外とする。		
臭突管の工事ができない場所は、放流ポンプ槽から放流先に排気逃がし配管を行って下さい。		
壁にかかる荷重は不明の為、想定とします。		
荷重確定に伴い、躯体は変更となる可能性があります。		
本図は、嵩上げ材H=300mmを設置した図面となります。		



浮上防止具アンカー図 1/80
定着長さ L3=40d 下端筋に定着のこと

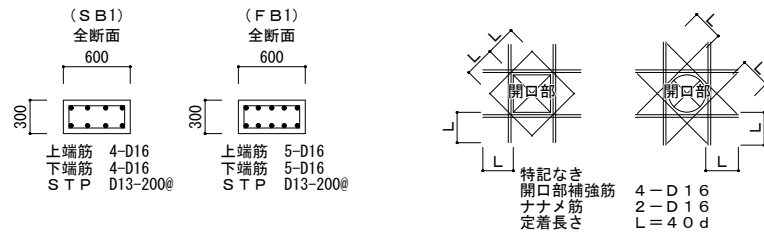
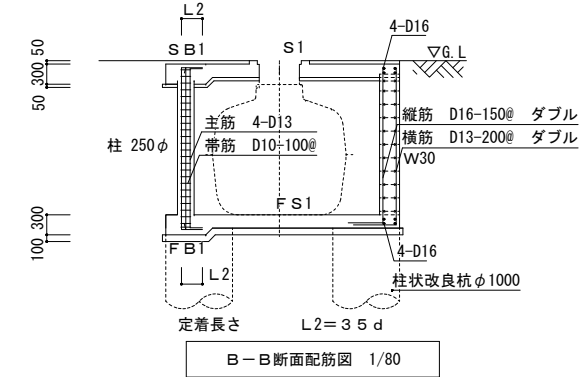
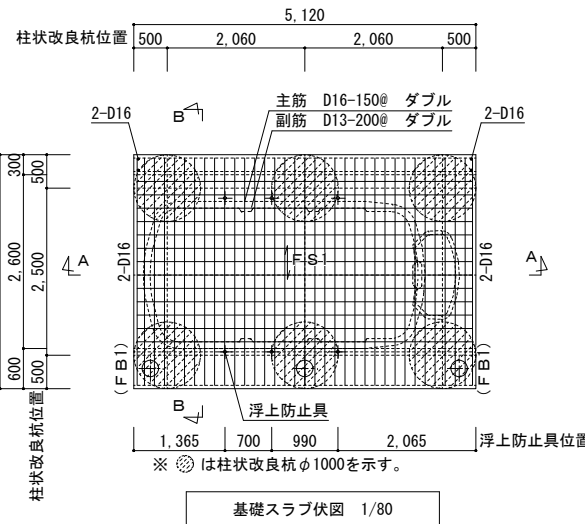


スラブ リスト					
スラブ	スラブ厚	位置	主筋	副筋	備考
S1	200	全断面	D16-150@	D13-200@	ダブル
FS1	200	全断面	D16-150@	D13-200@	ダブル

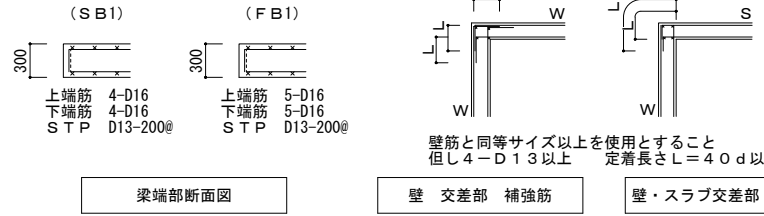
壁 リスト					
壁	壁厚	位置	縦筋	横筋	備考
W30	300	全断面	D16-150@	D13-200@	ダブル

共通事項		凡 例	… D10、… D13、… D16
鉄筋	SD295 (D16以下)		
コンクリート	FC=21N/mm ² (無筋コン18N/mm ² 、捨コン15N/mm ²)		
スラブ荷重	T=20		
巾止め筋	D10-1000@		
地耐力	90KN/m ² 以上地盤改良 (柱状改良杭 φ1000 6本)		
その他	改良先端想定レベル L=GL-6.50m		
	詳細は現場係員の指示による		

特記なきスラブ開口部補筋は4-D16とし定着長さL=40dとする
壁に達する補筋は壁内に定着すること
壁筋で外周のたて筋は水平距離で40dの定着を基礎スラブ内にすること
基礎スラブ筋で外周の壁に定着する下ば筋は鉛直距離で40dの定着を壁内にすること
その他基礎スラブ筋は40dで重ねつぎとする



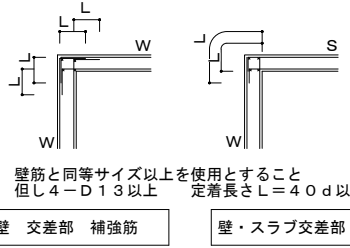
梁リスト



梁端部断面図

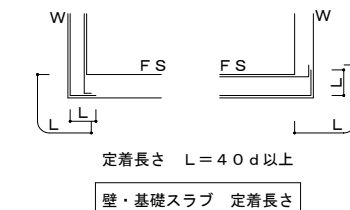


柱リスト



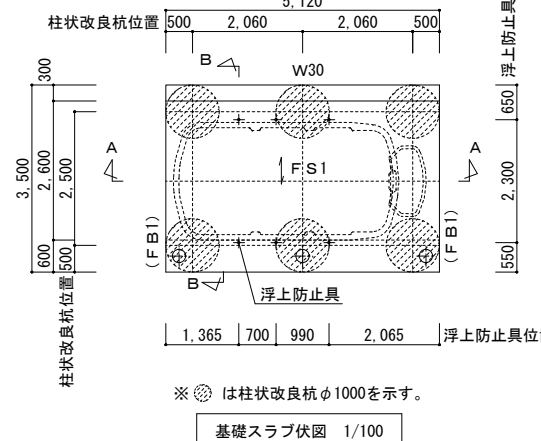
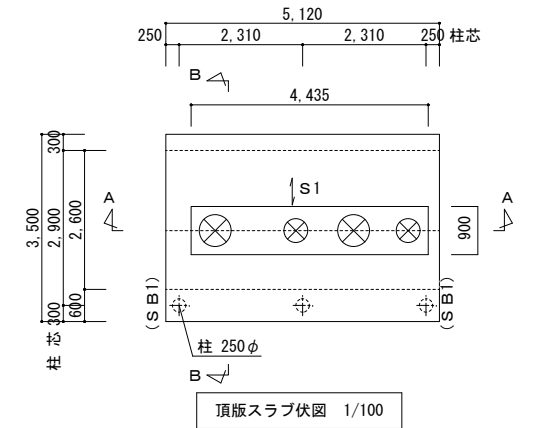
壁 交差部 補強筋

壁・スラブ交差部 補強筋



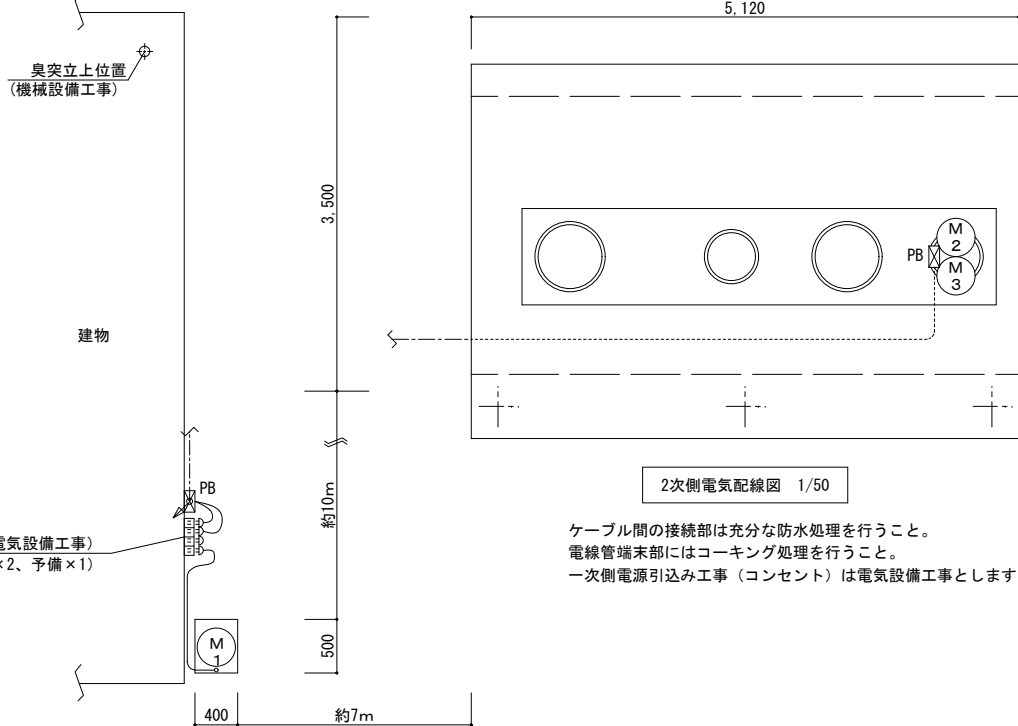
定着長さ L=40d以上

壁・基礎スラブ 定着長さ



※ は柱状改良杭φ1000を示す。

基礎スラブ伏図 1/100



ケーブル間の接続部は十分な防水処理を行うこと。
電線管端末部にはコーキング処理を行うこと。
一次側電源引込み工事 (コンセント) は電気設備工事とします。

符号	機 器 名 称	容量 (KW)	使用ケーブル、電線管	
(M1)	送風機	0.215KW	CV 2mm ² - 3心	(PF22)
(M2)	放流ポンプ NO. 1	0.13KW	CV 2mm ² - 3心	(PF28)
(M3)	放流ポンプ NO. 2	0.13KW	CV 2mm ² - 3心	
PB	150□ x 100, VE (WP)			

ウルトラコラム工法 特記仕様書

§ 1工法概要

本地業は、ウルトラコラム工法による、地盤改良地業であり、スラリー状のセメント系固化材を地中に注入しながら、ウルトラコラム専用共回り防止翼（十字型）を装置した攪拌装置を用いて、原地盤を機械的に混合攪拌し、固化材の科学反応により所要の強度を持つ改良体を築造する工法である。

§ 2特記事項

本工事工法は、攪拌能力・攪拌径・品質（変動係数）に対して「建築技術性能認証委員会」にて証明された技術性能証明取得工法とする。
また、事前にその証明書を管理者に提出し認証を得ることとする。

§ 3一般事項

・本地業は、本特記仕様書によるほか
「2018年版 建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針」（財団法人 日本建築センター、以下指針という）による

＜1＞施工業者

本工事の施工業者は、地盤改良工法の施工技術及び計測装置の取り扱いに精通したもので、ウルトラコラム工法協会に所属する指定施工会社とする。

＜2＞設計変更

コラム径、掘削深度（改良長+空堀長）、本数配置等は、設計図書による。
ただし、コラムの径・長さ・本数・位置及びセメントスラリーの配合等について土質や地盤状況により変更した方が適切と判断される場合は、監督員の承認の上変更することができる。

§ 4コラム仕様

＜1＞設計基準強度
コラムの設計基準強度はF_c= 1,250 kN/m²とする。

＜2＞固化材

固化材の配合は、原則として改良部分の検査対象土を採取し、3種類以上の添加量にて室内配合試験を行い試験結果と配合強度を基に添加量を決定する。
※使用する固化材は、六価クロム等の土壌環境基準に適合することを確認する。

＜3＞配合強度

配合強度X_fは、設計基準強度F_cと変動係数・採取ヶ所数により割増係数α_tを用いて、次式による。 X_f=α_t×F_c

割増係数α_tは、合格率80%とした下表による。

採取ヶ所数 N		1	2	3	4～6	7～8	9～
変動係数 V _c	25%	2.163	1.918	1.815	1.719	1.651	1.594
	30%	2.597	2.240	2.095	1.961	1.869	1.792
	35%	3.160	2.649	2.448	2.265	2.265	2.037

X _f	3246	KN/m ²
----------------	------	-------------------

＜4＞室内配合強度

室内配合強度X_lは、配合強度X_fを現場/室内強度比α_fで除して、次式による。

X_l=X_f/α_f（α_f=0.7）
3246/0.7 = 4637 KN/m²（室内配合 4週強度）

X_{l7}=X_l/α_f（α_f=1.41） α_f=7日強度比
4637/1.41 = 3289 KN/m²（室内配合 1週強度）

＜5＞固化材液の配合

固化材添加量	350	kg/m ³
水/固化材比	80	%

※水/固化材比は左記を標準とし、現場土質により変更・決定する。

§ 5施工監理

※施工手順に従って次の仕様で行う。
①固化材スラリーの吐出量
②ロッドの鉛直性
③オーガー回転数
④掘削深度・速度及び引上げ深度・速度
⑤トルク値またはオーガー電流値
※コラムの芯ズレは100mm以内とする。

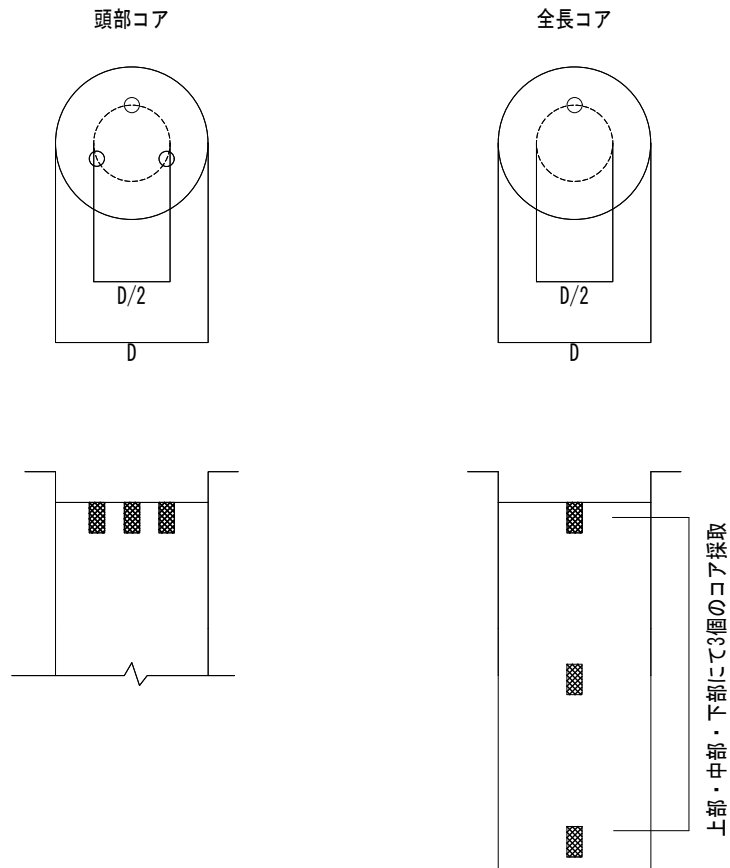
§ 6品質管理

＜1＞調査ヶ所（検査対象に対して）
①検査対象層群は概ねコラム100本を1単位とし、層厚50cm以上の土層毎に検査対象層を決める。
②検査対象層は（砂混りシルト及び砂質シルト）であり設計対象層を（粘性土）とする。
③検査手法は強度のパラツキを想定する場合は検査手法Aによる。
④調査ヶ所数（検査対象群に対して）

検査手法A	頭部コア試験	1箇所
	全長コア試験	1箇所

※頭部コアは、1箇所当たり3個のコア採取を標準とする。
※全長コアは、上中下にて3個のコア採取を標準とする。

＜2＞採取位置



＜3＞ボーリングコア採取率（連続性の確認）
コア採取率は、全長に対して砂質土系の95%以上、粘性土系で90%以上とし、1m当りコア採取率は、砂質土系で、90%以上、粘性土系で85%以上とする。

＜4＞合否の判定

①設計対象層について採取ヶ所をNとする。1箇所あたり3個の供試体を採取し、強度をその箇所の強度とする。
②一軸圧縮試験は第三者で行うものとする。
③検査手法Aによる品質検査
合否の判定は設計対象層におけるNヶ所（採取ヶ所数）の一軸圧縮試験結果が、下式を満足する場合を合格と判定する。

$$X_N \geq X_L = F_c + K_a \cdot \sigma_d = F_c + K_a [F_c \cdot V_d / (1 - 1.3V_d)]$$

X_N： Nヶ所の一軸圧縮強度の平均値

X_L： 合格判定値 X_L= 2418 KN/m²

F_c： 設計基準強度

K_a： 合格判定係数

σ_d： 標準偏差

V_d： 変動係数、品質確認書より想定する。

（合格判定係数）

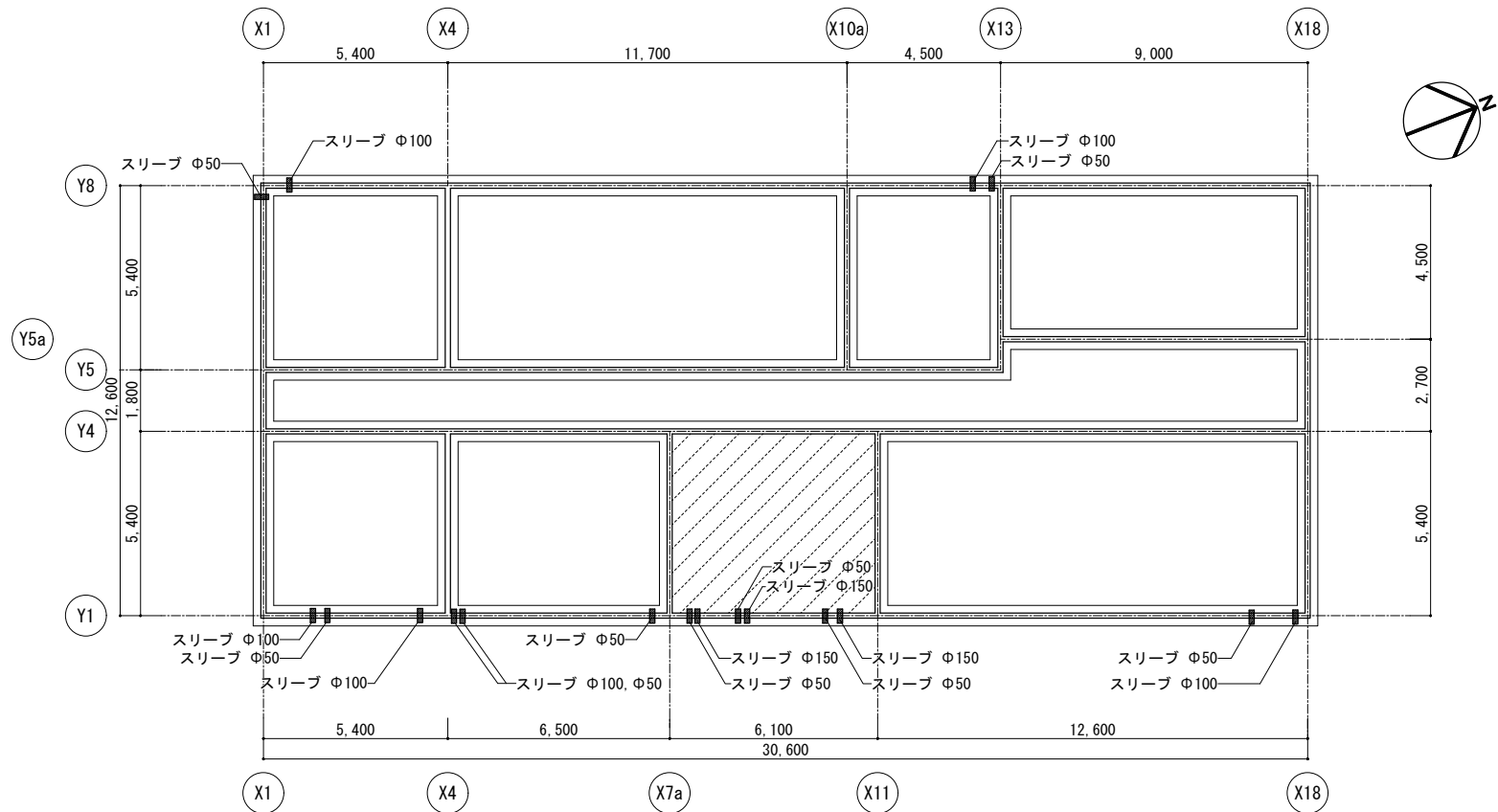
採取ヶ所数 N	1	2	3	4～6	7～8	9～
合格判定係数 k _a	1.9	1.7	1.6	1.5	1.4	1.3

ウルトラコラム工法（GBRC性能証明 第08-06号 改）

株式会社 西尾技建
関西支店

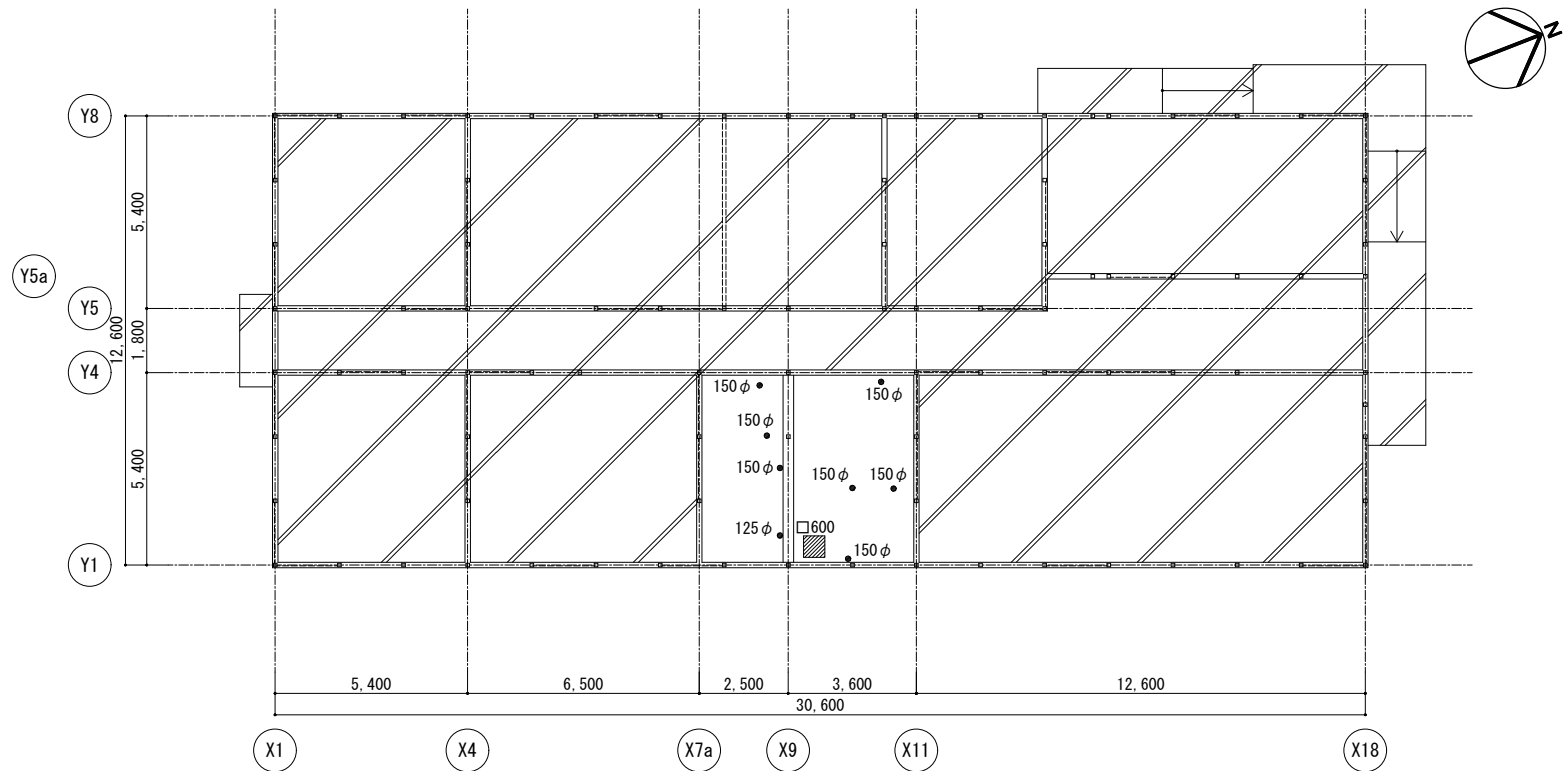
大阪府茨木市横江2丁目10-48
TEL:072-630-5252
FAX:072-630-5253

記 事		業務名称				工事名称				設計年月
		相楽広域行政組合新庁舎基本・実施設計業務				相楽広域行政組合新庁舎新築工事				令和8年3月
		 株式会社 練企画設計	一級建築士事務所 京都府知事登録（07A） 第00523号	印	図面名称	縮尺	図面番号			
			京都支店 管理建築士 一級建築士（大臣） 第331194号 三浦 光寛	・ ・	ウルトラコラム工法 特記仕様書（合併浄化槽部）	A2 ー A3 ー	A ー 48			



地中梁伏図

梁開口リスト	
	数量
Φ50	9
Φ100	6
Φ150	3

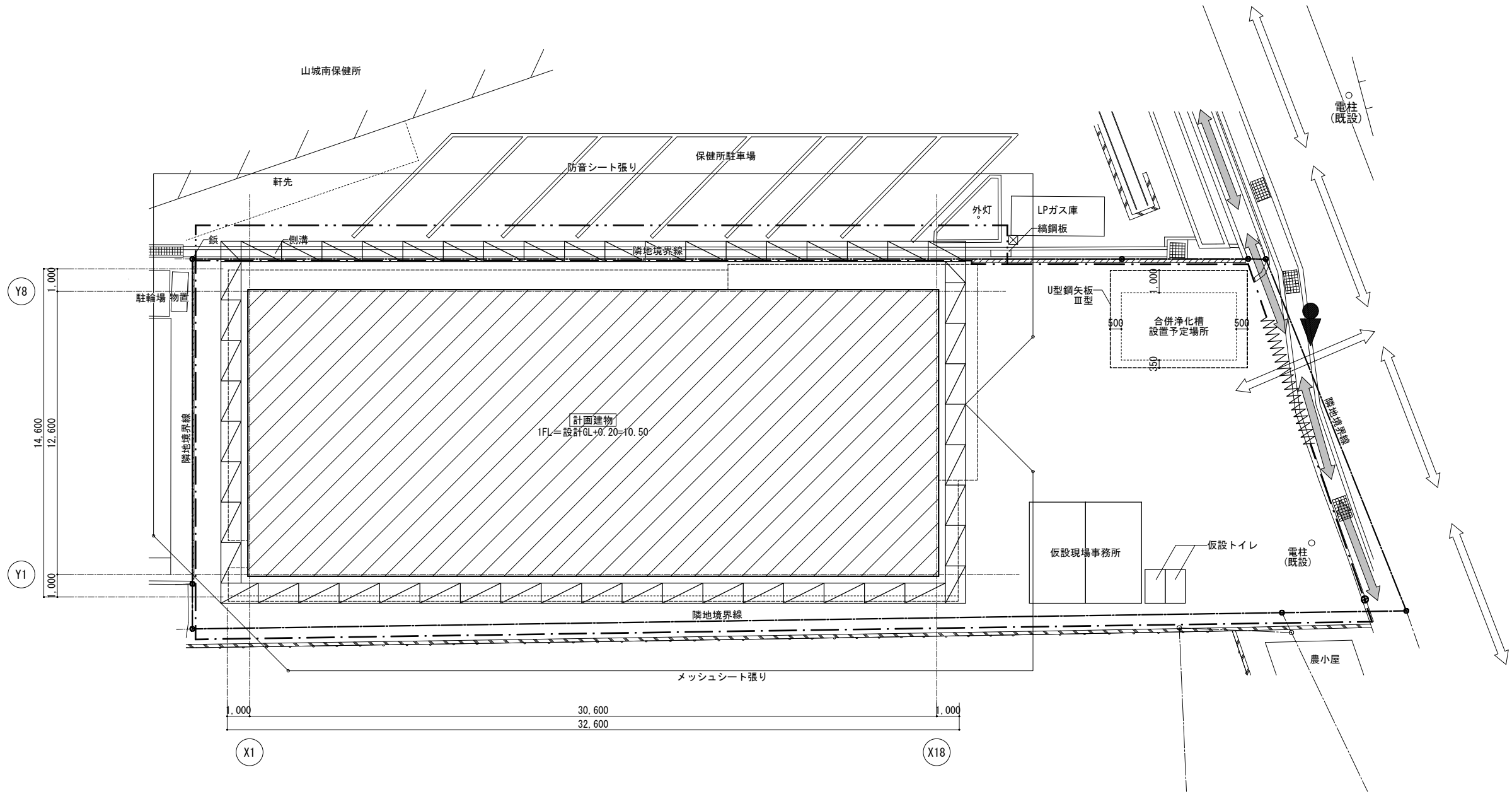


1階床壁伏図

スラブ開口リスト	
	数量
Φ125	1
Φ150	7
□600	1

凡例		ピット範囲を示す
		土間コンクリートを示す

記 事	業務名称 相楽広域行政組合新庁舎基本・実施設計業務				工事名称 相楽広域行政組合新庁舎新築工事		設計年月 令和8年3月
	株式会社 緯企図設計 京都支店 一級建築士事務所 京都府知事登録 (07A) 第00523号 管理建築士 一級建築士 (大臣) 第331194号 三浦 光寛				図面名称 梁・スラブ開口リスト	縮尺 A 2 1/150 A 3 1/210	図面番号 A - 49



凡例

	杭組足場 W=900 (メッシュシート張 一部防音シート張り)	鋼矢板(土留め)参考図 ※ガードフェンスは杭組足場設置期間中の設置とする
	万能鋼板 H=2,000	
	ガードフェンス H=1,800 (メッシュシート張)	
	キャスターゲート W=6,000	
	工事車両進入路	
	歩行者用通路	
	鋼矢板(土留め)を示す	
	ガードマン	

構造特記仕様書					2025年度版																																														
S 1 一般事項		選択項目は ○ 印を適用し、○ 印が無い場合は ※ 印を適用する。 ○ 印が複数有る場合は、共に適用する。																																																	
1-1		使用材料は原則として J I S規格品、J A S規格品、又は大臣認定品とする。																																																	
1-2		設計図書の優先順位は下記による。																																																	
1)		本特記仕様書																																																	
2)		設計図																																																	
3)		標準図																																																	
		● 鉄筋コンクリート構造配筋標準図 ● 鉄骨工作標準図 ● 鉄筋鉄骨コンクリート構造標準図 ● 高強度せん断補強筋施工仕様書 ● 鉄筋コンクリート壁式標準配筋図																																																	
4)		仕様書（・公共建築協会 ● 日本建築家協会）																																																	
5)		日本建築学会標準仕様書、J A S S 5 2018年、J A S S 6 2018年																																																	
1-3		各工事に際して、施工計画書及び施工図を提出し、工事監理者の承認を得る。																																																	
1-4		構造関係材料及び各種試験成績書・検査報告書を作成し提出する。																																																	
		第三者機関による検査・試験費用は工事費に（○含む ●含まない）																																																	
1-5		設計図書に示されていない材料、工法等を採用する場合は文書にて工事監理者の承認を得る。																																																	
1-6		築造位置、径、及び箇所数は（●意匠図 ●構造図 ●設備図）による。																																																	
1-7		その他																																																	
S 2 構造計算ルート																																																			
2-1		<table><tr><th>方 向</th><th colspan="4">構造計算ルート</th></tr><tr><td>X</td><td>●ルート1-1</td><td>●ルート1-2</td><td>●ルート2</td><td>●ルート3</td></tr><tr><td>Y</td><td>●ルート1-1</td><td>●ルート1-2</td><td>●ルート2</td><td>●ルート3</td></tr></table>								方 向	構造計算ルート				X	●ルート1-1	●ルート1-2	●ルート2	●ルート3	Y	●ルート1-1	●ルート1-2	●ルート2	●ルート3																											
方 向	構造計算ルート																																																		
X	●ルート1-1	●ルート1-2	●ルート2	●ルート3																																															
Y	●ルート1-1	●ルート1-2	●ルート2	●ルート3																																															
2-2		鉄筋の継手（「定着については設計図書若しくは標準図による」）																																																	
		構造計算ルート別による主筋又は、耐力壁の鉄筋の継手の重ね長さ																																																	
		● 建築基準法施行令第73条第2項による仕様規定																																																	
		● 日本建築学会 J A S S 5（2018）、鉄筋コンクリート造設計指針・同解説																																																	
		● 日本建築学会 R C標準2024																																																	
		X Y両方向耐力ルート3及び限界耐力計算の場合は、令第73条第2項の仕様規定によらず J A S S 5（2018）、鉄筋コンクリート造設計指針・同解説及びR C標準2024とすることができる。																																																	
S 3 仮設工事、土工事																																																			
3-1		山留め、根切り																																																	
3-2		埋戻し土、盛土、残土処分																																																	
		埋戻し土 ● 根切り土の中の良土 ● 搬入土（埋戻し土は30cm毎に天圧締固めを行うこと）																																																	
		盛土 ● 根切り土の中の良土 ● 搬入土（盛土は30cm毎に転圧締固めを行うこと）																																																	
		残土処分 ● 場内地均し ● 場外搬出処分（●自由 ●指定場所）																																																	
S 4 地盤工事																																																			
4-1		基礎及びスラブ下地盤（単位mm）																																																	
		<table><tr><th colspan="2" rowspan="2">場 所</th><th rowspan="2">捨てコンクリート厚さ</th><th colspan="2">注1)</th><th rowspan="2">厚 さ</th></tr><tr><th>A：砕石</th><th>B：割戻石</th></tr><tr><td rowspan="2">基 礎</td><td>独立、布</td><td>● 50・60・100</td><td>● A・B</td><td>● 50</td><td>●100・150</td></tr><tr><td>ベ タ</td><td>● 50・60・100</td><td>● A・B</td><td>● 50</td><td>●100・150</td></tr><tr><td colspan="2">地 中 梁</td><td>● 50・60・100</td><td>● A・B</td><td>● 50</td><td>●100・150</td></tr><tr><td colspan="2">構造スラブ</td><td>● 50・60・100</td><td>● A・B</td><td>● 50</td><td>●100・150</td></tr><tr><td rowspan="2">土間スラブ</td><td>屋内</td><td>● 50・60・100</td><td>● A・B</td><td>● 50</td><td>●100・150</td></tr><tr><td>屋外</td><td>● 50・60・100</td><td>● A・B</td><td>● 50</td><td>●100・150</td></tr></table>								場 所		捨てコンクリート厚さ	注1)		厚 さ	A：砕石	B：割戻石	基 礎	独立、布	● 50・60・100	● A・B	● 50	●100・150	ベ タ	● 50・60・100	● A・B	● 50	●100・150	地 中 梁		● 50・60・100	● A・B	● 50	●100・150	構造スラブ		● 50・60・100	● A・B	● 50	●100・150	土間スラブ	屋内	● 50・60・100	● A・B	● 50	●100・150	屋外	● 50・60・100	● A・B	● 50	●100・150
場 所		捨てコンクリート厚さ	注1)		厚 さ																																														
			A：砕石	B：割戻石																																															
基 礎	独立、布	● 50・60・100	● A・B	● 50	●100・150																																														
	ベ タ	● 50・60・100	● A・B	● 50	●100・150																																														
地 中 梁		● 50・60・100	● A・B	● 50	●100・150																																														
構造スラブ		● 50・60・100	● A・B	● 50	●100・150																																														
土間スラブ	屋内	● 50・60・100	● A・B	● 50	●100・150																																														
	屋外	● 50・60・100	● A・B	● 50	●100・150																																														
		注（1）アンカーボルト支持用フレームの、あと施工アンカーを打込む部分は100以上とする。																																																	
		（2）端部aは100以上とする。 																																																	
4-2		設計地耐力 長期 100 kN/m ² 短期 200 kN/m ² 終局 300 kN/m ²																																																	
		地耐力載荷試験 ● 行う（ 箇所、長期設計耐力の3倍を確認する） ● 行わない																																																	
4-3		地盤改良																																																	
		● 無筋コンクリート地盤 ● 締固め工法 ● 柱状地盤改良：ワルトコラム工法																																																	
		● セメント系固材攪拌 ● 圧密排水工法（又は、同等以上の改良工法とする。）																																																	
		[● 載荷試験 ● 一軸圧縮試験] ● 行う（ 2 箇所） ● 行わない																																																	
		[● 六価クロム溶出試験] ● 行う ● 行わない																																																	
4-4		既設コンクリート杭、鋼管杭、その他特殊杭																																																	
1) 杭種																																																			
		● P H C杭 ● A種 ● B種 ● C種 ●																																																	
		● S T杭 ● A種 ● B種 ● C種 ●																																																	
		● S C杭 tmm ● ● ●																																																	
		● P R C杭 ● I種 ● II種 ● III種 ● IV種																																																	
		● 節杭 ● A種 ● B種 ● C種 ●																																																	
		● 鋼管杭 ●																																																	
2) 工法																																																			
		● 打撃工法 ● 油圧ハンマー ● ディーゼルハンマー																																																	
		● 埋込み工法 ● アレポーリングセメントミルク注入工法																																																	
		● アレポーリング拡大根固め工法（認定工法）																																																	
		杭周固定液 ● あり ● なし																																																	
		中掘拡大根固め工法（認定工法）																																																	
		回転埋設根固め工法（認定工法）																																																	
		回転杭工法																																																	
		先行掘削 ● あり ● なし																																																	

3）杭径、設計耐力、本数表						
杭径（杭底部）mm	長期kN	短期kN	終局kN	本数	備 考	
（ ）						
（ ）						
（ ）						
（ ）						
4）杭の構成は設計図による。						
5）杭頭部						
・ かご筋 ・ バイロスタッド工法（日本スタッドウェルディング（株）） ・ 杭外周溶接鉄筋						
4-5 場所打鉄筋コンクリート杭、場所打鋼管コンクリート杭						
1）工法						
・ アースドリル工法 ・ 拡張アースドリル工法						
・ リバース工法 ・ オールケーシング工法（ ・ ペント工法 ・ ）						
・ BH工法 ・						
2）杭径、設計耐力、本数表（杭底部は施工径を示す）						
杭径（杭底部）mm	管厚 mm	長期kN	短期kN	終局kN	本数	備 考
（ ）						
（ ）						
（ ）						
（ ）						
（ ）						
3）杭先端深さ ・ GL- m ・ 杭リストによる ・ 杭状況による						
4）孔距測定（2方向）						
・ 行う（ ・ 全数 ・ % ） ・ 行わない						
5）使用材料 コンクリートの仕様は設計図による。特記のない場合JASS5水中コンクリートによる。						
コンクリート Fc （ ・ 普通ポルトランドセメント ・ 高炉セメント B種 ）						
鉄筋 ・ D 以下 SD295 ・ D 以上 SD345						

(販売元)一般社団法人日本建築構造設計事務所協会連合会 <http://fasa-net.jp>

6-1
定着及び
継手

Figure 1 consists of three diagrams illustrating the construction of a wall and floor slab joint. Diagram 1 shows a cross-section of a wall with a horizontal reinforcement bar (横筋) and a vertical reinforcement bar (縦筋) at the joint. Diagram 2 shows a cross-section of a wall with a horizontal reinforcement bar (横筋) and a vertical reinforcement bar (縦筋) at the joint, with dimensions $L_1 + 50$ and $\approx L_2$ indicated. Diagram 3 shows a cross-section of a wall with a horizontal reinforcement bar (横筋) and a vertical reinforcement bar (縦筋) at the joint, with dimensions $\approx L_2$ and $\approx L_1$ indicated. The diagrams are labeled ①, ②, and ③ respectively.

10

継手位置は5-2項の上筋筋、下端筋を逆に読み替える。

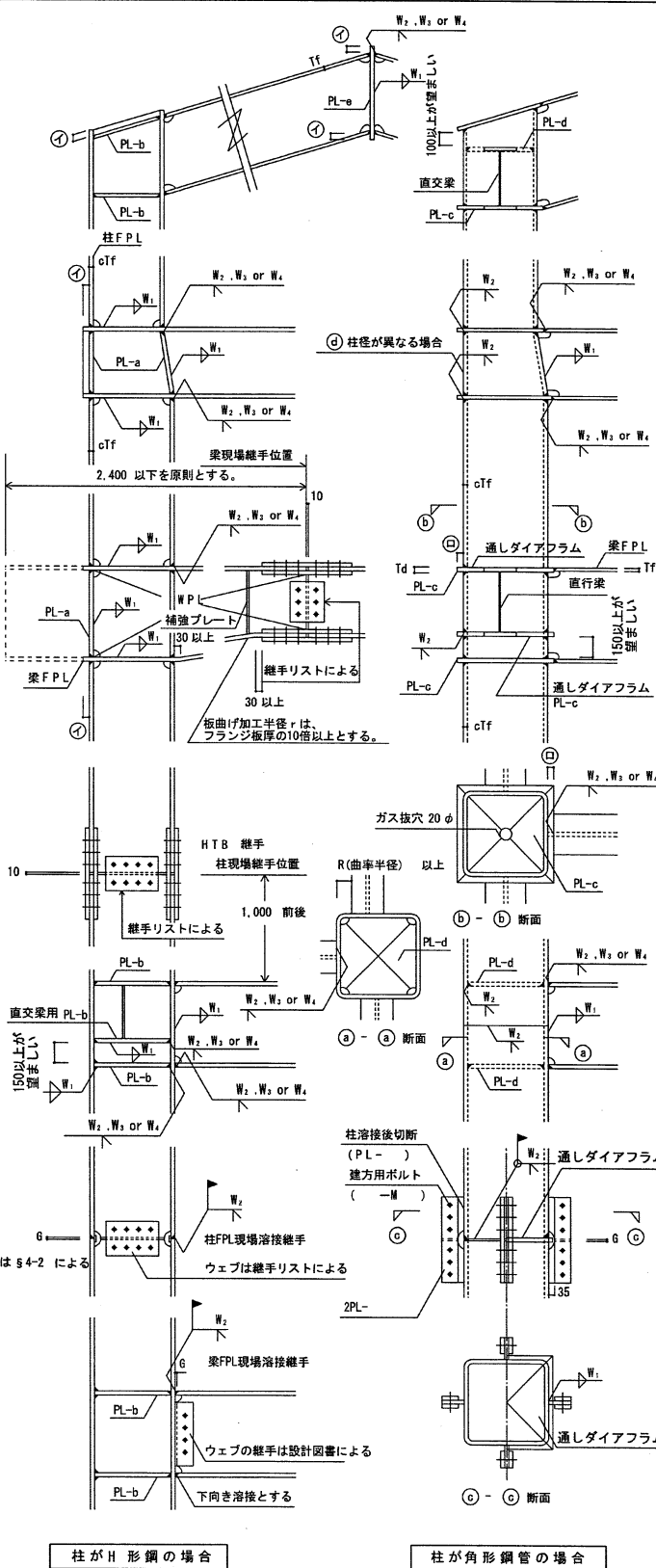
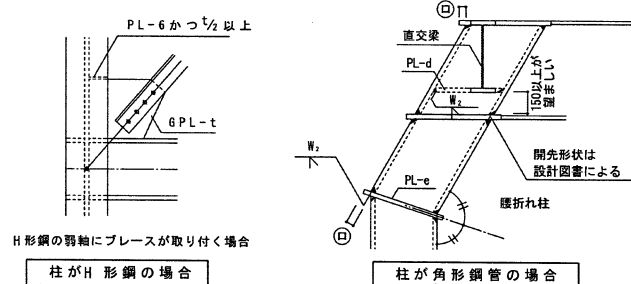
Technical drawing of a lap joint for reinforcement bars. The drawing shows two bars, one with diameter d_1 and the other with diameter d_2 , overlapping by a length a . The total length of the joint is L . The drawing includes various dimension lines and labels: B for the width of the concrete slab, L for the lap length, d_1 and d_2 for the bar diameters, a_1 and a_2 for the lap lengths of each bar, t for the slab thickness, and $B/2$ for the distance from the centerline to the edge. Text labels include $20d$ 以上, $a_1/a_2 \leq 1/6$, $15d$ 以上, and 用筋 主筋の径以上.

8 - 4
樓 底 五 字

○  は、はつり部分を示す。

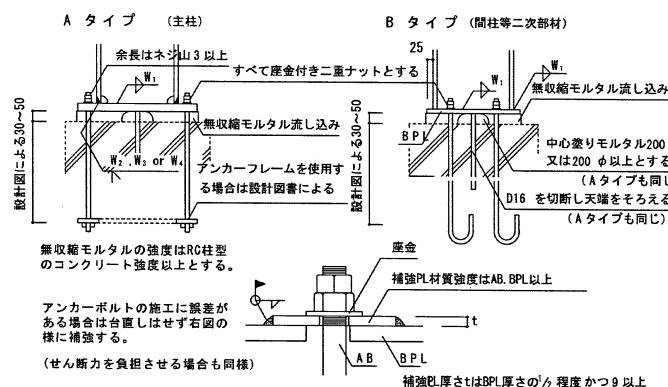
○ 増築時の継手は、原則として柱・梁の主筋は溶接継手する。
(増築側の鉄筋は水平定着でもよい。)

§ 6 柱梁接合部及び継手

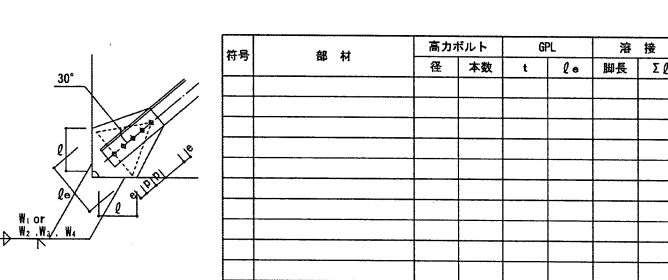
6-1
勾配屋根6-2
梁通し6-3
仕口と継手6-4
柱通し6-5
現場溶接継手6-6
その他

- 1) パネルゾーンのPLの厚さ
- PL-a (鉛直スチフナ) 上下柱のFPLの厚い方より1サイズUP以上
 - PL-b (水平スチフナ) 仕口部に集結する梁の最大FPLより1サイズUP以上
 - PL-c (通しダイアフラム) 仕口部に集結する梁の最大FPLより2サイズUP以上かつ柱のFPL以上
 - PL-d (内ダイアフラム) 仕口部に集結する梁の最大FPLより1~2サイズUP以上
 - PL-e (折れ曲がり部) 梁(柱)のFPLより1サイズUP以上
- 2) 出寸法
- 25mm かつ cTf 以上
 - cTf ≤ 25 の場合 25
 - cTf ≥ 28 の場合 30
- 3) 注記
- ダイアフラムの材質は特記仕様による。特記なき場合は、通しダイアフラムはSN490Cとし、内ダイアフラムはSN490Bとする。板厚が40mmを超える場合はTMGP鋼とする。但し、梁構にF値325を超える鋼材を使用する場合は設計図による。
 - ④ (6-2項) 上下階で柱径が異なる場合の板厚は上下階柱の厚い方、材質は上下階柱と同質以上とし、折れ曲がり又は溶接加工とする。
 - ハンチングでFPLを折曲げる場合はR ≥ 10Tfとし補強プレートを入れる。ただし、勾配のゆるい場合(1/6程度)は不要。
 - ダイアフラムと梁フランジの溶接部は、梁フランジはダイアフラムの厚みの内部で溶接すること。(告示1464)
 - 現場溶接を行なう場合は工事監理者の承諾を得、養生に十分配慮して行うこと。

§ 7 柱脚

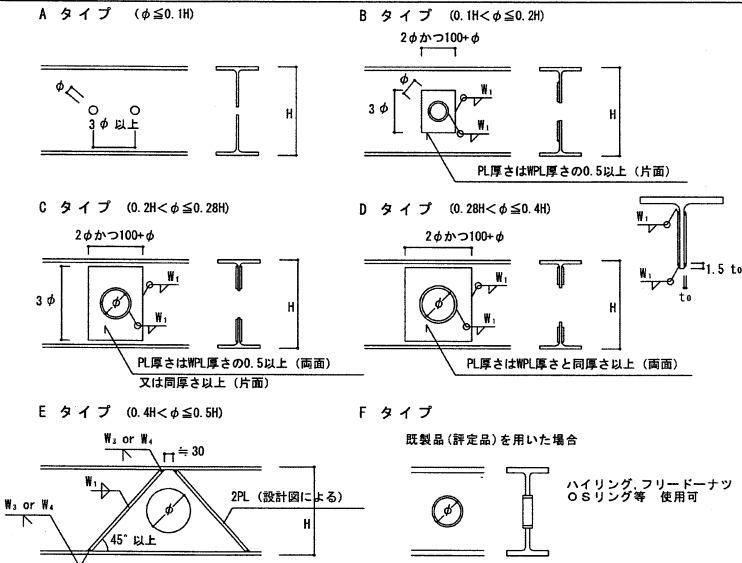
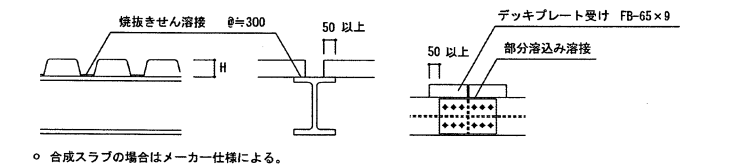
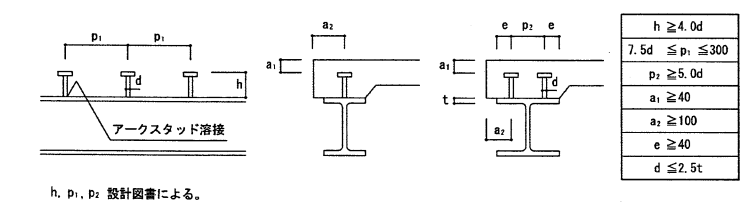
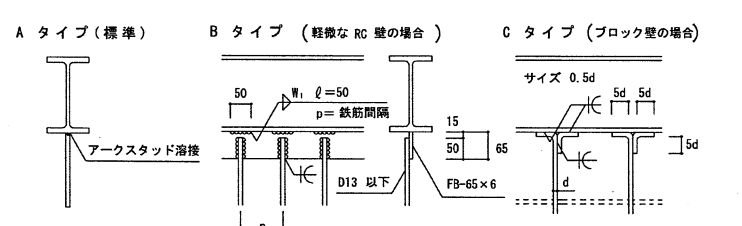


§ 8 壁面ブレース



- GPLの最小幅 ℓ_0 が確保できない場合は、設計者の指示により板厚を変更する。
- 丸鋼を使用する場合は、丸鋼、ターンバックル共にJIS規格適合品を使用する。
- 床面ブレースは設計図書に明記なき場合は壁面に準ずる。

§ 9 その他

9-1
貫通補強9-2
デッキプレート9-3
スタッドジベル9-4
壁筋の溶接

ウルトラコラム工法 特記仕様書

§ 1 工法概要

本地業は、ウルトラコラム工法による、地盤改良地業であり、スラリー状のセメント系固化材を地中に注入しながら、ウルトラコラム専用共回り防止翼（十字型）を装置した攪拌装置を用いて、原地盤を機械的に混合攪拌し、固化材の科学反応により所要の強度を持つ改良体を築造する工法である。

§ 2 特記事項

本工事工法は、攪拌能力・攪拌径・品質（変動係数）に対して「建築技術性能認証委員会」にて証明された技術性能証明取得工法とする。
また、事前にその証明書を管理者に提出し認証を得ることとする。

§ 3 一般事項

・本地業は、本特記仕様書によるほか
「2018年版 建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針」（財団法人 日本建築センター、以下指針という）による

<1>施工業者
本工事の施工業者は、地盤改良工法の施工技術及び計測装置の取り扱いに精通したもので、ウルトラコラム工法協会に所属する指定施工会社とする。

<2>設計変更
コラム径、掘削深度（改良長＋空堀長）、本数配置等は、設計図書による。ただし、コラムの径・長さ・本数・位置及びセメントスラリーの配合等について土質や地盤状況により変更した方が適切と判断される場合は、監督員の承認の上変更することができる。

§ 4 コラム仕様

<1>設計基準強度
コラムの設計基準強度は $F_c = 1,600 \text{ kN/}\text{m}^2$ とする。

<2>固化材
固化材の配合は、原則として改良部分の検査対象土を採取し、3種類以上の添加量にて室内配合試験を行い試験結果と配合強度を基に添加量を決定する。
※使用する固化材は、六価クロム等の土壌環境基準に適合することを確認する。

<3>配合強度
配合強度 X_f は、設計基準強度 F_c と変動係数・採取ヶ所数により割増係数 α_t を用いて、次式による。 $X_f = \alpha_t \times F_c$

割増係数 α_t は、合格率80%とした下表による。

採取ヶ所数 N		1	2	3	4~6	7~8	9~
変動係数 V _c	25%	2.163	1.918	1.815	1.719	1.651	1.594
	30%	2.597	2.240	2.095	1.961	1.869	1.792
	35%	3.160	2.649	2.448	2.265	2.265	2.037

$X_F = 3,584 \text{ kN/}\text{m}^2$

<4>室内配合強度

室内配合強度 X_1 は、配合強度 X_f を現場／室内強度比 α_{f1} で除して、次式による。
 $X_1 = X_f / \alpha_{f1}$ ($\alpha_{f1} = 0.7$)
 $3,584 / 0.7 = 5,120 \text{ kN/}\text{m}^2$ (室内配合 4週強度)
 $X_{17} = X_1 / \alpha_{f17d}$ ($\alpha_{f17d} = 1.41$) α_{f17d} :7日強度比
 $5,120 / 1.41 = 3,631.2 \text{ kN/}\text{m}^2$ (室内配合 1週強度)

<5>固化材液の配合

固化材添加量	400 $\text{kg/}\text{m}^3$
水／固化材比	80 %

※水／固化材比は上記を標準とし、現場土質により変更・決定する。

§ 5 施工監理

※施工手順に従って次の仕様で行う。
①固化材スラリーの吐出量
②ロッドの鉛直性
③オーガー回転数
④掘削深度・速度及び引上げ深度・速度
⑤トルク値またはオーガー電流値
※コラムの芯ズレは100mm以内とする。

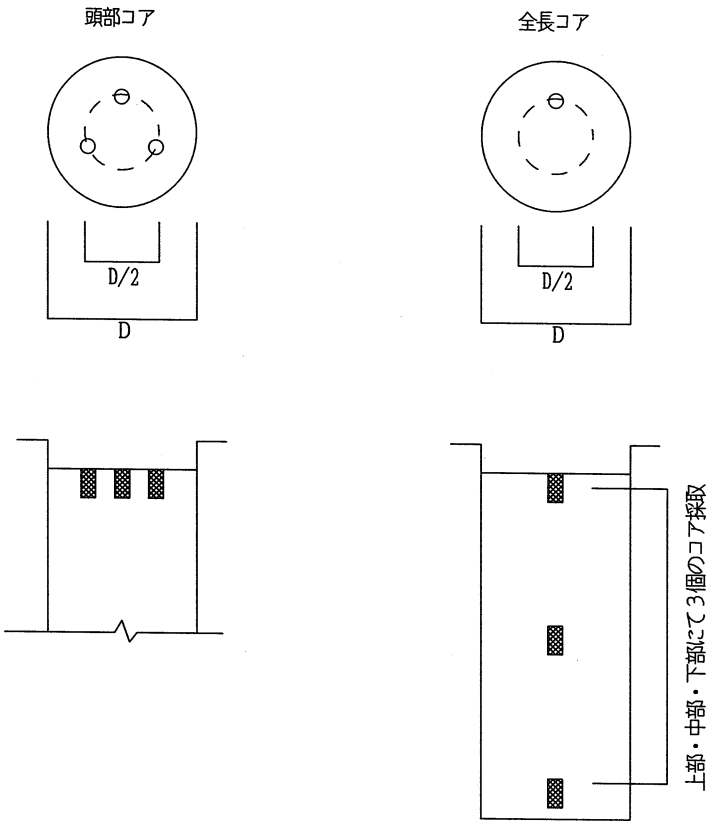
§ 6 品質管理

<1>調査ヶ所（検査対象に対して）
①検査対象層群は概ねコラム100本を1単位とし、層厚50cm以上の土層毎に検査対象層を決める。
②検査対象層は（砂混じり粘土）であり設計対象層を（粘性土）とする。
③検査手法は強度のバラツキを想定する場合は検査手法Aによる。
④調査ヶ所数（検査対象群に対して）

検査手法A	頭部コア試験	2箇所
	全長コア試験	2箇所

※頭部コアは、1箇所当たり3個のコア採取を標準とする。
※全長コアは、上中下にて3個のコア採取を標準とする。

<2>採取位置



<3>ボーリングコア採取率（連続性の確認）
コア採取率は、全長に対して砂質土系の95%以上、粘性土系で90%以上とし、1m当たりコア採取率は、砂質土系で、90%以上、粘性土系で85%以上とする。

<4>合否の判定

①設計対象層について採取ヶ所をNとする。1箇所あたり3個の供試体を採取し、強度をその箇所の強度とする。
②一軸圧縮試験は第三者で行うものとする。
③検査手法Aによる品質検査
合否の判定は設計対象層におけるNヶ所（採取ヶ所数）の一軸圧縮試験結果が、下式を満足する場合を合格と判定する。
 $X_N \geq X_L = F_c + K_a \cdot \sigma_d = F_c + K_a | F_c V_d / (1 - 1.3 V_d) \}$
 X_N : Nヶ所の一軸圧縮強度の平均値
 X_L : 合格判定値
 F_c : 設計基準強度
 K_a : 合格判定係数
 σ_d : 標準偏差
 V_d : 変動係数、品質確認書より想定する。

(合格判定係数)						
採取ヶ所数 N	1	2	3	4~6	7~8	9~
合格判定係数 k_a	1.9	1.7	1.6	1.5	1.4	1.3

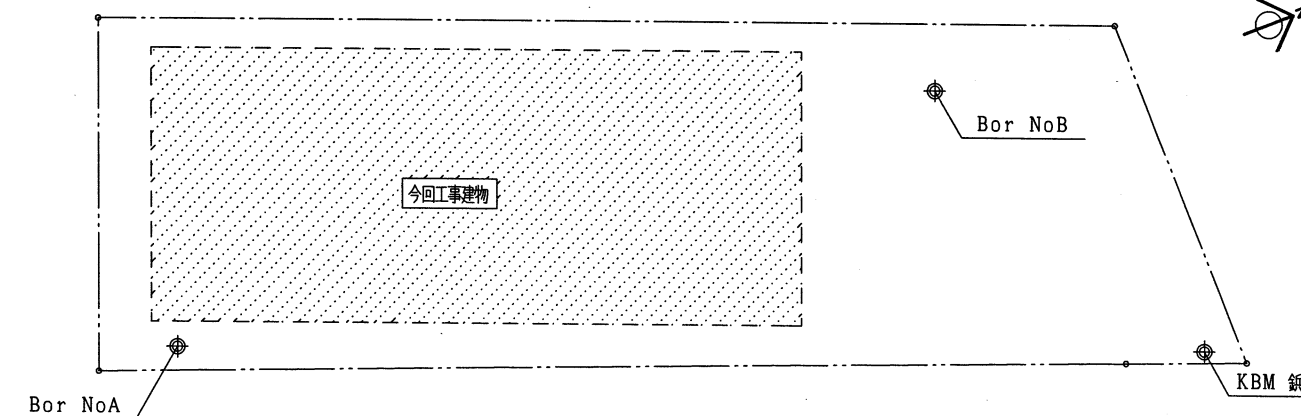
$$X_L = 2,938 \text{ kN/}\text{m}^2$$

ウルトラコラム工法（GBRC性能証明 第08-06号 改）

土質柱状図

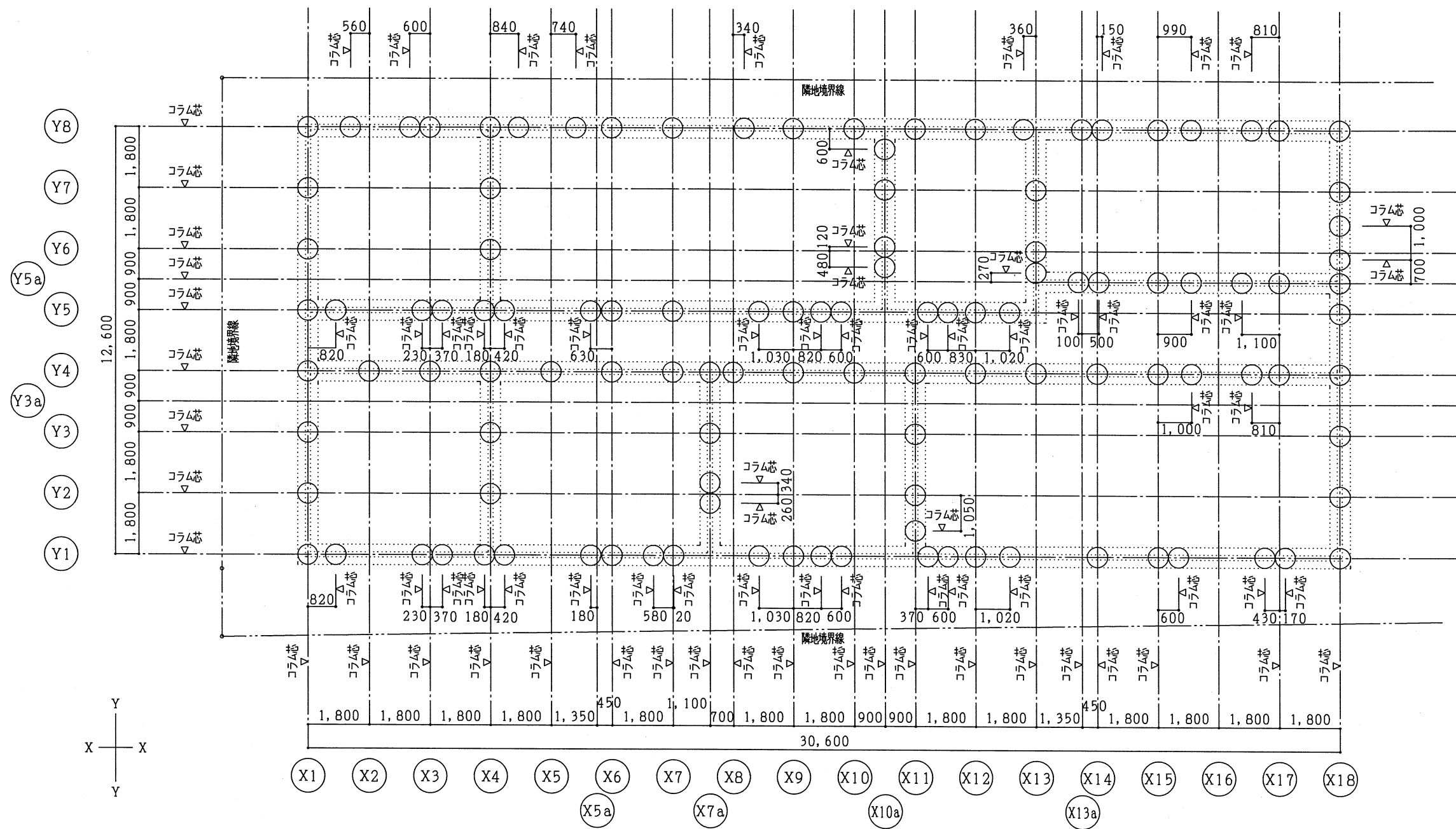
[illegible]

調 査 名 : 相模広域行政組合新庁舎基本・実施設計業務委託						調 査 地 点 : 京都府木津川市木津上戸内		標 高 : 10.30m		調査年月日 : 令和2年1月9日-令和2年1月19日										
ボーリング孔 : No. B						孔内水位(自然・泥) : -5.45m		調査責任者 :												
標 尺 m	標 高 m	深 さ m	層 厚 m	観 察 記 録				標 準 貫 入 試 験												
				土質記号	土質名	色調	記事	深さ m	打撃回数 回/cm	貫入量 cm	10cmごとの 打 撃 回 数			N 値						
										10 cm	20 cm	30 cm	0	10	20	30	40	50	60	
0				X	埋土 (礫混じり砂)	褐色	礫～中砂主体。 基角～基内礫φ2～10mm程度全層に 混入する。 含水比少量。													
1	9.40	0.90	0.90	X	埋土 (シルト質砂礫)	暗灰	基角～基内礫φ2～20mm程度主体。 砂粒中～細砂 シルト分全層に混入する。 含水比少量。	1.15	12/30	4	5	3								
2	8.70	1.60	0.70					1.45												
								2.15	5/30	2	2	1								
3					砂質シルト	暗灰	粘性少量。 細砂全層に混入する。 GL～3.50mまで無水量水位確認できず。	2.45												
								3.15	5/30	2	1	2								
4	6.20	4.10	2.50					3.45												
					シルト質砂	暗灰	砂は細砂主体。 シルト分全層に混入する。 含水比少量。	4.15	6/30	2	2	2								
5	5.80	4.50	0.40					4.45												
					シルト混じり砂	暗灰	砂は細砂主体。 シルト分全層に混入する。 含水比少量。	5.15	26/30	4	10	12								
6	5.05	5.25	0.75					5.45												
					砂礫	灰	基角～基内礫φ2～20mm程度主体。 砂粒中～中砂。 含水比中量。	6.15	18/30	6	6	6								
7	4.40	5.90	0.65					6.45												
					礫混じり砂	褐色	砂は礫～中砂主体。 基角～基内礫φ2～15mm程度全層に 混入する。 含水比中量。	7.15	18/30	4	6	8								
8	2.50	7.80	1.90					7.45												
					シルト質砂	暗灰	砂は細砂主体。 シルト分全層に混入する。 含水比少量。	8.15	30/30	9	10	11								
9	1.70	8.60	0.80					8.45												
								9.15	51/30	12	18	21								
10					固結シルト	青灰	粘性少量。 細砂若干混入する。	9.45	33/30	10	11	12								
								10.15												
11	-1.40	11.70	3.10					10.45	33/30	10	11	12								
								11.15												
12								11.45												
					シルト混じり砂	黄褐～灰褐	砂は礫～中砂主体。 シルト分全層に混入する。 含水比少量。	12.15	45/30	10	15	20								
13								12.45												
								13.15	59/30	16	20	23								
14																				



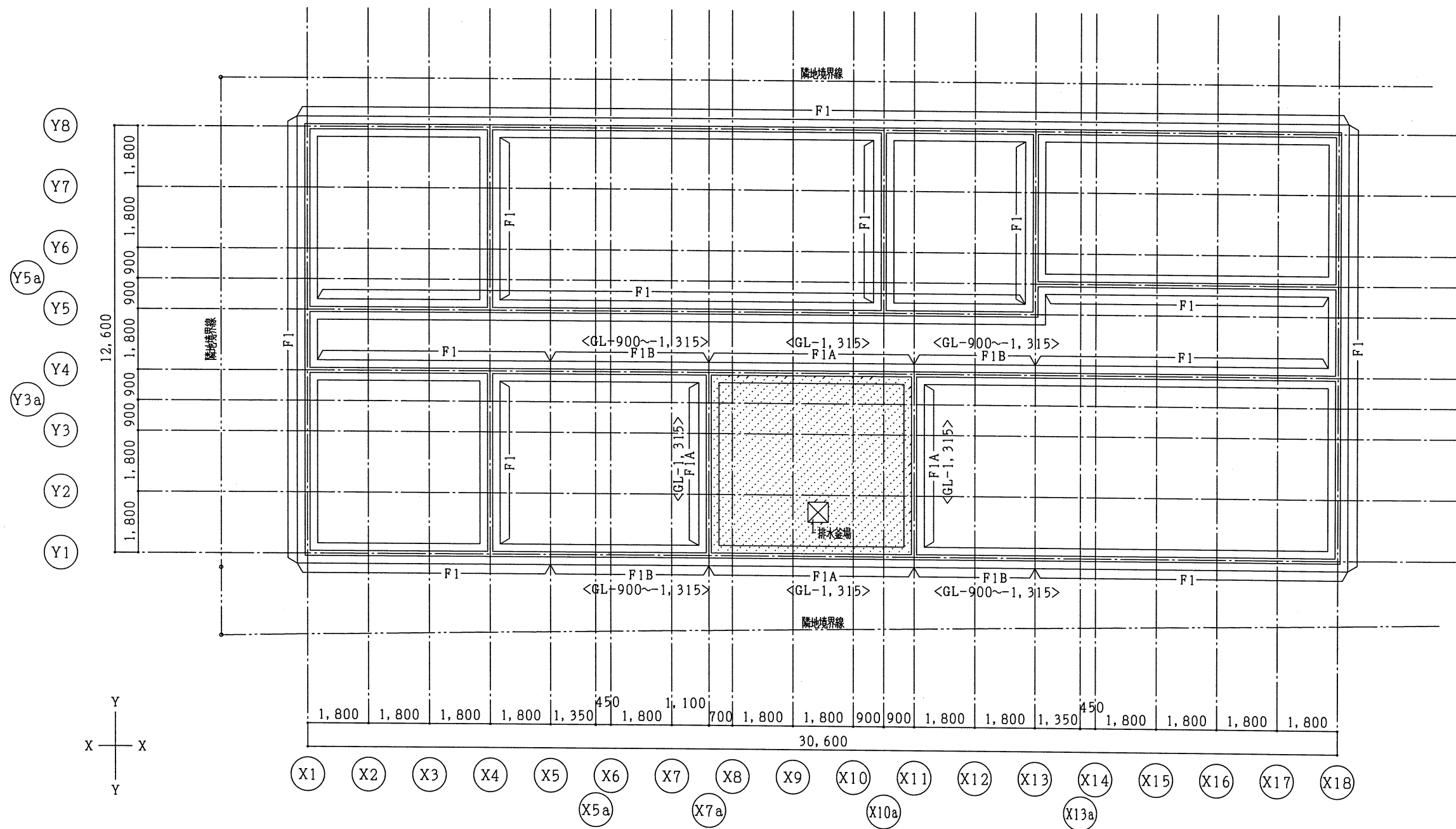
ボーリング位置図

(注) $GL = KBM + 270$ とする。

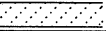


柱状地盤改良伏図 S=1/100

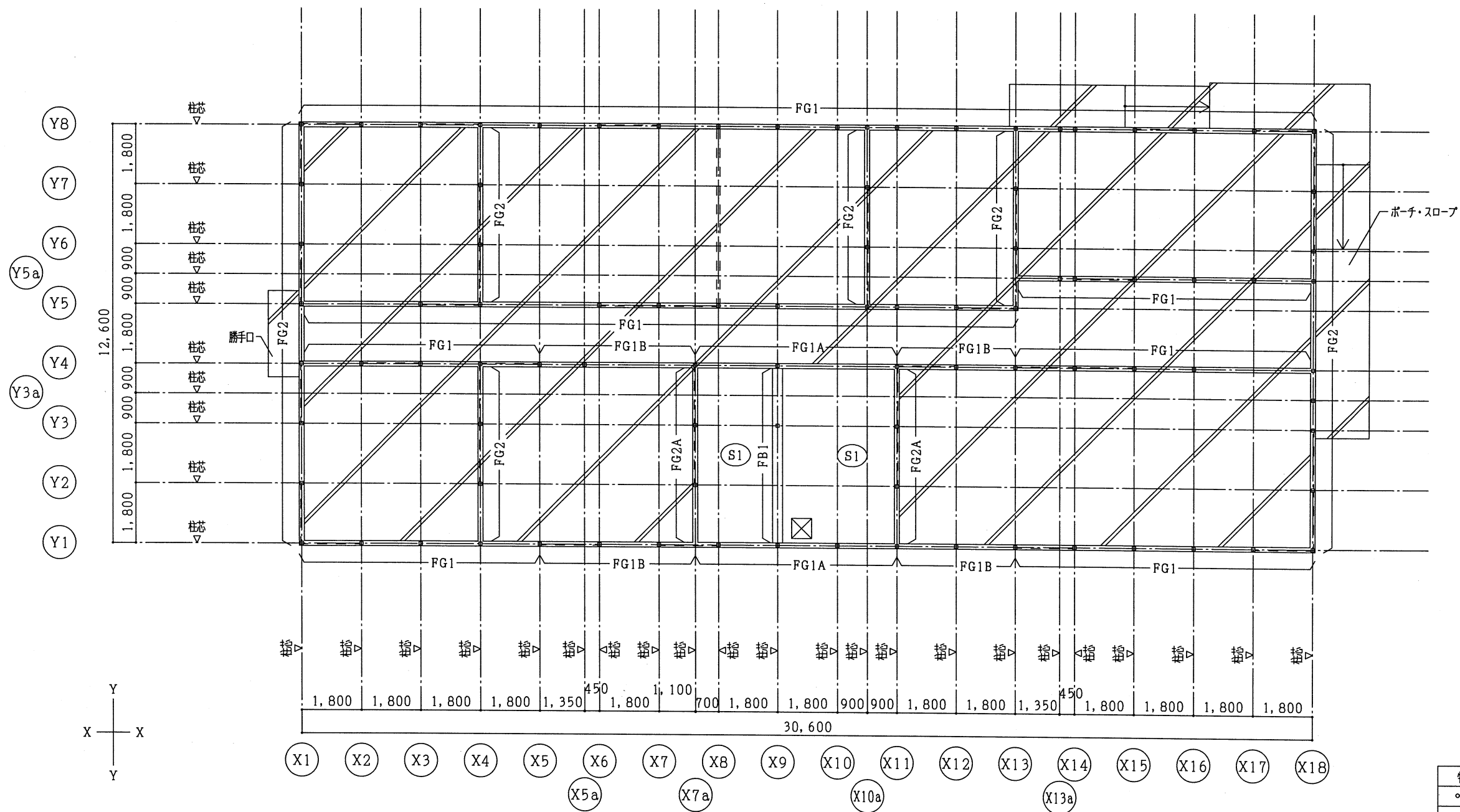
特記なき限り
◦ 柱状地盤改良底は、GL-5、300とする。
◦ 設計地耐力は、100.00kN/㎡(長期)とする。
◦ 柱状改良コラム径は、600φとする。
◦ その他、柱状地盤改良仕様は基礎リスト参照とする。
◦
◦
◦
◦
◦
◦
◦



基礎伏図 S=1/100

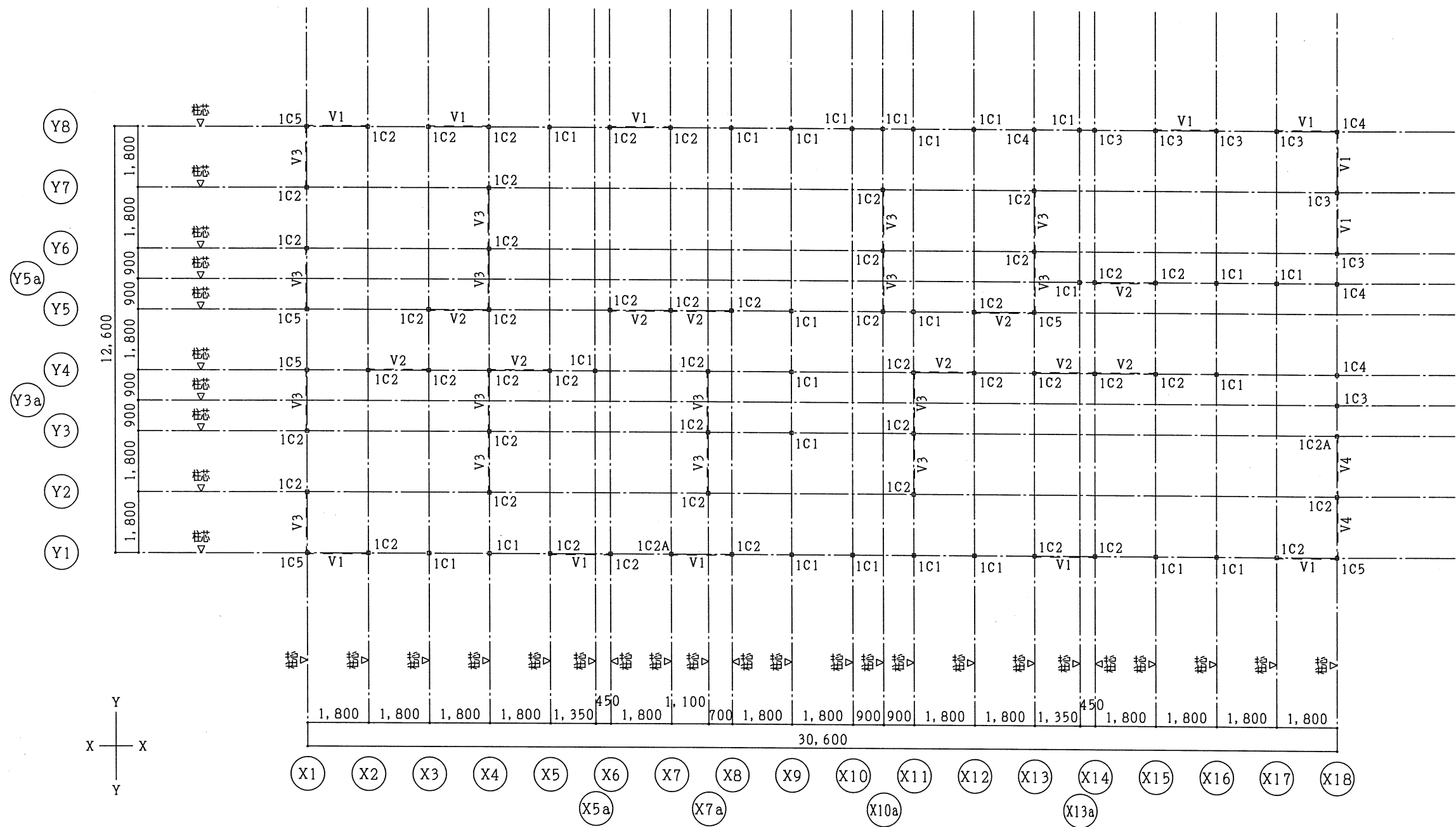
特記なき限り
◦ 基礎底は、GL-900とする。
◦ <GL-000>は、基礎底レベルを示す。
◦ 基礎下には、GL-5.30mまでの範囲にて、柱状地盤改良を施す事とする。
◦ 設計地耐力は、100.00kN/㎡(長期)とする。
◦  は、土間コンビット範囲を示す。
◦ 土間コンビット天端は、GL-1,165とする。
◦
◦
◦
◦
◦

記事		業務名称 相楽広域行政組合新庁舎基本・実施設計業務	工事名称 相楽広域行政組合新庁舎新築工事	設計年月 令和8年3月	
				図面名称 基礎伏図	図面番号 S-09
株式会社 緑企画設計 京都支店		一級建築士事務所 京都府知事登録(07A) 第00523号 管理建築士 一級建築士(大臣) 第331194号 三浦 光寛	印	縮尺 A2 1/100 A3 1/140	



1 階柱・壁ブレース 1 階床梁伏図伏図 S=1/100

特記なき限り
◦ 土間コン・スラブ天端は、意匠図：仕上げ表参照とする。
◦ 地中梁天端は、1FL-200とする。
◦ 柱・壁ブレース符号は、1階柱・壁ブレース伏図参照とする。
◦ ベースプレート下端は、
外周部 (Y1通り・Y8通り・X1通り・X18通り) : 1FL+130
・内部 (その他通り) : 1FL-170とする。
◦  は、土間コン範囲を示す。
◦ 外周部 (Y1通り・Y8通り・X1通り・X18通り) 立上り壁厚は150
とし、壁天端は1FL+100とする。
但し、外周出入口部壁天端は、軸組図参照とする。
◦ $\equiv \equiv \equiv$ は、立上り壁: $t=100 \cdot h=100$ 位置を示す。
◦

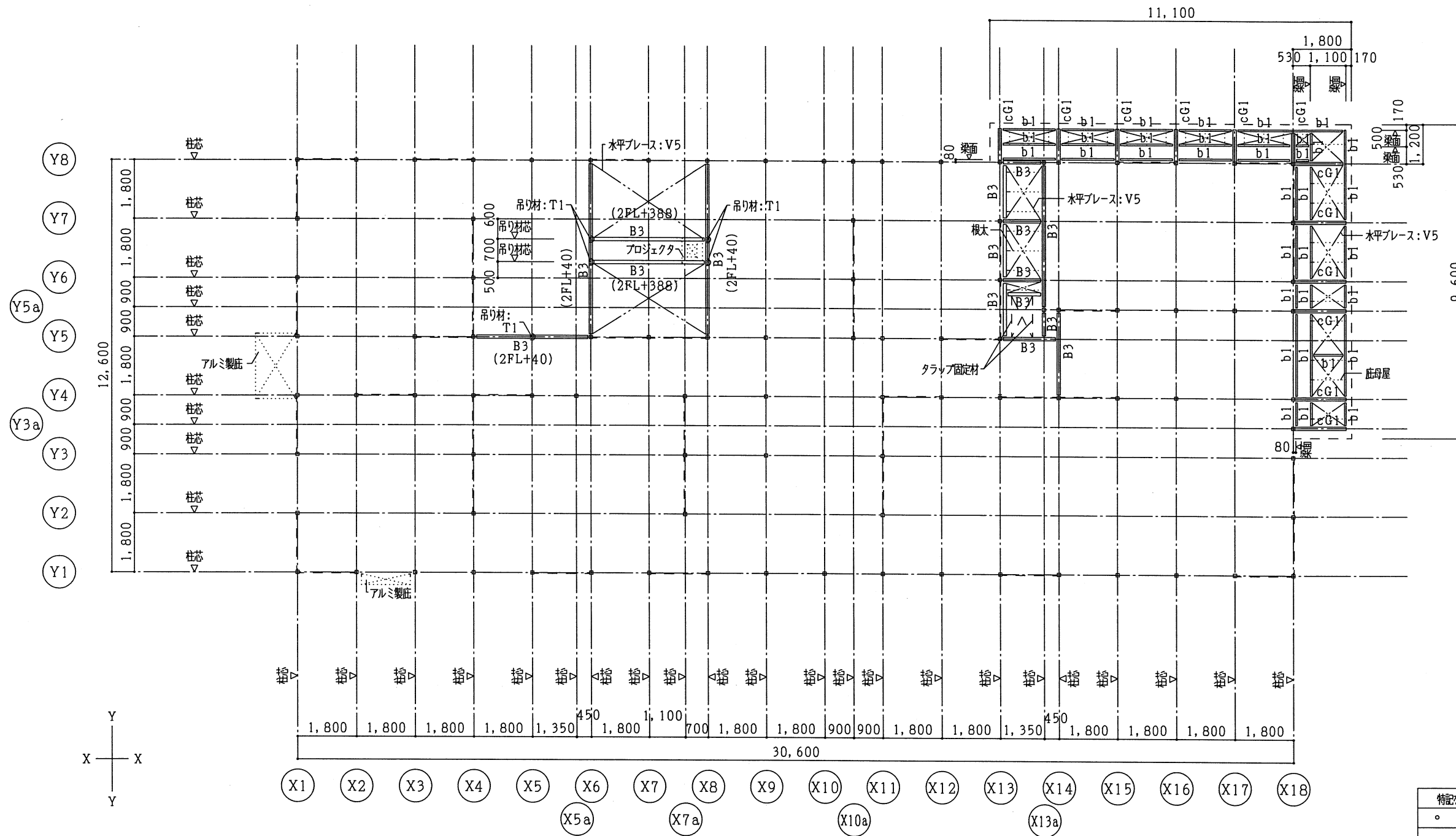


1階柱・壁ブレース伏図 S=1/100

特記なき限り
。 ベースプレート下端は、
外周部 (Y1通り・Y8通り・X1通り・X18通り) : 1FL+130
・内部 (その他通り) : 1FL-170とする。
。
。
。
。
。
。
。
。

一級建築士登録 第229283号
構造設計一級建築士 第 2364号 今西晋作

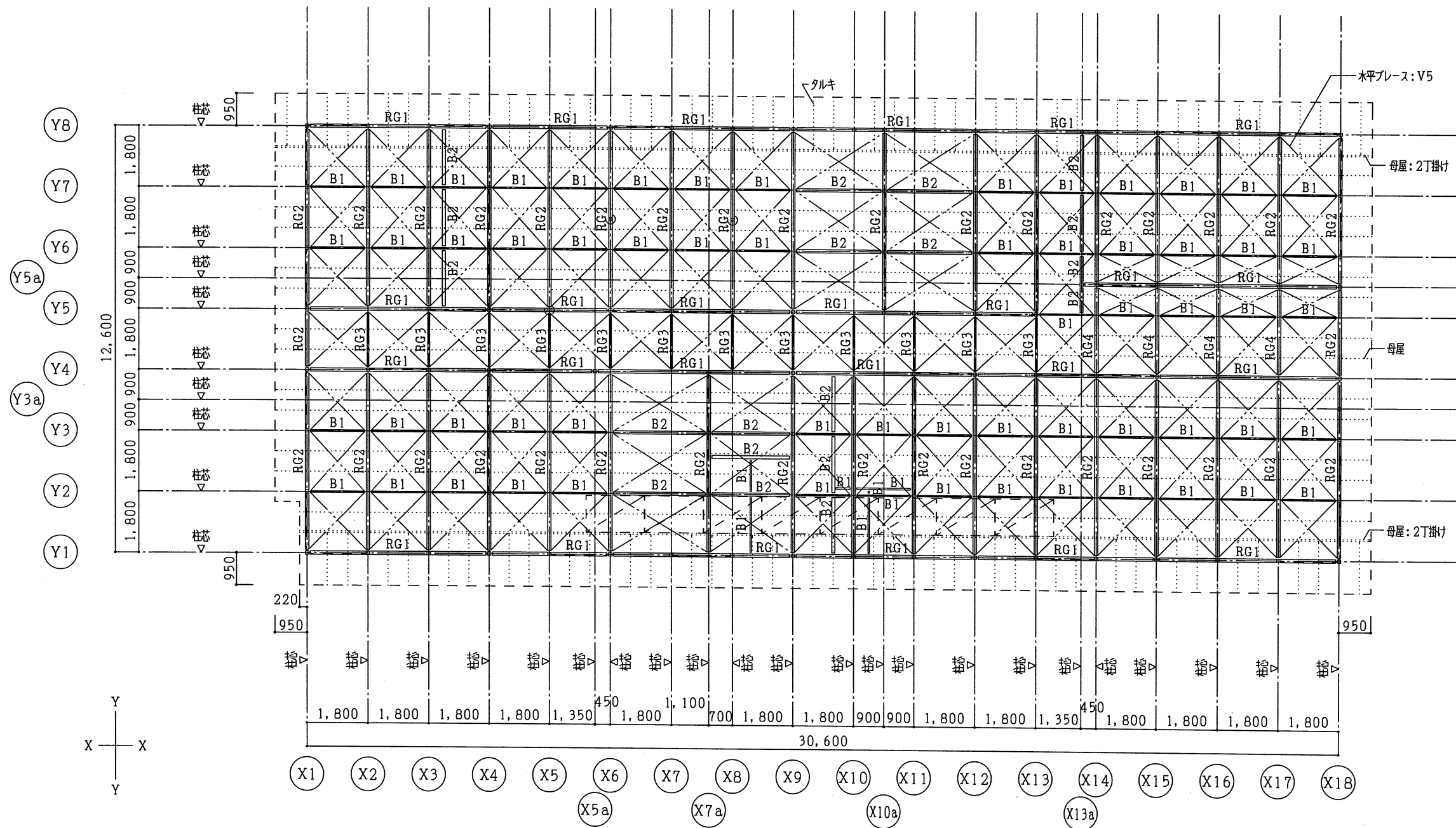
記事		業務名称	相楽広域行政組合新庁舎基本・実施設計業務	工事名称	相楽広域行政組合新庁舎新築工事	設計年月	令和8年3月
			株式会社 緑企画設計 京都支店	図面名称	1階柱・壁ブレース伏図	図面番号	S-11
			一級建築士事務所 京都府知事登録 (07A) 第 00523号	縮尺	A2 1/100 A3 1/140		
			管理建築士 一級建築士 (大臣) 第331194号 三通 光寛				



1 階柱・壁ブレース 2 階床梁伏図 S=1/100

特記なき限り
。 鉄骨梁天端は、玄関庇部：2FL-60
天井裏収納部：2FL-20とする。
但し、スライディングウォール部鉄骨梁天端は、図中レベル参照とする。
。 柱・壁ブレース符号は、1階柱・壁ブレース伏図参照とする。
。 (2FL+000)は、鉄骨梁天端レベルを示す。
。
。
。
。
。
。
。

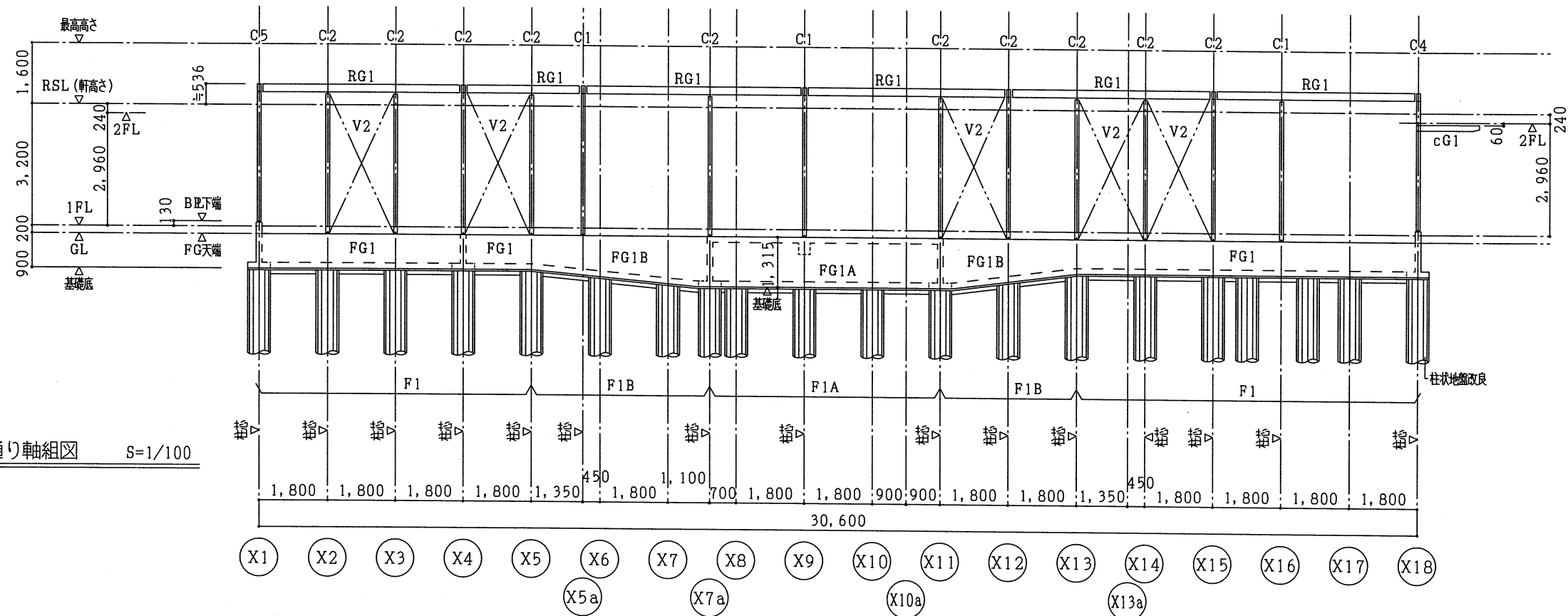
一級建築士登録 第229283号
構造設計一級建築士 第 2364号 今西晋作



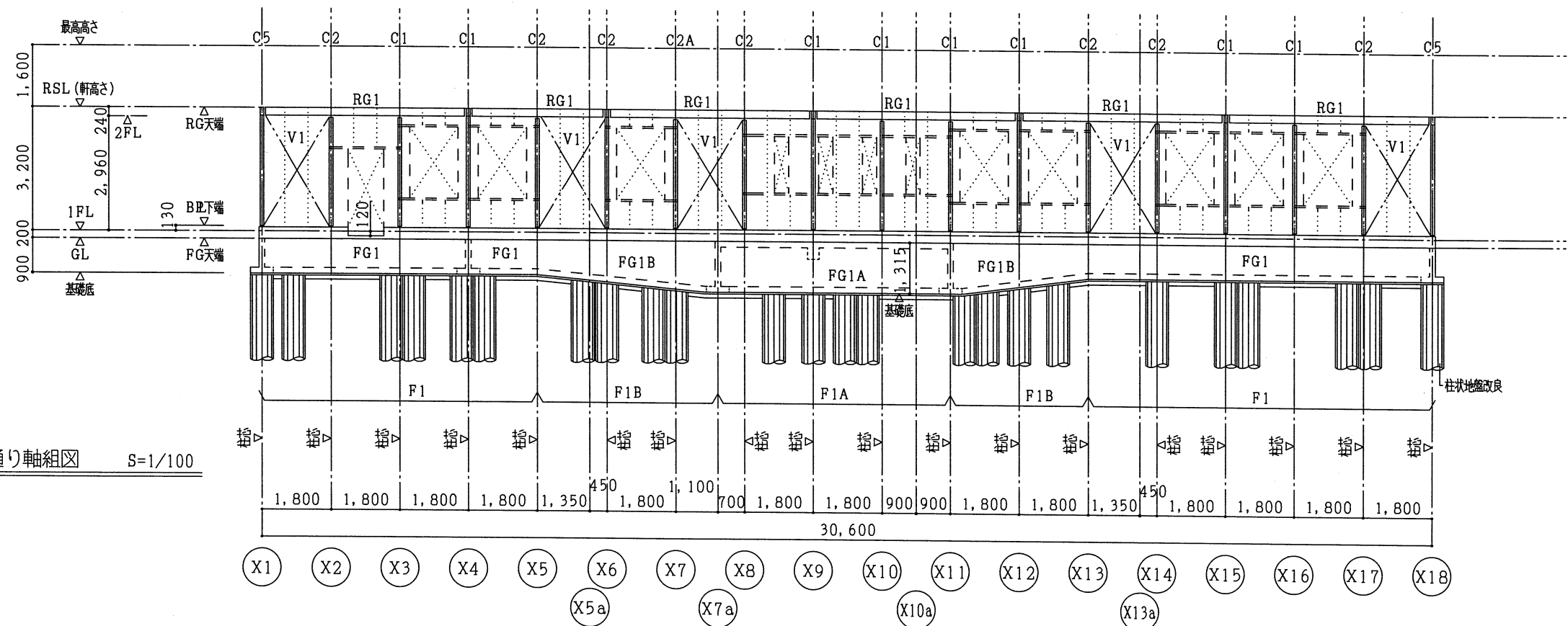
1 階柱・壁ブレースR階床梁伏図 S=1/100

特記なき限り
鉄骨梁天端は、RSL (軒高さ) ±0~+1, 265とする。
柱・壁ブレース符号は、1階柱・壁ブレース伏図参照とする。
(H) は、吊り材: T1位置を示す。
[二] は、太陽光発電設備設置範囲を示す。
屋根葺き材は、フリーハットⅡ型 t=0.4mmと同等以上の耐力を有する屋根葺き材とする。

Y4通り軸組図 S=1/100



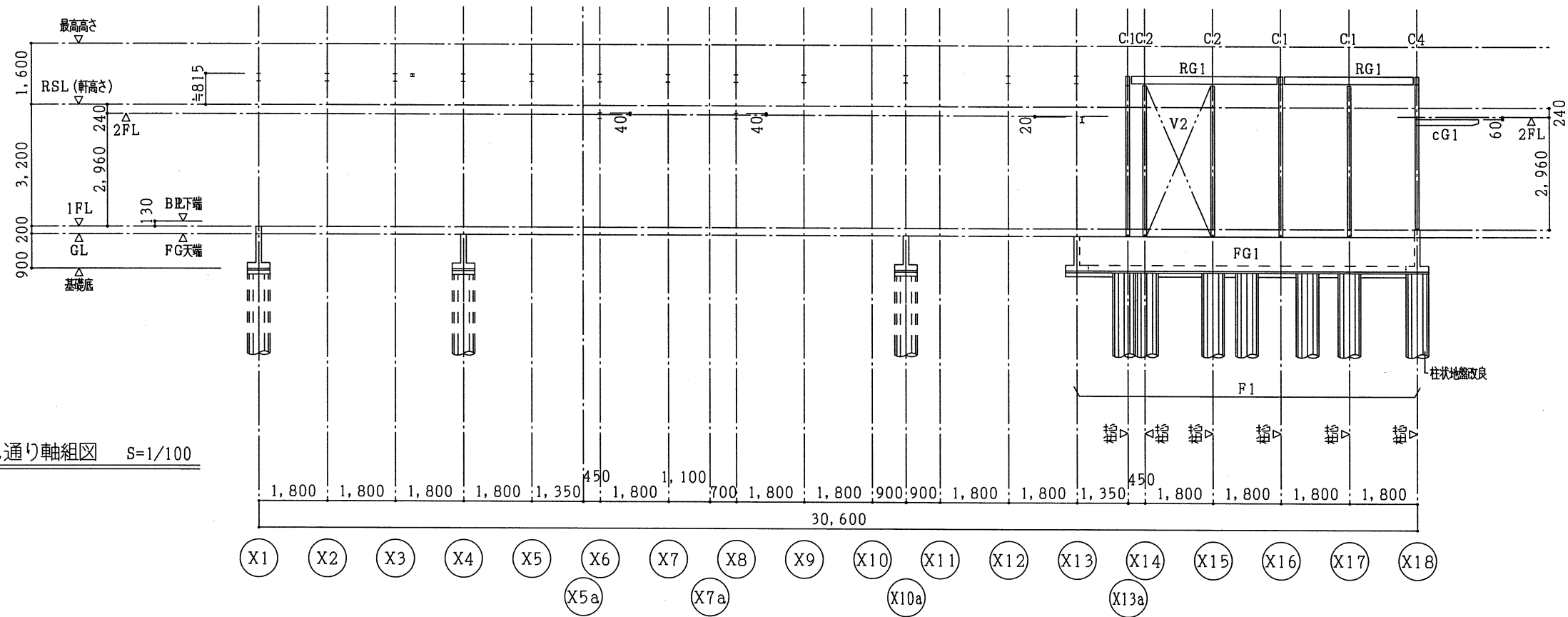
Y1通り軸組図 S=1/100



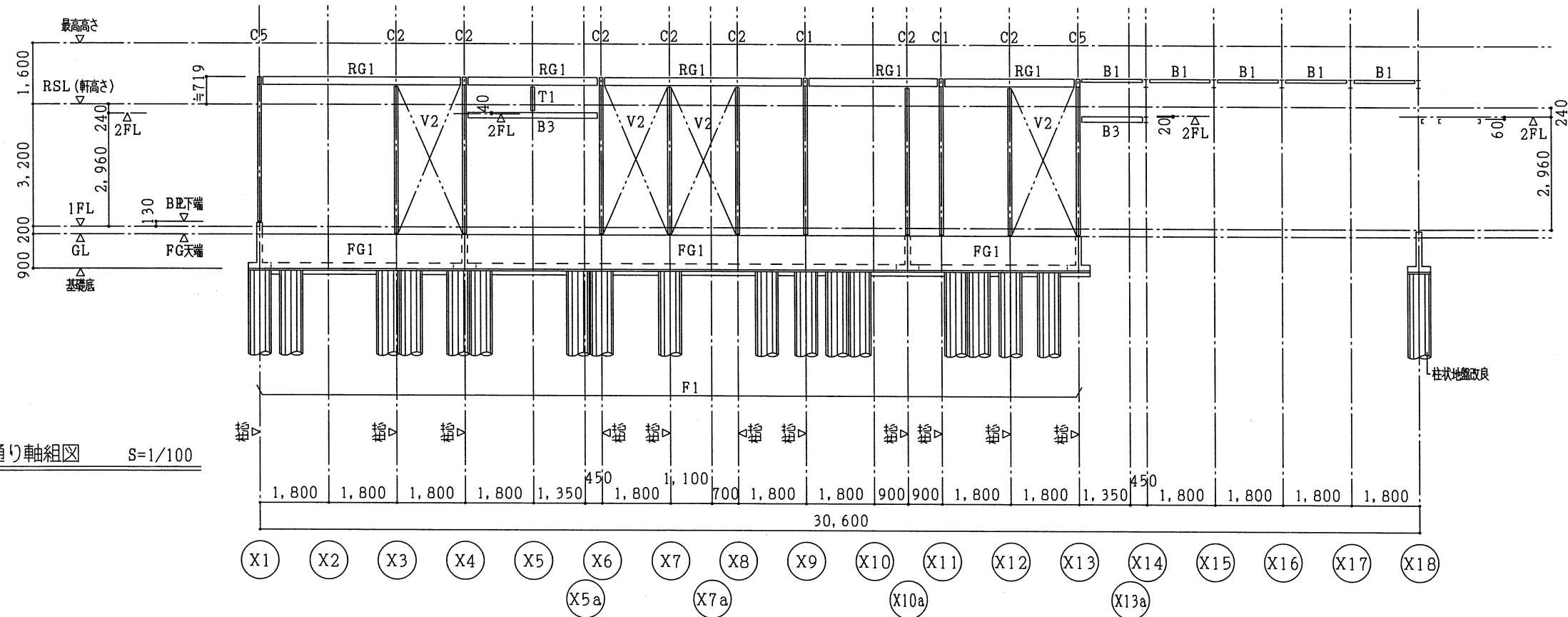
特記なき限り
○ ベースプレート下端は、 外周部 (Y1通り・Y8通り・X1通り・X18通り) : 1FL+130 ・内部 (その他通り) : 1FL-170とする。
○ 図中 〰 〰 〰 は、縦筋線を示す。
○ 図中 〰 〰 〰 は、縦開口補強材を示す。
○ 図中 - - - は、横開口補強材を示す。
○ Y1通りアルミ製庇の下地材詳細は、意匠図 A-37:部分詳細図 (8) 参照とする。

記 事	業務名称 相楽広域行政組合新庁舎基本・実施設計業務				工事名称 相楽広域行政組合新庁舎新築工事		設計年月 令和8年3月	
	株式会社 緑企画設計 京都支店 一級建築士事務所 京都府知事登録 (OTA) 第00523号 管理建築士 一級建築士 (大臣) 第331194号 三浦 光寛				図面名称 軸組図 (1)		図面番号 S-14	
	一級建築士登録 第229283号 構造設計一級建築士 第 2364号 今西晋作				縮尺 A2 1/100 A3 1/140			

Y5a通り軸組図 S=1/100



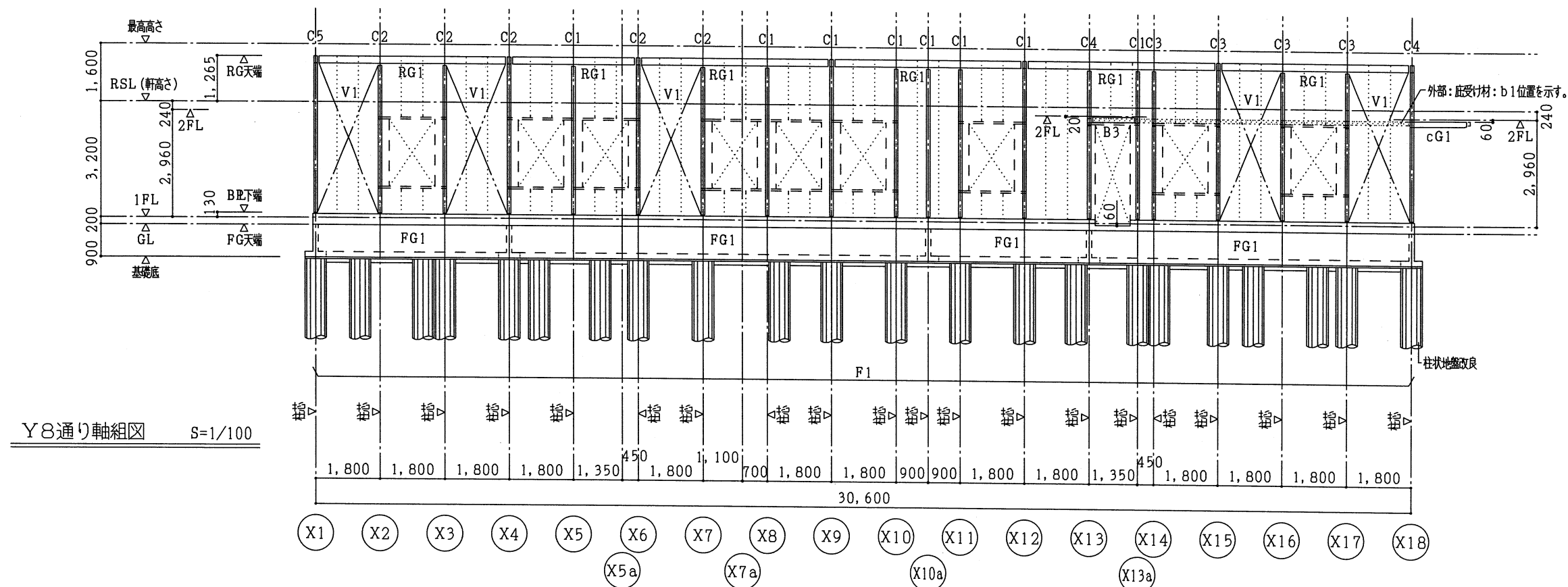
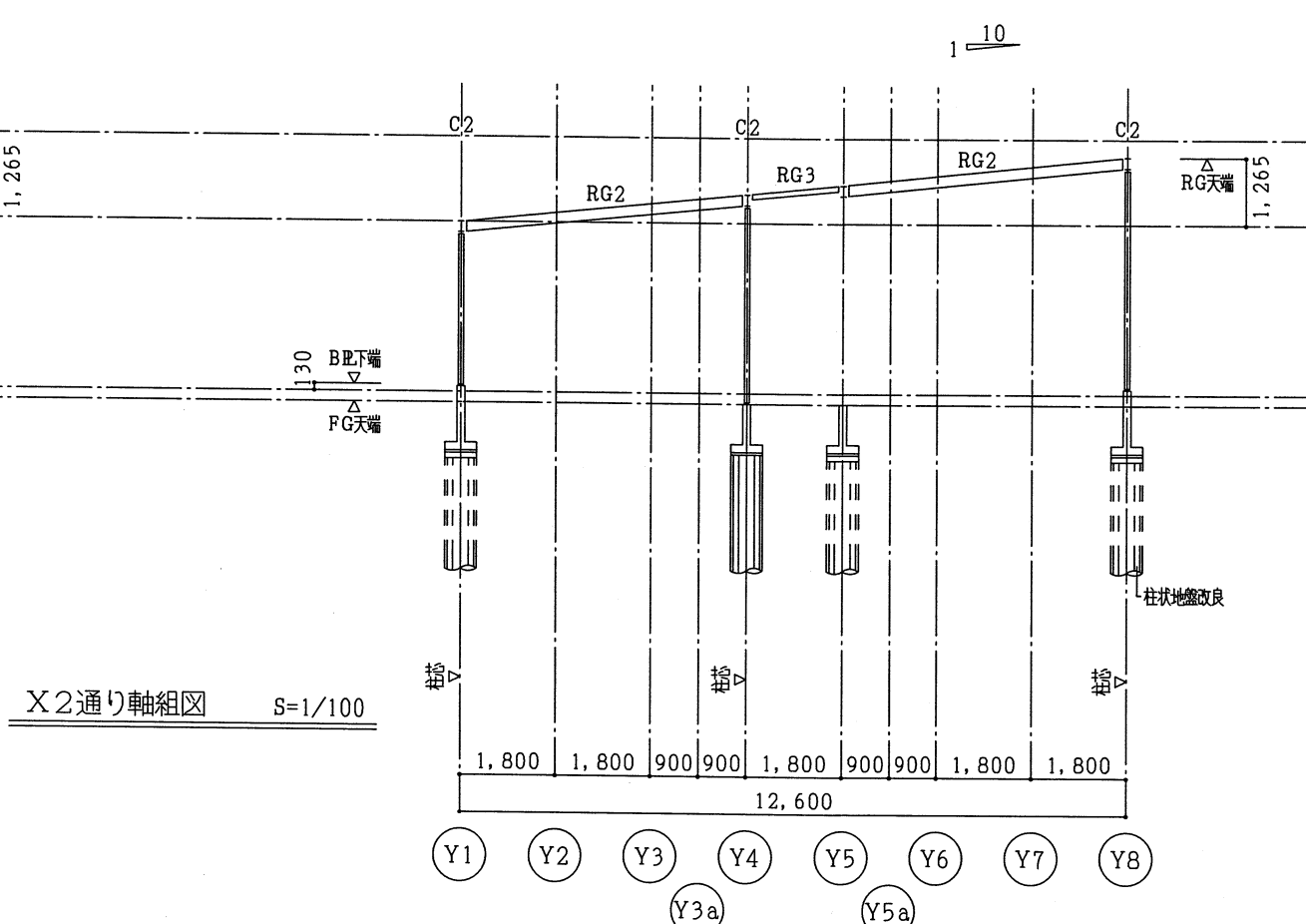
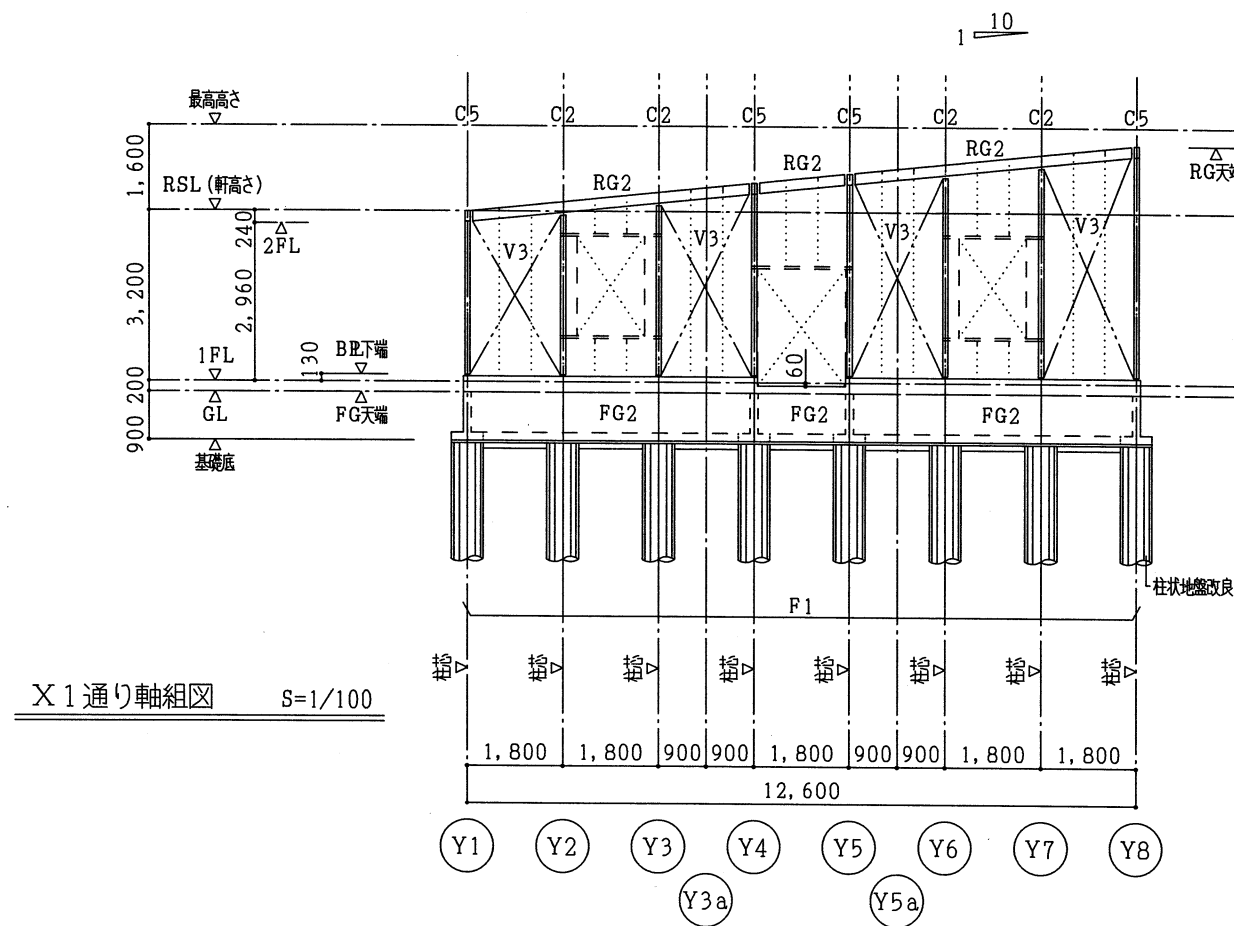
Y5通り軸組図 S=1/100



特記なき限り	
○	ベースプレート下端は、 外周部 (Y1通り・Y8通り・X1通り・X18通り) : 1FL+130 ・内部 (その他通り) : 1FL-170とする。
○	図中 は、縦筋線を示す。
○	図中 は、縦開口補強材を示す。
○	図中 は、横開口補強材を示す。
○	

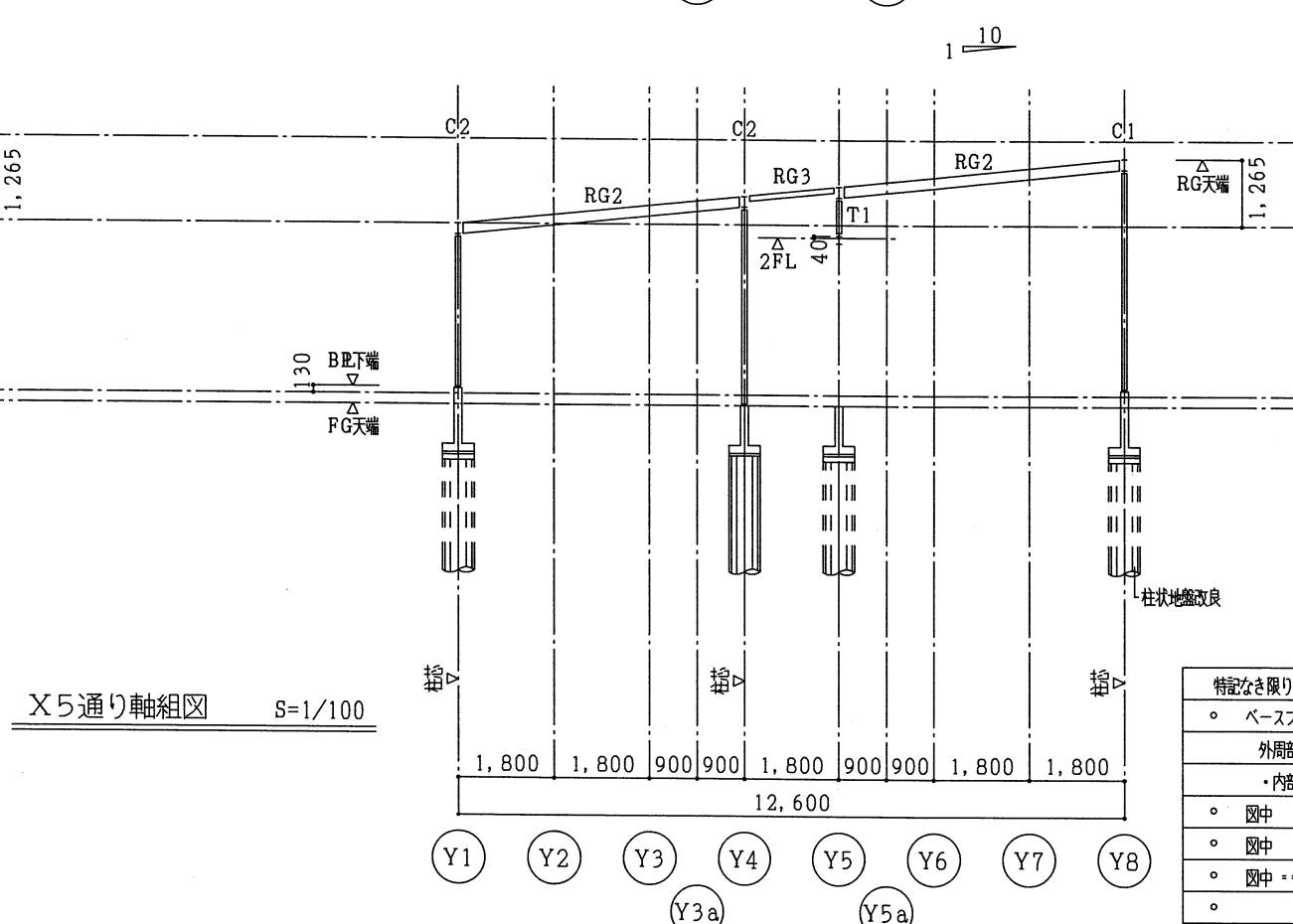
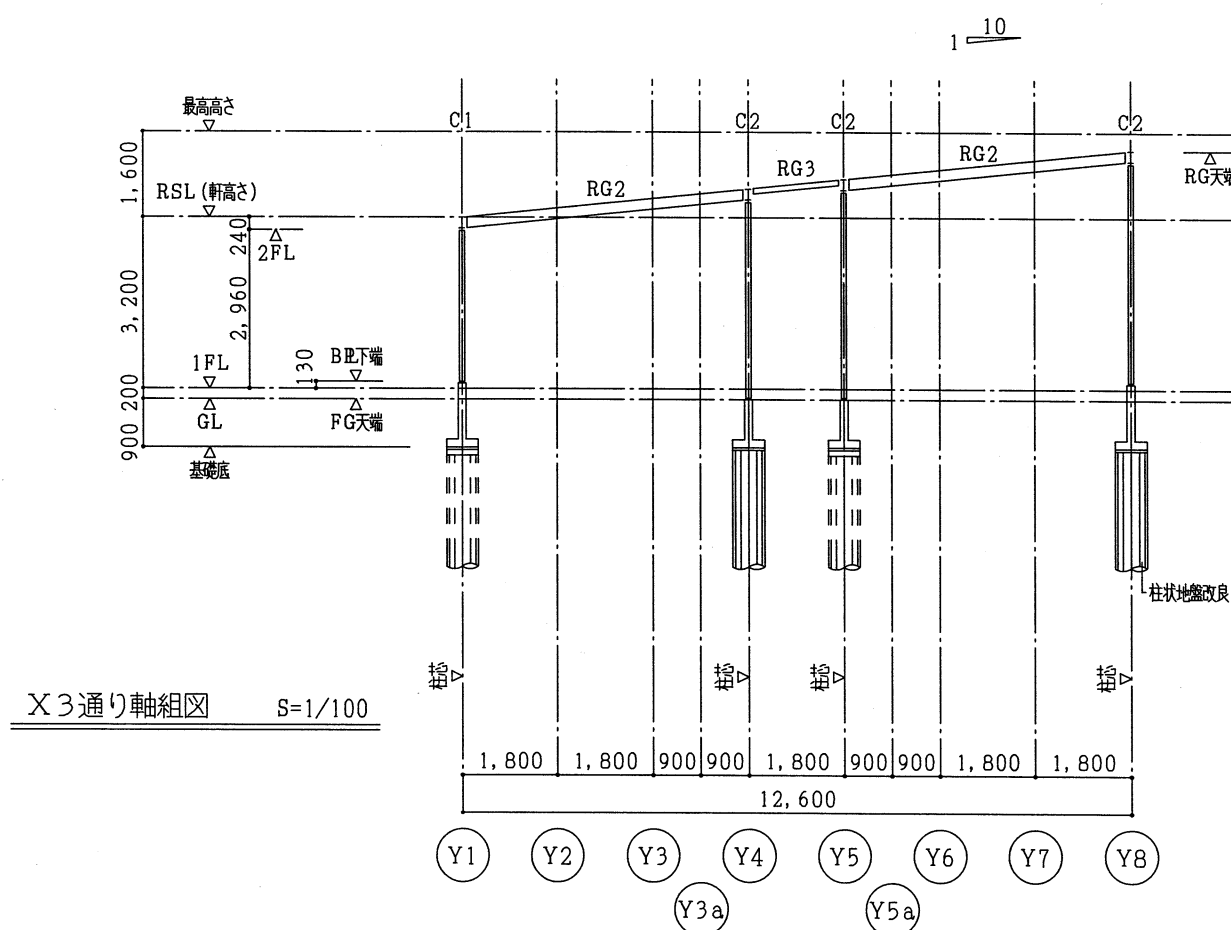
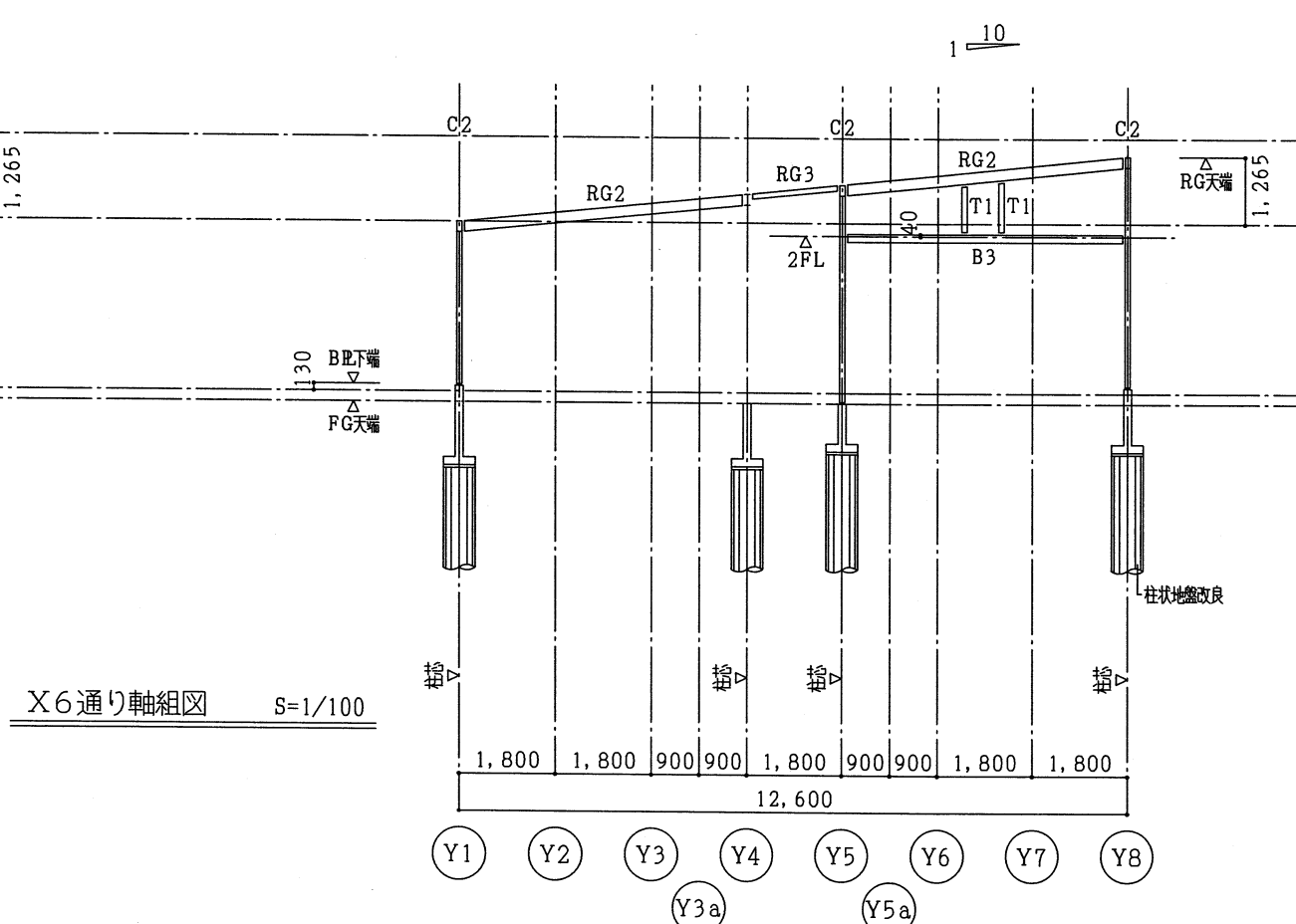
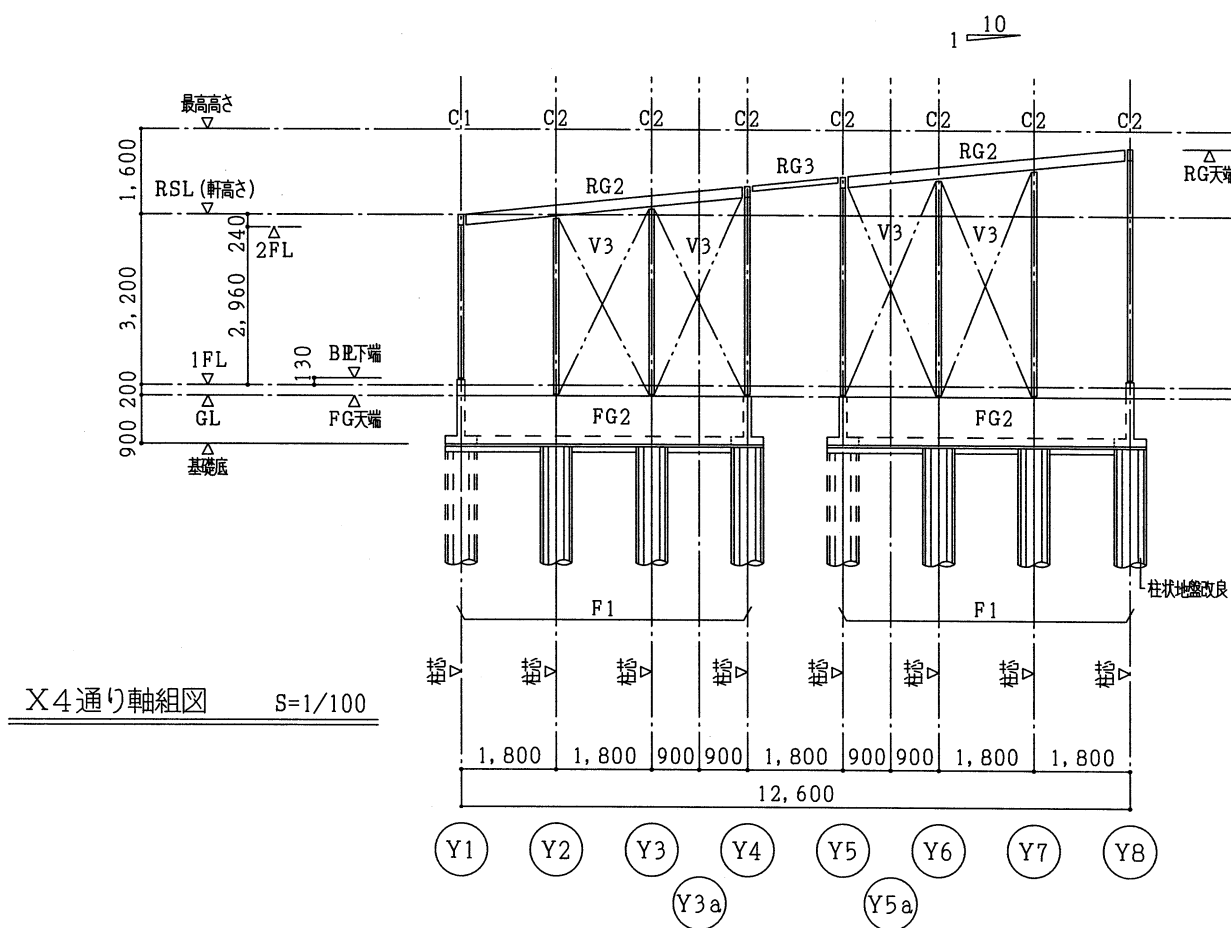
一級建築士登録 第229283号
構造設計一級建築士 第 2364号 今西晋作

記 事	業務名称				工事名称		設計年月
	相楽広域行政組合新庁舎基本・実施設計業務				相楽広域行政組合新庁舎新築工事		令和8年3月
	株式会社 緑企画設計 京都支店				図面名称	軸組図 (2)	図面番号
	一級建築士事務所 京都府知事登録 (07A) 第 00523号 管理建築士 一級建築士 (大臣) 第331194号 三浦 光寛				縮尺	A2 1/100 A3 1/140	S-15

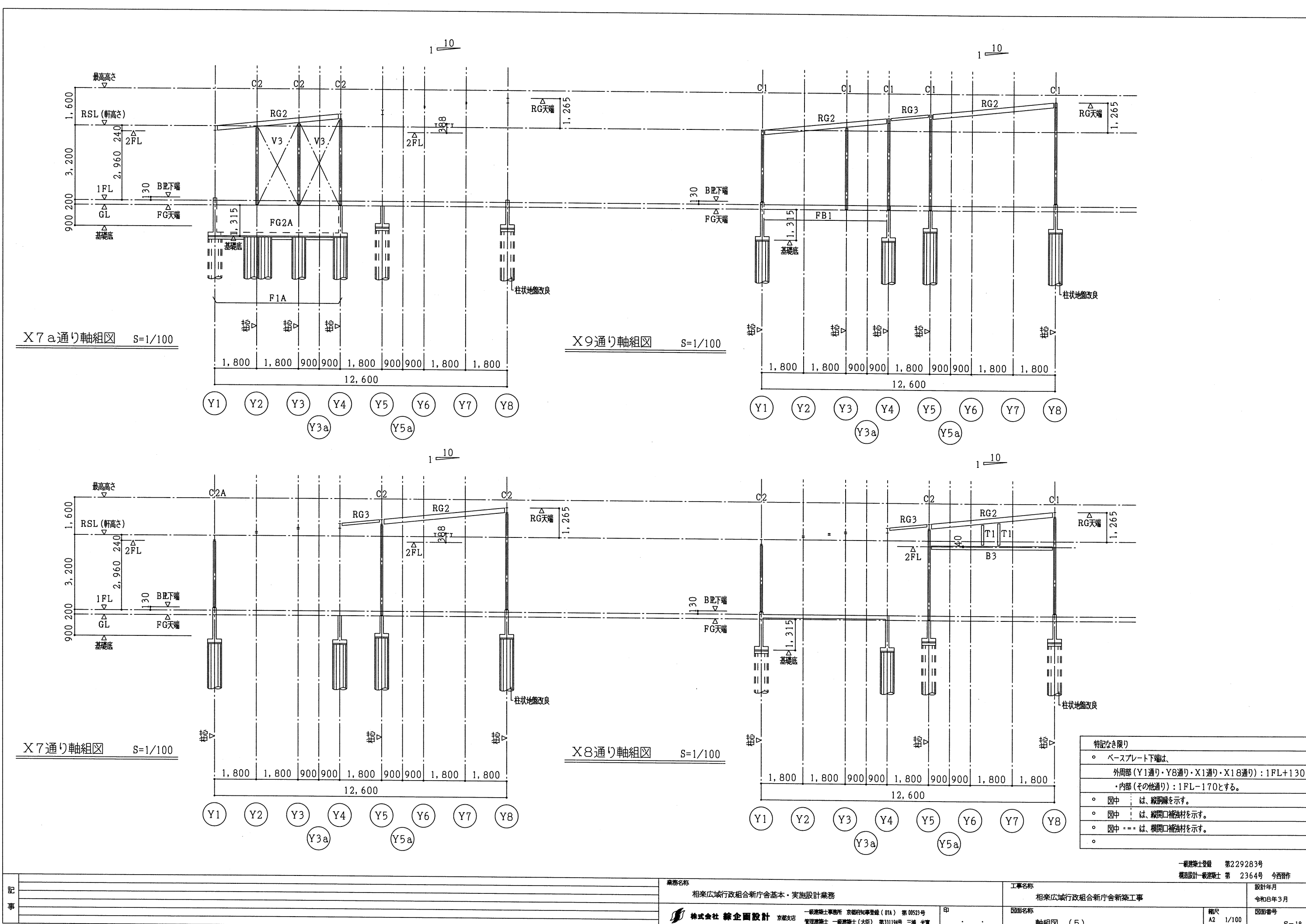


特記なき限り
○ ベースプレート下端は、 外周部 (Y1通り・Y8通り・X1通り・X18通り) : 1FL+130 ・内部 (その他通り) : 1FL-170とする。
○ 図中 は、縦筋線を示す。
○ 図中 は、縦開口補強材を示す。
○ 図中 は、横開口補強材を示す。
○ X1通りアルミ製の地下材詳細は、意匠図 A-37: 部分詳細図 (8) 参照とする。

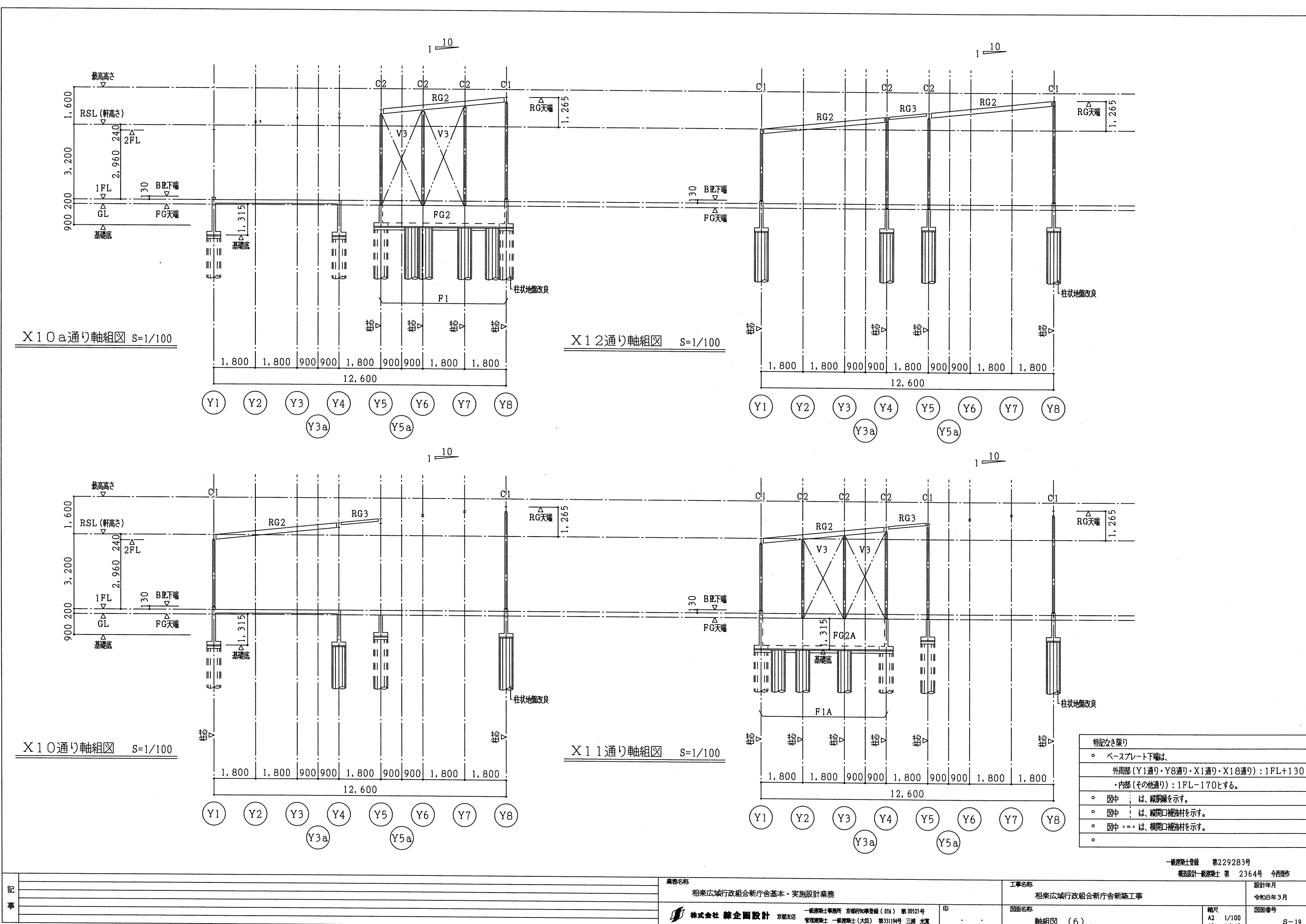
記事	業務名称 相楽広域行政組合新庁舎基本・実施設計業務				工事名称 相楽広域行政組合新庁舎新築工事		設計年月 令和8年3月
	株式会社 総企画設計 京都支店 一級建築士事務所 京都府知事登録 (01A) 第00523号 印				図面名称 軸組図 (3)		図面番号 S-16
	管理建築士 一級建築士 (大臣) 第331104号 三浦 光寛				縮尺 A2 1/100 A3 1/140		



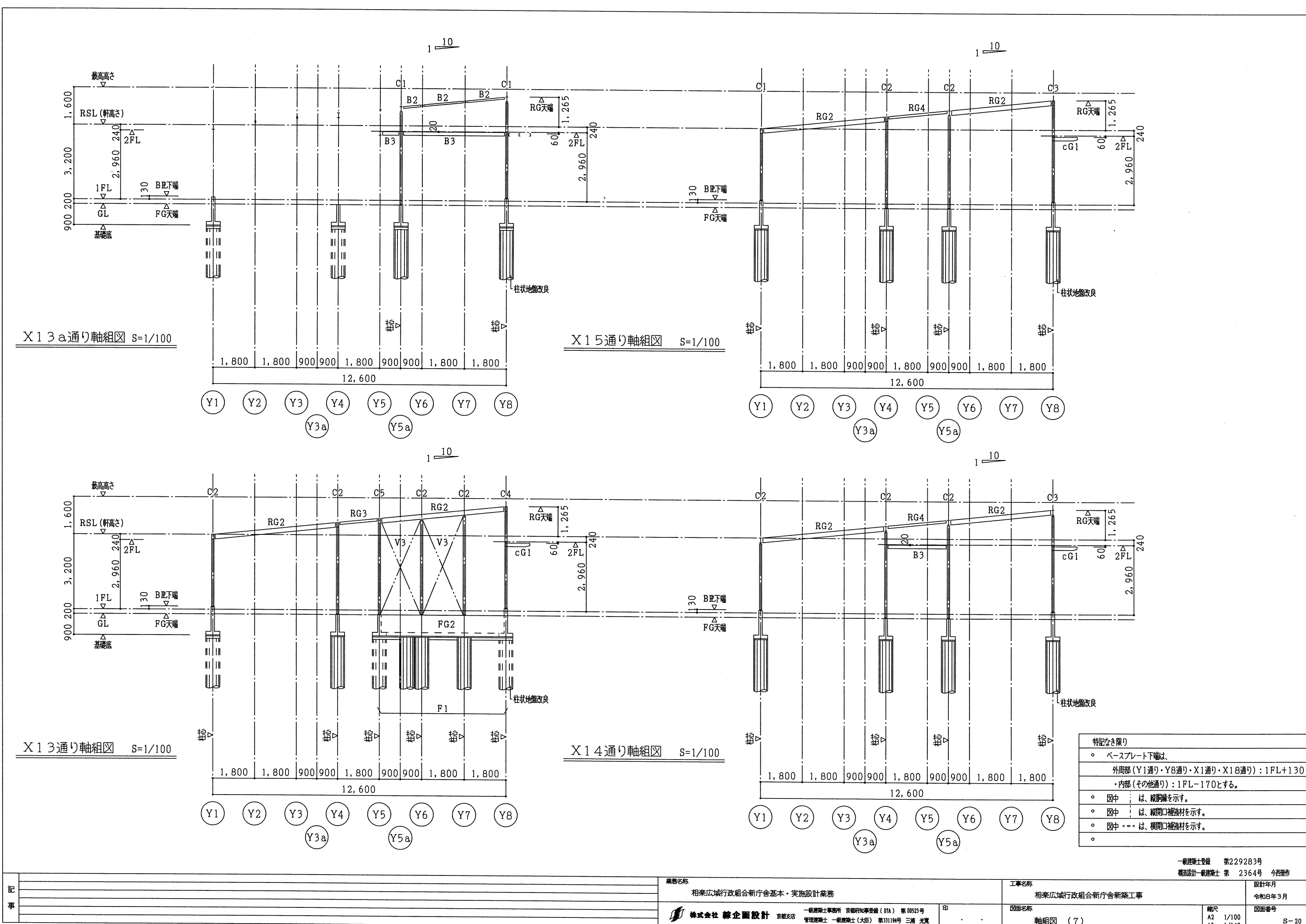
特記なき限り	
○ ベースプレート下端は、	
外周部 (Y1通り・Y8通り・X1通り・X18通り) : 1FL+130	
・内部 (その他通り) : 1FL-170とする。	
○ 図中 	は、縦筋線を示す。
○ 図中 	は、縦開口補強材を示す。
○ 図中 	は、横開口補強材を示す。
○	



特記なき限り
○ ベースプレート下端は、 外周部 (Y1通り・Y8通り・X1通り・X18通り) : 1FL+130 ・内部 (その他通り) : 1FL-170とする。
○ 図中 は、縦筋線を示す。
○ 図中 は、縦開口補強材を示す。
○ 図中 は、横開口補強材を示す。
○



特記なき限り
・ ベースプレート下端は、 外周部 (Y1通り・Y8通り・X1通り・X18通り) : 1FL+130 ・ 内部 (その他通り) : 1FL-170とする。
・ 図中 は、縦筋線を示す。
・ 図中 は、縦開口補強材を示す。
・ 図中 は、横開口補強材を示す。
・



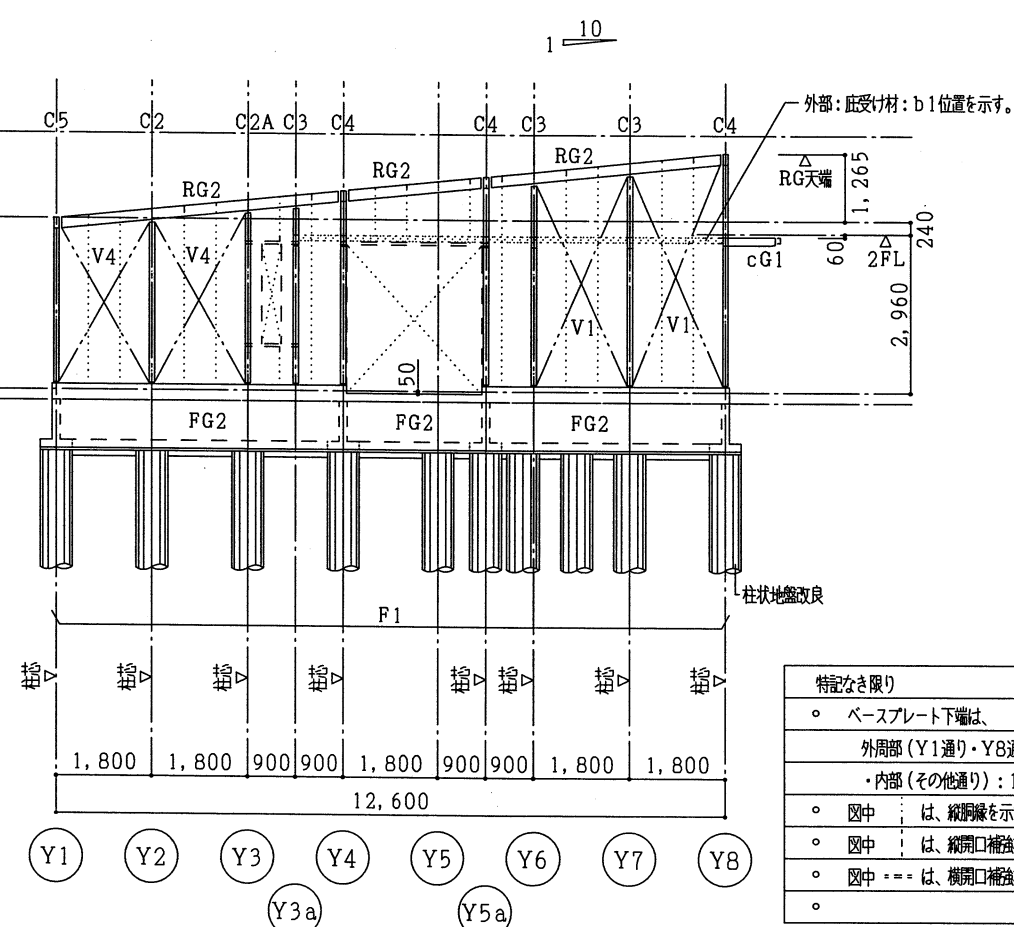
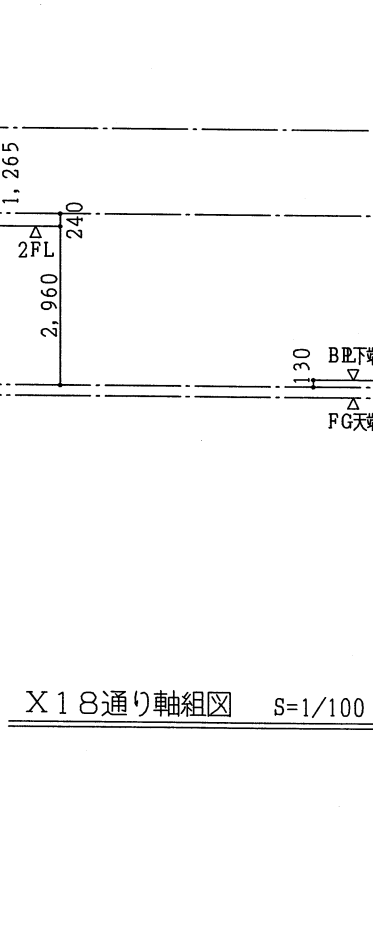
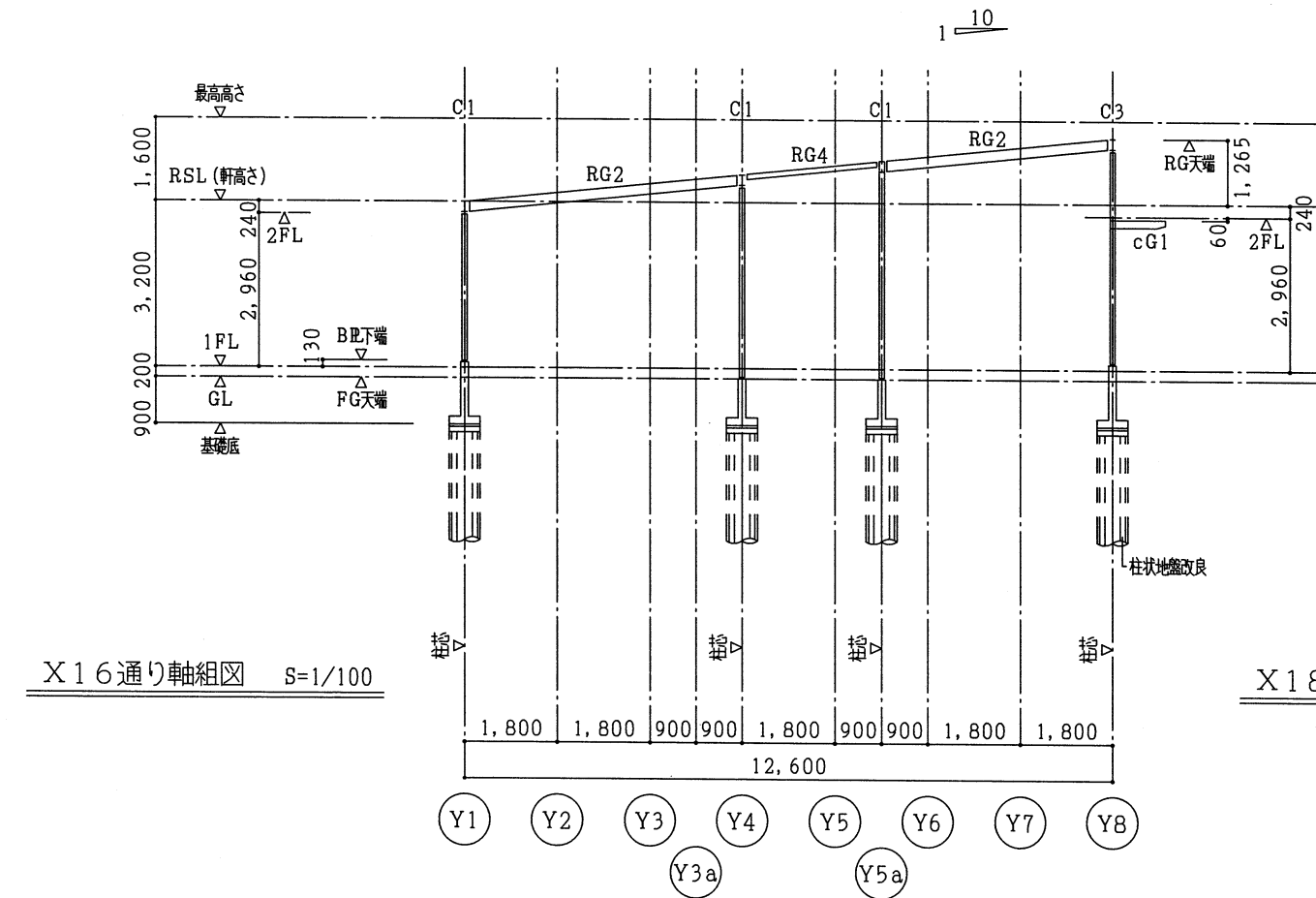
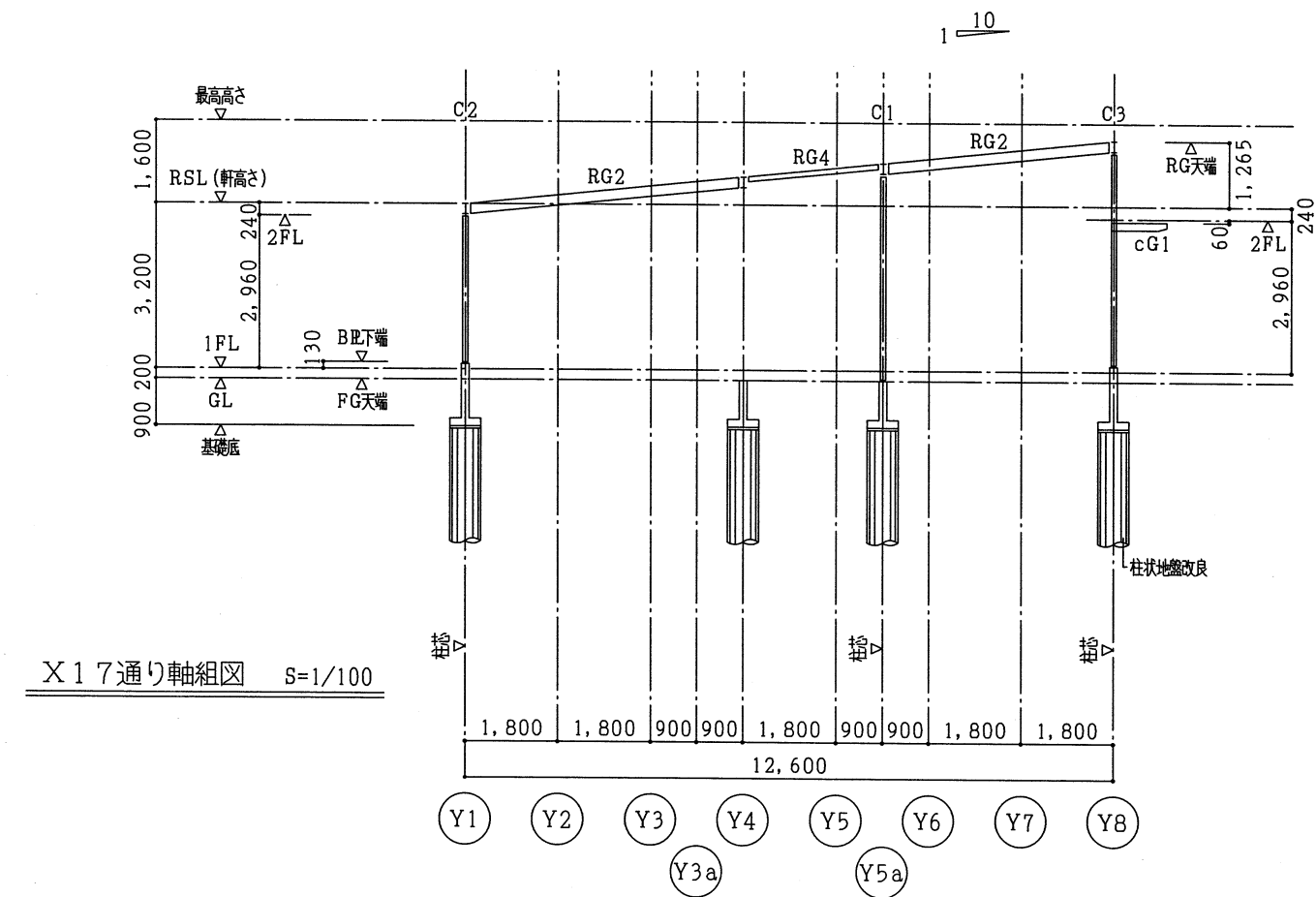
X13a通り軸組図 S=1/100

X15通り軸組図 S=1/100

X13通り軸組図 S=1/100

X14通り軸組図 S=1/100

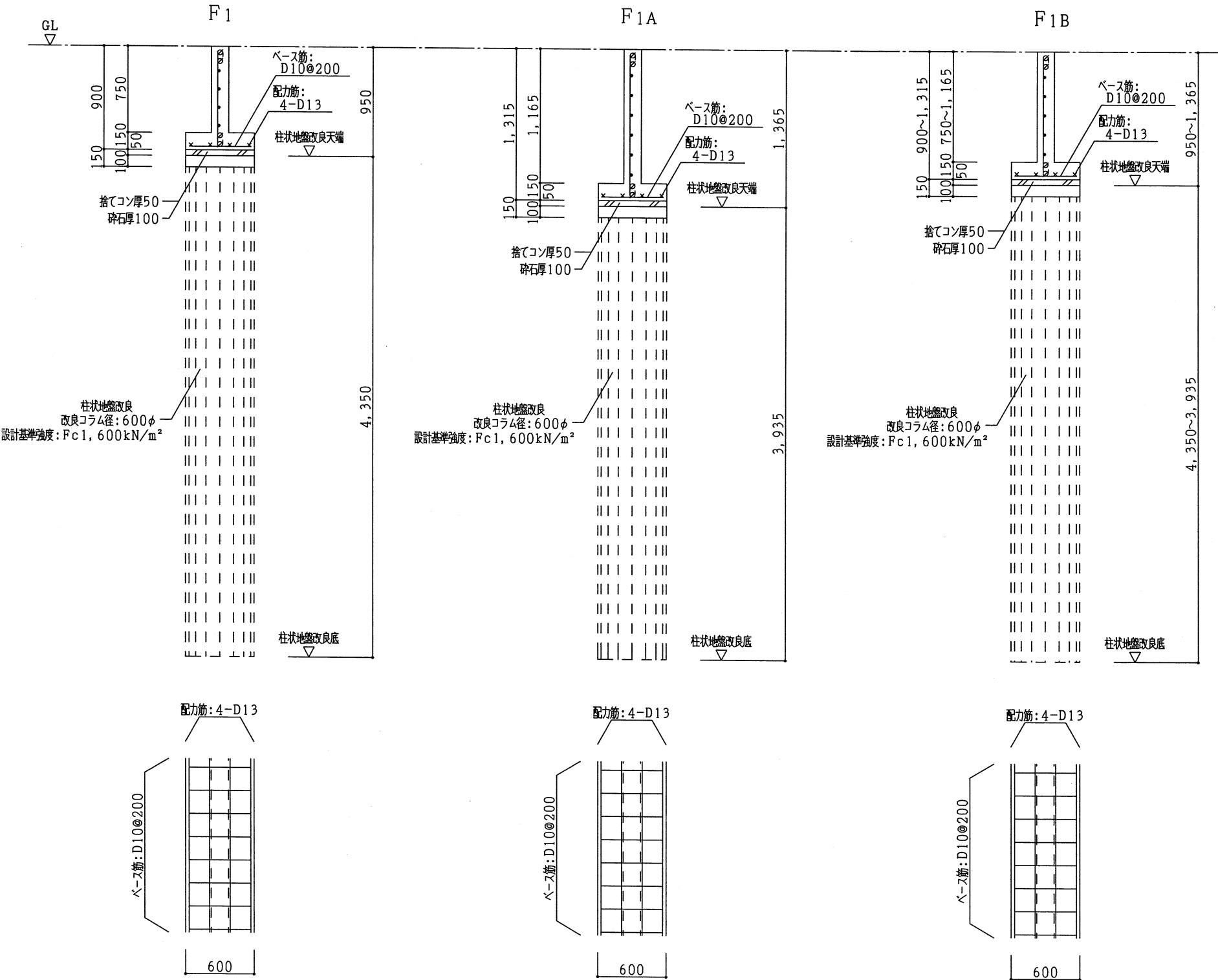
特記なき限り
。 ベースプレート下端は、
外周部 (Y1通り・Y8通り・X1通り・X18通り) : 1FL+130
・内部 (その他通り) : 1FL-170とする。
。 図中 は、縦筋線を示す。
。 図中 は、縦開口補強材を示す。
。 図中 --- は、横開口補強材を示す。
。



特記なき限り	
○	ベースプレート下端は、
外周部 (Y1通り・Y8通り・X1通り・X18通り) : 1FL+130	
・内部 (その他通り) : 1FL-170とする。	
○	図中 は、縦開縁を示す。
○	図中 は、縦開口補強材を示す。
○	図中 --- は、横開口補強材を示す。
○	

基礎配筋図 S=1/30

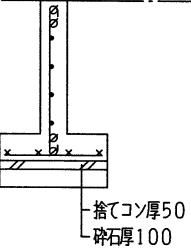
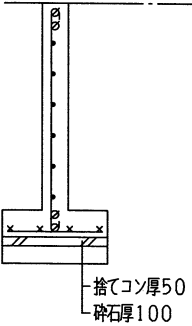
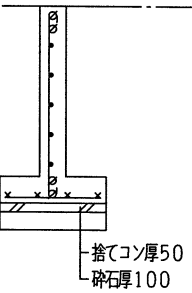
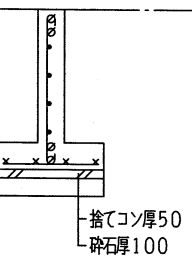
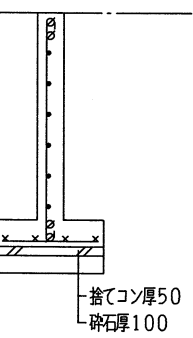
特記なき限り
◦ 設計地耐力は、100.00kN/㎡（長期）とする。
◦ 基礎下には、GL-5, 300までの範囲にて柱状地盤改良を施す事とする。
◦ 柱状地盤改良工法は、ウルトラコラム工法（又は、同等以上の耐力を有する工法）とする。
◦ 柱状改良コラム径は、600φとする。
◦ 柱状改良コラムの設計基準強度は、Fc1, 600kN/㎡とする。

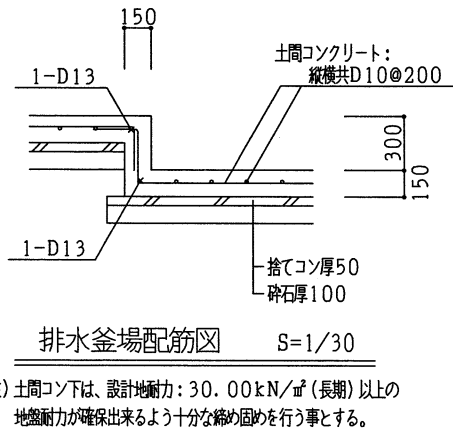
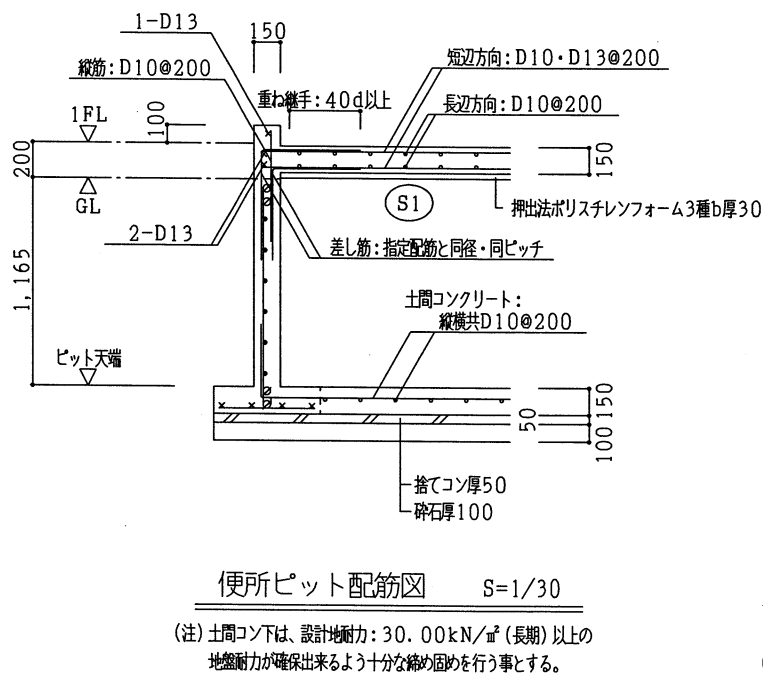
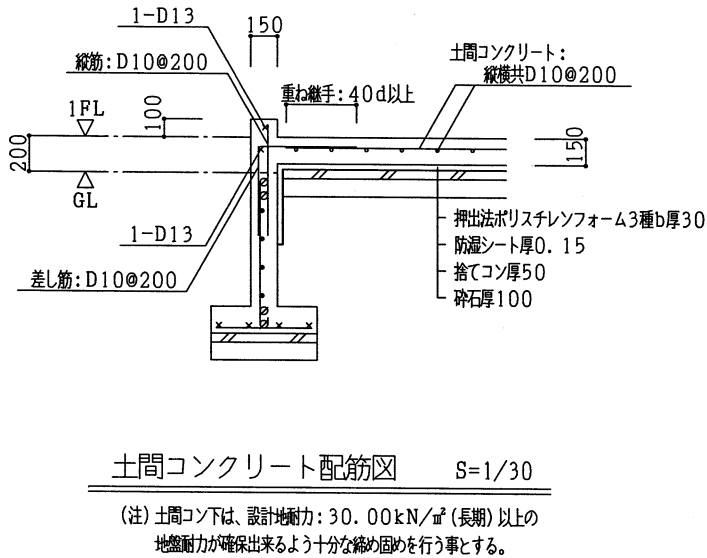
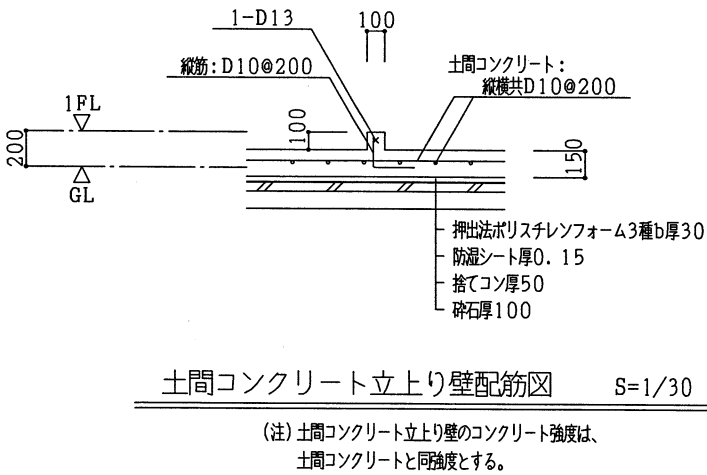


一級建築士登録 第229283号
構造設計一級建築士 第 2364号 今西晋作

記事		業務名称 相楽広域行政組合新庁舎基本・実施設計業務	工事名称 相楽広域行政組合新庁舎新築工事	設計年月 令和8年3月
	株式会社 総企画設計 京都支店	一級建築士事務所 京都府知事登録（D1A） 第 00523号 管理建築士 一級建築士（大臣） 第331194号 三浦 光寛	印	図面名称 基礎配筋図
				縮尺 A2 1/30 A3 1/42
				図面番号 S-22

特記なき限り
○ 腹筋は1-D10とし図示の段数とする。
○ 柱脚アンカーボルトの先端フックの向き方向（曲げ方向）は、地中梁の面内方向とする。

符 号	FG 1	FG1A	FG1B	FG 2	FG2A	FB 1
位 置	全 断 面	全 断 面	全 断 面	全 断 面	全 断 面	両 端 部 中 央
巾 x 成	150 x 900	150 x 1,315	150 x 900~1,315	150 x 900	150 x 1,315	300 x 450
梁 断 面	GL 					
						
						
						
						
上 端 筋	2-D16	2-D16	2-D16	2-D16	2-D16	3-D19 3-D19
下 端 筋	2-D16	2-D16	2-D16	2-D16	2-D16	3-D19 5-D19
肋 筋	└ -D10@200	└ -D13@200	└ -D13@200	└ -D10@200	└ -D13@200	□ -D10@200



鉄骨部材リスト

特記なき限り
◦ 鋼材種は、SS400とする。
◦ HTBは、S10Tとする。
◦ BOLTピッチ及び継あさは、右表による。

	e	p
M16	35	60
M20	40	60
M22	40	70

認定材料	認定番号
BCR295	MSTL-0391
HTB S10T	MBLT-0100

符 号	主 材	FLANGE		WEB	
		HTB	FSL	HTB	WSL
1C1	□ - 100 x 100 x 3.2 (STKR400)		柱脚:柱脚詳細図参照		柱頭:柱頭詳細図参照
1C2	□ - 100 x 100 x 4.5 (STKR400)		柱脚:柱脚詳細図参照		柱頭:柱頭詳細図参照
1C2A	□ - 100 x 100 x 4.5 (STKR400)		柱脚:柱脚詳細図参照		柱頭:柱頭詳細図参照
1C3	□ - 100 x 100 x 6 (STKR400)		柱脚:柱脚詳細図参照		柱頭:柱頭詳細図参照
1C4	□ - 100 x 100 x 6 (STKR400)		柱脚:柱脚詳細図参照		柱頭:柱頭詳細図参照
1C5	□ - 100 x 100 x 4.5 (STKR400)		柱脚:柱脚詳細図参照		柱頭:柱頭詳細図参照
RG1	H - 200 x 100 x 5.5 x 8		(注) 壁ブレース取付部に於けるGRL-tは、壁ブレースGRL厚と同厚とする。	2-M16	GRL-6 (一般部) GRL-t (ブレース取付部)
RG2	H - 200 x 100 x 5.5 x 8		(注) 壁ブレース取付部に於けるGRL-tは、壁ブレースGRL厚と同厚とする。	2-M16	GRL-6 (一般部) GRL-t (ブレース取付部)
RG3	(SSC400) C - 100 x 50 x 20 x 3.2			2-M16	GRL - 6
RG4	(SSC400) 2C - 100 x 50 x 20 x 3.2			2-M16	GRL - 6
CG1	(先端部フランジ曲げ加工) H - 148~100 x 100 x 6 x 9			2-M16	GRL - 6 (先端部)
B1	(SSC400) C - 75 x 45 x 15 x 2.3			2-M16	GRL - 6
B2	(SSC400) 2C - 75 x 45 x 15 x 2.3			2-M16	GRL - 6
B3	H - 148 x 100 x 6 x 9			2-M16	GRL - 6
b1	[- 100 x 50 x 5 x 7.5			2-M16	GRL - 6
壁ブレース V1	建築用ターンバックル付き 筋違 M22 (JIS規格品)			1-M22 (孔径:23.5mm)	GRL - 12
壁ブレース V2	建築用ターンバックル付き 筋違 M18 (JIS規格品)			1-M20 (孔径:21.5mm)	GRL - 9
壁ブレース V3	建築用ターンバックル付き 筋違 M20 (JIS規格品)			1-M20 (孔径:21.5mm)	GRL - 9
壁ブレース V4	建築用ターンバックル付き 筋違 M24 (JIS規格品)			2-M20 (孔径:21.5mm)	GRL - 12
水平ブレース V5	建築用ターンバックル付き 筋違 M16 (JIS規格品)			1-M16 (孔径:17mm)	GRL - 9

符 号	主 材	FLANGE		WEB	
		HTB	FSL	HTB	WSL
根太	(SSC400) C - 100 x 50 x 20 x 2.3 @600			中ボルト 2-M12	GRL - 4.5
母屋	(SSC400) C - 100 x 50 x 20 x 2.3 @600			中ボルト 2-M12	GRL - 4.5
母屋 (2丁掛)	(SSC400) 2C - 100 x 50 x 20 x 2.3			中ボルト 2-M12	GRL - 4.5
庇母屋	(SSC400) C - 75 x 45 x 15 x 2.3 @600			中ボルト 2-M12	GRL - 4.5
タルキ	(SSC400) C - 100 x 50 x 20 x 2.3 @600			中ボルト 2-M12	GRL - 4.5
タラップ 固定材	(SSC400) C - 100 x 50 x 20 x 2.3			中ボルト 2-M12	GRL - 4.5
縦胴縁	(SSC400) C - 100 x 50 x 20 x 3.2 @600			中ボルト 2-M12	GRL - 4.5
横開口 補強材	(SSC400) 2C - 100 x 50 x 20 x 2.3			中ボルト 2-M12	GRL - 4.5
縦開口 補強材	(SSC400) C - 100 x 50 x 20 x 3.2			中ボルト 2-M12	GRL - 4.5
吊り材 T1	(SSC400) 2C - 100 x 50 x 20 x 2.3			2-M16	GRL - 6

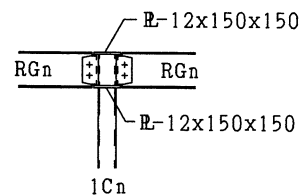
一級建築士登録 第229283号
構造設計一級建築士 第 2364号 今西晋作

記 事		業務名称 相楽広域行政組合新庁舎基本・実施設計業務  株式会社 経企画設計 京都支店 一級建築士事務所 京都府知事登録 (07A) 第 00523号 管理建築士 一級建築士 (大臣) 第331194号 三浦 光寛 印	工事名称 相楽広域行政組合新庁舎新築工事 図面名称 鉄骨部材リスト 縮尺 A2 1/30 A3 1/42	設計年月 令和8年3月 図面番号 S-24

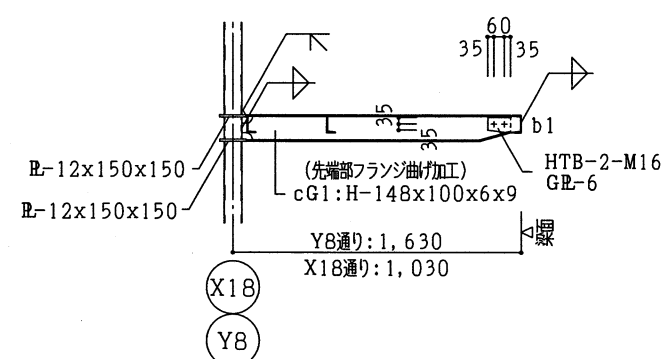
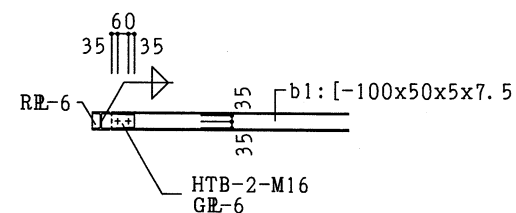
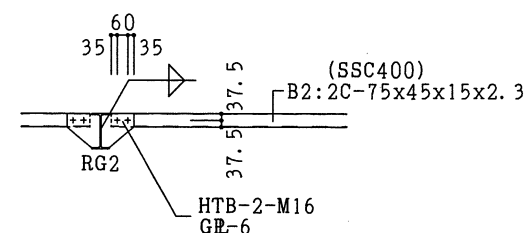
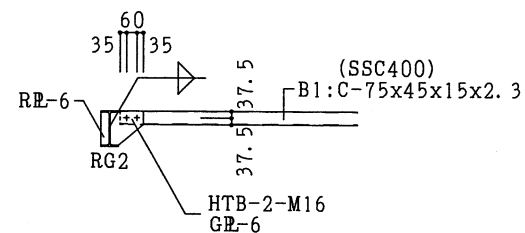
The diagram shows a large rectangular frame with a width of 180 and a height of 260. Inside this frame is a smaller rectangular frame with a width of 65 and a height of 130. The frames are centered within each other.

Diagram of a rectangular prism with dimensions 40, 180, and 260. A small square with a plus sign is inside the top face.

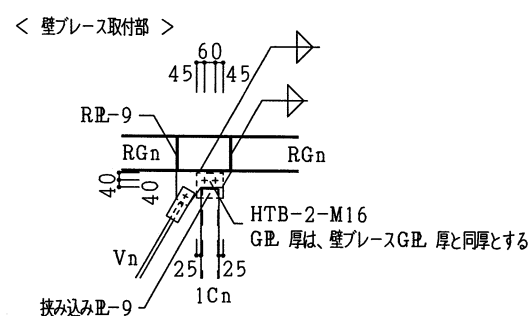
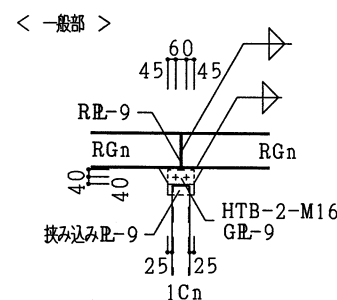
柱脚詳細図 S=1/30



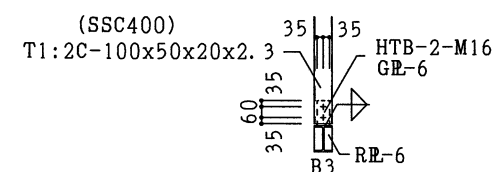
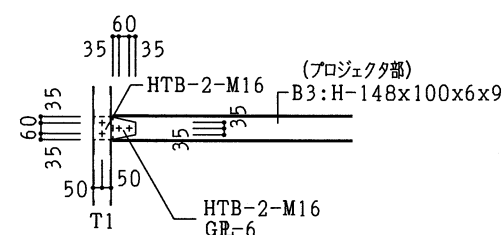
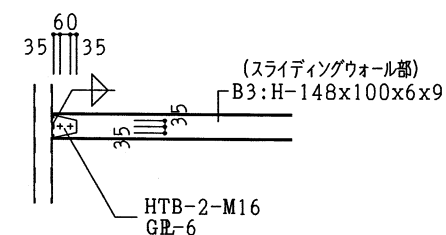
ダイヤフラム詳細図 S=1/30



小梁取付詳細図 S=1/30



柱頭詳細図 S=1/30



吊り材取付詳細図 S=1/30

(SSC400)

縦筋: C-100x50x20x3.2
@600

中ボルト-2-M12
GR-4.5

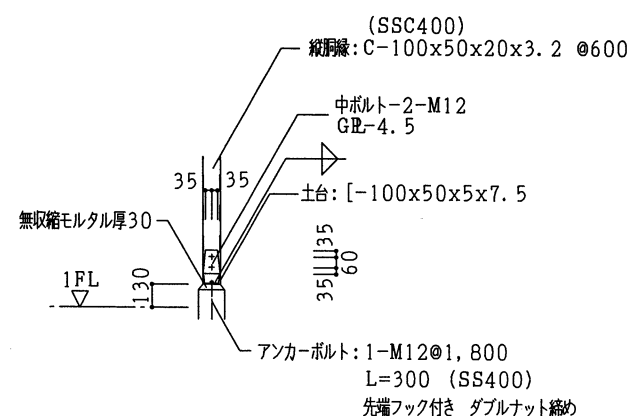
1FL
▽
130

土台: [-100x50x5x7.5

無収縮モルタル厚30

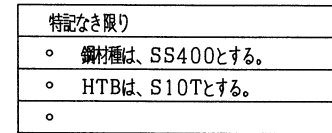
アンカーボルト: 1-M12@1,800
L=300 (SS400)

先端フック付き ダブルナット締め



縦胴縁脚部取付詳細図 S=1/30

特記なき限り
- 鋼材種は、SS400とする。 - HTBは、S10Tとする。



工事概要

1 工事場所

京都府木津市木津上戸地内

2 建物概要

建物名	構造	階数	延床面積 (㎡)	消防法令別表第一	耐震安全性の分類	備考
庁舎、診療所	軽量鉄骨造	2 階	392.85㎡	16項(イ)	○甲 ○乙 ●乙 ○甲 ○乙 ○甲 ○乙	新築
					○甲 ○乙	

3 工事科目

●印をついたものを適用し、各一式とする。

工事科目	建物名	庁舎、診療所			
空気調和設備		●		○	○
換気設備		●		○	○
排煙設備		○		○	○
自動制御設備		○		○	○
衛生器具設備		●		○	○
給水設備		●		○	○
排水設備		●		○	○
給湯設備		●		○	○
消火設備		○		○	○
ガス設備		○		○	○
さく井設備		○		○	○
厨房機器設備		○		○	○
浄化槽設備		●		○	○
医療ガス設備		○		○	○
搬入工事		○		○	○
		○		○	○

【特記事項】

1 一般事項

1）特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、国土交通省大臣官庁官庁官機部の「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）令和7年版」（以下、「標準仕様書」という。）、「公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）令和7年版（以下「標準図」という。）及び「公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）令和7年版」（以下、「改修標準仕様書」という。）による。

2）工事種目に電気設備工事及び建築工事を含む場合、その仕様は当該図面及び各工事の標準仕様書による。

2 特記事項

項目及び特記事項は、●印をついたものを本工事に適用する。ただし、●印のない場合は、※印を適用する。

章	項目	特記事項	
一	※設備機材等	本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するものまたは、これらと同等のものとす。 ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。 また、(ク)印は「京都府庁グリーン調達方針※」(以下、「グリーン調達」という。)の特定調達品目を示す。 ◆京都府ホームページ参照 <http://www.pref.kyoto.jp/zaisan/kankyo.html>	
	※機材の承諾	機材の承諾に際しては、原則として国土交通省大臣官庁官庁官機部建築課官機技術管理室監修の機械設備工事機材承諾図様式集（最新版）によるものとする。	
	※機材の品質・性能証明	使用する機材が、(一社)公共建築協会発行の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿（最新版）」による場合は、評価書の写しをもって、標準仕様書第1編第1章第4節1.4.2(3)の品質及び性能を有することの証明となる資料の提出を省略することができる。 ただし、標準仕様書に規定される製作図・試験成績書等は除く。	
	※現場代理人	本工事の施工に当たっては、工事請負契約書第10条に基づき現場代理人は、主任技術者又は監理技術者と同様、受注者との直接的かつ恒常的な雇用関係のある者を選任する。	
	※電気保安技術者	※適用する ○適用しない	
	○技能士（一級）	※配管（配管工事） ※建築板金（ダクト製作及び取付け） ●冷凍空気調和機器施工	
	※工事用電力・水その他	本工事に必要工事用電力・水などの費用は、引渡し時まですべて受注者の負担とする。	
	※官公署への手続き	官公署等への手続きは速やかに行い、それに要する費用は、すべて受注者の負担とする。	
	※工事用仮設物	構内につくることが できる ○できない	
	※足場・作業構台	別契約の関係者・受注者が設置したものは、無償で使用できる。	
般	※監督職員事務所	※設置しない ○設置する (○本工事 ○別途)	
	※監督職員事務所に備え付ける図書	下記の図書を監督職員事務所に備え付ける。 - 公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編） - 公共建築設備工事標準図（機械設備工事編） - 機械設備工事監理指針 - 機械設備工事施工チェックシート - 建築設備耐震設計施工指針 - 工事写真撮影ガイドブック機械設備工事 - 公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）	
	※建設副産物の処理及び建設発生土の処理	○建設副産物の処理 右記のほか、現場説明書による。 ○引渡しを要するもの【 】 ○再生資源利用を図るもの【 】 ○特別管理産業廃棄物 ○PCB使用機器 ○臭化リチウム ○ ●建設発生土の処理 右記のほか、現場説明書による。 ●構外指定地に搬出処理 ※（一財）城陽山砂利採取地整備公社 ○ ○構内指示場所に敷き均し	
		再生資源利用（促進）計画・実施書の提出 詳細は現場説明書による。	
	事		1）「建設発生土処理計画書」及び「建設副産物等処理計画書」を監督職員に提出する。 2）関係法令等に従い、適正に廃棄物等処理し、「建設発生土処理報告書」及び「建設副産物処理報告書」により監督職員に報告する。 3）冷媒については関係法令に従い適切に破壊処分を行う（家電リサイクル法対象機器を除く。）（別途：※本工事 ○別途、処分費：※本工事 ○別途、運搬費：※本工事 ○別途）
			○アスベストの処理等（以下のほか、現場説明書による。） 1）次の資機材のアスベスト含有の有無は以下による。 - ダクトパッキン ○含有 ○不含 ○要調査（分析資料数： ） - 配管エルボ部保温材 ○含有 ○不含 ○要調査（分析資料数： ） - 煙道の断熱材 ○含有 ○不含 ○要調査（分析資料数： ） - アスベスト成形板 ○含有 ○不含 ○要調査（分析資料数： ） アスベスト成形板の処理等 施工調査 アスベスト成形板の撤去に当たり、あらかじめ事前の施工調査を次の事項について行う。調査結果は図面により記録し監督職員に提出する。 - アスベスト成形板使用部位の確認・アスベスト成形板の種類、厚さ等の確認 - アスベスト成形板使用数量の確認・施工範囲等の確認 - 確認範囲 ※成形板の製造年等の確認 ○X線解析法 2）アスベスト含有調査は以下のとおりとする。 (ただし、調査費用は ※本工事 ○別途 とする。) ※JIS A 1481-2「建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第2部試料採取及びアスベスト含有の有無を判定するための定性分析方法」又はJIS A 1481-3「建材製品中のアスベスト含有方法-第3部：アスベスト含有率の X 線回折定量分析方法」による。 3）アスベスト含有資機材は関係法令に従い適切に処理する。 調査の結果アスベスト含有が確認された場合の処理方法は監督職員との協議による。

項 目		特 記 事 項																																		
共 通 事 項	○はつり及び穴開け	1) 既存のコンクリート床・壁等の配管貫通部の穴開けは、原則としてダイヤモンドカッターを使用する。 2) 復旧はモルタル補修までとする。																																		
	●インサート及びアンカー	あと施工アンカー等を行う場合は、改修標準仕様書第2編第5章による。 施工後確認試験 ○行う (国土交通省大臣官房官庁官務部の公共建築改修工事標準仕様書 (建築工事編) (令和4年版) 8章12節8.12.7による。)																																		
	○防煙ダンパー及び防火防煙ダンパー	復帰方式は ●遠方復帰式 (電気式 (定格入力 DC24V 0.6A以下)) ○手動復帰式																																		
	○消音内貼	ダクト及びチャンパー、消音エルボの内貼り (箇所図示) は下記による。 ・消音内貼り部分の外部保温は ●不要 ○必要 ・チャンパーの寸法は、外形寸法を示す。 (ただし、ダクト及び消音エルボは、内形寸法を示す。) ・点検口は内貼り仕様又は断熱戸とする。																																		
	○ドレン抜き	外壁に面するガラリに直接取付けるチャンパー類に必要な応じ設ける。																																		
	○取付枠	防火区画部に取付ける吹出口、吸入口等で取付枠を必要とするものは鋼枠を使用する。																																		
	●機器の基礎	アンカーボルト及びナットは、下記による。 ・屋外、多湿室等 (○溶融亜鉛めっき2種35 ●ステンレス鋼製 (SUS304)) ・その他 (○一般品 ○) ●機器側の材質がSUS製の場合は、SUS製とする。																																		
	○防火区画	○平面図 ○図示 ○																																		
	○掲示板	機械室に操作順序、注意事項、連絡先及び系統図などを画いた掲示板を設ける。																																		
	●天井仕上区分	() 書きの室名は直天井を示し、その他は二重天井を示す。																																		
事 項	○給油設備	オイルタンク ○地下 ○屋内 遠隔油量指示計 ○設ける ○設けない 副指示計 ○設ける ○設けない オイルサービスタンク 油面計 ○ゲージ式 ○ガラス管式 油面制御装置の機能は下記による。 ○給油ポンプの起動、停止制御用 ○返油ポンプの起動、停止制御用 ○漏油警報 ○遠隔警報 ○減油 ○満減油 ○配管用炭素鋼鋼管 (黒) ○ ○ポリエチレン被覆鋼管 ○																																		
	●建物導入部配管	●標準図 施工4 (a) (●フレキシブルジョイント ○埋設用フレキシブルジョイント) ○標準図 施工5 (b) (ボールジョイント) ●標準図 施工5 (c) (スリークッション)																																		
	●鋼材	屋外露出部分 ○溶融亜鉛めっき2種35 ●ステンレス鋼製 (SUS304)																																		
	○制御及び操作銘	構成 ○虚相コンデンサー ○運転時間計 表示等 ○運転 (赤色) 及び停止 (緑色) 表示 ○保護継電器の動作表示 接点及び端子 ○遠方発停用端子 ○湿度調節器用端子 ○運転時間表示用端子 ○温水出入口温度用端子 ○冷水出入口温度用端子 ○消費電力量表示用端子 (ボイラーの場合、小型貫流ボイラーに適用) ○給水量表示用端子 (ボイラーの場合、小型貫流ボイラーに適用) ○燃料消費量表示用端子 (ボイラーの場合、小型貫流ボイラーに適用)																																		
	●主方式	○全空気方式 (○中央 ○各階ユニット) ○ファンコイル・ダクト併用方式 ●個別方式																																		
	●主要熱源機器	○吸収冷凍水機 ○チリングユニット ○空気熱源ヒートポンプユニット ●空冷ヒートポンプ式パッケージ形空気調和機 (●EHP ○GHP ○) ○																																		
	●設計時の温湿度条件	<table><tr><th colspan="2" rowspan="2">場 所</th><th colspan="2" rowspan="2">屋 外</th><th colspan="4">屋内 (調整目標値)</th></tr><tr><th colspan="4">一般居室</th></tr><tr><th>時 期</th><th>温度 (DB)</th><th>湿度 (RH)</th><th>温度 (DB)</th><th>湿度 (RH)</th><th>温度 (DB)</th><th>湿度 (RH)</th></tr><tr><td>冬 期</td><td>0.5 ℃</td><td>50.5 %</td><td>19.0 ℃</td><td>40.0 %</td><td>℃</td><td>%</td></tr><tr><td>夏 期</td><td>36.1 ℃</td><td>64.7 %</td><td>27.0 ℃</td><td>50.0 %</td><td>℃</td><td>%</td></tr></table>		場 所		屋 外		屋内 (調整目標値)				一般居室				時 期	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	冬 期	0.5 ℃	50.5 %	19.0 ℃	40.0 %	℃	%	夏 期	36.1 ℃	64.7 %	27.0 ℃	50.0 %	℃	%
	場 所		屋 外					屋内 (調整目標値)																												
					一般居室																															
	時 期	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)																													
冬 期	0.5 ℃	50.5 %	19.0 ℃	40.0 %	℃	%																														
夏 期	36.1 ℃	64.7 %	27.0 ℃	50.0 %	℃	%																														
○長方形ダクトの工法	○アングルフランジ工法 ○コーナーボルト工法 (○共板フランジ工法 ○スライドオンフランジ工法)																																			
○ダクトの分岐方法	○割込み工法 ○直付け工法																																			
●配管材料 (図面特記部分は除く)	冷凍水管 冷却水管 ドレン管 蒸気配管 補給水管 膨張管 エア抜管 加温給水管 冷媒管 ○パッケージ形空気調和機の2次側電気配管の仕様は製造者の標準仕様とする。	○配管用炭素鋼鋼管 (白) ○一般配管用ステンレス鋼鋼管 (SUS304) ○配管用炭素鋼鋼管 (黒) ○硬質塩化ビニルライニング鋼管 (SGP-VA、SGP-FVA) ○配管用炭素鋼鋼管 (白) (○ねじ接合 ○MDジョイント) ○水配管用亜鉛めっき鋼管 ●硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) ○リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三层管 (RF-VP) ○配管用炭素鋼鋼管 (黒) ○ ○圧力配管用炭素鋼鋼管 (黒) ○ ○配管用炭素鋼鋼管 (白) ○ ○配管用炭素鋼鋼管 (白) ○ ○配管用炭素鋼鋼管 (白) ○ ○硬質塩化ビニルライニング鋼管 (SGP-VA、SGP-FVA) ○一般配管用ステンレス鋼鋼管 (SUS304) ○鋼管 ●断熱材被覆鋼管 (水管: ハイグレード仕様)																																		
空 調 設 備	○温度計	○工業用バイメタル式温度計 ○ガラス製棒状温度計 ○ガラス製二重管温度計																																		
	○定風量ユニット	○メカニカル形																																		
	○変風量ユニット	○風速センサー形 (○プロベラ形センサー ○熱線センサー)																																		
	○カセット形ファンコイルユニット	風量分配ダクト	○結露防止措置を施した亜鉛鉄板製 ○自己消火性のポリスチレンフォーム																																	
	○ボイラー燃焼制御方式	○オン・オフ制御式 (○直接始動式 ○低燃焼始動式) ○ハイ・ロー・オフ制御式 ○比例制御式																																		
	○遠心・スクルー冷凍機	●電動機駆 ○並相コンデンサー (○要 ○不要)																																		
	○吸収冷凍水機	●排熱投入型再生器 ○有り ○無し																																		
	○高湿再生器の構造	※図面による。																																		
	○コージェネレーション装置	発電方式 熱回収装置 その他装置等	○原動機、発電機 ○燃料電池 ○温水熱交換器 ○排ガスボイラー ○排ガス熱交換器 ○熱回収ポンプ ○その他 ○補機附属制御装置 ○冷却塔 (放熱用) ○																																	
	○集中管理リモコン	表示機能 データ管理機能	○屋外機吸込温度 ○空調エネルギー使用量按分 ○運転時間積算 ○室内温度 ○屋外機吸込温度 ○空調エネルギー使用量按分 ○運転時間積算 ○室内温度 ○外部記憶媒体への出力機能																																	

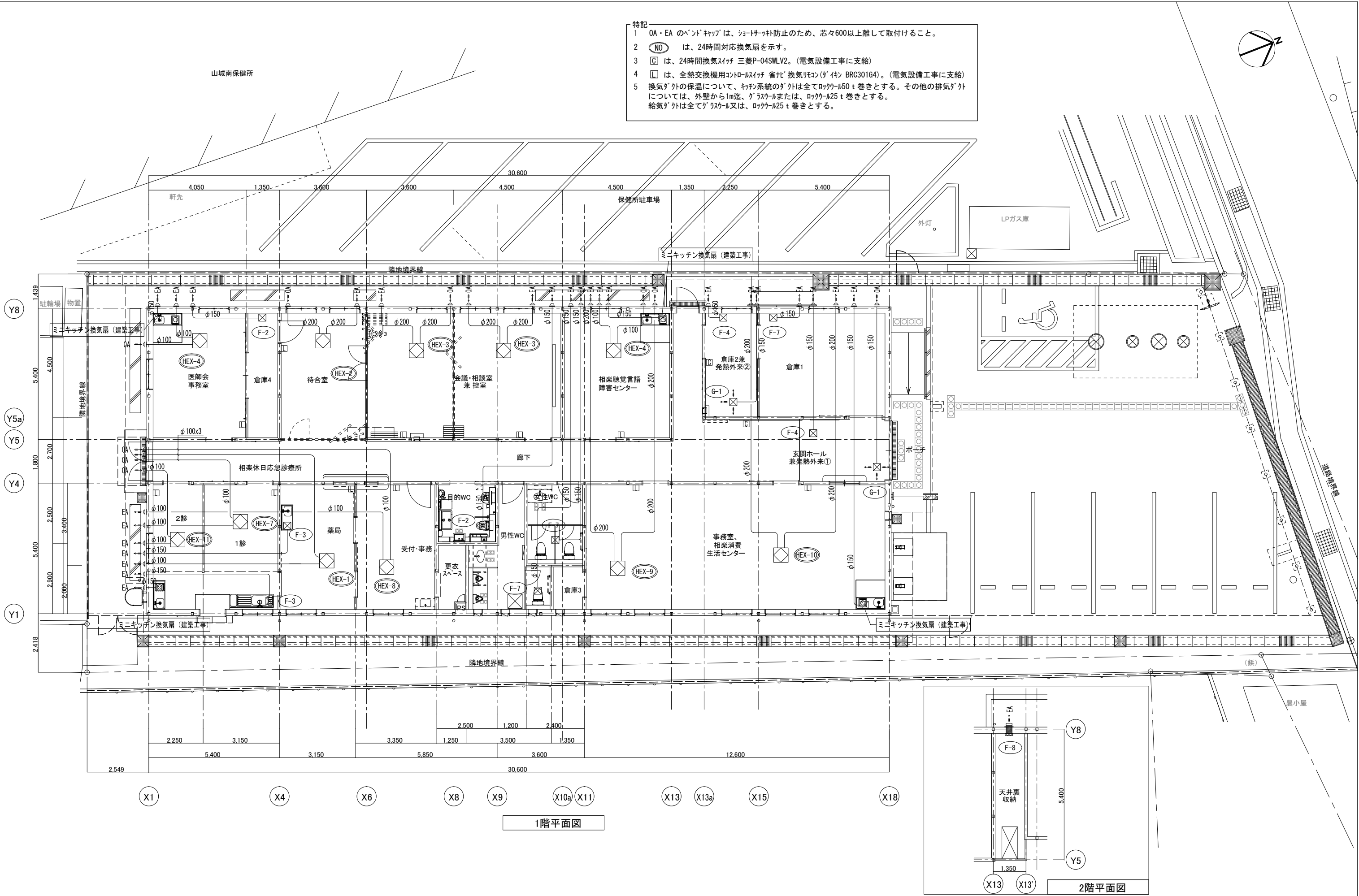
章	項 目	特 記 事 項									
空 気 調 和 設 備	○鋼板製煙道 (ボイラー)	厚さ 〇3.2mm 〇4.5mm ○ばい煙濃度計の取付座 〇ばいじん量測定口 ○伸縮継手 〇掃除口									
	○ばい煙濃度計 (ボイラー)	※送風機付き 〇送風機なし (電源は熱源機器付属制御盤より取出し、配管配線共本工事に含む)									
	○瞬間流量計	○固定形 個 ○脱着可能型 (測定用タッピング 個 本体 個)									
	●保温 (図面特記部分は除く)	1) 冷媒管の保温外装は下記による。 ・屋内 隠へ部 〇不要 〇必要 露 出 部 ●保温化粧ケース (塩化ビニル樹脂製) 〇 ・屋外 ●ステンレス鋼板 〇保温化粧ケース (〇樹脂製 〇アルミ合金製 〇ステンレス鋼板製 〇溶融亜鉛メッキ鋼板製) ・保温化粧ケースの下部カバー 〇必要 〇不要 2) ファンコイルユニット等のドレン管の保温は、給排水設備工事の排水管による。 3) 加圧用給水水磨の保温は膨張タンクに準ずる。 4) トラフ内の油管はプラスチックテープ1/2重ね1回巻きとする。									
換 気 設 備	●ダクトの工法	○アングルフランジ工法 ○コーナーボルト工法 (〇共板フランジ工法 〇スライドオンフランジ工法) ●スパイラルダクト									
	○ダクトの分岐方法	給気ダクト 〇割込み工法 〇直付け工法 排気ダクト 〇割込み工法 〇直付け工法									
	○厨房排気ダクトの板厚	厨房排気ダクトは亜鉛鉄板製とし、板厚は下記による。									
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>ダ ク ト の 長 辺</th><th>板 厚</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>450mm以下</td><td>0.6mm</td></tr> <tr> <td>450mmを超え1200mm以下</td><td>0.8mm</td></tr> <tr> <td>1200mmを超え1800mm以下</td><td>1.0mm</td></tr> <tr> <td>1800mmを超えるもの</td><td>1.2mm</td></tr> </tbody> </table>	ダ ク ト の 長 辺	板 厚	450mm以下	0.6mm	450mmを超え1200mm以下	0.8mm	1200mmを超え1800mm以下	1.0mm	1800mmを超えるもの
ダ ク ト の 長 辺	板 厚										
450mm以下	0.6mm										
450mmを超え1200mm以下	0.8mm										
1200mmを超え1800mm以下	1.0mm										
1800mmを超えるもの	1.2mm										
排 煙 設 備	○排気フード	1) 排気フードの補強・支持金物・接合剤等は、亜鉛鉄板製ダクトの当該事項によるものとし、材質は下記による。 ※ステンレス鋼板 (補強共) 2) 排気フード廻りに取付ける幕板は、上記フードと同材質とする。 ○本工事 〇別途工事 3) グリスフィルターの予備 〇不要 〇必要									
	●保温	浴室・厨房 (多湿箇所) の外気取入ダクトの保温 ●不要 〇必要 外気取入ダクトの保温 (空調を行っている室について) 〇不要 ●必要 全熱交換器までの外気取入ダクトの保温 (空調を行っている室について) 〇不要 ●必要 全熱交換器以降の外気取入ダクトの保温 (空調を行っている室について) 〇不要 ●必要 保温を行う場合の仕様は標準仕様書第2編第3章第1節による。									
	○排煙対象部分	○廊下 〇事務室 〇図示 〇最大面積 m ²									
	○ダクトの種別	○高圧1ダクト 〇高圧2ダクト									
設 計 制 御	○ダクトの工法	○アングルフランジ工法									
	○ダクトの材料	●亜鉛鉄板製 〇鋼板製 (1.5mm以上)									
	○排煙口	1) 形 状 〇スリットフェース形 〇パネル形 〇ダンパー形 2) 排煙口の開放 〇手動 (〇機械式 〇電気式) 〇煙感知器連動 3) 復帰装置 〇手元復帰式 (〇手動式 〇電気式) 〇遠方復帰式 4) ダンパー本体及び操作箱との渡り配線は本工事とし、それ以降の制御配管配線は別途工事とする。									
	○保温	床下及び暗室内の保温 ※不要 〇必要 (図示)									
衛 生 器 具 設 備	○小便器用節水装置	電気供給方式 ●A〇電源 〇乾電池 ●自己発電									
	●自動水栓	電気供給方式 ●A〇電源 〇乾電池 ●自己発電 手動スイッチ ●無し 〇 有り									
	●大便器用洗浄弁	操作方法 ●手動式 〇電気開閉式 (〇センサー式 〇タッチスイッチ式)									
	●水石けん入れ ●車椅子使用者用器具	●手洗器一体型 〇手洗器分離型 〇 1) 大便器用洗浄弁 〇センサー式 〇 ●タッチスイッチ式 〇レバー式 2) 洗面器の水栓は自動水栓とする。									
給 水	●給水方式	●水道直結方式 〇高置タンク方式 〇水道直結増圧方式 (水道用直結加圧形ポンプユニット) 〇ポンプ直送方式 (小型給水ポンプユニット)									
	●配管材料 (図面特記部分は除く)	屋内配管 ○一般配管用ステンレス鋼管 (SUS304) (呼び径60S以下は拡管式、呼び径75S以上は溶接接合) ●水道用硬質ポリ塩化ビニル管 (HIVP) ○ポリエチレン粉体ライニング鋼管 (SGP-PA、SGP-FPA) ○硬質塩化ビニルライニング鋼管 (SGP-VA、SGP-FVA) 〇 地中配管 [屋内] ○一般配管用ステンレス鋼管 (SUS316) (呼び径60S以下は拡管式、呼び径75S以上は溶接接合) ○水道用ポリエチレン二層管 (50A以下) (※1種 〇2種) (接合方法 ※メカニカル 〇電気融着) ●水道用硬質ポリ塩化ビニル管 (HIVP) ○ポリエチレン粉体ライニング鋼管 (SGP-PD、SGP-FPD) ○硬質塩化ビニルライニング鋼管 (SGP-VD、SGP-FVD) 〇 地中配管 [屋外] ○一般配管用ステンレス鋼管 (SUS316) (呼び径60S以下は拡管式、呼び径75S以上は溶接接合) ○水道用ポリエチレン二層管 (50A以下) (※1種 〇2種) (接合方法 ※メカニカル 〇電気融着) ●水道用硬質ポリ塩化ビニル管 (HIVP) ○ポリエチレン粉体ライニング鋼管 (SGP-PD、SGP-FPD) ○硬質塩化ビニルライニング鋼管 (SGP-VD、SGP-FVD) 〇									
	●緊急遮断弁装置	○必要 ●不要 駆動方式 〇電気式 〇機械式									
	●量水器	●現地表示式 (直読式) 〇遠隔表示式 (パルス式)									

章	項 目	特 記 項
浄化槽設備	●形式	○ユニット形 ●現場施工形
	●処理方法	○小規模合併処理（図面による） ●合併処理（図面による）
医療ガス設備		*図面による。

別表 1 付属品・予備品
○工具箱（ドライバー、モンキーレンチ、組スパー、ハンマー） ○マンホールフック ○パイプレンチ ○ポンプブライヤー ○ラバーカップ（大、小） ○イージーキャビネット 箱 ○キーボックス ○盤類予備品（ランプ及びヒューズの100%）

記 事		業務名称			工事名称		設計年月
		相楽広域行政組合新庁舎基本・実施設計業務			相楽広域行政組合新庁舎新築工事		令和 8年 3月
		 株式会社 練企画設計 京都支店	一級建築士事務所 京都府知事登録(07A) 第00523号	印 ・	図面名称	縮尺 A2 - A3 -	図面番号
			管理建築士 一級建築士(大臣) 第331194号 三浦 光寛		機械設備工事 特記仕様書(2)		M- 02

- 特記
- 1 OA・EA のベントキャップは、ショートサーキット防止のため、芯々600以上離して取付けること。
 - 2 (NO) は、24時間対応換気扇を示す。
 - 3 (C) は、24時間換気スイッチ 三菱P-04SWLV2。(電気設備工事に支給)
 - 4 (L) は、全熱交換機用コントロールスイッチ 省エネ換気リコン(ダクト)付 BRC301G4。(電気設備工事に支給)
 - 5 換気ダクトの保温について、キッチン系統のダクトは全てロックウール50t巻きとする。その他の排気ダクトについては、外壁から1m迄、グラスウールまたは、ロックウール25t巻きとする。
給気ダクトは全てグラスウール又は、ロックウール25t巻きとする。

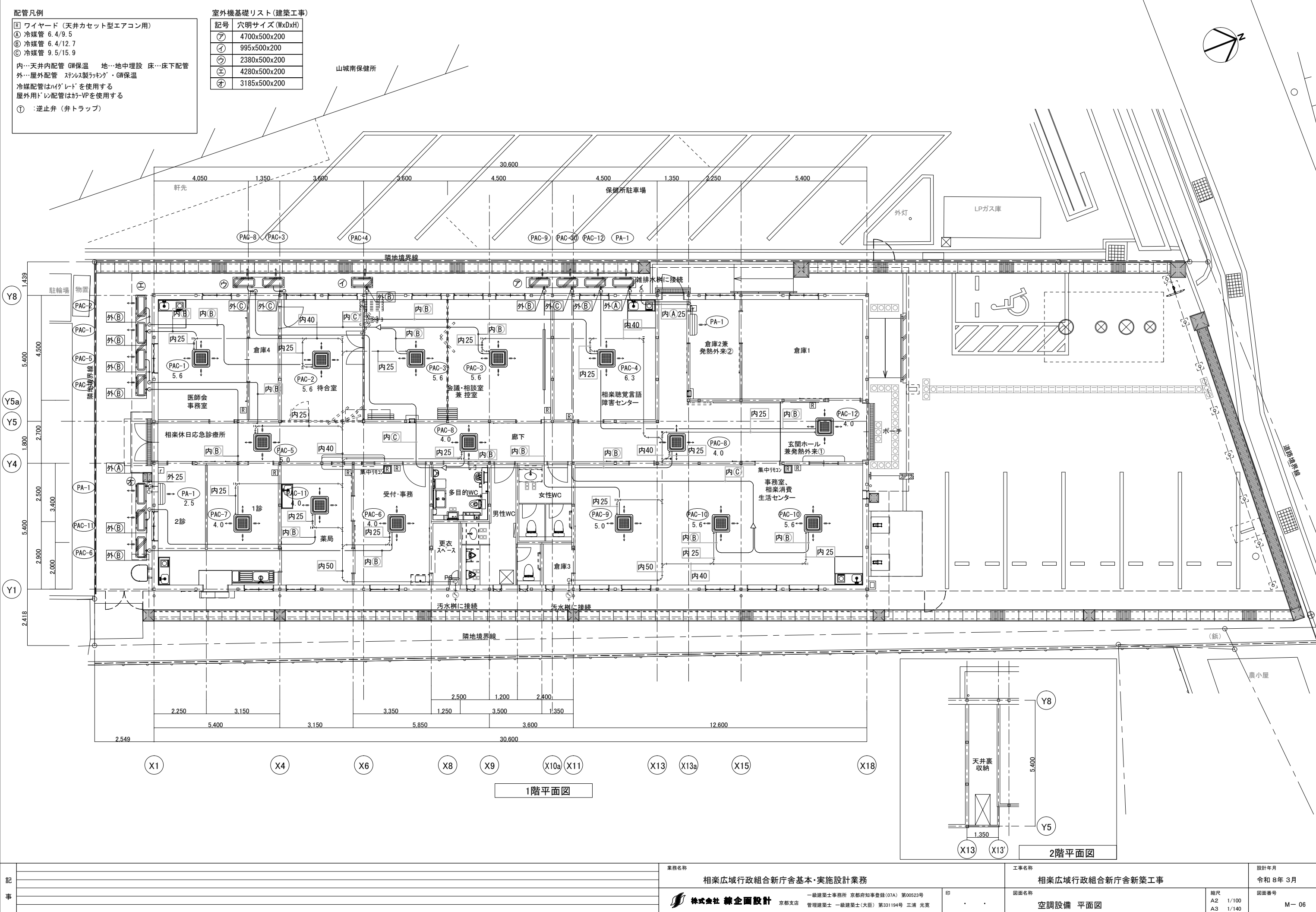


記事			業務名称		工事名称		設計年月		
			相楽広域行政組合新庁舎基本・実施設計業務		相楽広域行政組合新庁舎新築工事		令和 8 年 3 月		
					一級建築士事務所 京都府知事登録(07A) 第00523号 管理建築士 一級建築士(大匠) 第331194号 三浦 光寛	印 ・	図面名称 空調換気 ダクト 平面図	縮尺 A2 1/100 A3 1/140	図面番号 M- 04

空調機器リスト（メーカー及び型式品番は参考とする）

[illegible]

記 事		業務名称		工事名称		設計年月
		相楽広域行政組合新庁舎基本・実施設計業務		相楽広域行政組合新庁舎新築工事		令和 8年 3月
		 株式会社 練企画設計 京都支店		印	図面名称	図面番号
		一級建築士事務所 京都府知事登録(07A) 第00523号 管理建築士 一級建築士(大臣) 第331194号 三浦 光寛	・	縮尺 A2 - A3 -	M- 05	



配管凡例

□	ワイヤード (天井カセット型エアコン用)
④	冷媒管 6.4/9.5
⑧	冷媒管 6.4/12.7
⑨	冷媒管 9.5/15.9
内…天井内配管 GW保温 地…地中埋設 床…床下配管	
外…屋外配管 ステンレス製フランク・GW保温	
冷媒配管はパイプ・レードを使用する	
屋外用パイプ・レード配管はカーVPを使用する	
①	逆止弁 (弁トラップ)

室外機基礎リスト (建築工事)

記号	穴明サイズ (WxDxH)
㊦	4700x500x200
㊩	995x500x200
㊪	2380x500x200
㊫	4280x500x200
㊬	3185x500x200

記 事	配管凡例		室外機基礎リスト(建築工事)	
	[R] ワイヤード(天井カセット型エアコン用)		記号	穴明サイズ(WxDxH)
	[A] 冷媒管 6.4/9.5		[7]	4700x500x200
	[B] 冷媒管 6.4/12.7		[イ]	995x500x200
	[C] 冷媒管 9.5/15.9		[ロ]	2380x500x200
内…天井内配管 GW保温 地…地中埋設 床…床下配管		[ハ]	4280x500x200	
外…屋外配管 ステンレス製ラッキン®・GW保温		[ニ]	3185x500x200	
冷媒配管はハイグレードを使用する				
屋外用ﾄﾞﾚﾝ配管はｶｰｰVPを使用する				
① :逆止弁(弁トラップ)				

Y8

Y5a

Y5

Y4

Y1

X1

X4

X6

X8

X9

X10a

X11

X13

X13a

X15

X18

1階平面図

Y8

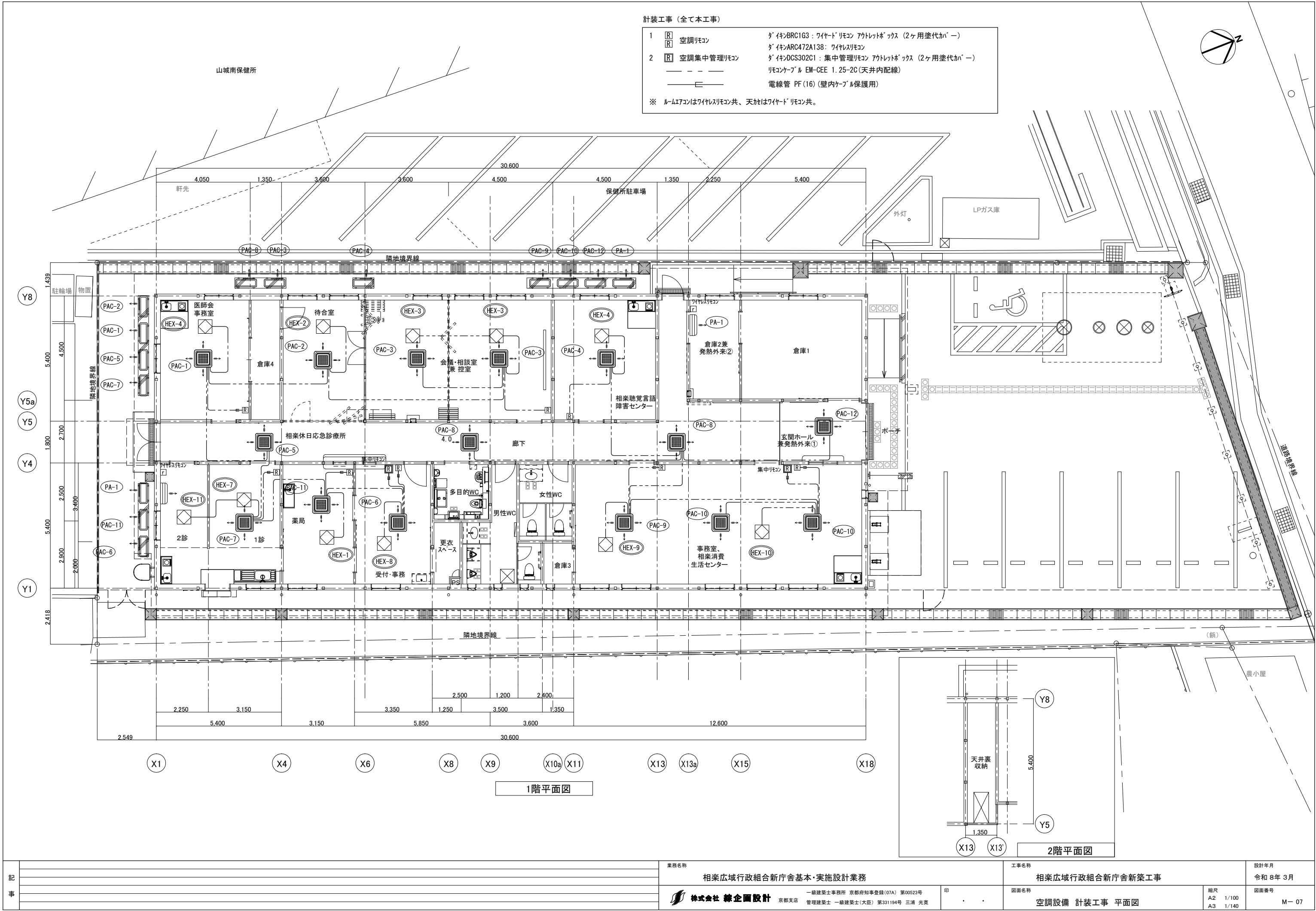
Y5

X13

X13'

2階平面図

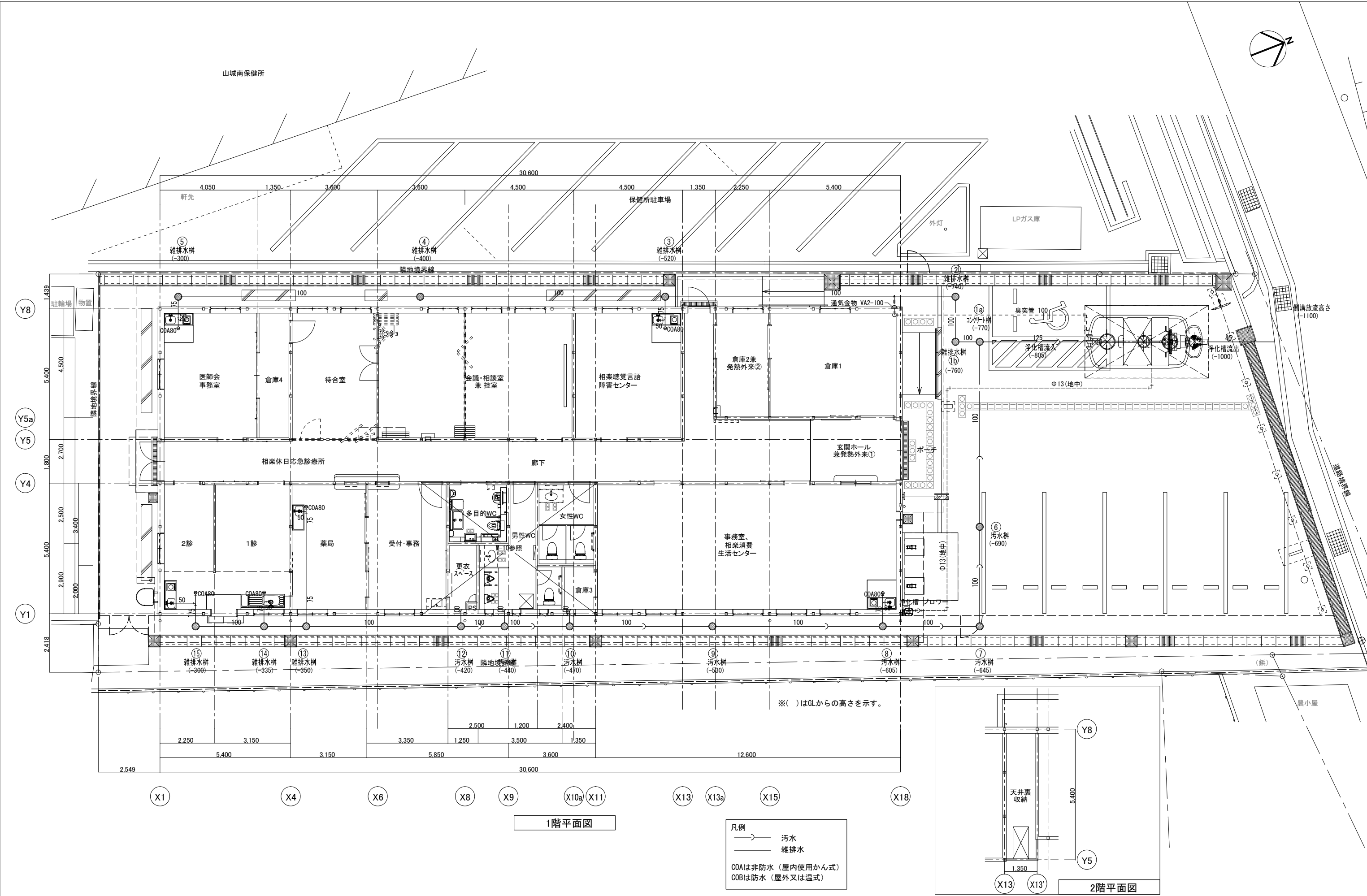
記 事	業務名称		工事名称		設計年月	
	相楽広域行政組合新庁舎基本・実施設計業務		相楽広域行政組合新庁舎新築工事		令和 8 年 3 月	
	株式会社 緑企画設計	一級建築士事務所 京都府知事登録(07A) 第00523号	印	図面名称	縮尺	
		京都支店	管理建築士 一級建築士(大匠) 第331194号 三浦 光寛	・	空調設備 平面図	A2 1/100 A3 1/140
					図面番号	M- 06



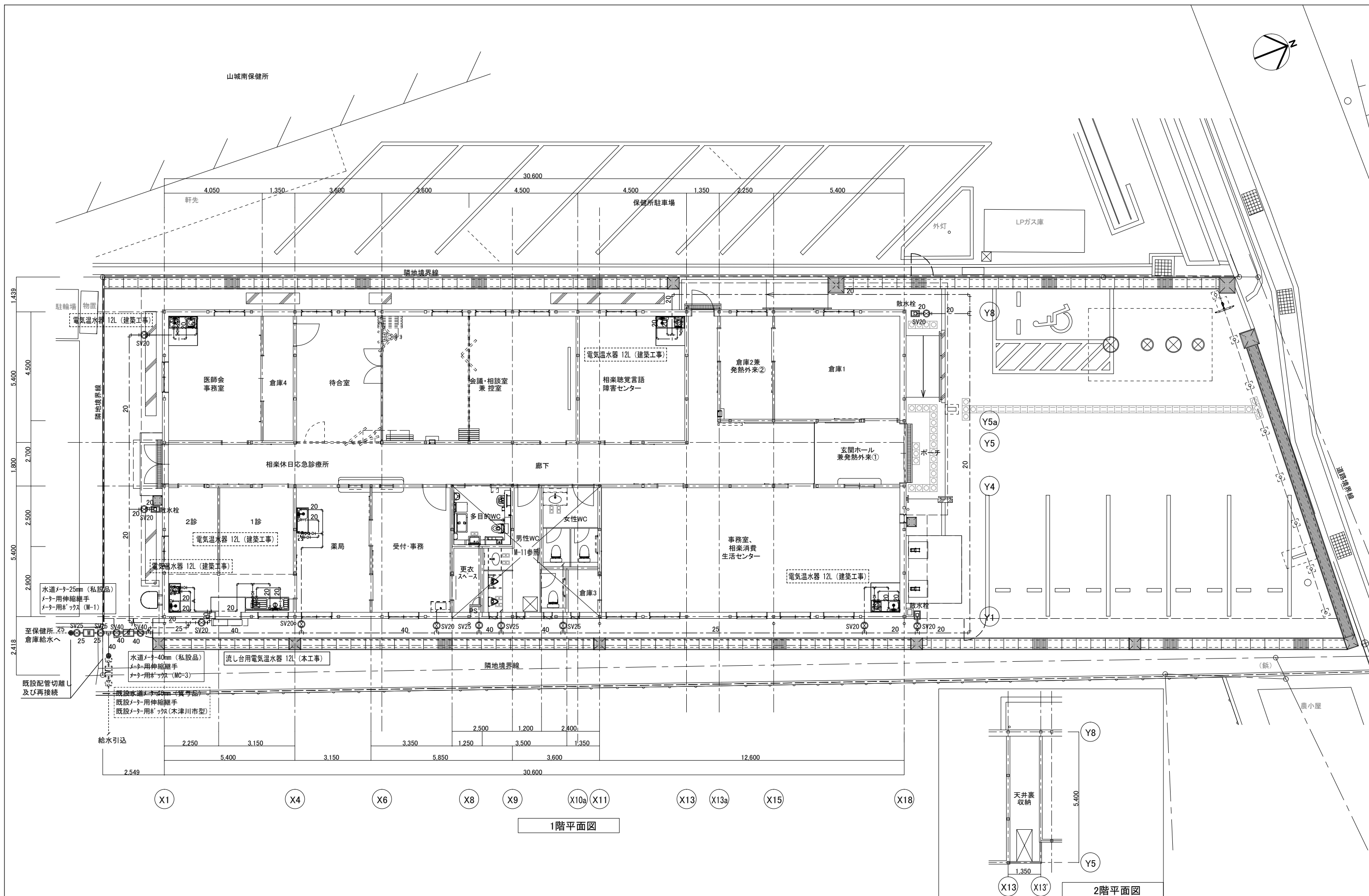
衛生器具リスト（メーカー及び型式品番・台数は参考とする）									
名称	工事区分	品名・型番・付属金具	設置場所						合計
			男性 便所	女性 便所	多目的 便所	受付・ 事務	各室	外構	
洋風便器	（本工事）	CFS498BC（床排水大便器） TCF5534AE（ウォシュレット（擬音装置付）） YH702（棚付二連紙巻器） 他附属品一式 T112CL10（L型手すり）（建築工事） YKH22（フック）（建築工事）	1	1					2
洋風便器	（本工事）	CFS498BC（床排水大便器） TCF5534AE（ウォシュレット（擬音装置付）） YH702（棚付二連紙巻器） 他附属品一式 YKH22（フック）（建築工事）		1					1
壁掛小便器	（本工事）	UFS900JCS（掃除口付壁掛壁排水自動洗浄小便器 AC100V・節水タイプ） 他附属品一式	1						1
壁掛小便器	（本工事）	UFS900WR（掃除口付壁掛壁排水自動洗浄小便器 自己発電・節水タイプ） T112CU22（小便器用手すり）（建築工事） 他附属品一式	1						1
マーブライトカウンター	（建築工事）	ML55L0880BPA13W（一連 W=1000, 900）	1	1					2
アンダーカウンター洗面器	（本工事）	L532（洗面器） TLE26SS1A（台付自動水栓（単水栓・AC100V）） 他附属品一式	1	1					2
フリーサイズ大型鏡	（建築工事）	MMA1A0480A1100W（W480× H1100）	1	1					2
マーブライトカウンター	（建築工事）	MLWDL0795BPA14Y（一連 W=800）				1			1
アンダーカウンター洗面器	（本工事）	L505（洗面器） TLE25SS1A（台付自動水栓（単水栓・AC100V）） 他附属品一式				1			1
コンパクトリアフリースタイルバック	（本工事）	UADAK21R1A1ADD2BB（壁掛型大便器・側板あり・洗面器あり・右勝手・水道水・手洗器あり・チャームボックスあり・水石けん入れあり・背もたれ（ワイドタイプ）・汚物流し用電気温水器あり・洗面器用電気温水器あり・停電時洗浄機能なし・スリッパ（デフォルト）） TC51（幼児用補助便座） YKA25N（ペーパーシート） YKA15S（ペーパーチェア） YKA41R（フライングボード） TYG320W（クリントライ（ハンドドライヤー高速タイプ）） 他附属品一式 YMS12（化粧鏡 450×11×1000）（建築工事） YVB10（多用途用手すり I型）（建築工事） YKH22（フック）x2ヶ所（建築工事）			1				1
キースタックリング付散水栓 （ボックス共 SUS製）	（本工事）	T28KUNH13（キースタックリング付散水栓）（SUS製ボックス共） 他附属品一式						3	3
ミニキッチン	（建築工事）	電気温水器 12L（ミニキッチンに付属 建築工事）					5		5
流し台	（建築工事）	流し台（建築工事） REW12A1BK（電気温水器 12L 沸上り温度30～75℃ 定格消費電力 AC100V 1.1kW） 他附属品一式（本工事）					1		1
モップ掛けパネル	（建築工事）	UTR422S（掃除用流しセットアクセサリーモップ掛けパネル）（建築工事） 他附属品一式	1						1

柵リスト 1FL=TP+10.5（設計GL 1FL-0.2）							
記 号	名 称	寸 法	管底深さ	管底深さ	柵の深さ	マンホール蓋	備 考
			設計GL～	GL～	GL～		
1a	コンクリート柵	450口	GL-770	GL-770	GL-770	マンホール MHA	
1b	雑排水柵	200φ	GL-760	GL-760	GL-760	防臭蓋（MHA-200φ）	小口径柵 φ100 90L
2	雑排水柵	200φ	GL-740	GL-690	GL-690	防臭蓋（MHA-200φ）	小口径柵 φ100 90L
3	雑排水柵	200φ	GL-520	GL-520	GL-520	防臭蓋（MHA-200φ）	小口径柵 φ100 90Y
4	雑排水柵	200φ	GL-400	GL-400	GL-400	防臭蓋（MHA-200φ）	小口径柵 φ100 ST
5	雑排水柵	200φ	GL-300	GL-300	GL-300	防臭蓋（MHA-200φ）	小口径柵 φ100 90L
6	汚水柵	200φ	GL-690	GL-640	GL-640	防臭蓋（MHA-200φ）	小口径柵 φ100 ST
7	汚水柵	200φ	GL-645	GL-555	GL-555	防臭蓋（MHA-200φ）	小口径柵 φ100 90L
8	汚水柵	200φ	GL-605	GL-505	GL-505	防臭蓋（MHA-200φ）	小口径柵 φ100 90Y
9	汚水柵	200φ	GL-530	GL-450	GL-450	防臭蓋（MHA-200φ）	小口径柵 φ100 ST
10	汚水柵	200φ	GL-470	GL-410	GL-410	防臭蓋（MHA-200φ）	小口径柵 φ100 90Y
11	汚水柵	200φ	GL-440	GL-390	GL-390	防臭蓋（MHA-200φ）	小口径柵 φ100 90Y
12	汚水柵	200φ	GL-420	GL-370	GL-370	防臭蓋（MHA-200φ）	小口径柵 φ100 90Y
13	雑排水柵	200φ	GL-350	GL-330	GL-330	防臭蓋（MHA-200φ）	小口径柵 φ100 90Y
14	雑排水柵	200φ	GL-335	GL-320	GL-320	防臭蓋（MHA-200φ）	小口径柵 φ100 90Y
15	雑排水柵	200φ	GL-300	GL-300	GL-300	防臭蓋（MHA-200φ）	小口径柵 φ100 90L

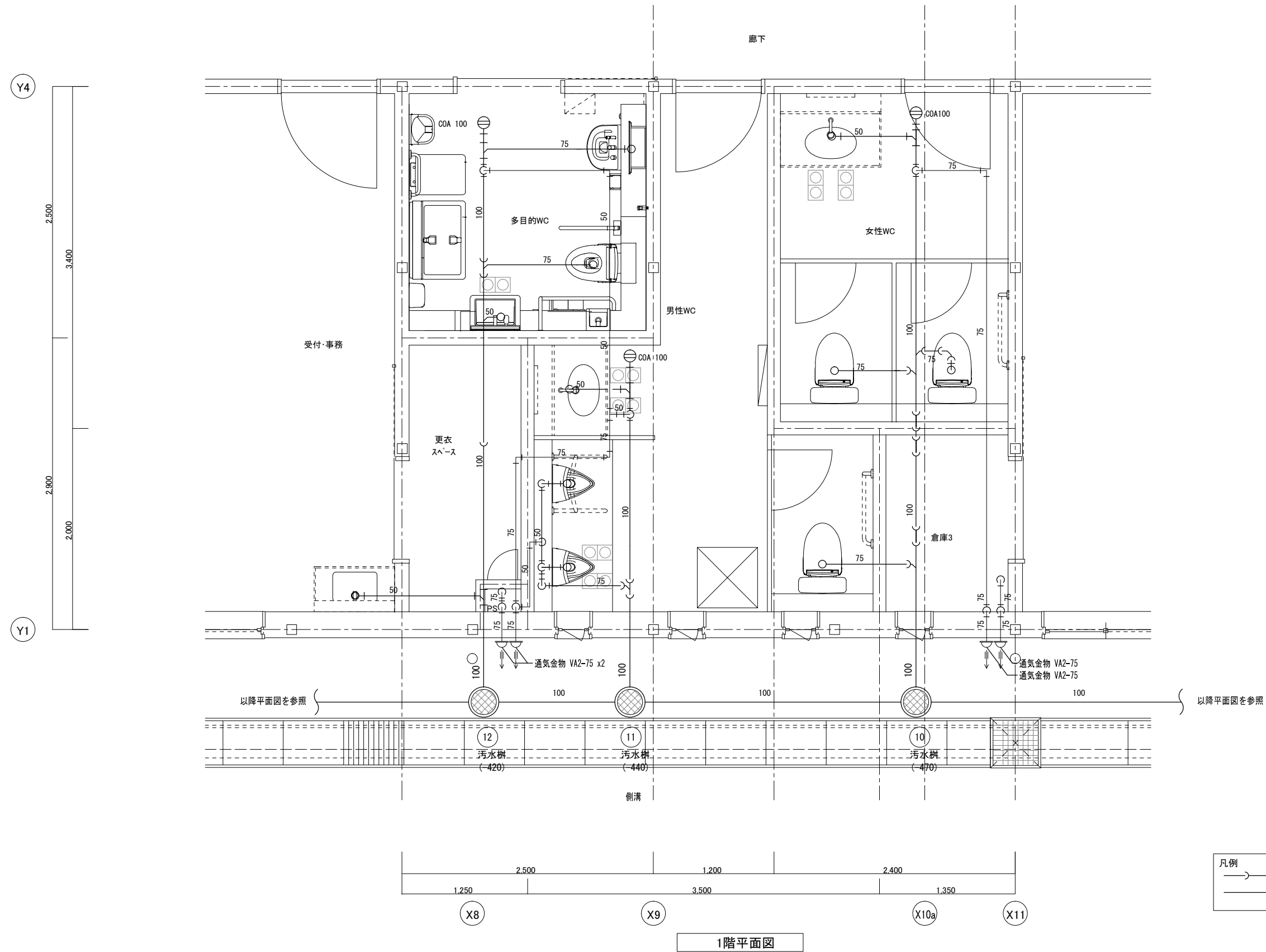
注記
1. 洋風大便器・小便器用手すりは建築工事とする。



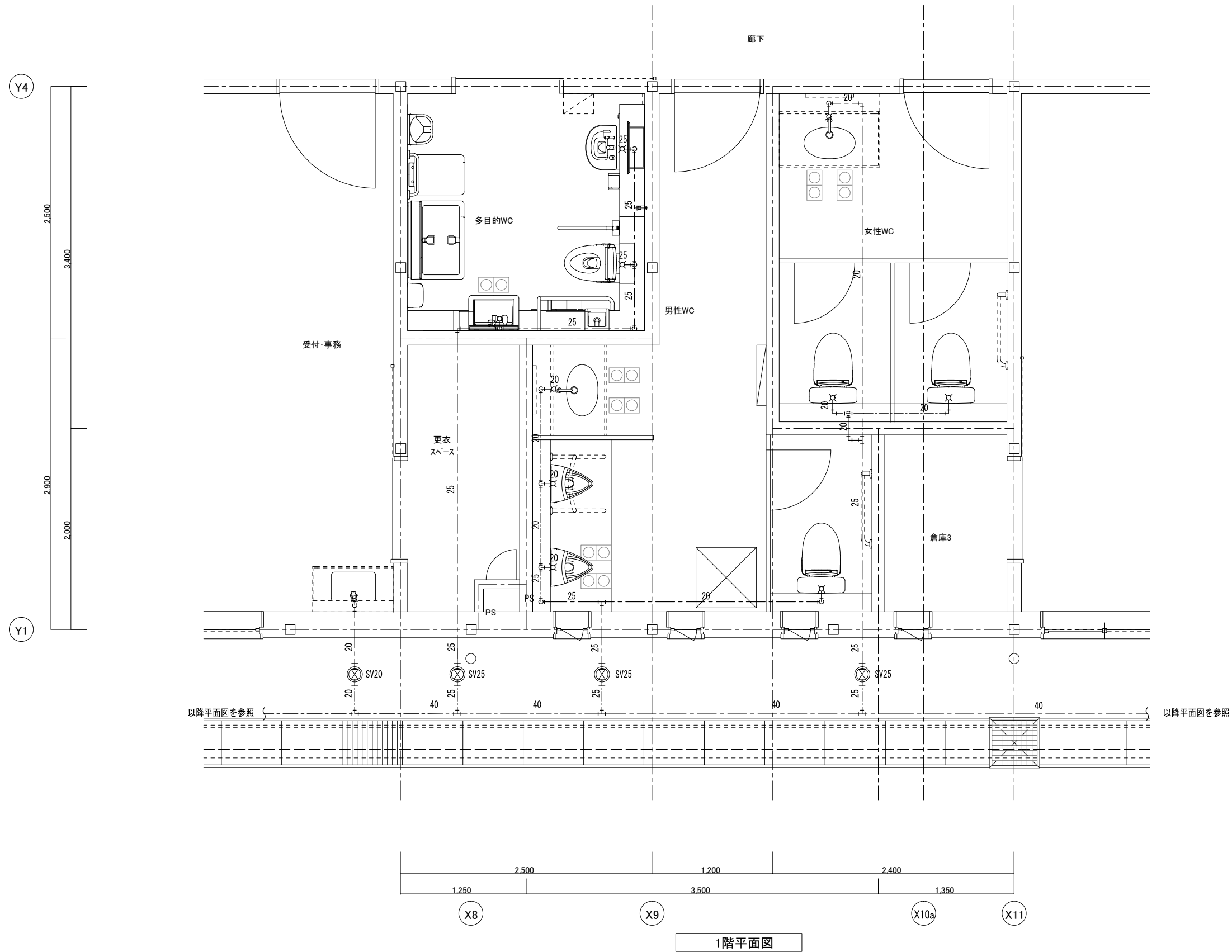
記事					業務名称		工事名称		設計年月	
					相楽広域行政組合新庁舎基本・実施設計業務		相楽広域行政組合新庁舎新築工事		令和 8 年 3 月	
					一級建築士事務所 京都府知事登録 (07A) 第00523号 株式会社 緑企画設計 京都支店 管理建築士 一級建築士 (大匠) 第331194号 三浦 光寛		図面名称		図面番号	
					印		汚水・雑排水設備 平面図		縮尺 A2 1/100 A3 1/140	



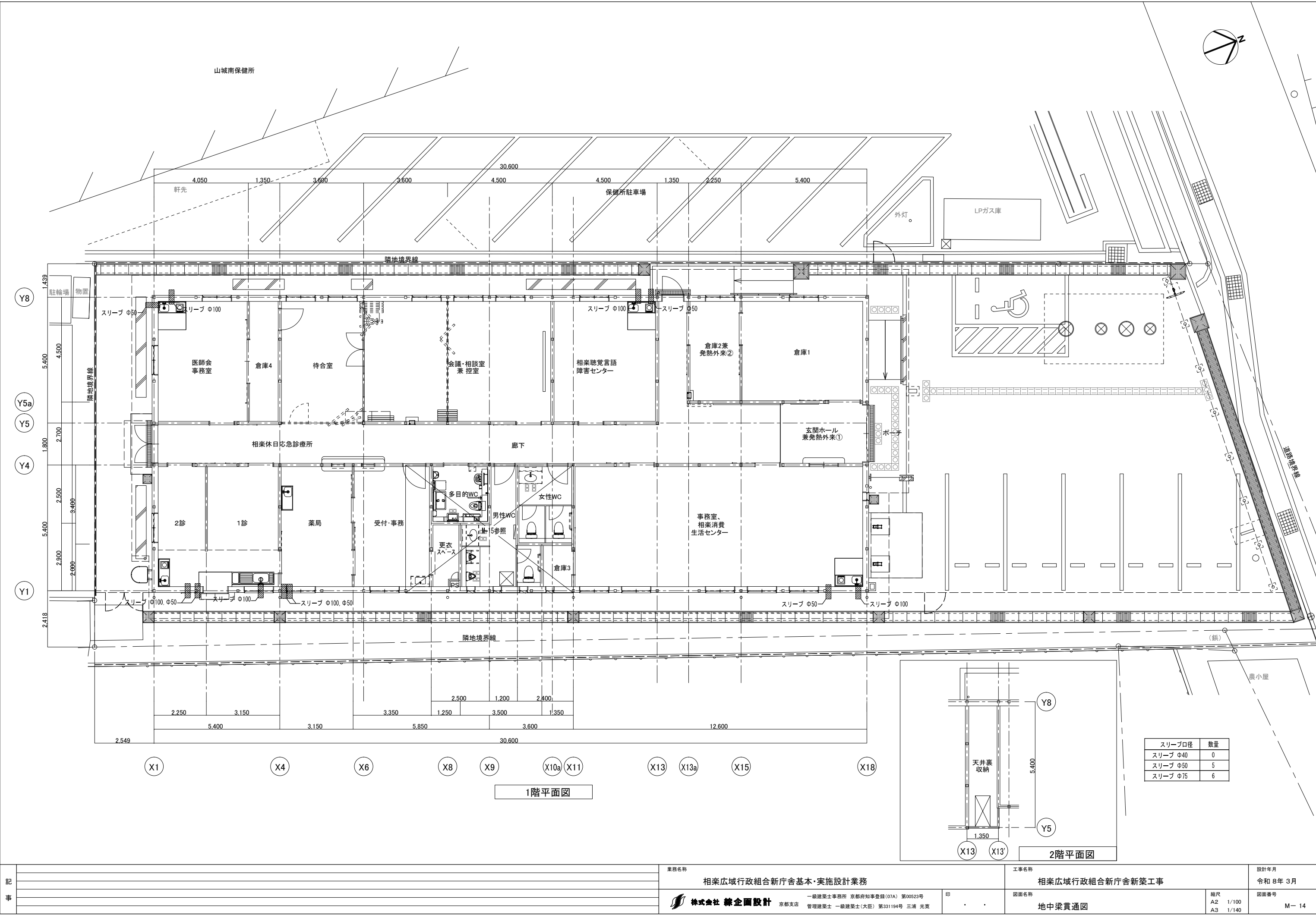
記 事		業務名称			工事名称		設計年月
		相楽広域行政組合新庁舎基本・実施設計業務			相楽広域行政組合新庁舎新築工事		令和 8年 3月
		 株式会社 兼企画設計 京都支店	一級建築士事務所 京都府知事登録(07A) 第00523号	印 ・ ・	図面名称	縮尺 A2 1/100 A3 1/140	図面番号 M- 10
			管理建築士 一級建築士(大匠) 第331194号 三浦 光寛				
		給水・給湯設備 平面図					



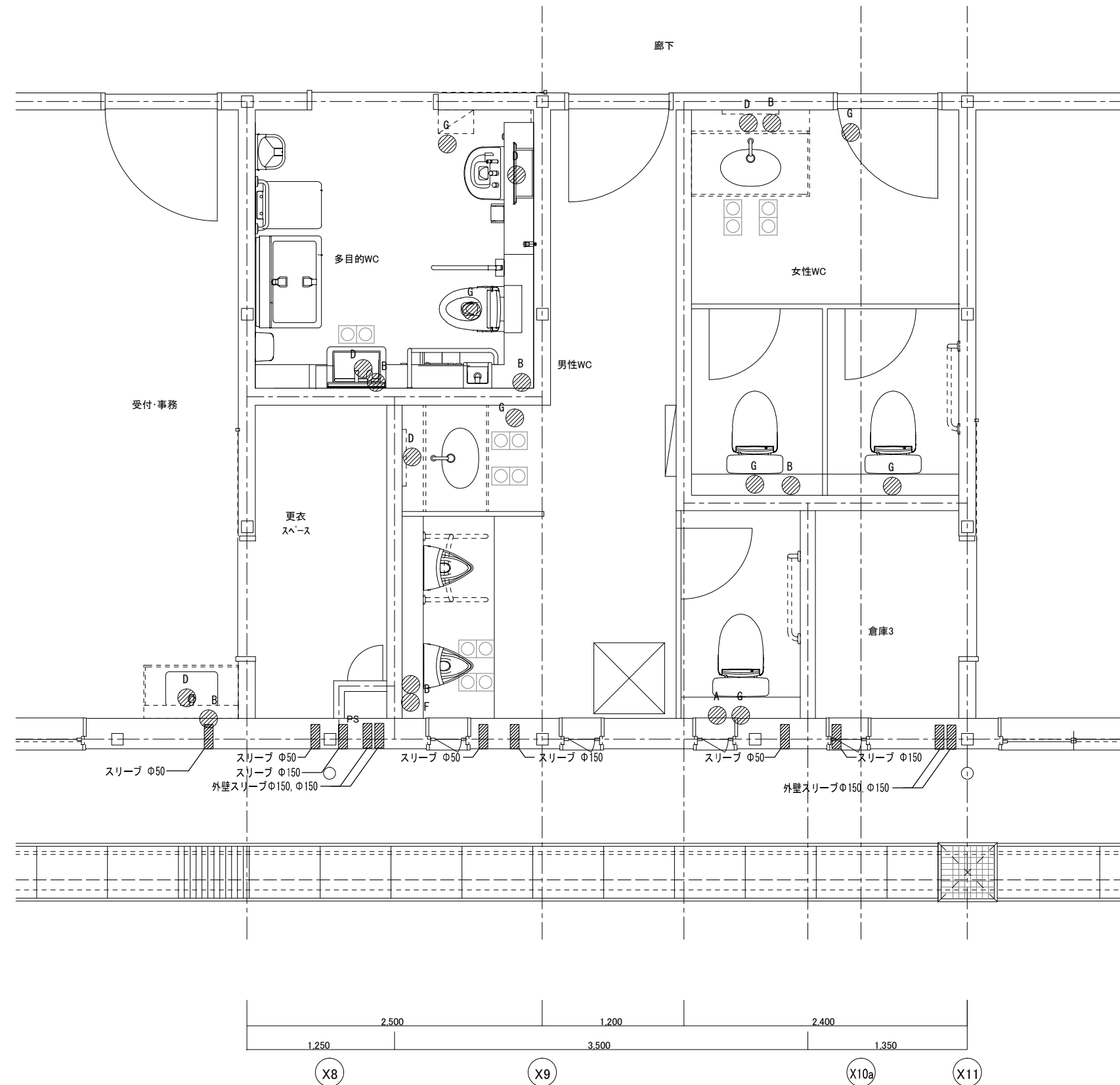
記事		業務名称 相楽広域行政組合新庁舎基本・実施設計業務 株式会社 緑企画設計 京都支店 一級建築士事務所 京都府知事登録(07A) 第00523号 管理建築士 一級建築士(大臣) 第331194号 三浦 光寛	印 ・	工事名称 相楽広域行政組合新庁舎新築工事 図面名称 便所排水設備詳細図	設計年月 令和 8年 3月 縮尺 A2 1/30 A3 1/42 図面番号 M- 11



記 事		業務名称 相楽広域行政組合新庁舎基本・実施設計業務 株式会社 緑企画設計 京都支店 一級建築士事務所 京都府知事登録(07A) 第00523号 管理建築士 一級建築士(大臣) 第331194号 三浦 光寛	印 ・	工事名称 相楽広域行政組合新庁舎新築工事 図面名称 便所給水設備詳細図	設計年月 令和 8 年 3 月 図面番号 M- 12



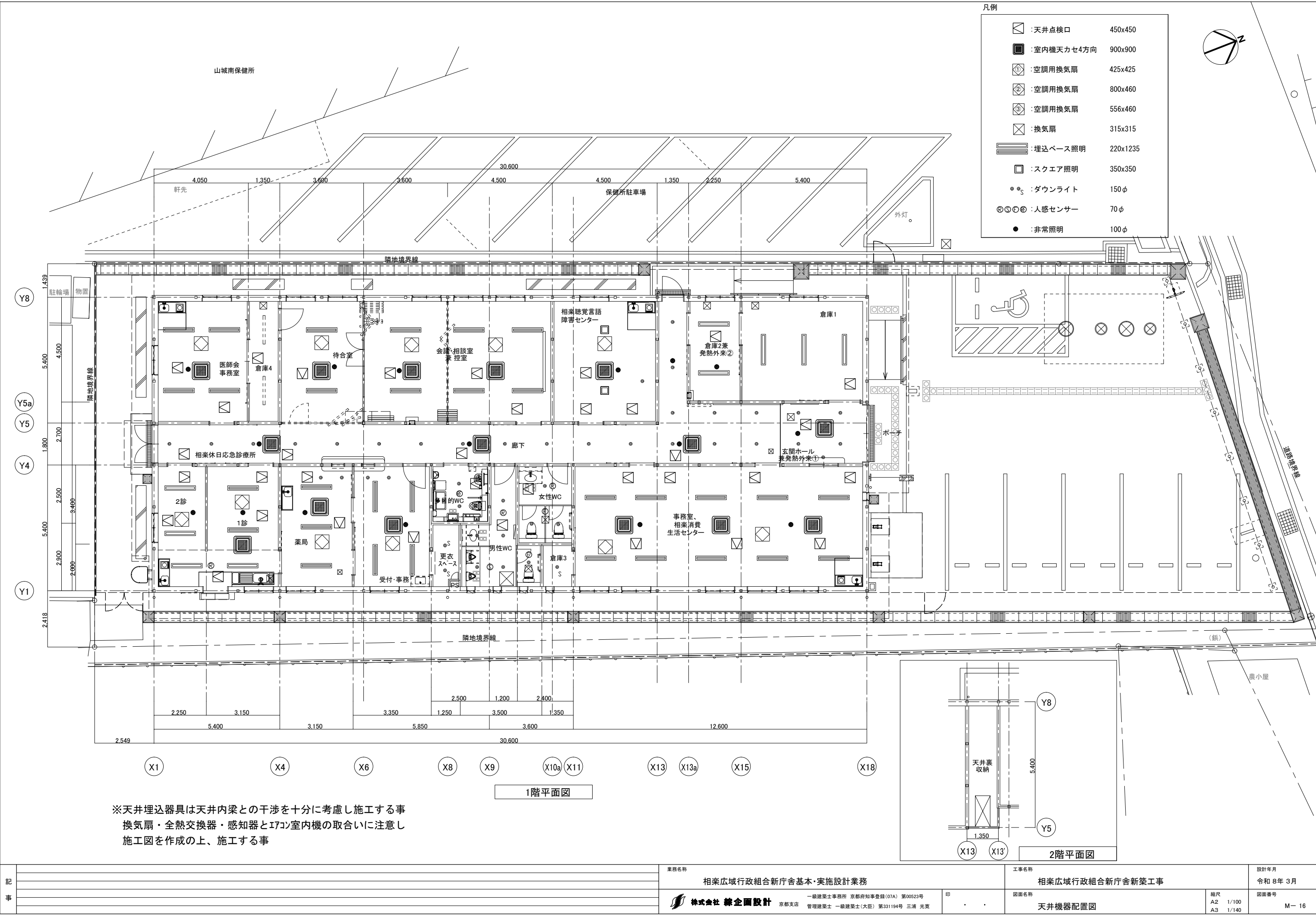
スリープロ径	数量
スリープ Φ40	0
スリープ Φ50	5
スリープ Φ75	6



項目	1) 貫通部モルタル補修は本工事とする。 2) スリブ 施工は本工事とし、補強筋は建築工事とする。 また、スリブ 施工図を作成の上、構造に支障のない様に施工を行うこと。
----	---

記号	スリーブ 口径	数量
A	床 φ38	0
B	床 φ50	7
C	床 φ65	0
D	床 φ75	5
E	床 φ100	0
F	床 φ125	1
G	床 φ150	7
	スリーブ Φ40	1
	スリーブ Φ50	3
	スリーブ Φ75	1
	スリーブ Φ150	3
	壁貫通 Φ100	1
	壁貫通 Φ150	3

項目	1) 貫通部モルタル補修は本工事とする。 2) スリブ 施工は本工事とし、補強筋は建築工事とする。 また、スリブ 施工図を作成の上、構造に支障のない様に施工を行うこと。
----	---



記 事		業務名称			工事名称			設計年月
		相楽広域行政組合新庁舎基本・実施設計業務			相楽広域行政組合新庁舎新築工事			令和 8 年 3 月

電気設備工事特記仕様書 No. 1

【工事概要】

- 1 工事場所 京都府木津川市上戸地内
2 建物概要

建 物 名	構 造	階 数	延床面積（㎡）	消防法令別表第一	耐震安全性の分類	備 考
庁舎・診療所	軽量鉄骨	2	392.85	16項（イ）	○甲 ●乙 ○甲 ○乙 ○甲 ○乙 ○甲 ○乙	新宮

- 3 工事科目 ●印をついたものを適用し、各一式とする。

工事科目	建物名称	庁舎・診療所			
電気設備	●	○	○	○	○
動力設備	●	○	○	○	○
雷保護設備	○	○	○	○	○
受変電設備	○	○	○	○	○
電力貯蔵設備	○	○	○	○	○
発電設備	●	○	○	○	○
構内情報通信網設備	●	○	○	○	○
構内交換設備	●	○	○	○	○
情報表示設備	○	○	○	○	○
映像・音響設備	○	○	○	○	○
拡声設備	○	○	○	○	○
誘導支援設備	●	○	○	○	○
テレビ共同受信設備	●	○	○	○	○
監視カメラ設備	○	○	○	○	○
駐車場管制設備	○	○	○	○	○
防犯・入退室管理設備	●	○	○	○	○
火災報知設備	●	○	○	○	○
中央監視制御設備	○	○	○	○	○
医療関係設備	○	○	○	○	○
	○	○	○	○	○
構内配電線路	●	○	○	○	○
構内通信線路	○	○	○	○	○
	○	○	○	○	○
電波障害調査	○	○	○	○	○
撤去工事	○	○	○	○	○

【特記事項】

- 1 一般事項
1）特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁宮構部の「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）令和7年版」（以下、「標準仕様書」という。）、「公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）令和7年版」（以下、「標準図」という。）及び「公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）令和7年版」による。
2）工事種目に機械設備工事及び建築工事を含む場合、その仕様は当該図面及び標準仕様書による。
2 特記事項
項目及び特記事項は、●印をついたものを本工事に適用する。ただし、●印のない場合は、※印を適用する。

章	項 目	特 記 事 項
一	※設備機材等	本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するものまたは、これらと同等のものとす。ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。また、（グ）印は「京都府庁グリーン調達方針＊」（以下、「グリーン調達」という。）の特定調達品目を示す。 ◆京都府ホームページ参照 <http://www.pref.kyoto.jp/zaisan/kankyo.html>
	※機材の品質・性能証明	使用する機材が、（一社）公共建築協会発行の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価品目簿（最新版）」による場合は、評価書の写しをもって、標準仕様書第1編第1章第4節1.4.2（2）の品質及び性能を有することの証明となる資料の提出を省略することができる。 ただし、標準仕様書に規定される製作図・試験成績書等は除く。
	※現場代理人	本工事の施工に当たっては、請負契約書第10条に規定する現場代理人は、主任技術者又は監理技術者と同等、受注者との直接的かつ恒常的な雇用関係のある者を選任する。
	※電気工事士	契約電力500kW以上の場合も、第1種電気工事士による施工を行う。
	※工事用電力・水その他	本工事に必要な工事用電力・水などの費用は、引き渡し時まですべて受注者の負担とする。
般	※官公署への手続き	官公署等への手続きは速やかに行い、それに要する費用は、すべて受注者の負担とする。
	※工事用仮設物	構内につくることが、※できる ○できない
	※足場・作業構台	別契約の関係者・受注者が設置したもの、は無償で使用できる。
	※監督職員事務所	※設置しない ○設置する（○本工事 ○別途）
	※監督職員事務所に備え付ける図書	下記の図書を監督職員事務所に備え付ける。 ・公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編） ・電気設備工事監理指針 ・建築設備耐震設計施工指針 ・公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）（最新版）
事	※建設副産物の処理及び建設発生土の処理	○建設副産物の処理 右記のほか、現場説明書による。 ○引き渡しを要するもの【 】 ○再生資源利用を図るもの【 】 ○特別管理産業廃棄物 ○PCB使用機器 ○SF6ガス使用機器 ●建設発生土処分 右記のほか、現場説明書による。 ●構外指定地に搬出処理 ※（一財）城陽山砂利採取地整備公社 ○構内指示場所に敷き均し
		再生資源利用（促進）計画・実施書の提出 詳細は現場説明書による。
		1）「建設発生土処理計画書」及び「廃棄物処理計画書」を監督職員に提出する。 2）関係法令等に従い、適正に廃棄物等処理し、「建設発生土処理計画書」及び「廃棄物処理報告書」により監督職員に報告する。
		○アスベスト成形板の処理等（以下のほか、現場説明書による。） 施工調査 アスベスト成形板の除去に当たり、あらかじめ事前の施工調査を次の事項について行う。調査結果は図面により記録し監督職員に提出する。 ・アスベスト成形板使用部位の確認 ・アスベスト成形板の種別、厚さ等の確認 ・アスベスト成形板使用数量の確認 ・施工範囲等の確認 確認範囲 ※成形板の製造年等の確認 ○X線解析法
		処理方法 ※非飛散性アスベスト廃棄物の取扱いに関する技術指針に従いあらかじめ処理計画書を作成し、適切に解体処分等を行うこと。

章	項 目	特 記 事 項																																
一	※工事関係書類	官構工事契約関係書類書式集●一覧表により提出。 ◆京都府ホームページ参照 <http://www.pref.kyoto.jp/eizen/index.html>																																
	※履行報告	月報 ※2部 ○3部 毎月末にめ、翌月の5日までに提出する。																																
	※工事写真	1) 国土交通省大臣官庁宮構部「官構工事写真撮影要領（最新版）」による。 2) 工事完成時、整理の上、1部提出する。 3) 小黑板情報電子化については、現場説明書による。																																
	※完成図書	<table><tr><th>名 称</th><th>内 容</th><th>大きさ</th><th>部 数</th></tr><tr><td>○完成図</td><td>金文字製本</td><td>A4版</td><td>1 部</td></tr><tr><td>●完成図</td><td>●背貼り製本（ 2版） ○A4ファイル止め</td><td></td><td>2 部</td></tr><tr><td>●施工図</td><td>○背貼り製本（ 版） ●A4ファイル止め</td><td></td><td>2 部</td></tr><tr><td>●機器完成図等</td><td>機器製作図 ファイル止め</td><td>A4版</td><td>2 部</td></tr><tr><td>●諸官庁提出書類</td><td>副 本</td><td></td><td>1 式</td></tr><tr><td>●原図</td><td>完成図</td><td></td><td>1 部</td></tr><tr><td>○完成写真</td><td>アルバム綴り</td><td></td><td>2 部</td></tr></table>	名 称	内 容	大きさ	部 数	○完成図	金文字製本	A4版	1 部	●完成図	●背貼り製本（ 2版） ○A4ファイル止め		2 部	●施工図	○背貼り製本（ 版） ●A4ファイル止め		2 部	●機器完成図等	機器製作図 ファイル止め	A4版	2 部	●諸官庁提出書類	副 本		1 式	●原図	完成図		1 部	○完成写真	アルバム綴り		2 部
	名 称	内 容	大きさ	部 数																														
○完成図	金文字製本	A4版	1 部																															
●完成図	●背貼り製本（ 2版） ○A4ファイル止め		2 部																															
●施工図	○背貼り製本（ 版） ●A4ファイル止め		2 部																															
●機器完成図等	機器製作図 ファイル止め	A4版	2 部																															
●諸官庁提出書類	副 本		1 式																															
●原図	完成図		1 部																															
○完成写真	アルバム綴り		2 部																															
※著作権等	当該建物において取得する、施工図等の著作権に係わる当該建物に限る使用権は、発注者に委譲するものとする。																																	
※付属品及び予備品	標準仕様書によるほか、別表1による。																																	
共	●耐震施工	1) 設備機器の固定は、国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修の「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」により計算を行い、監督職員に報告し承諾を得る。 2) 下記の設計用水平震度（KH）により、機器製作固定を行う。 <table><tr><th rowspan="2">設 置 場 所</th><th colspan="2">○特定の施設</th><th colspan="2">●一般の施設</th></tr><tr><th>重要機器</th><th>一般機器</th><th>重要機器</th><th>一般機器</th></tr><tr><td>上層階、屋上及び塔屋</td><td>2.0（2.0）</td><td>1.5（2.0）</td><td>1.5（2.0）</td><td>1.0（1.5）</td></tr><tr><td>中 間 階</td><td>1.5（1.5）</td><td>1.0（1.5）</td><td>1.0（1.5）</td><td>0.6（1.0）</td></tr><tr><td>1 階 及 び 地 下 階</td><td>1.0（1.0）</td><td>0.6（1.0）</td><td>0.6（1.0）</td><td>0.4（0.6）</td></tr></table>		設 置 場 所	○特定の施設		●一般の施設		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器	上層階、屋上及び塔屋	2.0（2.0）	1.5（2.0）	1.5（2.0）	1.0（1.5）	中 間 階	1.5（1.5）	1.0（1.5）	1.0（1.5）	0.6（1.0）	1 階 及 び 地 下 階	1.0（1.0）	0.6（1.0）	0.6（1.0）	0.4（0.6）							
	設 置 場 所	○特定の施設			●一般の施設																													
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器																													
	上層階、屋上及び塔屋	2.0（2.0）	1.5（2.0）	1.5（2.0）	1.0（1.5）																													
	中 間 階	1.5（1.5）	1.0（1.5）	1.0（1.5）	0.6（1.0）																													
1 階 及 び 地 下 階	1.0（1.0）	0.6（1.0）	0.6（1.0）	0.4（0.6）																														
	<table><tr><th rowspan="2">設 置 場 所</th><th>○特定の施設</th><th>○一般の施設</th></tr><tr><th>水 槽</th><th>水 槽</th></tr><tr><td>上層階、屋上及び塔屋</td><td>2.0</td><td>1.5</td></tr><tr><td>中 間 階</td><td>1.5</td><td>1.0</td></tr><tr><td>1 階 及 び 地 下 階</td><td>1.5</td><td>1.0</td></tr></table>		設 置 場 所	○特定の施設	○一般の施設	水 槽	水 槽	上層階、屋上及び塔屋	2.0	1.5	中 間 階	1.5	1.0	1 階 及 び 地 下 階	1.5	1.0																		
設 置 場 所	○特定の施設	○一般の施設																																
	水 槽	水 槽																																
上層階、屋上及び塔屋	2.0	1.5																																
中 間 階	1.5	1.0																																
1 階 及 び 地 下 階	1.5	1.0																																
	注1 耐震安全性の分類が甲類の建物は特定の施設、乙類の建物は一般の施設を適用する。 注2 屋外に設置する機器は、建物の安全性の分類に準じる。ただし、敷地内に甲類の建物と乙類の建物が混在する場合は、特定の施設を適用する。 注3 （ ）内の数値は、防震支持の機器の場合に適用する。 注4 設計用鉛直震度は、設計用水平震度の1/2とする。 注5 上層階の定義は、6階建以下の場合は最上階、7～9階建の場合は上階2階。 注6 重要機器（水槽類含む）は、下記による。（水槽類にはオイルタンク等を含む。） ○配電盤 ○直流電源装置 ○自家発電装置 ○交換機 ○電算用電源 ○中央監視装置 ○UPS装置 ○自動火災報知装置 注7 操作卓は本体を床又は壁にアンカーボルトで固定できるように固定器具を備えたものとし、卓上機器は、転倒防止用の措置を講じたものとする。																																	
通	●風圧力に対する性能	建築基準法に基づき定められた風速及び地面粗度区分V○（○30 ●32 ○34） 地面粗度区分（○Ⅰ ●Ⅱ ○Ⅲ ○Ⅳ）																																
	●風圧力（耐風力）	建築基準法施行令第87条に定めるところによる風圧力（耐風力）検討（計算）書を監督職員に提出する。なお、検討（計算）範囲には、それぞれの取付部分を含めるものとする。 ○受雷部システム及び引下り導線システム ●太陽光アレイ及び接続箱 ○風力発電装置 ●テレビ共同受信用アンテナ及びアンテナマスト ○																																
	●電線類	1) 特記なきものは、EM-ⅠEとする。 2) EM電線、EMケーブルで標準仕様書に規格等の記載のないものは、ハログン及び鉛を含まない材料で構成されたものとし、次の記号及び仕様による。 <table><tr><td>EM-アクセスフロア</td><td>JCS4502（600Vアクセスフロア用耐燃性ポリエチレンシースケール）による600Vアクセスフロア用ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケール（EM-EE）及び600Vアクセスフロア用架橋ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケール（EM-CE）を示す。</td></tr><tr><td>EM-MEES</td><td>JCS4271に準じ、絶縁材及びシースにJCS規格によるEMケーブルの耐燃性ポリエチレンを用いたもの</td></tr></table>		EM-アクセスフロア	JCS4502（600Vアクセスフロア用耐燃性ポリエチレンシースケール）による600Vアクセスフロア用ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケール（EM-EE）及び600Vアクセスフロア用架橋ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケール（EM-CE）を示す。	EM-MEES	JCS4271に準じ、絶縁材及びシースにJCS規格によるEMケーブルの耐燃性ポリエチレンを用いたもの																											
	EM-アクセスフロア	JCS4502（600Vアクセスフロア用耐燃性ポリエチレンシースケール）による600Vアクセスフロア用ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケール（EM-EE）及び600Vアクセスフロア用架橋ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケール（EM-CE）を示す。																																
	EM-MEES	JCS4271に準じ、絶縁材及びシースにJCS規格によるEMケーブルの耐燃性ポリエチレンを用いたもの																																
	3) 長さ1m以上の通線を行わない配管には、導入線（樹脂被覆鉄線等）を挿入する。																																	
●電線管	電 線 管 ●PF管 1) 雨線外及び湿気の多い場所または水気のある場所に使用する露出電線管は、厚鋼電線管とする。 ●ねじなし電線管 2) スラブ厚の1/4を越える外径の配管及び（PF22）又は（E25）相当を越えるものは、コンクリート埋設配管を行わない。 最上階の埋込配管 最上階のスラブでモルタル防水及び樹脂防水の場合、埋込配管は避けるのを原則とする。	ただし、露出部分は鋼製電線管とする。 分電盤等の2次側で第1ボックスまでは（※鋼製電線管OPF管）とする。																																
事		下記の露出配管は塗装（指定色塗装）を行う。 ●屋外（○屋上を除く） ○屋内居室 ○屋内PS・EPS ○屋内機械室・電気室 ○廊下 分電盤、制御盤、端子盤等の2次側以降の配線経路、電線太さ、電線本数、管径等は監督職員の承諾を受けて変更することができる。																																
	●電線本数、管路等	樹脂管で配管する場合は、合成樹脂製ボックスを使用する。																																
	●ボックス	分電盤の予備の配線用遮断器が4個以下の場合（25）を1本、5個以上の場合（25）を2本天井内まで立上げる。ケーブルラックの床の防火貫通部に（51）を1本以上立上げる。																																
	●フラッシュプレート	和 室 ○樹脂製 ○金属製（○新金属製 ○ステンレス製） その他 ●樹脂製 ●金属製（●新金属製 ○ステンレス製）																																
	●床配線器具等	床用配線器具の形式は以下による。（図面特記のあるものを除く。） 二重床 ※インナー形 ○飛び出し形 ○内部固定形 ○外部固定形 二重床以外 ※飛び出し形 ○引出し形 ○内部固定形 ○外部固定形 （フロアベースは水平高低調整式（空転防止リング付） ※砲金製 ○アルミ製とする。）																																
項	●機器	寸 法 盤その他機器類について図示した寸法は、約寸法とする。 接 続 電動機への接続は、本工事とする。 アンカーボルト アンカーボルト及びナットは、下記による。 屋外・多湿等（○溶融亜鉛メッキ ●SUS） その他（●一般品 ○）																																

章	項 目	特 記 事 項																																				
共通事項	○あと施工アンカー	施工後確認試験 ○行う ○行わない 試験方法 引張試験機による引張試験とし、国土交通省大臣官房官庁宮構部の公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（令和4年版）「8.12.7施工確認試験」による。 確認強度 監督職員との協議による。																																				
	●機器内配線等	下記の機器内配線及びケーブルには、EM電線及びEMケーブルを使用する。 ただし、高圧主回路配線はこの限りでない。 ●分電盤 ●OA盤 ●実験盤 ●開閉器箱 ○制御盤 ○キュービクル式配電盤 ○直流電源装置 ○交流無停電電源装置（UPS）（簡易型を除く）																																				
	○はつり	1）既存のコンクリート床・壁等の配管貫通部の穴あけは、原則としてダイヤモンドカッターを使用する。 2）復旧はモルタル補修までとする。																																				
	○再使用機器	取り外した上再使用する機器は、清掃し絶縁抵抗測定の上取付ける。なお照明器具等の見え掛かり部分は、洗剤を使用するなどして、十分に清掃する。																																				
	●その他	屋外の盤類・開閉器箱 ●SUS ○鋼板製 屋外のプルボックス ●SUS ○鋼板製																																				
電	●工事範囲	●配管 ●配線 ●機器取付																																				
	●電気方式	幹線 ●単相3線式 100V/200V ○直流2線式 100V 分岐 ●単相2線式 ●100V ●200V ○直流2線式 100V																																				
灯	●照明制御による効果の評価	一般社団法人日本照明器具工業会技術資料130「照明制御装置による消費電力削減効果の評価手法」により、消費電力削減効果の評価を行い監督職員に提出する。																																				
	●照明制御装置（グ）	照明制御装置の各センサー設定は、監督職員と協議する。センサー設定器を附属させる。																																				
設	○多重伝送制御システム	○多重伝送制御システムの設定は、監督職員の指示による。システム設定器を附属させる。																																				
	●LED制御装置の種類	図面特記があるものを除き、LED照明器具の制御装置の種類は、調光信号線が接続された器具にあってはLX又はLZ、それ以外はLN又はLJとする。																																				
	●RP又はMP形照明器具	標準図において、防雨形または防湿形の器具本体の材質に、SUSを含む複数の材料が適用されている場合は、SUSを適用する。																																				
	●非常用照明の形式	●電池内蔵形 ○電池別置形																																				
備	●分電盤等	1）本工事の分電盤、OA盤、実験盤で、分岐に用いる配線用遮断器及び漏電遮断器の寸法は、JIS C 8201-2-1「回路遮断器」、付付属書JC「電灯分電盤用協約形回路遮断器」、JIS C 8201-2-2「漏電遮断器」、付付属書JC「電灯分電盤用協約形漏電遮断器」による1種サイズのものとする。 2）SPD分離器（配管用遮断器）は（○警報接点付 ○警報接点無）とする。 3）SPD分離器は、監督職員の承諾を受けて、SPD内蔵とすることができる。 OA盤の端子盤部に ○通気口 ○冷却ファン を設ける ○開閉器を設ける（○配線用遮断器 ○カットアウトスイッチ） ●開閉器を設けない																																				
	●照明用ボールド	○開閉器を設ける（○配線用遮断器 ○カットアウトスイッチ） ●開閉器を設けない																																				
動	○一般照明の照度測定	実施 ○する ○しない																																				
	●工事範囲	●配管 ●配線 ●機器取付																																				
力	●電気方式	幹線 ●三相3線式 200V ○ 分岐 ●三相3線式 200V ○																																				
	○制御盤	1）制御回路に用いる変圧器は絶縁変圧器とする。 2）インバータ発熱対策用冷却装置を扉面に取り付けた場合、開扉時に冷却装置を休止させる。 3）インバータ発熱対策用冷却装置の故障を盤面に表示（○させる ○させない）																																				
設	○監視方法	○警報盤による代表監視 ○中央監視制御装置による監視																																				
	○インターロック	自動火災報知設備の受信機、連動制御器及びガス漏れ火災警報受信機と連動して、制御盤で空調機を停止させる。																																				
備	●インバータ装置の規約効率	三相可変性電動機用インバータ装置の規約効率は、次表の値以上とする。 <table><tr><td>電動機出力（kW）</td><td>0.4</td><td>0.75</td><td>1.5</td><td>2.2</td><td>3.7</td><td>5.5</td><td>7.5</td><td>11</td></tr><tr><td>インバータ効率（％）</td><td>86.0</td><td>88.5</td><td>92.0</td><td>93.0</td><td>94.0</td><td>94.0</td><td>94.5</td><td>94.5</td></tr><tr><td>電動機出力（kW）</td><td>15</td><td>18.5</td><td>22</td><td>30</td><td>37</td><td>45</td><td>55</td><td>75</td></tr><tr><td>インバータ効率（％）</td><td>95.0</td><td>95.5</td><td>95.5</td><td>95.5</td><td>95.5</td><td>95.5</td><td>95.5</td><td>95.5</td></tr></table> 備考） 1）電動機の供給電圧は100V又は200Vとする。 2）インバータ効率は、100％負荷時の値とする。	電動機出力（kW）	0.4	0.75	1.5	2.2	3.7	5.5	7.5	11	インバータ効率（％）	86.0	88.5	92.0	93.0	94.0	94.0	94.5	94.5	電動機出力（kW）	15	18.5	22	30	37	45	55	75	インバータ効率（％）	95.0	95.5	95.5	95.5	95.5	95.5	95.5	95.5
	電動機出力（kW）	0.4	0.75	1.5	2.2	3.7	5.5	7.5	11																													
インバータ効率（％）	86.0	88.5	92.0	93.0	94.0	94.0	94.5	94.5																														
電動機出力（kW）	15	18.5	22	30	37	45	55	75																														
インバータ効率（％）	95.0	95.5	95.5	95.5	95.5	95.5	95.5	95.5																														
雷保護設備	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付																																				
	○保護レベル	○Ⅰ ○Ⅱ ○Ⅲ ○Ⅳ																																				
	○受雷部システム	突針支持管 ○鋼製 ○ステンレス製																																				
	○接地システム	○A型接地極（○板状接地極 ○垂直接地極 ○放射状接地極） ○B型接地極（○環状接地極 ○網状接地極） ○構造体利用接地極（構造体底盤部の大地抵抗率測定のための大地抵抗率測定用補助接地極を○設ける ○設けない）																																				
受	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付																																				
	○電気方式	高圧 三相3線式 6kV 低圧 ○三相3線式200V ○単相3線式100V/200V ○三相3線式 V ○三相4線式 V/V																																				
変	○配電盤形式	○屋内キュービクル式配電盤 ○屋外キュービクル式配電盤 ○開放形配電盤 ○変圧器箱 ○コンデンサ盤 ○系統連系保護制御盤 ○高圧スイッチギア（○ CX形 ○ CWF形 ○ PWF形） ○低圧スイッチギア（○ CX形 ○ CS形 ○ CWF形 ○ FWF形）																																				
	○変圧器の規格 [グ]	1）変圧器（スコット結線変圧器、モールド変圧器でH絶縁材料を使用するもの、一次電圧が低圧または特別高圧のものを除く。）は、グリーン購入法による特定調達品目の判断基準を満たすものとする。 2）ダイヤル温度計は、最高温度指針付とする。																																				
設	○監視方式	○警報盤による代表監視 ○中央監視制御装置による監視																																				
	○基礎	○本工事 ○別途工事 ○既設																																				
備	○付属品等	盤内に予備限流ヒューズを収納する。																																				
	○その他	○低圧配電盤の配線用遮断器は取付け板矩形状で埋込形とする。 ○低圧配電盤の裏面に負荷側引出し用端子を設ける。 ○低圧配電盤に内部点検空間を設ける。（幅600mm以上・高さ1,800mm以上） ○盤内照明器具はLEDとする。 ○換気扇を設ける場合は回転センサ付とする。（盤面警報ランプ共）																																				

記 事		業務名称 相楽広域行政組合新庁舎基本・実施設計業務	工事名称 相楽広域行政組合新庁舎新築工事		設計年月 令和8年3月
			図面名称 電気設備工事特記仕様書(1)	縮尺 A2 - A3 -	図面番号 E- 01
				印 ・ ・	

電気設備工事特記仕様書 No.2

章	項目	特記事項
電力貯蔵設備	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付
	○直流電源装置	用途 ○建築基準法用 ○消防法用 ○受変電設備専用 その他 ○過放電防止保護装置（直流不足電圧継電器）の設定電圧は、90Vとする。
	○交流無停電電源装置（UPS）	用途（ 方式 ○一般形 ○簡易形
発電設備	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付
	○形式	○オープン形 ○簡易形 ○キュービクル
	○連続運転可能時間	○10時間（乙） ○72時間（甲） ○
	○発電機	電気方式 三相3線式 電圧 ○210V ○6.6kV ○415V 定格出力 kVA以上 力率 0.8
	○原動機	種別 ○ガスタービン ○ディーゼル機関 ○ガスエンジン ○マイクロガスタービン ○燃料電池 ○コージェネレーション 定格出力 kW（PS）以上 始動方式 ○電気式 ○空気式 冷却方式 ○ラジエーター式 ○水循環環式 現地負荷試験 ○行う ○行わない
	○燃料	種類 ○重油 ○軽油 ○灯油 ○ガス（ ○燃料小出槽 注 ○主燃料槽 注
	○監視方式	○警報盤による代表監視 ○中央監視盤による監視
	●太陽光発電装置	太陽電池 アレイ 公称最大出力 3kW以上 設置可能建築面積 m2以下（長辺 m x 短辺 m） 系統連系 ●受動 ○能動 パワーコンディショナ出力 1相 2線式 202V 3kW以上 逆潮流 ○有 ●無 交流出力電力 ○100V ●200V 出力電気方式 ○三相3線式 ●単相3線式 ○単相2線式
	○外部移報	○有 ○無
	構内情報設備	●工事範囲 ●配管 ●配線 ●機器取付
	●施工方法	○金風管配線 ●ケーブル配線 ●合成樹脂管配線
構内交換設備	●工事範囲	●配管 ●配線 ●機器取付
	●保安器用接地	●本工事 ○別途工事
情報表示設備	○形式	○電子交換機 ○ボタン電話装置
	○工事種類	○マルチサイン装置 ○出退表示設備 ○時刻表示設備
	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付
	○観時計及び付属装置	○CR —P M ○CW —P M ○プログラムタイマー（カード式 ○キー式 ○ ○子時計 特記なきものは ○SWA33—GP B2 ○
映像設備	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付
	○施工方法	○金風管配線 ○ケーブル配線 ○合成樹脂管配線
拡声設備	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付
	○増幅器	用途 ○全館放送用（○一般放送 ○非常放送）○ローカル放送用 ○自動放送はアッテネーターを bypass した回路とする。
	○スピーカー	特記なきものは ○SC6H1—1V3—M ○
誘導支援設備	●工事範囲	●配管 ●配線 ●機器取付
	○工事内容	○音声誘導装置 検出方式（○磁気式 ○無線式 ○画像認識） ○インターホン ○電話式 ○相互式 ●テレビインターホン ○親機に子機カメラ角度調整機能（上下）を設ける。 ●トイレ等呼出し装置 ●1窓 ○3窓 ○5窓 ○ 呼出しボタン ●壁付ボタン（プルスイッチの長さは、0.2m程度とする） ○壁付握りボタン（握りボタンの長さは、1.2m程度とする） ○通話機能 ○受付呼出し装置 ○誘導音
	●工事範囲	●配管 ●配線 ●機器取付
	●アンテナ	●UHF用 ●BS用 ●CS用 ○AM用 ○FM用 ○CATV
	●アンテナマスト	○壁面取付形 ●自立形 ●配管用ステンレス鋼鋼管 ○一般構造用炭素鋼鋼管（溶融亜鉛メッキ仕上げ） ○圧力配管用炭素鋼鋼管（溶融亜鉛メッキ仕上げ）
	●電界強度測定	電界強度及び画質は、最上階が打上がったときに、アンテナ取付予定位置、またその周辺で測定し、その測定記録を監督職員に速やかに提出すること。 測定チャンネルは、監督職員と協議する。

章	項目	特記事項
監視設備	●工事範囲	●配管 ●配線 ●機器取付
	●画像	●カラー ○白黒
	●伝送方式	○ネットワーク伝送方式 ●デジタル同軸伝送方式 ○
管註設備	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付
	○車面検出方式	○ループコイル方式 ○光線方式
防犯・入退室管理設備	●工事範囲	●配管 ●配線 ●機器取付
	●工事種類	○機械警備用配管 ○防犯装置 ●入退室管理制御装置
火災報知設備	●自動火災報知装置	●工事範囲 ●配管 ●配線 ●機器取付
	●受信機	●P形 2級 3回線 ●壁掛形 ○自立形 ●単独形 ○複合形 ○副受信機 窓 ○盤面に消火ポンプ運転表示灯を設ける。
	○光警報装置	○
	○消火ポンプ始動	○消火栓箱内押ボタン ○発信機と連動（総合盤に始動表示灯を設ける。）
	○機器収容箱	○消火栓一体形 ○単独形
	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付
	○連動制御器	○回線 【予備電源（蓄電池）内蔵】 ○単独 ○自火報受信機と一体
	○自動閉鎖装置	○防火戸用【DC24V 0.6A以下電磁式またはラッチ式】 ○防煙ダンパ用 【別途工事 瞬時通電式又は電動式 DC24V 0.6A以下 遠方復帰機構（電動式）DC24V 0.7A以下】 ○防火シャッター用 【別途工事 DC24V 0.6A以下】
	○非常警報装置	○工事範囲 ○配管 ○配線 ○機器取付 ○電気方式 DC24V ○電源装置 ○非常電源（蓄電池） ○自動火災報知設備と兼用
	○ガス漏れ火災警報装置	○工事範囲 ○配管 ○配線 ○機器取付 ○受信機 ○単独形 ○自火報受信機と一体
中央監視設備	○ガスの種類	○都市ガス（13A） ○液化石油ガス
	○諸警報表示	受信機に諸警報表示窓（窓）を設ける。
制御設備	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付
	○監視方式	○警報盤 ○監視制御装置
医療関係設備	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付
	○非接地電源用分電盤	キャビネット ○鋼製 ○ステンレス製
	○ナースコール装置	トイレ及び浴室等の 呼出押ボタン ○有線式 ○無線式 ○防滴 ○防湿
	○その他	○オプション等の試験は、監督職員の指示による。
	●工事範囲 ●電気方式	●配管 ●配線 ●機器取付 高圧 6kV 低圧 ●三相3線式 200V ○ ●三相3線式 100/200V ●単相3線式 (0100V 0200V) ○単2線式
構内配線	●ふ設方式	●地中線 ●管路式 ●液付硬質合成樹脂管（FEP） ○ポリエチレン被覆管（PLP） ○埋設深さ 特記なきものはGL（舗装がある場合は、舗装下面） から300mm以上とする。
	○区分閉閉器	○架空線 電柱 ○連心力プレストレストコンクリートポール ○高圧負荷閉閉器 7.2kV 300A 用途 ○架空引込用 ○地中引込用 構造 ○耐中塩じん用 ○耐重塩じん用 形式 ○引外し装置付き（SOG形） ○引外し装置なし ○避雷器内蔵 ○制御電源用変圧器内蔵
	○マンホール及びハンドホール	構造・寸法 ○標準図による ○図示による。 蓋の文字 ○蓋の用途表示は電力とする。 ハンドホールにおいてもケーブル支持材を設ける。 ケーブルが直接接触しない場合の金物は、接地を省略してもよい。
	○高圧ケーブル	屋外に使用する高圧ケーブルはEM—高圧架橋ポリエチレンケーブルは、JCS 4395「6600V 架橋ポリエチレンケーブル（3層押出型）」に（※よる ○よらない）
	○余長	高圧ケーブルは、受変電設備までの配線経路中、1ヶ所で3m余長をとる。
	○碍子、高圧ケーブル端木処理	○一般用 ○耐塩用 ○重耐塩用
	○避雷器	○屋外形 ○耐塩形
	○装柱材	○一般用 ○耐塩形
	●外灯	基礎 ●本工事 ○別途工事 ●外灯ボールの材質が鋼製（SPC）の場合で特記がない場合は溶融亜鉛メッキとし、指定色塗装とする。
	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付
構内通信線路	○ふ設方式	○地中線 ○管路式 ○液付硬質合成樹脂管（FEP） ○ポリエチレン被覆管（PLP） ○埋設深さ 特記なきものはGL（舗装がある場合は、舗装（表層）下面） から300mm以上とする。
	○架空線	電柱 ○連心力プレストレストコンクリートポール
	○マンホール及びハンドホール	構造・寸法 ○標準図による ○図示による。 蓋の文字 ○蓋の用途表示は通信とする ハンドホールにおいてもケーブル支持材を設ける。 ケーブルが直接接触しない場合の金物は、接地を省略してもよい。

章	項目	特記事項
調査	○調査範囲	○測定のみ ○対策工事実施設計書作成まで
	○測定時期	○工事前 ○工事中 ○完成後
	○測定箇所	箇所
	○測定内容	受信可能な全チャンネルとし、結果報告書を提出する。

別表 1 付属品・予備品

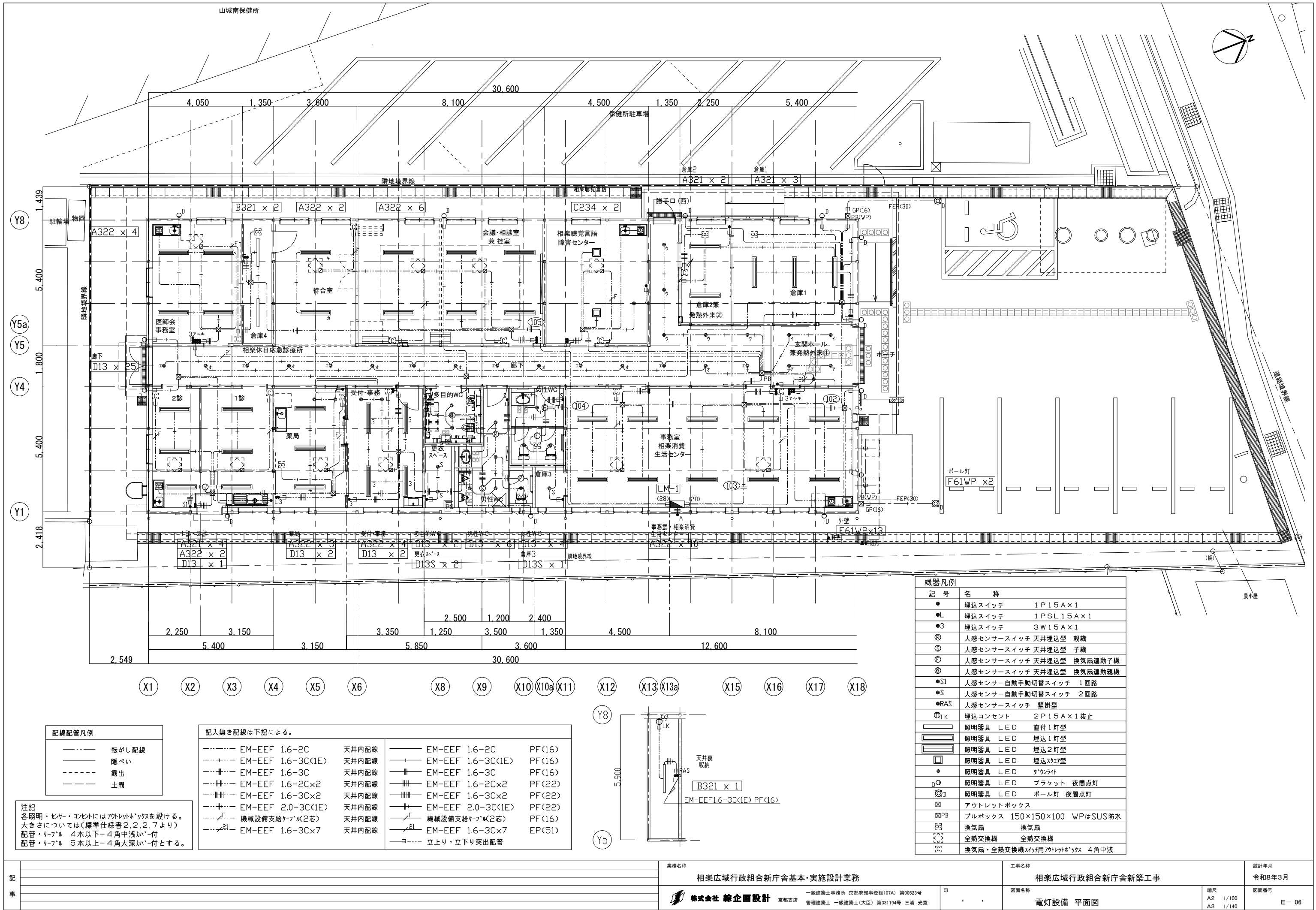
○イージーキャビネット	箱	○キーボックス	○テスター	○マンホールブック
○工具箱（ドライバー、モンキーレンチ、組スバナー、ハンマー）				
受変電設備・盤	ランプ及びヒューズの予備品は、20%とする。			

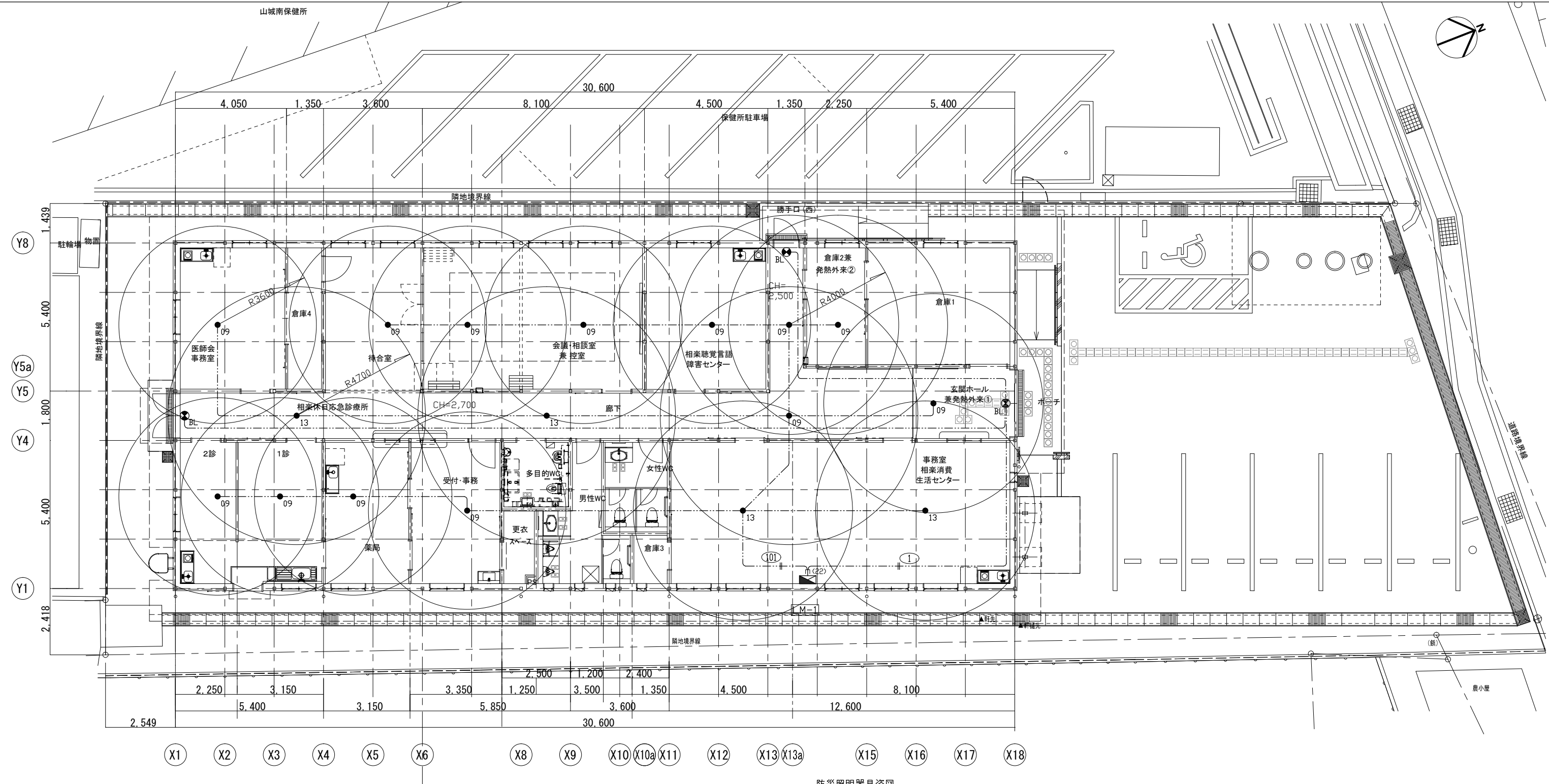
記事		業務名称		工事名称		設計年月	
		相楽広域行政組合新庁舎基本・実施設計業務		相楽広域行政組合新庁舎新築工事		令和8年3月	
		 株式会社 緑企画設計 京都支店	一級建築士事務所 京都府知事登録(07A) 第00523号	印	図面名称	縮尺	図面番号
			管理建築士 一級建築士(大臣) 第331194号 三浦 光寛				

照明器具姿図

一般タイプ、5200lmタイプ 消費電力31.9W、定格出力型、電圧100～242V 本体：亜鉛鋼板 反射板：鋼板（高反射白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 光束維持時間40000時間（光束維持率85%） 昼白色（5000K）、Ra83、電源装置はライトバー側に内蔵		一般タイプ、6900lmタイプ 消費電力43.1W、定格出力型、電圧100～242V 本体：亜鉛鋼板 反射板：鋼板（高反射白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 光束維持時間40000時間（光束維持率85%） 昼白色（5000K）、Ra83、電源装置はライトバー側に内蔵		一般タイプ、4000lmタイプ 消費電力25W、定格出力型、電圧100～242V 本体：鋼板（白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 光束維持時間40000時間（光束維持率85%） 昼白色（5000K）、Ra83 電源装置はライトバー側に内蔵		□350、マルチコンフォート15、調光可能タイプ（約10～100%） 電圧：100～242V 光束維持時間：40000時間（光束維持率85%）、Ra：83 本体：鋼板（高反射白色粉体塗装） ルーバー：亜鉛鋼板（高反射白色粉体塗装） 点灯ユニット（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 白色（4000K）		LED内蔵＜ワゴンコア（Dと粒）タイプ＞、電源ユニット内蔵、一般光色タイプ 5000K、Ra85、拡散タイプ 光源光束角15度、光束維持時間40000時間（光束維持率85%） 器具光束：1605lm、消費電力111.6W、電圧：100～242V 反射板（上部）：プラスチック（ホワイト） 反射板（下部）：鋼板（ホワイトつや消し仕上） 枠：鋼板（ホワイトつや消し仕上）、埋込穴φ150	
A321	LED 31.9W	A322	LED 43.1W	B321	LED 25W	C234	LED 21W	D13	LED 11.6W
	LRS3-4-48		LRS3-4-65		LSS1-4-37	ハナソニック	XL363LWU（同等品）		LRS1-13
LED内蔵＜ワゴンコア（Dと粒）タイプ＞、電源ユニット内蔵、一般光色タイプ Dと（粒）センサ付、5000K、Ra85、拡散タイプ 器具光束：1660lm、消費電力：111.8W、電圧：100～242V 光束維持時間：40000時間（光束維持率85%） 反射板（上部）：プラスチック（ホワイト） 枠・反射板（下部）：アルミダイカスト（ホワイトつや消し仕上） 埋込穴φ150		電球色（2700K）、Ra83 器具光束289lm、消費電力7.1W、電圧100V 直直付型、拡散タイプ、PαPIRs・明るさセンサ付 取付法：ネジ込み方式 カバー：アクリル（透明・内面白塗装） 本体・枠：プラスチック（プラチナメタリック） 点灯角度調整機能付		光束6000lm、消費電力58W、電圧：100～242V 昼白色、5000K、Ra70、全周配光タイプ 本体：アルミダイカスト（ミディアムグレイメタリック） グローブ：（透明つや消し） 光束維持時間6万時間（光束維持率70%） 上方光束比0～5%、耐雪サージ15kV、耐風速60m 落下防止ワイヤー付、タイマー・段階光調光機能付					
D13S	LED 11.8W	E61WP	LED 7.1W 〈WP〉	F61WP	LED 58W 〈WP〉				
	LDS2-LRS1-13	ハナソニック	LGWC80300K（同等品）		LST1-60 ポールT4.5				

照明器具の消費電力は、「JIS C 8105-3」の試験方法による。





記入無き配線は下記による。

--- EM-EEF 1.6-2C	天井内配線
--- EM-EEF 2.0-2C	天井内配線
--- EM-EEF 2.0-2C	PF(16)
--- 立上り突出配管	

注記
各照明・センサー・コンセントにはアウトレットボックスを設ける。
大きさについては標準仕様書2.2.2.7より
配管・ケーブル 4本以下→4角中浅カバー付
配管・ケーブル 5本以上→4角大深カバー付とする。

配線配管凡例	
---	転がし配線
---	隠ぺい
---	露出
---	土間

防災照明器具姿図

φ100 低天井用、30分間タイプ LED内蔵、非常時・非常灯用LED点灯ノ常時消灯 非常灯評定番号：L A L E - 0 0 4 レンズ：ガラス、カバー：鋼板（クールホワイトつや消し仕上） 電圧：100～242V、蓄電池：ニッケル水素電池 点検スイッチ付、自己点検スイッチ付 非常灯評定番号：L A L E - 0 0 4		φ100 高天井用、30分間タイプ LED内蔵、非常時・非常灯用LED点灯ノ常時消灯 非常灯評定番号：L A L E - 0 0 6 レンズ：ガラス、カバー：鋼板（クールホワイトつや消し仕上） 電圧：100～242V、蓄電池：ニッケル水素電池 点検スイッチ付、自己点検スイッチ付 非常灯評定番号：L A L E - 0 0 6		LED誘導灯 B L 形、片面型 壁・天井直付型 一般型（20分間） ニッケル水素電池 リモコン自己点検機能付 型式認定番号：1 A S 1 1 1 - 3 2 0 9	
● 09	LED 1.0W ハンディ内蔵 K1-LRS11-1	● 13	LED 1.0W ハンディ内蔵 K1-LRS11-2	● BL	LED 1.7W ハンディ内蔵 SH1-FBF20-BL

TL	トイレ呼出表示器 CN-3A44/A		呼出ボタン(引きひも付) NBR-7HWA																		
<table border="1"> <tr><td>電源電圧</td><td>DC12V(電源アダプタから供給)</td></tr> <tr><td>形 状</td><td>露出形</td></tr> <tr><td>材 質</td><td>ステンレスヘアライン仕上げ</td></tr> <tr><td>窓 数</td><td>3窓</td></tr> <tr><td>表示方式</td><td>断続ブザー音と表示窓点灯</td></tr> <tr><td>電源アダプタ</td><td>PS-1225A ホックス内に収納</td></tr> </table>	電源電圧	DC12V(電源アダプタから供給)	形 状	露出形	材 質	ステンレスヘアライン仕上げ	窓 数	3窓	表示方式	断続ブザー音と表示窓点灯	電源アダプタ	PS-1225A ホックス内に収納			<table border="1"> <tr><td>形 状</td><td>壁埋込型(JIS1個用スイッチボックス)</td></tr> <tr><td>材 質</td><td>自己消火性樹脂</td></tr> <tr><td>備 考</td><td>引きひも式、押ボタン式両用</td></tr> </table>	形 状	壁埋込型(JIS1個用スイッチボックス)	材 質	自己消火性樹脂	備 考	引きひも式、押ボタン式両用
電源電圧	DC12V(電源アダプタから供給)																				
形 状	露出形																				
材 質	ステンレスヘアライン仕上げ																				
窓 数	3窓																				
表示方式	断続ブザー音と表示窓点灯																				
電源アダプタ	PS-1225A ホックス内に収納																				
形 状	壁埋込型(JIS1個用スイッチボックス)																				
材 質	自己消火性樹脂																				
備 考	引きひも式、押ボタン式両用																				
B	ブザー付廊下灯 NR-BZLB27		復旧ボタン NBR-2A-C																		
<table border="1"> <tr><td>形 状</td><td>壁埋込型(JIS2個用スイッチボックス)</td></tr> <tr><td>材 質</td><td>プレート:自己消火性樹脂 ランプカバー:ポリカーボネート</td></tr> <tr><td>備 考</td><td>ブザー付</td></tr> </table>	形 状	壁埋込型(JIS2個用スイッチボックス)	材 質	プレート:自己消火性樹脂 ランプカバー:ポリカーボネート	備 考	ブザー付			<table border="1"> <tr><td>形 状</td><td>壁埋込型(JIS1個用スイッチボックス)</td></tr> <tr><td>材 質</td><td>樹脂</td></tr> <tr><td>備 考</td><td>非防水形</td></tr> </table>	形 状	壁埋込型(JIS1個用スイッチボックス)	材 質	樹脂	備 考	非防水形						
形 状	壁埋込型(JIS2個用スイッチボックス)																				
材 質	プレート:自己消火性樹脂 ランプカバー:ポリカーボネート																				
備 考	ブザー付																				
形 状	壁埋込型(JIS1個用スイッチボックス)																				
材 質	樹脂																				
備 考	非防水形																				

①	モニター付親機	②	カメラ付玄関子機	③	モニター付子機																																				
<table border="1"> <tr><td>電源電圧</td><td>AC100V 50/60Hz</td></tr> <tr><td>ディスプレイ</td><td>3.5型 TFTカラー液晶</td></tr> <tr><td>通話方式</td><td>拡声自動交互通話/プレストーク通話</td></tr> <tr><td>室内子機</td><td>1台</td></tr> <tr><td>録画機能</td><td>自動録画、再生、保護、消去</td></tr> <tr><td>形状</td><td>壁取付型<JIS1個用スイッチボックス+セパレーター></td></tr> <tr><td>材質</td><td>難燃性樹脂</td></tr> </table>		電源電圧	AC100V 50/60Hz	ディスプレイ	3.5型 TFTカラー液晶	通話方式	拡声自動交互通話/プレストーク通話	室内子機	1台	録画機能	自動録画、再生、保護、消去	形状	壁取付型<JIS1個用スイッチボックス+セパレーター>	材質	難燃性樹脂	<table border="1"> <tr><td>電源電圧</td><td>モニター付親機から供給</td></tr> <tr><td>通話方式</td><td>自動交互通話</td></tr> <tr><td>カメラ</td><td>1/2.9型カラーCMOS</td></tr> <tr><td>形状</td><td>壁取付型<JIS1個用スイッチボックス></td></tr> <tr><td>材質</td><td>難燃性樹脂</td></tr> <tr><td>備考</td><td>防塵・防まつり形<JIS C0920IP54 相当></td></tr> </table>		電源電圧	モニター付親機から供給	通話方式	自動交互通話	カメラ	1/2.9型カラーCMOS	形状	壁取付型<JIS1個用スイッチボックス>	材質	難燃性樹脂	備考	防塵・防まつり形<JIS C0920IP54 相当>	<table border="1"> <tr><td>電源電圧</td><td>AC100V 50/60Hz</td></tr> <tr><td>ディスプレイ</td><td>3.5型 TFTカラー液晶</td></tr> <tr><td>通話方式</td><td>拡声自動交互通話/プレストーク通話</td></tr> <tr><td>形状</td><td>壁取付型<JIS1個用スイッチボックス+セパレーター></td></tr> <tr><td>材質</td><td>難燃性樹脂</td></tr> </table>		電源電圧	AC100V 50/60Hz	ディスプレイ	3.5型 TFTカラー液晶	通話方式	拡声自動交互通話/プレストーク通話	形状	壁取付型<JIS1個用スイッチボックス+セパレーター>	材質	難燃性樹脂
電源電圧	AC100V 50/60Hz																																								
ディスプレイ	3.5型 TFTカラー液晶																																								
通話方式	拡声自動交互通話/プレストーク通話																																								
室内子機	1台																																								
録画機能	自動録画、再生、保護、消去																																								
形状	壁取付型<JIS1個用スイッチボックス+セパレーター>																																								
材質	難燃性樹脂																																								
電源電圧	モニター付親機から供給																																								
通話方式	自動交互通話																																								
カメラ	1/2.9型カラーCMOS																																								
形状	壁取付型<JIS1個用スイッチボックス>																																								
材質	難燃性樹脂																																								
備考	防塵・防まつり形<JIS C0920IP54 相当>																																								
電源電圧	AC100V 50/60Hz																																								
ディスプレイ	3.5型 TFTカラー液晶																																								
通話方式	拡声自動交互通話/プレストーク通話																																								
形状	壁取付型<JIS1個用スイッチボックス+セパレーター>																																								
材質	難燃性樹脂																																								

壁掛型デジタルコーダー

□TV

壁掛型デジタルコーダー

RBSS認定品

電源	AC100 V 50/60 Hz
カメラ電源供給方式	定電圧重畳方式
映像モニター	15型カラー液晶モニター
画像圧縮方式	H.264 (MPEG-4 AVC)
画素数(解像度)	フィールド:360×240, 720×240 フレーム:720×480
入力	カメラ×8、音声×8、センサー×8、制御×3
出力	音声×1、コントロール×8、制御×3、他
カメラ制御	RS-485
記録メディア	ハードディスク 1TB (1TB×1)
画面表示	1画面、4/9分割、シーゲンス、他
総録画レート	最大:240 i p s
セキュリティ機能	ユーザーID (最大8名) とパスワード認証
ネットワークソフト	最大64台のデジタルレコーダー監視可
その他	プリ・ポスト、緊急録画、モーション検知、メール送信、遠隔通知、調時、イベントポップアップ Webサーバー、マウス可、USBメモリーコピー UPS連動、プログレッシブ高画質記録

□

屋外ドーム型赤外ダイナイトカメラ

RBSS認定品

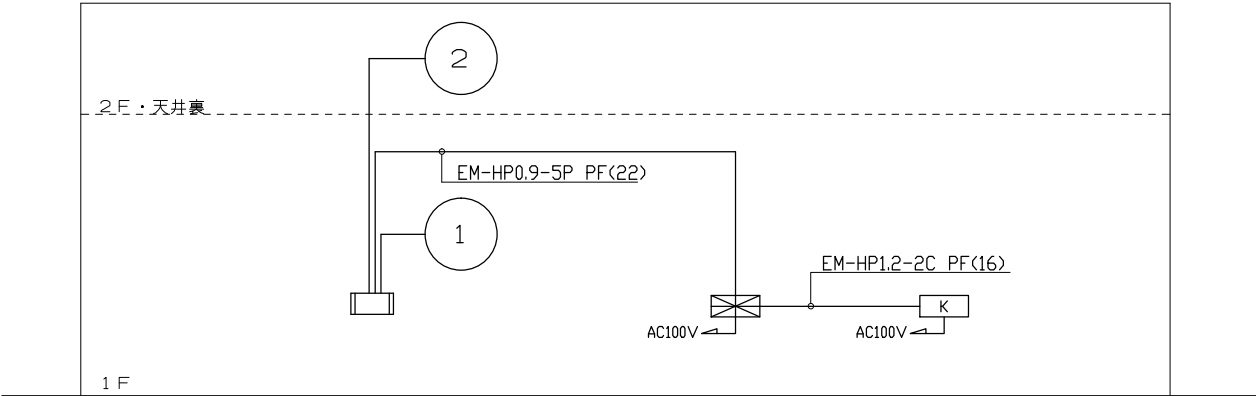
電源	カメラドライブユニットからDC電源供給(定電圧)
撮像素子	1/3型CMOS プログレッシブ 137万画素
解像度	水平:800TV本(標準、中心部)
最低被写体照度	0.1×(赤外LED点灯時)
防塵・防水性能	IP66 親水コート付透明カバー
バリフォーカルレンズ	3.5倍(f=2.8~10 mm) 水平画角:98.8°~28.8°
その他	赤外LED:約30m、ワイドダイナミック、露補正

端子盤 リスト

	電話	T V	情報	その他	サイズ
T - 1	MDF 15P+30P	別図参照	4P HUB, ルータスペース	コンセント×2 Cat.6受口	銅板製埋込型指定色 600W×300D×600H

規格	電圧・周波数	AC 100 V±10% (50Hz/60Hz)
	消費電力・電流	185W 1.85A
	使用温度範囲	0 °C～+40 °C (結露なきこと)
	重量(質量)	約13 kg
	操作部	電源スイッチ、メンテナンススイッチ リセットスイッチ、ディップスイッチ ゲート用スイッチ
	機能	表示部
バッテリー充電電池		リチウム電池(MAIN×1ヶ、Web×1ヶ)
ネットワーク		RJ45(8ピンモジュラコネクタ)ー) 10BASE-T、100BASE-TX規格に準拠
電気錠制御		最大8台(1台/1系統) 接点仕様：有電圧・・・0.4A DC24V(定格) ・・・・・・無電圧・・・2A DC30V(接点容量) 連結端子接続 適合電線：銅導線(φ0.9、φ1.2) 最大配線長：100m
リーダー通信		EIA RS485規格×8系統(最大4台/1系統) 連結端子接続 適合電線：EM-FCPEE(φ0.9、φ1.2) 最大配線長：500m
リーダー電源		DC24V×8系統(最大2台/1系統) 定格電流：実効値0.5A/1系統 最大定格：0.7A/1系統 連結端子接続 適合電線：銅導線(φ0.9、φ1.2) 最大配線長：100m
接点入出力		入力：最大16点 監視電圧 DC24V、監視電流5mA/1入力 出力：最大8点 無電圧接点(接点負荷DC30V、2A以下) 連結端子接続 適合電線：銅導線(φ0.9、φ1.2) 最大配線長：100m
蓄電池		24 V、2500 mAh 停電備償時間：10分間
その他		付属品

定 格	入力電源	DC 24V (DC 17.6V ~ 28.8V)
	消費電流	最大 300mA
	入力装置	メモ・警戒ボタン・解錠ボタン・音声調節ボタン
	LED表示	電源・受付・解錠・エラー・警戒・警戒(暗証入力)
	音声案内	日本語
	設置環境	屋内・屋外
	動作環境	屋外・屋内用：-20℃~50℃(但し結露無きこと)
		防塵防水性能(JIS C0920基準級)：IP34 屋内用：-10℃~+40℃(但し結露無きこと)
操作寿命	メモ：100万回 警戒・解錠：5万回 (試験基準による)	
パネル	警戒付・白(屋内)	



防災設備系統図

凡 例

記 号	名 称	備 考
	自火報受信機	自火報（P型2級 3回線）
	発信機	P型2級
	表示灯	AC/DC-24V 21mA LED球
	機器収容箱	埋込縦型：指定色塗装 収容
	メインコントロールユニット（電気錠操作盤）	
	差動式スポット型感知器	2種
	定温式スポット型感知器	防水型 60℃ 特種
	光電式スポット型感知器	非蓄積型 露出型 2種
	終端抵抗	10KΩ
	配管配線	天井いんべい・PF配管
	ジョイントボックス	
	警戒区域番号	1～2

特記仕様書

1. 一般事項
- 1.1 適用規格・法規等
- 本工事の設計・施工に当たっては、下記の法令・規格等に基づくものとする。
- (1) 労働基準法 (9) 日本産業規格 (JIS)
- (2) 労働安全衛生法 (10) 日本電機工業会標準規格 (JEM)
- (3) 建築基準法 (11) 日本電気規格調査会標準規格 (JEC)
- (4) 電気事業法 (12) 日本電線工業会規格 (JCS)
- (5) 電気工事士法 (13) 内線規定
- (6) 消防関係法規 (14) 系統連系規定
- (7) 電気設備技術基準
- (8) 電力品質確保に係る系統連系技術要件ガイドライン
- 1.2 保証条件
- 検収後1年以内に設計もしくは製作不良、その他工事者の責任に帰すべき不都合が発生した場合は、速やかにこれを無償で修理、または、良品と交換するものとする。
- なお、上記保証期間を経過した後に、機器製作不良等工事者の責に帰すると判断される原因により事故が生じた場合、その修理・取替に要する費用については、協議の上決定するものとする。

2. システム概要
- 2.1 設備の概要
- 名称 : 相楽広域行政組合新庁舎新築工事のうち太陽光発電設備工事
- 連系する電力系統 : 高圧一般配電線 (三相3線、6600V、60Hz)
- 発電設備の種類 : 太陽電池発電所
- 設備容量 : 太陽電池容量 3.6kW相当
- パワーコンディショナ容量 4.8kW
- 2.2 システム構成
- 本システムは、太陽電池モジュール、太陽電池用架台、パワーコンディショナ (連系保護装置含む)、計測監視装置、表示装置により構成する。
- ① 太陽電池は太陽からの日射を受けると直流電力を発生し、これを、パワーコンディショナで集電供給する。
- ② パワーコンディショナは、この直流電力を並列する商用電源の電圧、周波数、位相と同期した交流電力に変換し、対象とする負荷へ電力を供給する。
- ③ 連系保護装置等により、パワーコンディショナ及び系統の異常時には連系を遮断する。
- ④ 運転データ等は、計測監視装置により収集する。
- 2.3 運転方式
- パワーコンディショナは、下記の通り全自動運転を行うものとする。
- ① 太陽電池の動作特性を監視し、設定値に達するとパワーコンディショナを自動的に起動する。
- ② 太陽電池の出力を監視し、設定値以下になると自動的に運転を停止する。
- ③ 太陽光発電システムによる負荷への電力供給は、原則として日中発電時のみを対象とする。日中発電時に日射不足により給電不能となる場合は自動的に運転を停止させる。
- ④ 太陽電池出力監視による発電装置自動停止後の復帰は時限を採って行い、不要な高頻度のポンピング (ON/OFF動作) を避ける。
- ⑤ 交流系統に事故が発生した場合やパワーコンディショナ故障時は、速やかに商用系統との連系接続を解列し確実に停止する。
- ⑥ 商用系統の事故の場合は、商用系統が復旧すれば設定時間後、自動的に再投入して運転を再開する。(詳細は電力会社と協議とする。)

- 2.4 系統連系保護方式
- 本システムにおける連系保護装置は、電気設備技術基準に沿って設置するものとする。
- 電気設備技術基準の解釈第232条の規定による保護継電器の種類・設置相数および検出場所を表-1に示す。
- (高圧連系下位区分)

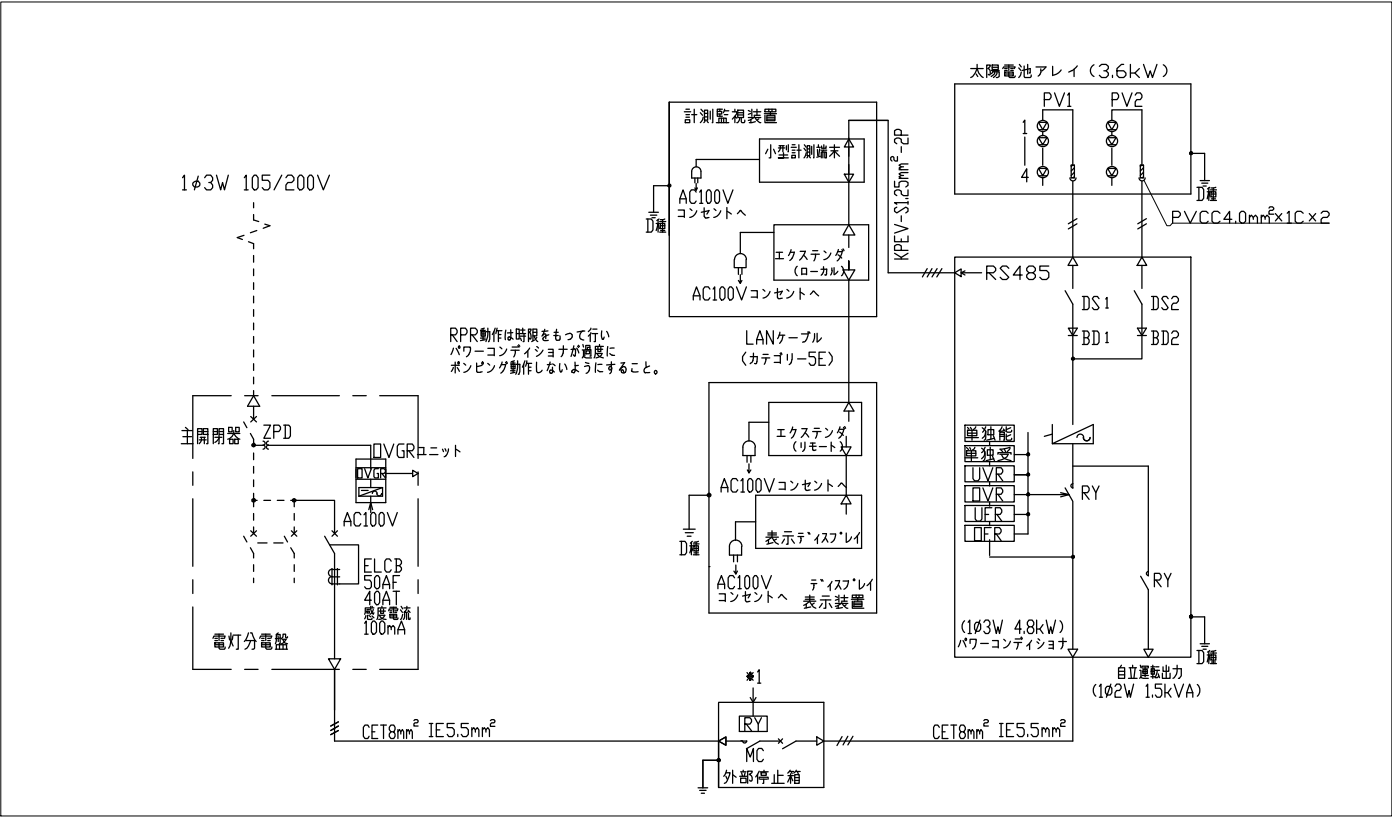
表-1		
保護継電器の種類	設置相数	検出場所
① 過電圧継電器 (OVR)	2相	パワーコンディショナ内
② 不足電圧継電器 (UVR)	2相	
③ 周波数上昇継電器 (OFR)	1相	
④ 周波数低下継電器 (UFR)	1相	
⑤ 単独運転検出機能 (受動・能動)	-	

- 2.5 納入機器範囲
- 納入機器は表-2に示す通りとする。
- | 表-2 | | | | |
|-----|------------|-------|-----|--------|
| No. | 機 器 名 | 仕 様 | 数 量 | 備 考 |
| 1. | 太陽電池モジュール | 黒フレーム | 8枚 | 小型計測端末 |
| 2. | 太陽電池架台 | | 1式 | |
| 3. | 外部停止箱 | | 1台 | |
| 4. | パワーコンディショナ | | 1台 | |
| 5. | 計測監視装置 | | 1式 | |
| 6. | ディスプレイ表示装置 | | 1台 | |

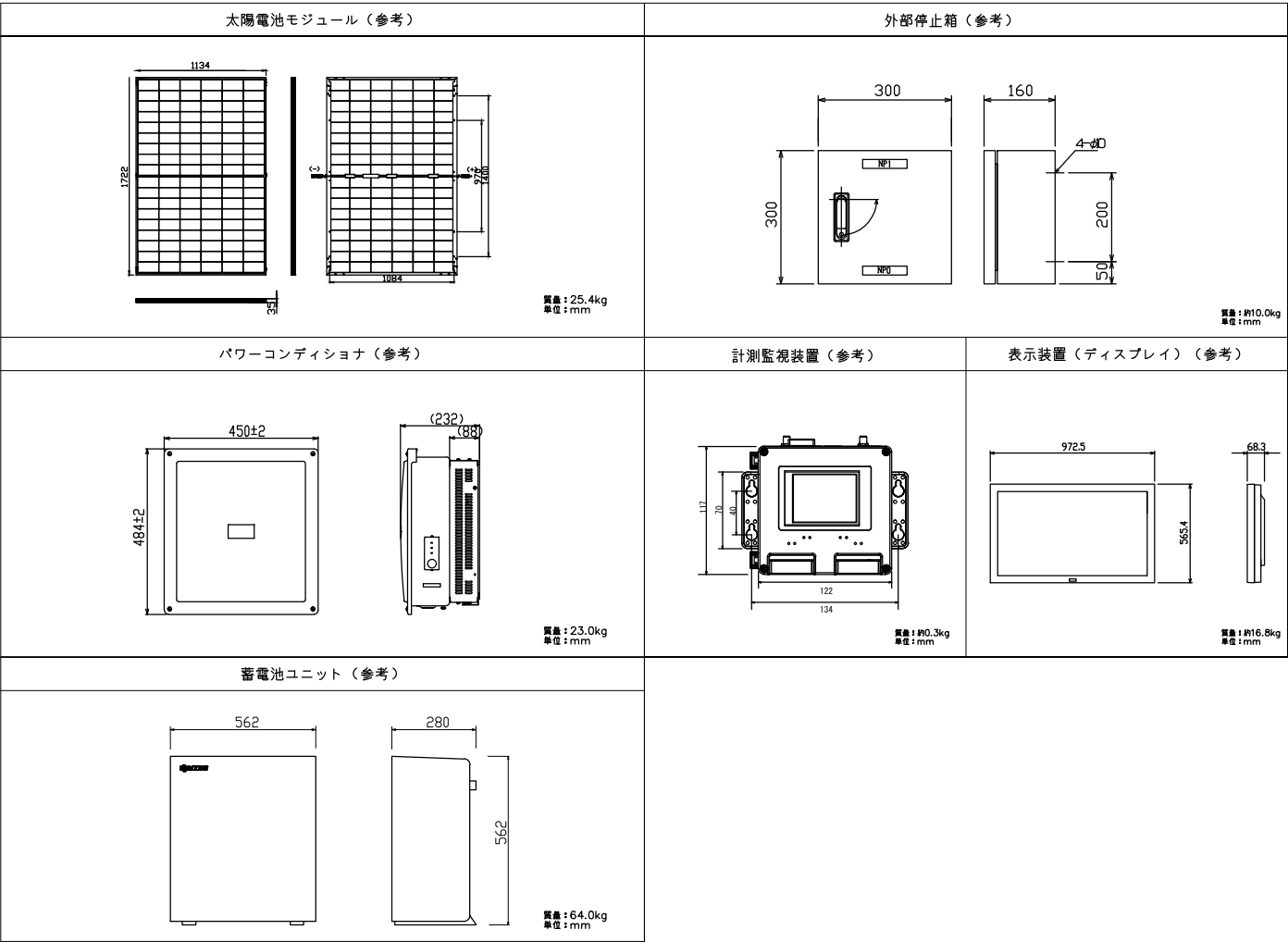
3. 機器仕様
- 3.1 太陽電池 黒フレーム仕様
- 種類 : 単結晶シリコン太陽電池
- 容量 : 3.6kW
- 外形寸法 : 図面参照
- 出力特性 : 表-3参照
- | 項目 | 区分 | モジュール出力 |
|----------|----|------------|
| 最大出力 | | 450Wmin-3% |
| 最大出力動作電圧 | | 33.91 V |
| 最大出力動作電流 | | 13.27 A |
| 開放電圧 | | 40.25 V |
| 短絡電流 | | 14.17 A |
- 条件 : 日射強度 AM1.5 1kW/m²
- : 素子温度 25℃
- 太陽電池モジュールを4直列2並列1系統にて使用するものとします。
- 3.2 架台
- 構造 : 傾斜屋根用
- 外形寸法 : 別途図面参照
- 材質 : アルミ押出型材
- 強度 : 関係法規に基づき必要な強度を有するものとします。
- 3.3 外部停止箱
- 構造・材質 : 屋外壁掛型、SUS製
- 回路数 : 1回路
- 収容機器 : 配線用遮断器、リレー他
- 外形寸法 : 別紙図面参照
- 3.4 パワーコンディショナ
- 種類 : 系統連系パワーコンディショナ
- 容量 : 4.8kW
- 入力運転電圧範囲: DC50~450V
- 出力電圧 : 単相2線式 AC202V 60Hz
- 接続系統 : 単相3線式 AC101/202V
- 電力変換効率 : 96.0%
- 出力基本効力率 : 0.95以上
- 交流電流ひずみ率: 総合5%以下 各次3%以下
- 制御方式 : 最大出力追従制御
- 運転/停止 : 「2.3 運転方式」によるものとします。
- 保護機能 : 「2.4 系統連系保護方式」によるものとします。
- 計測機能 : 表示項目 (切替式)
- ・交流電力
 - ・交流電力量
- 外形寸法 : 別途図面参照
- 周囲条件 : 周囲温度 -20~50℃、周囲湿度25~95%以下 (結露なし)
- 3.4 計測監視装置
- 使用機器 : 小型計測端末
- 設置場所 : 屋内
- 電源電圧 : AC100V
- 表示内容 : 発電電力、発電電力量 他
- 3.5 ディスプレイ表示装置
- 構造 : 屋内壁掛型
- 外形寸法 : 別途図面参照
- 電源電圧 : AC100V
- 表示内容 : 発電電力、発電電力量 他

4. 工事範囲
- 4.1 機器据付工事
- (1) 太陽電池組立据付工事
- (2) 納入機器据付工事
- 4.2 電気工事
- (1) 受変電設備までの配線配管工事
- 4.3 工事範囲外
- (1) 太陽電池架台用の基礎工事
- (2) 系統連系に必要な受変電設備の改造工事
- (3) D種設置工事
5. 試運転・完成検査項目
- 試運転・完成検査項目は、下表に示す通りとする。
- | 表-4 | | | | | |
|---------|--------------|----------------|----------|----------|------------|
| | 太陽電池
コネクタ | パワー
コンディショナ | 計測
装置 | 表示
装置 | 配線
ケーブル |
| 外観・構造試験 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 絶縁抵抗試験 | ○注 | ○注 | | | ○ |
| 絶縁耐圧試験 | ○注 | ○注 | | | |
| 保護装置特性 | | ○注 | | | |
| 動作確認試験 | | ○ | ○ | ○ | |
- 注) 現地試験は省略し、工場試験成績書にて承認して頂くものとします。

単線結線図



機器姿図



記 事		業務名称			工事名称		設計年月	
		相楽広域行政組合新庁舎基本・実施設計業務			相楽広域行政組合新庁舎新築工事		令和8年3月	
		 株式会社 幹企圖設計 京都支店	一級建築士事務所 京都府知事登録(07A) 第00523号		印	図面名称	縮尺 A2 - A3 -	図面番号 E- 12
			管理建築士 一級建築士(大匠) 第331194号 三浦 光寛					



記 事		業務名称	相楽広域行政組合新庁舎基本・実施設計業務		工事名称	相楽広域行政組合新庁舎新築工事		設計年月	令和8年3月
			 株式会社 緑企画設計 京都支店	一級建築士事務所 京都府知事登録(07A) 第00523号 管理建築士 一級建築士(大臣) 第331194号 三浦 光寛	印 ・ ・	図面名称	太陽光発電設備 平面図 縮尺 A2 1/100 A3 1/140	図面番号	E- 13